

報告・協議4

令和2年度に県立義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和元年8月9日

広島県教育委員会教育長 平川理恵

別紙

令和2年度に県立義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について

資料1 令和2年度県立義務教育諸学校において使用する教科用図書の選定状況について

資料2 令和2年度県立広島中学校において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料3 令和2年度県立三次中学校において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料4 令和2年度県立広島叡智学園中学校において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料5 令和2年度県立特別支援学校の小学部において使用する教科用図書の選定状況について

資料6 令和2年度県立特別支援学校中学部において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料7 令和2年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部において使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況について

資料1

令和2年度県立義務教育諸学校において使用する教科用図書の選定状況について

No. 1

【小学部】

種類	障害種別 学校名 種目	視覚障害	聴覚障害				肢体不自由			病弱
		広島中央 特別支援学校	広島南特別 支援学校	尾道特別 支援学校	呉南特別 支援学校	広島特別 支援学校	福山特別 支援学校	西条特別支援学校		広島西特別 支援学校
								本校	八本松分級	
文部科学省 検定済教科書	国語	光村	光村	光村	光村	東書	東書	東書	—	光村
	書写	学図	教出	教出	教出	東書	東書	東書	—	東書
	社会	教出	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	地図	—	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	—	帝国
	算数	大日本	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	理科	東書	啓林館	啓林館	啓林館	啓林館	啓林館	啓林館	—	啓林館
	生活	教出	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	音楽	未定	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	—	教芸
	図画工作	開隆堂	日文	日文	日文	日文	日文	日文	—	日文
	家庭	未定	東書	東書	東書	開隆堂	開隆堂	開隆堂	—	東書
	保健	未定	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	英語	開隆堂	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	教出
道徳	教出	光文	光文	光文	学図	学図	学図	—	日文	
著作 ※1	視覚障害者用	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	聴覚障害者用	—	○	○	○	—	—	—	—	—
	知的障害者用	○	○	○	○	○	○	○	—	○
一般図書 ※2		○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 「著作」の欄は、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書（視覚障害者用点字版等）を表す。

※2 「一般図書」の欄は、学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（市販されている絵本等）を表す。

特別支援学校においては、次の場合に限り使用できる。

①検定済教科書又は著作教科書のない場合

②重複障害を有する児童生徒について特別の教育課程を編成する場合に、
検定済教科書又は著作教科書を使用することが適当でない場合

令和2年度県立義務教育諸学校において使用する教科用図書の選定状況について

No. 2

【小学部】

種類	障害種別 学校名 種目	知的障害													
		尾道特別支援学校		広島特別 支援学校	廿日市特別 支援学校	福山北特別 支援学校	三原特別支援学校		呉特別支援学校		庄原特別 支援学校	広島北特別 支援学校	沼隈特別 支援学校	黒瀬特別 支援学校	呉南特別 支援学校
		本校	しまなみ分校				本校	大崎分教室	本校	江能分級					
文部科学省 検定済教科書	国語	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	書写	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	地図	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	算数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	理科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	生活	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	音楽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	図画工作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	家庭 保健	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	道徳	日 文	—	学 研	—	—	—	—	—	—	—	学 図	—	—	—
著作	視覚障害者用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	聴覚障害者用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	知的障害者用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般図書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年度県立義務教育諸学校において使用する教科用図書の選定状況について

【中学校・中学部】

No. 3

種類	障害種別 学校名 種目	広島中学校	三次中学校	広島叡智学園 中学校	視覚障害	聴覚障害			肢体不自由			病弱	
					広島中央 特別支援学校	広島南特別 支援学校	尾道特別 支援学校	呉南特別 支援学校	広島特別 支援学校	福山特別 支援学校	西条特別支援学校		広島西特別 支援学校
										本校	八本松分級		
文部科学省 検定済教科書	国語	三省堂	光村	三省堂	光村	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	—	学図
	書写	教出	教出	教出	学図	東書	東書	東書	光村	光村	光村	—	東書
	社会 (地理的分野)	日文	日文	日文	教出	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	社会 (歴史的分野)	東書	東書	東書	教出	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	社会 (公民的分野)	東書	東書	東書	教出	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
	地図	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	帝国	—	帝国
	数学	学図	学図	学図	学図	東書	東書	東書	啓林館	啓林館	啓林館	—	啓林館
	理科	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	啓林館	啓林館	啓林館	—	大日本
	音楽 (一般)	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	—	教出
	音楽 (器楽合奏)	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	教芸	—	教芸
	美術	光村	光村	光村	開隆堂	光村	光村	光村	光村	光村	光村	—	光村
	保健体育	学研	学研	東書	学研	大日本	大日本	大日本	東書	東書	東書	—	学研
	技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	開隆堂	東書	開隆堂	東書	東書	東書	開隆堂	開隆堂	開隆堂	—	開隆堂
	技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	開隆堂	開隆堂	開隆堂	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	東書
英語	教出	教出	光村	東書	東書	東書	東書	東書	東書	東書	—	開隆堂	
道徳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
著作 ※1	視覚障害者用	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	聴覚障害者用	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
	知的障害者用	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○
一般図書※2		—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 「著作」の欄は、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書（視覚障害者用点字版等）を表す。

※2 「一般図書」の欄は、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（市販されている絵本等）を表す。

特別支援学校においては、次の場合に限り使用できる。

①検定済教科書又は著作教科書のない場合

②重複障害を有する児童生徒について特別の教育課程を編成する場合に、検定済教科書又は著作教科書を使用することが適当でない場合

令和2年度県立義務教育諸学校において使用する教科用図書の選定状況について

【中学校・中学部】

No. 4

種類	障害種別 学校名 種目	知的障害													
		尾道特別支援学校		広島特別 支援学校	廿日市特 別 支援学校	福山北特 別 支援学校	三原特別支援学校		呉特別支援学校		庄原特別 支援学校	広島北特 別 支援学校	沼隈特別 支援学校	黒瀬特別 支援学校	呉南特別 支援学校
		本校	しまなみ分校				本校	大崎分教室	本校	江能分級					
文部科学省 検定教科書	国語	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	書写	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	社会 (地理的分野)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	社会 (歴史的分野)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	社会 (公民的分野)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地図	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	数学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	理科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	音楽 (一般)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	音楽 (器楽合奏)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	美術	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	保健体育	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	技術・家庭 (技術分野)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	技術・家庭 (家庭分野)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
英語	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
道徳	日 文※3	—	—	—	—	学 研※3	学 研※3	—	—	—	学 図※3	—	学 図※3	—	
著作	視覚障害者用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	聴覚障害者用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	知的障害者用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般図書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※3は小学校用教科書を表す。

令和 2 年度県立広島中学校において使用する教科用図書
（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料 2 - 1	令和 2 年度に県立広島中学校で使用する中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定について ……………	1
資料 2 - 2	令和 2 年度：教科書の選定結果（広島中学校） ……………	2
資料 2 - 3	令和 2 年度：教科書の選定理由（広島中学校） ……………	3
資料 2 - 4	令和 2 年度：教科書の選定の観点及び視点（広島中学校） ……………	11
資料 2 - 5	令和 2 年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由 ……………	16
資料 2 - 6	教科書の特色（広島中学校） ……………	44
資料 2 - 7	評価表（広島中学校）〔A 3 判 別冊〕	

令和 2 年度に県立広島中学校で使用する中学校用教科用図書
 (「特別の教科 道徳」を除く) の選定について

教育目標等

<教育方針> 6年間の計画的・継続的な教育活動により幅広く深い教養と高い知性を培い、グローバル化時代において活躍することのできる人材を育成する。
 <教育目標> 学習意欲を喚起し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに国際感覚を培い、心豊かなたくましい人材を育成する。

校訓(育てたい生徒の資質や能力)

高い知性：確かな学力，科学的・論理的な思考力，的確な判断力，豊かな創造力・表現力
 豊かな感性：他人を思いやる心などの豊かな人間性，社会性や規範意識，多文化を理解する態度
 強い意志：困難を乗り越える精神力・体力，高い目的意識，責任ある行動力，自主的に学ぶ姿勢

選定資料を参考に十分な調査・研究を行う

教科書選定の観点

- 観点 1 基礎・基本の定着
- 観点 2 主体的に学習に取り組む工夫
- 観点 3 内容の構成・配列・分量
- 観点 4 内容の表現・表記
- 観点 5 言語活動の充実
- 観点 6 学校の特色を生かす工夫

グローバル化時代において活躍することのできる人材の育成に必要な視点を設定する

<視点>

- 1 科学的・論理的な思考力，的確な判断力を育てるための工夫
- 2 豊かな人間性や社会性を培い，我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫
- 3 高い目的意識をもって，自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫

視点ごとに評価し，総合的に判断する。

別紙 1

令和 2 年度：教科書の選定結果（広島中学校）

種目	教科書	発 行 者		書 名
		番 号	略 称	
国 語		15	三省堂	現代の国語
書 写		17	教出	中学書写
社会（地理的分野）		116	日文	中学社会 地理的分野
社会（歴史的分野）		2	東書	新編 新しい社会 歴史
社会（公民的分野）		2	東書	新編 新しい社会 公民
地 図		46	帝国	中学校社会科地図
数 学		11	学図	中学校数学
理 科		2	東書	新編 新しい科学
音 楽（一 般）		27	教芸	中学生の音楽
音 楽（器楽合奏）		27	教芸	中学生の器楽
美 術		38	光村	美術
保 健 体 育		224	学研	新・中学保健体育
技 術 ・ 家 庭 （技術分野）		9	開隆堂	技術・家庭（技術分野）
技 術 ・ 家 庭 （家庭分野）		9	開隆堂	技術・家庭（家庭分野）
英 語		17	教出	ONE WORLD English Course (ONE WORLD English Course Essentials)

別紙 2

令和 2 年度：教科書の選定理由（広島中学校）

種 目	発行者	選 定 理 由
国 語	三省堂	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，教材ごとに目標を示すだけでなく，目次等において領域別教材一覧を掲載し，指導事項に基づいた付けたい力や言語活動例を具体的に示しており，生徒がその教材でどのような力を身に付ければよいかを理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，問題解決的な学習を促すための言語活動を設定し，必要な学習活動を示すとともに，「読むこと」の学習において，文章の読み方を図等で示し，学んだことを他の文章の読みに生かせるような工夫がされている。また，言語活動の充実の観点では，「読書郵便」といった本を紹介するカードを作るなどの読書活動を促す具体的な言語活動例が示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，科学的・論理的な思考力，的確な判断力の育成に適した教材が掲載されているとともに，自主的な学習を促すために，学習の手引き等で，発展的な課題を複数示し，選択できるよう工夫されている。</p>
書 写	教出	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。姿勢，執筆法，用具の扱いを示す際には，毛筆や硬筆以外にもボールペンの持ち方を示すなど工夫されている。また，硬筆の記入欄が全ての学年に掲載されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，興味・関心を高めるためのコラムや資料が充実しているだけでなく，学習活動の「振り返り」も充実しており，大単元だけでなく，全ての小単元においても「振り返り」の観点が示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，自主的な学習を促すために，教科の学習に活用できるレポート等の書き方の資料が掲載されているとともに，自ら学ぶために活用できる問題や教材等が掲載されている。</p>

<p>社会（地理的分野）</p>	<p>日文</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，学習内容を習得させるための問いかけに加えて，獲得した知識を活用して考察する課題を示すことで，基礎的・基本的な内容の習得とともに生徒の発展的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，「身近な地域の調査」の学習において，課題の設定，調査，考察，まとめ・振り返りの全ての過程に，具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示し，生徒が主体的に学習を進められよう工夫されている。特に，まとめの過程では，レポートによるまとめ例を掲載し，生徒に最終的なまとめのイメージを描かせるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，科学的・論理的な思考力，的確な判断力を育てるために，筋道を立てて考察する手順を具体的な事例とともに示して，生徒が自ら学べるよう工夫されている。さらに，「私たちにできることを考えよう」という特設ページを設け，自ら主題を設定して追究し，まとめるという一連の学習に加えて，学んだことを社会参画につなげていく工夫を示していることは，高い目的意識をもって自ら学ぼうとする姿勢や意欲を育てることに有効である。</p>
<p>社会（歴史的分野）</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，発展的な学習に活用できる資料として「深めよう」を各大項目に掲載し，生活と関連付けて考察する問いを記載し，歴史に対する興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，各大項目に「私たち歴史探検隊」を掲載し，その中で学習テーマの設定，調査，まとめ，考察の過程と，それぞれの問題解決の過程に留意点や具体例を示し，生徒が主体的に「身近な地域の歴史を調べる」活動に取り組むよう工夫されている。また，広島県を取り上げた事例を豊富に掲載し，生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。言語活動の充実の観点では，マッピング，比較表，新聞，年表，プレゼンテーションソフト等の多様なまとめ方を掲載し，習得した知識を様々な視点で考察しながら時代の特色を捉えるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，複数の視点から課題について考察するなど，筋道を立てて考察する事例を豊富に記載しており，論理的な思考力を育てることに有効である。また，身近な地域の将来について提案する事例を掲載し，社会に参画する態度を養うよう工夫されている。</p>

<p>社会（公民的分野）</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，学校生活における身近な事例や社会生活に見られる具体的な事例が豊富であるとともに，現代社会をとらえる見方や考え方を確実に身に付けさせるため，合意形成のプロセスにおいて，他者と協働することで新たな考えを生み出すための手立てや考え方が明確に示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，課題を解決する学習の内容が豊富であるとともに，それぞれの学習過程において，主体的な学びを促す手順や留意点が明確に示されている。さらに，広島県に関する写真やグラフ等が豊富であるとともに，広島県の事象をもとに，調査，考察する方法や具体例が掲載され，生徒の興味・関心を高め，課題意識をもって主体的に学習に取り組むよう工夫されている。また，多面的・多角的に考察させるための多様な手法もバランスよく示されている。</p> <p>学校の特徴を生かす工夫の観点では，我が国の伝統や文化について，他国とのつながりや多文化共生，伝統文化の継承など，幅広い視点に立ったコラムや読み物資料が豊富であり，グローバル社会で活躍する人材を育成するためには効果的である。また，持続可能な社会の形成について，具体的な事例をもとに，今後自分がどう考えどのように行動していくのかという視点で捉える考察が示されるなど，主体的に社会に参画する態度を養うよう工夫されている。</p>
<p>地 図</p>	<p>帝国</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，資料がめあてとともに掲載されるなど，興味・関心をもって地理的事象を考察するよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，地図の読み取りの視点や学習課題を示した「地図をみる目」，「やってみよう」が豊富に掲載され，主体的に地図帳を活用して学習に取り組むよう工夫されている。</p> <p>学校の特徴を生かす工夫の観点では，3種類の地図を活用して地域的特色を考察する手法と事例が掲載され，科学的・論理的な思考力，的確な判断力を育てることに有効である。また，各中項目に資料を関連付けて考察する問いが記載され，地理的事象を多面的・多角的に考察するよう工夫されている。</p>

<p>数</p> <p>学</p>	<p>学図</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，巻末資料に生徒が使用できる具体物があり，それらを活用して指導することは基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために有効である。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，計算問題で計算の仕方を説明させる場面が設定されている。また，単元の内容を利用・活用する問題でも理由を説明させる場面が設定され，問題解決に向けて協働的に取り組ませることができるよう工夫されている。言語活動の充実の観点では，各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり，単元の中にもその記述がある。ノートのかき方を示すことで，生徒に考えを筋道立てて整理する方法を理解させることができるだけでなく，説明する活動にも利用させることができる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，数学史や著名な数学者，現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題や問題が充実しており，数学を学習することの意義や数学のよさを実感させることに有効である。また，自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てる工夫として，普段の生活の中で感じた疑問などを自ら解決し，レポートにまとめる具体例が記載されている。</p>
<p>理</p> <p>科</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量の観点において，全般的に優れている。特に，各単元末において，基本的な用語が多数掲載されており，かつ簡潔にまとめられ，基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるようになっている。加えて，環境マップの作成や実習テーマ例の紹介など，持続可能な社会の構築のために生徒が日常生活の中で実践できる具体的な取組が紹介されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，日常生活や社会，職業との関係を意識した記述が多く見られ，理科の学習内容への興味・関心を高めるように工夫されている。また，全ての単元にもものづくりが設定され，観察・実験も数多く紹介されており，生徒が主体的に取り組めるように工夫されている。さらに，言語活動の充実の観点では，科学的な思考力・表現力の育成に向けて，レポートの作成方法が具体的に例示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，学習した内容を活用して考えさせる場面が全ての単元で意図的に複数設定されており，生徒が高い目的意識をもち，自ら学ぶ力を培うことに有効である。また，生物のつくりと働きの精妙さを感じさせる記述や生命の連続性から自分の存在を考えさせるなど，人間性を育てるように工夫されている。</p>

音 楽（ 一 般 ）	教 芸	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，題材における指導事項を明確にするために，学習目標と学習のポイントが各教材に記載されるとともに，それらの教材に関連のある〔共通事項〕がマークで示されている。また，それぞれの教材で学習する〔共通事項〕が「音楽学習MAP」のページにおいて確認できるよう，掲載の仕方が工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，巻頭・巻末の全ての資料が本文と関連が図られており，写真の掲載によって生徒の学習意欲を喚起する視覚的支援の工夫が見られる。また，巻末の合唱曲には，楽曲の特徴と学習のポイントが明確に示されており，歌唱の学習に対する興味・関心を高める工夫が見られる。さらに，創作や鑑賞の題材においては，つくった旋律や音楽から聴き取ったことを記録する等，生徒が課題解決に向けて主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，思考力，判断力，表現力を育てるために，各学年で表現と鑑賞の関連を図った題材を複数掲載し，鑑賞によりとらえた音楽の特徴を基に，思いや意図をもって表現を工夫するといった学習の機会を多く設定している。また，歌唱表現を工夫するための学習課題が具体的に示されている点は，高い目的意識をもち，自ら歌唱表現を向上させる態度や意欲の育成に有効である。</p>
音 楽（器楽合奏）	教 芸	<p>基礎・基本の定着の観点において，優れている。特に，各楽器の特徴について，楽器の構造，姿勢と構え方，奏法等を，写真や図の掲載とともに演奏のポイントを押さえて説明している。また，巻頭・巻末において和楽器に関する資料を掲載して，学習の充実が図られるような工夫がみられる。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，合奏の教材において，協働的な学習を促す活動が複数掲載されており，友達の表現のよさに触れ，それらのよさを取り入れる等，音を合わせて表現する活動に主体的に取り組ませる工夫が見られる。また，各楽器において，鑑賞教材がその楽器のページの冒頭部分に掲載されており，まず楽器の音色の特徴を感じ取らせることで，楽器の演奏に対する興味・関心を高め，演奏の技能を身に付けることへ意欲的に取り組ませる工夫が見られる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，高い目的意識をもち，自主的に学ぶ姿勢・意欲を育てるために，器楽と創作，器楽と鑑賞等，領域・分野の関連を図った題材を複数掲載している。また，「楽器を知ろう」や「和楽器こぼれ話」において，和楽器が使われていた時代の歴史的背景についての内容を複数掲載しており，我が国の音楽文化への理解を深める上で有効である。</p>

<p>美 術</p>	<p>光村</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，題材の重点目標に関わって，課題意識をもたせる問いが工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，表現において，発想・構想段階における生徒の思考を促し，見通しをもたせる工夫として，ポスター制作の流れやアイデアスケッチをしながらデザインを試行錯誤する生徒の姿が，写真とともに段階的に分かりやすく示されている。また，生活や社会における美術の働きを実感する工夫として，「生活に生かそう」のマークとともにコラム等があり，主体的な学びを促す工夫がある。言語活動の充実の観点では，鑑賞の視点として，一つの作品において，補色の効果や筆づかい，絵の具の質感など複数の視点で友達と話し合えるように工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，美術文化に関して，日本と諸外国の関係について深く学ぶことができるように，「ジャポニスム」や「日本の世界遺産」などについて，世界的な視野から詳細な解説が掲載されている。また，環境や未来社会に果たすデザインの役割について，義足のデザインを取り上げるなど，デザインを工夫して解決したい問題を考えさせることができるような内容が掲載されており，目的や機能との調和のとれた洗練された美しさについて，高い目的意識をもって学ぶことに有効である。</p>
<p>保 健 体 育</p>	<p>学研</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，発達段階のまとまりを考慮し，小学校，中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図る工夫が見られる。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，文章や図，表等，視覚的に関連させた読み物教材を掲載することで，生徒の興味・関心を喚起し，意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。また，全ての大単元に，実習・調査のいずれかの事例や，図や表，挿絵等を用いた知識を活用するための課題等が示されており，生徒が興味・関心を高めながら，主体的に学習に取り組める場面が多く設定されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，科学的・論理的な思考力，的確な判断力を育てるために，習得した知識を実習等で活用できる内容が数多く設定されている。また，全ての大単元の終わりに，生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されており，高い目的意識をもって，自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育むことに有効である。</p>

<p>技 術 ・ 家 庭 (技術分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，内容A「材料と加工に関する技術」，内容B「エネルギー変換に関する技術」，内容C「生物育成に関する技術」，内容D「情報に関する技術」の項目ごとに「目標」及び内容に関する写真やイラストが示されている。また，学習のまとめりに「ふり返り」を設定し，学習を振り返る視点が示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，各項目を学習するにあたって「調べてみよう」，「やってみよう」，「観察してみよう」等を示し，学習への興味・関心を高めている。</p> <p>学校の特徴を生かす工夫の観点では，技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てるために，技術分野の学習のまとめとして，技術の在り方や活用の仕方等について，技術を評価する様々な視点を挙げて客観的に判断・評価できるよう工夫されている。また，技術と自分たちの未来について考えさせる問いが挙げられるなど高い目的意識をもって，自ら学ぼうとする姿勢，意欲を育てるための工夫がされている。</p>
<p>技 術 ・ 家 庭 (家庭分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，持続可能な社会に関する内容が充実しており，各内容の最後に「持続可能な社会をつくる」を設定し，「食生活と環境とのかかわり」，「環境に配慮した衣生活」など，生徒自らが考えることのできる具体例が豊富に示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，「自分にできる，安全・安心な暮らしの工夫」などの「生活の課題と実践」において，生徒自らが，課題を発見し，課題を解決する意欲を高めるために，問題解決的な学習の進め方や実践事例を複数記載して，計画，実践，評価，改善など段階を追って学習を深める工夫が示されている。また，「言語活動の充実のために」というページを設定し，まとめと発表の仕方やその具体例を掲載する等，言語活動の充実を図るよう工夫されている。</p> <p>学校の特徴を生かす工夫の観点では，「幼児の衣服と食べ方の特徴」，「消費者としての力をつけよう」など，学習を深めたり広げたりして，さらに探究していく内容が掲載されており，自主的に学ぶ姿勢を育てることに有効である。</p>

英 語	教出	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動においては，小学校外国語活動との円滑な接続を踏まえ，1年生の導入期に「話す」，「聞く」活動を重点的に設定し，2・3年生では4領域の均等を図るなど，4領域のバランスに配慮した言語活動を設定している。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，4技能におけるコミュニケーションを図る「コツ」を示しており，生徒のコミュニケーションへの関心・意欲を高めるとともにコミュニケーションを図るスキルが養えるように工夫されている。</p> <p>学校の特徴を生かす工夫の観点では，各小単元に，教科書本文で学習した語句・文法事項などを活用した即興的な対話をする活動や生徒自らの思いや意見を書く活動が豊富に設定されており，このことは，グローバル化が進む国際社会において，英語を使って積極的に対話したり，他者と意見を交流したりする力を育成することに有効である。</p>
--------	----	--

令和 2 年度：教科書の選定の観点及び視点（広島中学校）

1 選定の観点

- 観点 1 基礎・基本の定着
- 観点 2 主体的に学習に取り組む工夫
- 観点 3 内容の構成・配列・分量
- 観点 4 内容の表現・表記
- 観点 5 言語活動の充実
- 観点 6 学校の特徴を生かす工夫

2 選定の視点

それぞれの観点のもと、種目ごとに視点を設定した。

ただし、観点 6 については、次の視点を全ての種目に共通で設定した。

- 科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫
- 豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫
- 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫

種目ごとの視点

種 目	視 点
国 語	①単元・教材の目標の示し方 ②基礎的な言語の定着 ③伝統的な言語文化に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫 ⑦単元・教材等の配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述 ⑨巻末資料の示し方 ⑩本文記述との関連付けがなされた図表等 ⑪読書と情報活用 ⑫言語活動の種類 ⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
書 写	①単元の目標の示し方 ②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方 ③伝統と言語文化に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ⑥単元・教材や資料等の配列 ⑦発展的な学習の扱い方 ⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用 ⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫 ⑩科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫 ⑪豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑫高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫

<p>社会 (地理的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫</p>
<p>社会 (歴史的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫</p>
<p>社会 (公民的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②公民としての基礎的教養を培うための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫</p>

地 図	<ul style="list-style-type: none"> ①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥題材や資料等の配列 ⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い ⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫 ⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑩科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑪豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑫高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標を達成するための工夫 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ③事象を数理的に考察するための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑥見通しをもち, 論理的に考察するための工夫 ⑦自学自習を行うための記述の工夫 ⑧単元や資料等の配列 ⑨発展的な学習に関する内容の記述 ⑩イラスト・写真の活用 ⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ⑬科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②知識や概念の定着を図り, 理解を深めるための工夫 ③観察, 実験の技能を習得させるための工夫 ④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験, ものづくりの取扱い ⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫 ⑧単元の配列の工夫 ⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫 ⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫 ⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ⑫観察, 実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ⑬科学的な概念を使用して考えたり説明したりする活動の工夫 ⑭科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑮豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑯高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫

<p>音 楽 (一般)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の目標の示し方 ②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫 ④様々な音楽文化についての理解を深める工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫 ⑦教材の分量及び配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用 ⑩鑑賞領域における言語活動の工夫 ⑪科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑫豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑬高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
<p>音 楽 (器楽合奏)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の目標の示し方 ②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③興味・関心を高めるための工夫 ④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫 ⑤教材の分量及び配列 ⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用 ⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫 ⑧科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑨豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑩高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
<p>美 術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の目標の示し方 ②作品の理解を深めるための工夫 ③日本の美術文化に関する内容 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫 ⑥題材や資料等の配列 ⑦掲載している作品等の数 ⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載 ⑨言語を用いた発想・構想の工夫 ⑩鑑賞の仕方の工夫 ⑪科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑫豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑬高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
<p>保健体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫 ③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤体験的な学習を実施するための工夫 ⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫 ⑦単元・題材や資料等の配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用 ⑩自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫 ⑪科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫 ⑫豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑬高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫

<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学習項目における目標の示し方 ②伝統と文化に関する内容の記述 ③学習のまとめの構成上の工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述 ⑦題材の配列 ⑧発展的な学習の扱い方 ⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用 ⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ⑪言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫 ⑫科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫 ⑬豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑭高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学習項目における目標の示し方 ②伝統と文化に関する内容の記述 ③持続可能な社会に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫 ⑦問題解決的な学習活動の工夫 ⑧題材の配列 ⑨発展的な学習の扱い方 ⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用 ⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫 ⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫
<p>英 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫 ③言語に対する理解を深めるための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫 ⑥問題解決的な学習に関する内容構成 ⑦言語材料の配列 ⑧題材の内容構成と分量 ⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列 ⑩巻末等資料の工夫 ⑪学習到達目標の設定 ⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫 ⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫 ⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫 ⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫

令和 2 年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 国語 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点 1》 基礎・基本 の定着	①単元・教材の目標の示し方	○単元・教材ごとの目標等の記載	本校では、授業の目標や進め方を十分に理解し、見通しをもった上で能動的に授業に臨む生徒、自学自習のできる生徒の育成に力を入れている。そのため教材ごとの付けたい力の一覧が明確に記載されていることが望ましい。
	②基礎的な言語の定着	○言語・漢字・文法の指導の記述	言語・漢字・文法の学習は、基礎的・基本的な事項であり、全ての生徒が習得し、活用を図らなければならないものである。そのため、教科書の記述が分かりやすく示されていることが重要であると考えられる。
	③伝統的な言語文化に関する内容の記述	○古典を取り扱った単元の教材	言語文化に親しむ態度を育てること、我が国に伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりすることを目的としており、古典教材の学習後に古典についての書籍が紹介されているのが望ましい。
《観点 2》 主体的に学習 に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○身近な話題や社会の出来事を取り上げた教材	意見を述べるためには、どのような論の展開で記述するかを考え、論点についての立場を決め、考えの中心や主張を明確にすることが大切である。そして、その題材として身の回りの物事や体験、社会生活の様々な問題が複数例示されていることは、学習に対する興味・関心を高めることにつながる。
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題解決的な学習を促す言語活動の設定	問題解決的な学習を機能的に進めていくためには、学んだことが他の単元の学習に利活用できることが大切である。そのため、考え方や方法が示されていることが重要である。
	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫	○学習過程と振り返りの視点の示し方	本校では、豊かな創造力・表現力の育成を目指しており、学習の手引きで筋道に従って問題を解決していくことが有効であると考えられる。また、その際、話し合いを通じて自他の考えを豊かなものにするためには、思考ツール等を用いることが重要である。
《観点 3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・教材等の配列	○各領域の関連を図った単元の構成	本校では総合的な国語の力の育成を目指しており、そのためには、複数の領域を関連させて指導し、考えを深めることが大切である。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習に活用できる教材とその内容	本校では、基礎・基本の定着の上で、発展的な学習を展開している。そのため、並行読書等の発展的な学習に活用できる教材が掲載されていることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨巻末資料の示し方	○巻末資料の内容と表記	補足的な説明を加えたり、既習事項の学習を深めたりするために、巻末資料には、全ての領域、事項が扱われていることが必要である。
	⑩本文記述との関連付けがなされた図表等	○本文記述と図表の適切な関連付けがなされた教材	日常の学習や生活の中では、説明や記録の文章を分かりやすいものにするために図表などを用いることがある。そこで、効果的な図表の使い方について考えさせる場面が必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪読書と情報活用	○読書に親しむ態度の育成に関する記述	多様な種類の作品によって、生徒の興味・関心の幅を広げるとともに、読書活動を促す具体的な言語活動によって読書に親しませることは重要である。
	⑫言語活動の種類	○学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述	本校では、言語活動を重視し、思考力、判断力、表現力の育成につなげている。この点からも、学習指導要領に示された言語活動例は各領域で、適切かつ、例示が豊富であることが必要である。
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○科学的・論理的な思考を促す単元	本校では、科学的・論理的な思考力、的確な判断力の育成を目標にしているため、論理的に物事を捉え、考えを深める学習を促す単元が必要である。
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○文章を読んで人間、社会、自然などについて考えるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つ内容の記述	本校では、広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち国際協調できるグローバルな人材の育成を目指している。そのため、文章を通して人間、社会、自然などについて考えるとともに、国際協調の精神を養う学習を重視したいと考える。
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○自主的な学習を促す資料等の工夫	本校では、高い目的意識をもち、自主的に課題に取り組む学習を重視しているため、教材や資料、学習課題等の数が豊富であることが必要である。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 書写 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の記載	本校では、授業の目標や進め方を十分に理解し、能動的に授業に臨む生徒、自学自習のできる生徒の育成に力を入れているため、教科書に目標が明確に記載されていることが望ましい。
	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	○正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方の写真等の示し方や説明方法	正しく整った字を書くためには、正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方を理解するとともに、様々な用具について触れたり、写真などで視覚的に理解したりすることは有効である。
	③伝統と言語文化に関する内容の記述	○文字や書の文化・伝統の理解を促す記述	我が国の伝統的な文字や諸外国の文字などに触れ、これからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度を育成する必要がある。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるためのコラムや資料	書写の学習活動を日常生活に生かすためには、様々な観点のコラムなどがあることで、生徒の興味・関心が高まる。
	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方	学び方の手順やポイント、振り返りについて示すことにより、学習方法を理解し、次回の学習への意欲が高まる。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑥単元・教材や資料等の配列	○毛筆教材に関連付けた硬筆記入欄の設定	毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力を養うように配慮することが求められている。したがって、毛筆教材と硬筆教材が関連付けられて配置されていることが必要である。また、硬筆の書き方をより深く理解するためには、直接教科書に書き込ませ、模範例と比較することのできるページが多くあることが望ましい。
	⑦発展的な学習の扱い方	○発展的な内容の取扱い	生徒が主体的に学習を進めるために、発展的な学習内容があることは重要である。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	○図・写真、イラストによる筆使い等の示し方	整った字を書くためには、筆使いを分かりやすく示すことが有効である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	○学習や日常生活と関連付けがなされた教材	相手意識や目的意識をもって文字を書き表すことが、実生活や学習場面に役立つ書写の能力の基礎となる。
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑩科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○文字や書に対する認識を深めるための工夫	本校では、科学的・論理的な思考力、的確な判断力の育成を目標にしている。文字への認識を深めるために書体を比較することなどは、科学的・論理的な思考力を高める。
	⑪豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○日本の文字文化と他国の文字文化の取扱い	グローバルな人材の育成という観点から、文字文化を通して我が国の伝統的な文化と他国の文化への理解を深めるため、他国の文字文化や日本の文化とのつながりを取り扱うことが望ましい。
	⑫高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○自主的な学習を促す資料等の工夫	本校では、高い目的意識をもち、自主的に課題に取り組む学習を重視しているため、他の学習に活用できる資料や補充教材が掲載されていることが必要である。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会（地理的分野） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○単元の導入における見通しをもたせるための資料や問いの記載	単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせるためには、導入における資料や問いの構成の工夫が必要である。
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題に着目させるためには、領土問題等に関する資料や写真等が掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国際関係や文化交流に関する読み物資料	広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させるためには、国際関係や文化交流に関する読み物資料が豊富である必要がある。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○学習テーマを見いだすための問いや資料の掲載の工夫と具体例 ○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	世界の諸地域の学習において、主題を設けてそれぞれの州の地域的特色を理解するためには、生徒が自ら主題（テーマ）を見いだすための問いや資料が豊富に掲載されている必要がある。 地理的事象を身近に感じ取ったり、自分たちの生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順の例	「身近な地域の調査」において、主体的に調査活動を行うためには、調査方法の手順とともに留意点が明確に示されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	日本と外国の都市との時差を計算することを通して、我が国と世界各地との位置関係の理解を促すためには、等時帯や日付変更線を示す地図等の資料を活用する手法や具体例が記載されている必要がある。
	⑦単元や資料等の配列・分量	○各大項目のページ数	学習内容を定着及び深化させるためには、大項目ごとに適切なページ数が配分されている必要がある。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うためには、学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真等の 活用	○イラスト・写真等の資料と 問いの掲載	事象の特色や事象間の関連を考察する学習 を充実するためには、関連付けが図れる資料 や問いが掲載されている必要がある。
	⑩本文以外の記述の工 夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表 現する力を高めるためには、毎時間のまとめ や振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工夫	○単元末における多面的・多 角的に考察させる事例	単元の特色を大きく捉え、多面的・多角的 に地域的特色を捉える力を付けるためには、 言語活動の手法や具体例を掲載した課題が必 要である。
	⑫目的に応じて適切に 表現する力を育てる ための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じて適切にまとめる力を付けるた めには、まとめ方や具体例が豊富に掲載され ている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思 考力、的確な判断力 を育てるための工夫	○筋道を立てて考察するこ とを促す事例	科学的・論理的な思考力や的確な判断力を 育成するためには、筋道を立てて考察するこ とを促す具体的な事例や手法が掲載されてい る必要がある。
	⑭豊かな人間性や社会 性を培い、我が国の 文化とともに多文化 を理解する態度を育 てるための工夫	○我が国の伝統文化や文化の 多様性に関する資料	我が国の文化とともに多文化を理解する態 度を育てるためには、我が国の伝統文化及び 文化の多様性の理解を促す資料が豊富に掲載 されている必要がある。
	⑮高い目的意識をもっ て、自ら学ぼうとす る姿勢・意欲を育て るための工夫	○社会参画を促す資料	高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする 姿勢・意欲を育てるためには、身近な地域の 調査において、地域社会への参画を促す資料 が掲載されている必要がある。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会（歴史的分野） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○学習課題の記載の仕方	単元の目標とのかかわりを意識しながら毎時間の学習を進めていくことができるようにするためには、1時間ごとの学習課題が明示されている必要がある。
	②我が国の国土と歴史 に対する理解と愛情 を育てるための工夫	○歴史上の人物が掲載されている資料	国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てるためには、歴史上の人物が掲載された資料が豊富である必要がある。
		○神話・伝承等を扱った事例数	神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるためには、神話・伝承等を扱った事例が豊富に掲載されている必要がある。
		○文化遺産を取り扱った資料	現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を養うためには、文化遺産が掲載された資料が豊富である必要がある。
③国際社会で主体的に 生きていくための基 盤となる知識・技能 を身に付けさせる工 夫	○歴史に見られる国際関係や 文化交流に関する資料	我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせ、国際協調の精神を育成するためには、我が国と諸外国の歴史や文化が相互にかかわっていることを示す資料が豊富に掲載されている必要がある。	
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高める ための工夫	○導入における興味・関心を 高める問いや資料	主体的に学習に取り組むためには、単元の学習に対する興味・関心を高め、単元の見通しをもたせる資料や問いの構成の工夫が必要である。
		○身近な地域（広島県）を取 り上げた事例	歴史的事象を身近に感じ取り、現代の生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・ 分析、振り返りを展 開するための構成上 の工夫	○「身近な地域の歴史を調べ る」学習手順の示し方	「身近な地域の歴史を調べる」学習において、主体的に調査活動を行うためには、調査方法の手順とともに留意点が明確に示されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学 習を実施するための 工夫	○作業的・体験的な学習の事 例	作業的・体験的な学習の充実を図り、主体的な活動を促すためには、自ら調べるような課題が示された作業的・体験的な活動例が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配 列・分量	○近現代の学習ページの分量	近現代の学習の一層の重視を図るためには、 近現代の学習ページの適切な分量が必要である。
	⑧発展的な学習に関す る内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展 的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うた めには、学習課題が提示され、発展的な学習 に活用できる資料が豊富に掲載されている 必要がある。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真等の 活用	○写真等の資料と問いの記載	事象の特色や事象間の関連を考察する学 習を充実するためには、関連付けが図れる資 料や問いが掲載されている必要がある。
	⑩本文以外の記述の工 夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表 現する力を高めるためには、毎時間のまとめ や振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させ る事例の記載	時代の特色を捉える力を育むためには、資 料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察 させる事例が豊富に記載されている必要が ある。
	⑫目的に応じて適切に 表現する力を育てる ための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じて適切にまとめる力を付ける ためには、まとめ方や具体例が豊富に掲載さ れている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思 考力、的確な判断力 を育てるための工夫	○筋道を立てて考察する方 法を示した具体的な事例	科学的・論理的な思考力や的確な判断力 を育成するためには、筋道を立てて考察する 方法や具体的な事例が掲載されている必要が ある。
	⑭豊かな人間性や社会 性を培い、我が国の 文化とともに多文化 を理解する態度を育 てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	我が国の文化とともに多文化を理解する 態度を育てるためには、我が国と諸外国の歴 史や文化が相互に深くかかわっていること を考えさせる資料が豊富に掲載されている 必要がある。
	⑮高い目的意識をもっ て、自ら学ぼうとす る姿勢・意欲を育て るための工夫	○社会の一員としての自覚を 高める問いや具体例	高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする 姿勢・意欲を育てるためには、社会の一員と しての自覚を高める問いや具体例が示され ている必要がある。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会（公民的分野） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○学習の見通しをもたせるための資料や問いかけ	単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせるためには、導入における資料や問いの構成の工夫が必要である。
	②公民としての基礎的教養を培うための工夫	○現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例	現代社会をとらえる見方や考え方の基盤となる「対立と合意」、「効率と公正」について理解を深めるためには、合意形成のプロセスが事例とともに豊富に掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国旗・国歌に関する記載の仕方	国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるためには、我が国の国旗・国歌を取り扱っている資料や国旗・国歌の意義及び敬意の表し方が記載されている事例が必要である。
		○領土をめぐる問題等に関する記載	固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、現状にいたる経緯、我が国が正当に主張している立場、我が国が平和的手段による解決に向けて努力していることを理解させるためには、領土問題及び尖閣諸島に関する経緯と取組が記載されている資料が必要である。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例	主体的に学習に取り組むためには、単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせる資料や問いの構成の工夫が必要である。
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	社会的事象を身近に感じ取ったり、自分たちの生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順と留意点	生徒の主体的な学びを促すためには、課題発見・解決学習の手順と留意点が掲載されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	作業的・体験的な学習の充実を図り、主体的な活動を促すためには、自ら調べるような課題が示された作業的・体験的な活動例が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○大項目ごとのページ数	学習内容を定着及び深化させるためには、大項目ごとに適切なページ数が配分されている必要がある。
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うためには、学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等を活用し考察を促す事例	事象の特色や事象間の関連を考察する学習を充実するためには、関連付けが図れる資料や問いが必要である。
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表現する力を高めるためには、毎時間のまとめや振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例	社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力を付けるためには、資料を用いて、考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が豊富に記載されている必要がある。
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じてまとめる力を付けるためには、まとめ方の手順と留意点が示された具体例が豊富に掲載されている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○筋道を立てて考察する方法を示した具体的な事例	科学的・論理的な思考力や的確な判断力を育成するためには、考察の仕方を示した事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるためには、我が国の伝統文化、我が国と諸外国が相互に深くかかわっていることを考えさせる資料が豊富に掲載されている必要がある。
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○よりよい社会の形成に参画することを促す資料や問い	高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるためには、よりよい社会の形成に参画することを促す資料や問いが掲載されている必要がある。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 地図 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	○地図の見方の記載とその内容	地図帳を活用する力を高めるためには、地図記号の凡例がまとめて記載され、各地図・各資料に応じた凡例が示されている必要がある。
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題に着目させるためには、領土問題等に関する資料や解説文が掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○環境・国際理解等の学習への活用	世界的視野から多面的・多角的に社会的事象を追う学習を行うためには、環境問題や日本と世界との結び付きを示す資料が掲載されている必要がある。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるための記載内容	地図から情報を読み取ることへの興味・関心を高めるためには、読図の視点を示すとともに、各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題を追うための資料の構成	地域的特色を考察し、追う過程や結果を適切に表現する学習活動を充実させるためには、課題の追うに関わる資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥題材や資料等の配列	○基礎資料図の記載	学習内容の理解及び定着を図るためには、学習内容に関する基礎資料図が豊富に掲載されている必要がある。
《観点4》 内容の表現・表記	⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○資料の種類	世界の諸地域の学習において、主題に対する考察を深めるためには、主題に関する資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の充実	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫	○地図を活用した調べ方の事例	資料を活用する力を育てるためには、多様な調査方法や調査の手順を示した事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○地図を活用した表現の記載の仕方	適切な表現力を育てるためには、地図を活用して情報を適切に読み取ることを促す問いが豊富である必要がある。
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑩科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○資料分析の視点と事例	科学的・論理的な思考力や的確な判断力を育成するためには、資料分析に関わる具体的な事例とともに、資料を活用する際の視点が掲載されている必要がある。
	⑪豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○日本及び世界の文化に関する資料	我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるためには、日本及び世界の文化に関する資料が豊富に記載されている必要がある。
	⑫高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○自ら考察することを促す問い	高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるためには、資料を関連付けて考察することを促す問いが豊富に掲載されている必要がある。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 数学 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標を達成するための工夫	○学習課題と解決の過程	単元の目標を達成するためには、学習課題と解決の過程や例題が分かりやすく提示されていることが必要である。
	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りに関する扱い	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着のためには、スパイラルに学習できるような工夫が必要である。
	③事象を数理的に考察するための工夫	○日常生活や社会における事象を考察させている具体例とその展開	具体例を基にして日常生活や社会における事象を数理的に考察させることが重要である。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常生活とのかかわりで取り扱われている具体例	数学への興味・関心を高めるためには、数学が日常生活とかかわっているという具体例の提示が必要である。
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題の具体例	問題解決的な学習を進めるためには、場面設定など適切な課題提示が必要である。
	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫	○見いだす活動を行わせるための具体例とその展開	見通しをもって問題解決をするためには、推測して考察できる具体例の提示が必要である。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦自学自習を行うための記述の工夫	○ヒントやポイントを示した吹き出し等の記載例	生徒が主体的に考えようとするきっかけとなるためには、適切な具体例や振り返りを想起させるヒントやポイントの提示が必要である。
	⑧単元や資料等の配列	○各単元の章末問題、巻末問題、巻末資料の具体例	学習内容の定着及び理解のために、各単元の章末問題や巻末問題が習熟に応じて学習できるような配列になっていることが必要である。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨発展的な学習に関する内容の記述	○該当学年で学習する範囲を超えた内容の具体例	学習の系統性を生徒に意識させるためには、発展的な学習に活用できる教材の例示が必要である。
	⑩イラスト・写真の活用	○イラスト・写真の具体例	学習において、生徒の理解の補助となるようなイラスト・写真の提示が必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	○説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例	数学的活動を活発にするためには、根拠を明らかにし筋道立てて説明したり、話し合ったりする問題や問いの設定が必要である。
	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	○ノートのかき方の取扱い	自分の考えをまとめ記述する力を付けるために、自分の考えをまとめるポイントが整理する具体的なノートのかき方の取扱いが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解	本校では、数学的な見方や考え方を育てることを重視しており、論理的思考を促す問題が充実していることがその育成のために重要である。
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題や問題の記載例	グローバル化社会に貢献できる生徒を育てるためには、数学が社会に貢献してきたことを学習することが重要である。
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○レポート作成の扱い、記載例	本校では、高い目的意識をもって、自主的に課題に取り組む学習を重視しているので、既習内容と関連付けてまとめたり、未知の内容を学習したりするためには、具体的にレポートの記載例が示されていることが必要である。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 理科 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元や章の導入における取扱い内容	単元への導入の仕方や学習のねらいの示し方が明確であることが生徒に学習意欲及び目的意識をもたせるためには大切であると考えます。
	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	○既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例	既習事項を活用して思考・表現させることは、知識や概念の定着を図る上で重要である。また、単元末のまとめにおいて、基本的な用語等が分かりやすく表記されていることが理解を深めることに有効であると考えます。
	③観察、実験の技能を習得させるための工夫	○観察、実験の基本操作及び観察、実験における安全確保の状況	観察、実験の際に操作の手順や危険防止等の留意事項が記載されていることが、結果を明確にさせるとともに、安全に留意した観察、実験を行わせるためには必要であると考えます。
	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	○環境保全に関する取扱い方	環境保全は教育基本法等に記載された教育の目標の一つである。そのため、事例の内容、数が適切であることが重要であると考えます。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等	学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを図ることは、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感させることにつながり、生徒の興味・関心を高めることになると考えます。
	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い	○ものづくりの内容、数及び補充的な観察・実験の数	様々な観察・実験やものづくりは学習者の興味・関心を高め、その過程や結果を基に自ら原理や法則を理解しようとする態度を育む。そのため、補充的な観察・実験やものづくりが適切に記載されていることが重要であると考えます。
	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	○科学的に探究する活動の過程の示し方	生徒一人一人に科学の基本的な概念を形成していくためには、生徒が自然の事物・現象を探究していくことが大切である。そのため、科学的に探究する活動の過程の示し方が適切であることが重要であると考えます。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧単元の配列の工夫	○単元の配列	学校の実態に応じて弾力的な年間指導計画を作成するためには、単元の配列の特徴を踏まえることが必要であると考えます。
	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫	○「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い	教科で学習したことを総合的に活用するために、調べ学習の例が適切に示されていることは、意識付けや展望をもった学習につながると考えます。
	⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	○補充的な問題及び発展的な学習の取扱い	改訂に当たっての基本的な考え方に、科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることが示されており、そのためには補充的な学習が重要である。また、生徒の興味・関心を高め、自主的な学習を促すためには発展的な学習の内容に工夫が必要であると考えます。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑪科学的な探究を 行うための写真 及び資料等の取 扱い	○単元の導入部分における 写真や資料等の取扱い方 及び巻頭・巻末の資料の 内容	理科においては、写真、図及び資料の扱い方が、 生徒の認識を深めることに極めて有効であると考 える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑫観察、実験の結果 を分析し解釈す る学習活動の工 夫	○分析・解釈する視点の与 え方とその具体例	観察、実験の結果を分析・解釈することは結果か ら適切な結論を導く上で、重要であり、表やグラフ の活用を含めて、言語活動の充実を図ることにつな がるものとする。
	⑬科学的な概念を 使用して考えたり、説明したりす る活動の工夫	○レポート作成の示し方、 話し合いや説明の活動を促 す工夫	レポートの作成方法について具体例を挙げて分 かりやすく示し、話し合いや説明の活動を促してい ることが、科学的な概念を使用して考えたり説明し たりする活動につながると考える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑭科学的・論理的な 思考力、的確な判 断力を育てるた めの工夫	○科学的な探究の流れにそ った観察・実験の記述	本校では、教科の目標として、科学的な思考力や 表現力の育成を掲げている。既習内容とこれから学 ぶこととのつながりを意識したり、観察や実験で目的 意識をしっかりともち、結果から考察したりするこ とを通して、整然と思考や説明する力を育てること ができると思う。
	⑮豊かな人間性や 社会性を培い、我 が国の文化とと もに多文化を理 解する態度を育 てるための工夫	○生命に対する畏敬の念や 生命を尊重する態度を培 わせる記述	本校では、豊かな人間性や社会性を培うことを目 指しており、生命を尊び、大切にしている心情を培うこ とが、その育成の充実につながると考える。
	⑯高い目的意識をも って、自ら学ぼう とする姿勢・意欲 を育てるための 工夫	○高い目的意識をもたせ、 生徒自らの学びを促す場 面の設定	本校では、高い目的意識をもち、生徒自らが課題 に取り組む学習を重視しているため、意図的に学習 した内容を活用して考えさせる場面が設定されて いる必要があると考える。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 音楽（一般） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由	
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	題材の学習目標が明確に示されていることが、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことにつながると考える。	
		○〔共通事項〕について記載	題材において扱う〔共通事項〕が示されていることが、音楽の特徴を感じ取って表現や鑑賞の活動を進めていくために必要であると考え。	
	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	○歌唱の技能のうち、発声のポイントや身体の使い方等についての記載	発声のポイントとして、身体の使い方や声の出し方等を具体的に示すことが、歌唱における基礎的な技能の定着に必要であると考え。	
		○歌唱の技能のうち、我が国の伝統的な歌唱に関する記載	我が国の伝統的な歌唱について具体的に記載されていることが、曲種に応じた発声を適切に理解させ、基礎・基本の定着を図るために必要であると考え。	
		○歌唱共通教材の構成と扱う学年	歌唱教材において我が国で歌い継がれている楽曲の背景となる、作詞者・作曲者の思いが記載されていることが、我が国の音楽文化を大切にするとともに、それらを受け継いでいこうとする態度を育成し、基礎的な歌唱表現の技能の向上につながると考える。	
	③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	○創作の題材の取り上げ方と題材構成の扱い	○我が国の音楽文化の取り上げ方	我が国の伝統的な音楽文化に関わる題材が掲載されていることが、諸外国の様々な音楽文化に対する理解を深めるために大切であると考え。
			○諸外国の音楽文化の取り上げ方	諸外国の音楽文化を扱った題材が掲載されていることが、国際社会の中で、様々な文化の違いを超えて活躍する人材を育成するために必要であると考え。
	《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○巻末の合唱曲の扱い	巻末の合唱曲に学習のポイントが示される等の工夫がされていることが、主体的に音楽を表現しようとする態度の育成に必要であると考え。
○巻頭と巻末の資料の内容			本文の内容と関連のある写真・資料や、芸術に対する興味・関心が高まる資料が巻頭や巻末に掲載されていることが、視覚的に生徒の理解を深める効果があると考え。	
⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫		○思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例	思考・判断し表現する一連の学習過程が具体的に示された題材が掲載されていることが、思いや意図をもって、主体的に音楽を表現しようとする態度の育成につながると考える。	

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦教材の分量及び配列	○教材の配列とその具体例, 目次に示された領域ごとの教材	領域同士を関連させて教材が配列されていることが、音楽の特徴を感じ取る活動を充実させ、表現や鑑賞の学習活動に生かすことにつながると考える。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習内容の記述とその具体例	発展的な学習を適切に設定することが、生徒の学習意欲の喚起と学習内容の深化につながると考える。
《観点4》 内容の表現・表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容	本文の記述と適切な関連付けがなされたキャラクターやマーク等が掲載されていることが、生徒の思考や活動のヒントになり学習意欲を喚起することにつながると考える。
《観点5》 言語活動の充実	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫	○鑑賞の視点の提示の仕方とその具体例	音楽科における言語活動の充実を視点として、[共通事項]との関連を図った鑑賞の題材が掲載されていることが、生徒の思考を促し楽曲の特徴や構造の理解を深めることにつながると考える。
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑪科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫	○表現と鑑賞の関連を図った学習活動	表現と鑑賞の関連を図った題材が工夫されていることが、[共通事項]の指導において効果的であり、本校の校訓にある豊かな感性を育成することに寄与すると考える。
	⑫豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○鑑賞における我が国の音楽文化の扱い	我が国の音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解することが、本校が力を入れているグローバルリーダーの育成という点において、我が国の文化を理解しながら、幅広い視野をもって活躍する人材の育成に寄与すると考える。
		○鑑賞における諸外国の音楽文化の扱い	諸外国の音楽文化を我が国の音楽文化と関連付けて理解することが、本校が力を入れているグローバルリーダーの育成という点において、文化の違いを理解し、幅広い視野を持って活躍する人材の育成に寄与すると考える。
	⑬高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○歌唱の学習展開の工夫	歌唱表現の工夫について、具体的な学習課題が設定されていることが、生徒が高い目的意識をもち、主体的によりよい音楽表現を目指して学ぼうとする態度を育成するために効果があると考えられる。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 音楽（器楽合奏） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	題材の学習目標が明確に示されていることが、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことにつながると思う。
	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	○和楽器の取扱い方	学習指導要領に示された和楽器の取扱いについて、楽器の構造や奏法が具体的に示されていることが、生徒の基礎的な演奏技能を高めるための工夫の一つと考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	③興味・関心を高めるための工夫	○合奏のための教材	合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されていることが、生徒が自ら課題をもち、表現活動に主体的に取り組むことにつながると思う。
		○巻頭・巻末の内容	多様な音楽活動のための資料や、楽器の演奏への関心が高まる資料が充実していることが、器楽における生徒の興味・関心を高めることにつながると思う。
	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	○和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の具体例	和楽器の構造や奏法が具体的に示されていることに加え、鑑賞教材との関連を図った題材が掲載されていることが、技能の習得にとどまらず、我が国の伝統文化についての理解を深めることにつながると思う。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑤教材の分量及び配列	○教材の配列	複数の種類の音楽やそれらの合奏曲が教材として配列されていることが、生徒の学習意欲の喚起と学習の深化につながると思う。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○写真の内容	和楽器の構造や奏法が具体的に示された写真が掲載されていることが、生徒の思考を促す効果があり、演奏技能の習得において視覚的支援の効果が高いと考える。
		○イラスト等の活用	楽器の構造や奏法等について説明したイラスト等が掲載されていることが、生徒の思考や活動のヒントになるとともに、学習意欲を喚起することにつながると思う。
《観点5》 言語活動の 充実	⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫	○表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例	生徒が音楽に対する思いや意図を相互に伝え合う活動を取り入れることが、音楽科における言語活動の充実を図ることにつながり、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する上で重要であると思う。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑧科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○器楽と鑑賞の関連について	器楽合奏と鑑賞の関連を図った題材により学習活動を行うことが、音楽のしくみや構造を理解するための思考力・判断力の育成につながり、本校が目指している高い目的意識をもち主体的に学習に取り組む生徒の育成において効果が高いと考える。
	⑨豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○和楽器において、その楽器の歴史的背景等についての記載	和楽器の演奏技能の習得にとどまらず、その楽器の成りたちにおける歴史的背景を総合的に理解することが、我が国の伝統文化についての理解を深めることにつながり、本校が目指しているグローバルリーダーの育成において必要な視点であると考えます。
	⑩高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○器楽と創作との関連	器楽の学習において、創作との関連を図る題材が掲載されていることが、技能の習得にとどまらず、音楽を形づくっている要素を自ら操作する活動を通し、楽曲の特徴に対する理解を深めたり、主体的に学ぶ姿勢を育てたりする上で効果があると考えます。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 美術 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○評価の4観点を踏まえた題材の目標（振り返り）の示し方及び課題意識のもたせ方	題材の目標が評価の4観点を踏まえたものになっていることだけでなく、課題意識をもたせる問いが明確に示されることにより、より目標に向かって学習に取り組む意欲が高まり、基礎・基本の定着につながると考える。
	②作品の理解を深めるための工夫	○制作手順の掲載（図・写真）	表現の4領域（絵、彫刻、デザイン、工芸）全てにおいて、制作手順が、図や写真で段階的に分かりやすく記載されていることにより、生徒の作品に対する理解が深まり、表現活動における豊かな発想・構想につながると考える。
	③日本の美術文化に関する内容	○日本の伝統的な表現や技法による作品の掲載の仕方	日本の伝統的な作品の表現や技法を幅広い視点で学習することにより、生徒の日本の美術や文化と伝統に対する理解と愛情を深め、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めると考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○表現への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	主体的に表現することへの興味・関心を高めるためには、生徒が見通しを立てて表現したり、表現の過程で試行錯誤したりする具体的な例が示されていることが必要と考える。
		○鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	主体的に鑑賞することへの興味・関心を高めるためには、生徒が実物の作品への興味をもったり、作品を見る視点や造形的な要素などに自らが気付いたりするような提示方法の工夫が示されていることが必要と考える。
	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	○生活や社会における美術の働きを実感するための具体例の示し方	生活や社会における美術の働きを実感するための具体例を示すとともに、美術の働きを生活に生かすことを促すことにより、生徒が自ら調べ、生活の中の造形や美術の働きをより深く理解することにつながると考える。
《観点3》 内容の構成 ・配列・分 量	⑥題材や資料等の配列	○題材の構成と分量	A表現（1）に係る題材、A表現（2）に係る題材、B鑑賞（1）に係る題材の構成と分量をバランスよく取り入れることで、各領域の基礎的能力が相互に作用しながら育成されると考える。
	⑦掲載している作品等の数	○〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品等の数	〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が掲載されている作品に数多く触れることで、生徒の作品に対する理解がより深まり、造形的な視点から豊かに発想・構想する能力及び創造的な技能を育成することにつながると考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載	○見開き又は折り込みページの大型図版の示し方	見開き又は折込みページや大型図版を有効に活用し、大型図版の特性を生かした作品提示を工夫することにより、作品のもつよさや美しさを、実感をもってとらえることができると考える。
	⑨言語を用いた発想・構想の工夫	○発想・構想段階における話し合いや発表の事例	発想・構想段階において、主題を生み出したり構想を練ったりするために話し合う視点を提示し、写真や図などで段階を追って解説することで、生徒が主体的に言語活動を行い、豊かな発想や構想を行うことができると考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑩鑑賞の仕方の工夫	○言語活動を促す鑑賞の方法の示し方及び具体例	〔共通事項〕を踏まえ、話し合いやまとめなどの言語活動を効果的に行う方法を写真や図を交えて示すことで、鑑賞の能力を高めることにつながると考える。
	⑪科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○同一テーマ内における多様な表現方法・表現形式による作品の掲載	本校では、科学的・論理的な思考力、的確な判断力の育成を目指しており、生徒が自分の表現意図に合う表現形式や技法、材料などを選択し創意工夫して表現できるようにするには、同一テーマ内における多様な表現方法・表現形式による作品の掲載が必要であると考ええる。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○美術文化や表現などに関して日本と諸外国との違いや影響について扱っている題材、コラム等の掲載	本校では、豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度の育成を目指しており、生徒が我が国の美術文化や表現の特質とともに、諸外国のものについても理解できるようにするには、美術文化や表現などに関して日本と諸外国との違いや影響について扱っている題材、コラム等の掲載が必要であると考ええる。
	⑬高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○〔共通事項〕を踏まえ、美術が環境に果たす役割を理解する学習の目的に合わせて自ら調べるための資料等の掲載	本校では、高い目的意識をもって、自学自習ができる生徒の育成を目指しており、心豊かな環境を考えてデザインの発想・構想をさせる際には、デザインの目的を踏まえた役割について、自ら調べ、考えさせる資料の掲載が必要であると考ええる。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【保健体育】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の提示、指導内容の体系化が図られた記載内容	発達の段階のまとまりを考慮し、小学校、中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ることが必要である。
	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	○健康・安全に関する科学的な理解を図るための資料等への補足説明の内容	抽象的な指導等も可能になるという発達の段階を踏まえ、補足説明等が明記されることで科学的に思考し、理解につながると考える。
	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○基本用語の取扱いと学習の振り返り	習得すべき基本用語の解説が具体的に示され、さらに振り返りの方法が工夫されることで、基礎的・基本的な知識の定着につながると考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める読み物の取扱い	生徒の身近な課題や社会の出来事について記載されることにより、生徒自身が生活を見つめるとともに、興味・関心を高めることにつながると考える。
	⑤体験的な学習を実施するための工夫	○実習や調査を実施するための資料の取扱い数	実習や実験、調査など知識を活用した体験的な学習活動を行うことにより、思考力・判断力などの資質や能力が育成されたと考える。
	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	○実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例	習得した知識を実生活に生かすために、知識を活用した課題等を示すなどにより、実生活・実社会に関連付けられていることが重要であると考ええる。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・題材や資料等の配列	○各単元における項目の系統的な構成及び1時間の授業の流れの例示	系統的な単元の構成、授業の流れの提示により、発達段階に応じた学習の理解を深め、見通しを持って学習することができると思える。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫	○発展的な学習の設定	発展的な学習の記載が、問題解決能力の育成につながり、また、学校や教師の創意工夫を加えた指導に展開できるものと思える。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	○課題提示の場面でのイラスト・写真の示し方、マーク等の活用	イラスト、写真、図表により視覚的に分かりやすい教材を活用することで、生徒の学習に対する興味・関心を喚起し、意欲的に取り組むことにつながると考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑩自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫	○知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり、話したりする学習方法の記載及び取扱い数	自分の考えをまとめて書いたり、それをもとにグループで話し合ったり、表現する活動を通して、言語活動の充実を図ることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑪科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫	○ロールプレイング等生徒が意志決定を行う学習内容の取扱い数	本校では, 生徒自身が意志決定し, 行動選択できることが, 科学的・論理的な思考力, 的確な判断力の育成につながると考える。
	⑫豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○国際的なスポーツについての内容の掲載	本校では, 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について理解させることで, 豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解させることにつながると考える。
	⑬高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○高い目的意識をもたせ, 生徒自らの学びを促す場面の設定	本校では, 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう, 資料を活用し, 課題を研究し, まとめていくなど, 高い目的意識をもって生徒自らの学びを促す場面の設定が重要であると考えます。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 技術・家庭（技術分野） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における目標の示し方	○目標の示し方	各内容を学習する意義や目標、題材との関連を理解することが、生活の中にある技術的な問題を解決する態度や能力の育成につながると考える。
	②伝統と文化に関する内容の記述	○伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例	我が国の生活や産業にかかわるものづくりの技術などの具体的な記述が、我が国の伝統と文化を支えてきた技術をより深く理解することにつながると考える。
	③学習のまとめの構成上の工夫	○学習のまとめの示し方、設定の仕方	学習のまとめや振り返りの活動を工夫することが、より学習内容の定着を図ることにつながると考える。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める記載の仕方とその具体例	技術分野で学習する学習内容について知らせ、学習の見通しをもたせることが、学習への興味・関心を高めることにつながると考える。
	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○実践的・体験的な学習の実習事例及び事例数	生活体験の少ない生徒にとって、実習事例が豊富であることは、実践的・体験的な学習に対する意欲を高め、学習を充実させることにつながると考える。
	⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述	○評価・活用に関する内容構成及び考えさせるための問いの例の記述や資料の掲載	技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めることが、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てることにつながると考える。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	学習内容との関連で各題材の分量が適切であることや、内容の配列が学習の流れに沿い、かつ調べやすいものであることは、効果的な活用につながると考える。
《観点4》 内容の表現・表記	⑧発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例	発展的な学習内容に関する記述の工夫が、学習に対する意欲や関心を高めるとともに、既習事項を活用することで、学習内容の理解を深めることにつながると考える。
	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用	○学習内容と関連したマークの種類及び扱い方	学習内容や題材のつながりを示す表記の工夫が、より学習を深めることにつながると考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点5》 言語活動の 充実	⑩ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○ 表現・発表する学習活動の具体例	教科の特徴である実践的・体験的な学習の結果を整理し、表現・発表する学習活動が、思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながると思える。
	⑪ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫	○ 構想したことをまとめたり、検討したりする具体例	製作品の機能や構造を検討することについて、図を用いて検討することが、思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながると思える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫ 科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○ 生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例	本校では科学的・論理的な思考力や的確な判断力を育てることを目指している。生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習を行うことは、科学的・論理的に思考する能力を育成するとともに、自分なりの判断をして課題を解決できる能力を育成することにつながると思える。
	⑬ 豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○ 「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載	本校では、他人を思いやる心などの豊かな人間性、社会性や規範意識、多文化を理解する態度を育成することを目指している。その際、様々な情報を扱うが、著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任について知ることができるようにするとともに、情報社会において適正に活動する能力と態度を育成することは大切なことだと思える。
	⑭ 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○ 学習の内容を深めさせたり広げたりしていくための資料の掲載や問いの記述	本校では、高い目的意識をもち、自主的に課題に取り組む学習を重視している。学習の内容を深めさせたり広げたりしていくための資料や問いにより、学習内容の深化を目指すとともに、学習したことを将来に向けて生かそうとする態度を育成することは大切であると思える。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【技術・家庭（家庭分野）】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における目標の示し方	○目標の示し方とその具体例	生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追究する学習を進められるよう配慮する必要がある。
	②伝統と文化に関する内容の記述	○伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例	伝統と文化について理解を深め、そのよさを継承・発展させるための学習の充実を図る必要がある。
	③持続可能な社会に関する内容の記述	○持続可能な社会に関する内容の扱い方	持続可能な社会の構築を目指し、環境とのかかわりなどに関する内容の改善・充実を図る必要がある。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○ガイダンスの構成、吹き出し等の興味・関心を高めるための工夫	ガイダンスにおいて、3年間の学習への見通しをもたせ、学習への意欲を高めるための工夫が必要である。
	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○実践的・体験的な学習の具体例	実践的・体験的な学習を進める上で、地域や学校・生徒の実態に応じた指導に対応するために、豊富な実践事例が充実し、生徒が目的をもって調理や製作ができる工夫が必要である。
	⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫	○振り返りの示し方及び設定の仕方	生活の自立を図るためには、自分の生活を振り返り進んで工夫できるように、学習を振り返り基礎的・基本的な内容を確認し、次への目標をもつことが重要である。
	⑦問題解決的な学習活動の工夫	○「生活の課題と実践」における学習の進め方及び実践事例	学習の進め方として、計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立て、生徒が段階を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑧題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	題材の設定に当たっては、学習内容や指導事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。
	⑨発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び具体例	発展的な学習内容に関する記述の工夫により、学習に対する意欲や関心を高めるとともに、既習事項を活用することで学習内容の理解を深めることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩本文記述と関連付けが なされた資料等の活用	○学習内容と関連した記 述・資料等の示し方及び 具体例	学習内容と題材のつながりや他教科等との 関連を示す表記の工夫は、学習内容への理解 をより深める上で必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪実習等の結果を整理 し、考察する学習活動 の工夫	○実習等の結果を整理した り考察したりする学習の 具体例	知的活動の基盤という言語の役割の観点か ら実習等の結果を整理し考察する学習活動 を充実する必要がある。
	⑫言葉や図表、概念など を用いて考えたり、説 明したりする学習活動 の工夫	○まとめと発表の仕方の示 し方及び具体例	生活における課題を解決するために、言葉 や図表、概念などを用いて考えたり、説明し たりする学習活動の工夫を充実する必要があ る。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考 力、的確な判断力を育 てるための工夫	○生活に必要な判断力を育 てる記載	本校では科学的・論理的な思考力、的確な 判断力の育成を目指しており、意思決定のプロ セスを示していくことがその育成につなが ると考える。
	⑭豊かな人間性や社会性 を培い、我が国の文化 とともに多文化を理解 する態度を育てるため の工夫	○家庭生活と地域の人々 との関わりについての学習 の事例	家庭生活や地域の人々との関わりについて の学習事例が豊富なことは、豊かな人間性や 社会性を培うことにつながると考える。
	⑮高い目的意識をもつ て、自ら学ぼうとする 姿勢・意欲を育てるた めの工夫	○学習を深化・発展へとつ なげる内容の記載	本校では、高い目的意識をもち、自主的に 課題に取り組む学習を重視しているので、学 習の深化や発展へとつながる学習内容を示し た記載が必要である。

令和2年度 広島中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 英語 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○目標の表記の仕方	学習意欲及び目標意識をもたせるためには、単元の目標の示し方が明確であることが必要である。
	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	○基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動の設定数のバランス ○1年生導入期の「話す」、「聞く」言語活動の設定	小学校における外国語活動で育まれた素地の上に「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4つの技能をバランスよく育成することが必要である。
	③言語に対する理解を深めるための工夫	○関連ある文法事項のまとめの扱い方	英語の特質を理解させるためには、関連ある文法事項をまとまりをもって整理する等、効果的な指導ができるように工夫することが必要である。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定	日常のコミュニケーションを促進するためには、具体的で分かりやすい場面や状況を示すとともに、自分のことを表現するなどの発展的な課題を設定することが必要である。
	⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫	○ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツの設定	積極的なコミュニケーションを促すためには、ペアやグループの形態を適宜、取り入れながら、生徒一人一人の活動を行いやすくする工夫が必要である。また、日常生活でよく用いられる様々な慣用表現を身に付けさせることも重要である。
	⑥問題解決的な学習に関する内容構成	○問題解決的な学習の設定 ○他教科等と関連させた教材選定	多様なものの見方や考え方を理解したり、公正な判断力を養ったりするためには、他教科の内容と関連付けたり、主体的に問題解決を図ったりする学習を設定することが必要である。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦言語材料の配列	○文法事項の段階的な配列	学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すると共に、学習内容を言語活動の中で繰り返し学習させることが必要である。
	⑧題材の内容構成と分量	○3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学等に関するものの中から、生徒の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を取り上げることが必要である。
	⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	○1年生導入期における題材の構成	小学校外国語活動から円滑な接続を図るためには、音声と文字の関係に触れた学習をさせることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩巻末等資料の工夫	○語彙リストにおける表記の仕方	語彙の理解を深めさせるためには、様々な用例や品詞を扱うことが必要である。
	⑪学習到達目標の設定	○学習到達目標の設定の仕方	生徒が3年間を見通して、着実に英語力を身に付けていくためには、学習到達目標を適切に設定することが必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	○3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおける言語活動の設定の仕方	外国語によるコミュニケーション能力の育成のためには、単に知識等を得ることにとどまるのではなく、4技能を効果的に結び付け、言語活動を設定することが必要である。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○3年生における読み手の意見を問う設問、文章構成を意識させる設問の設定の仕方	論理的な思考力の育成のためには、読み取った内容に関して、自分の意見をもたせるとともに文章構成を意識させる設問が必要である。
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○3年生における、自分の意見を整理し、筋道立てて表現するための課題の設定の仕方	異なる文化を持つ者同士が互いに理解を深めるためには、分からないことなどを尋ねたり、理解したことを伝え合ったりする活動が有効である。そのためには、自分の意見を整理し、筋道立てて表現するための課題の設定が必要である。
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○学習到達目標の設定や教科書で学習した語句・文法事項などを、さらに発展的に活用する教材の設定の仕方	生徒が3年間を見通して、着実に英語力を身に付けていくためには、学習到達目標を適切に設定し、発展的な学習を進める教材を示すことが必要である。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 国語 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 科学的・論理的な思考を促す単元に加え、科学的・論理的な思考を促すためのコラムや資料を掲載している。 ⑭ 人間、社会、自然、国際理解の四つに関係する教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 自主的な学習に活用できる資料を掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章がある。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 各単元は、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明がある。 ⑩ 図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。

学図	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 ⑫ 学習指導要領に例示された言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 科学的・論理的な思考を促す単元がある。 ⑭ 人間、社会、自然、国際理解の四つに関係する教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 自主的な学習に活用できる資料を掲載している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元があるとともに、「読むこと」の単元において主体的な問題解決に役立つ読み方を図等で示している。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 科学的・論理的な思考を促す単元に加え、科学的・論理的な思考を促すためのコラムや資料を掲載している。 ⑭ 人間、社会、自然、国際理解の四つに関係する教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 自主的な学習に活用できる資料に加え、学習の手引きで発展的な課題を複数示し、選択させる工夫がある。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 各単元は、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 科学的・論理的な思考を促す単元に加え、科学的・論理的な思考を促すためのコラムや資料を掲載している。 ⑭ 人間、社会、自然、国際理解の四つに関係する教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 自主的な学習に活用できる資料を掲載している。
-----------	---

光村	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 科学的・論理的な思考を促す単元に加え、科学的・論理的な思考を促すためのコラムや資料を掲載している。 ⑭ 人間、社会、自然、国際理解の四つに関係する教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 自主的な学習に活用できる資料を掲載している。
----	---

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 書写 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明するとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大單元及び小單元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 日本の文字文化と他国の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動や実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 教科の学習に活用できる資料（レポート、新聞の書き方等）を掲載しているとともに、自ら学ぶために活用できる問題等を掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、大單元において振り返りのための評価の観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 日本の文字文化と他国の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動や実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 教科の学習に活用できる資料（レポート、新聞の書き方等）を掲載している。

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大單元及び小單元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 日本の文字文化と他国の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動や実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 教科の学習に活用できる資料（レポート、新聞の書き方等）を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明するとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大單元及び小單元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が全ての学年に設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページが全ての学年において設定されている。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 日本の文字文化と他国の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動や実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 教科の学習に活用できる資料（レポート、新聞の書き方等）を掲載しているとともに、自ら学ぶために活用できる問題等を掲載している。

光村	<ul style="list-style-type: none"> ① 大単元だけでなく、小単元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大単元及び小単元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 日本の文字文化と他国の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動や実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 教科の学習に活用できる資料（レポート、新聞の書き方等）を掲載しているとともに、自ら学ぶために活用できる問題等を掲載している。
----	--

教科書の特色（広島中学校）

種目【社会（地理）】

発行者名	教科書の特色
東書	<p>① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための写真等の資料と吹き出しによる問いを掲載している。</p> <p>② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。</p> <p>④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いを複数掲載している。</p> <p>広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「地方中枢都市広島」という学習内容を掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程で、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を記載している。</p> <p>⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。</p> <p>⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。</p> <p>⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。</p> <p>⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。</p> <p>⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。</p> <p>⑬ 筋道を立てて考察することを促す事例と手法を「世界の様々な地域の調査」「身近な地域の調査」に掲載している。</p> <p>⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を掲載している。</p>
教出	<p>① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための地図等の資料と吹き出しによる問いを掲載している。</p> <p>② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。</p> <p>④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料を掲載している。</p> <p>広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「中国・四国地方の中心 広島」という学習内容を掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。</p> <p>⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。</p> <p>⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。</p> <p>⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。</p> <p>⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を掲載した事例を示している。</p> <p>⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。</p> <p>⑬ 筋道を立てて考察することを促す事例を「身近な地域の調査」に掲載している。</p> <p>⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を掲載している。</p>

<p>帝国</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための写真等の資料と文章による問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真等を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料を掲載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察することを促す事例を「身近な地域の調査」に掲載している。 ⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を掲載している。
<p>日文</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための地図等の資料と吹き出し等による問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いを掲載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「人口の集中する広島市」という学習内容を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べられるような問いを記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の単元において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察することを促す事例と手法を「世界の様々な地域の調査」「身近な地域の調査」に掲載している。 ⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を具体例とともに掲載している。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【社会（歴史）】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法と具体例を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を各大項目に掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察する方法と具体的な事例を記載している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。 ⑮ 歴史的な分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いと具体例を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を複数掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を各大項目に掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察する方法と具体的な事例が記載されている。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。 ⑮ 歴史的な分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いを掲載している。

清水	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察する方法を記載している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。 ⑮ 歴史的分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いを掲載している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察する方法と具体的な事例を記載している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。 ⑮ 歴史的分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような具体例を掲載している。

<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察する方法と具体的な事例を記載している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。 ⑮ 歴史的分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いを掲載している。
<p>自由社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる資料を記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 筋道を立てて考察する方法を記載している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を掲載している。 ⑮ 歴史的分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いを掲載している。

育鵬社	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を各大項目に掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法及び具体例が記載されている。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連させて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 筋道を立てて考察する方法を記載している。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 歴史的分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いと具体例を掲載している。</p>
学び舎	<p>① 学習課題を記載している。</p> <p>② 歴史上の人物を調べる方法を示した資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」留意点を掲載している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる資料を記載している。</p> <p>⑩ 単元末に学習のまとめを記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 単元のまとめにおいて、考察する課題を示している。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 歴史的分野の学習を終えるに当たって、社会の一員としての自覚を高めるような問いを掲載している。</p>

教科書の特色（広島中学校）

種目【社会（公民）】

発行者名	教科書の特色
東書	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、事例を用いて考察の仕方を複数示している。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、社会参画の事例を掲載した資料と問いを記載している。</p>

<p>教出</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。 ③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。 ⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。 ⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。 ⑬ 「よりよい社会を目指して」において、考察の仕方を示している。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、社会参画の事例を掲載した資料と問いを記載している。
<p>清水</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに掲載している。 ③ 国旗・国家の働きなどについて記載するとともに、脚注において、我が国の国旗・国歌について解説している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島についての事実を記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、学習課題に関連した資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を掲載し、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をおおむねバランスよく配分している。 ⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、考察させる課題を掲載している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順を示している。 ⑬ 「よりよい社会を目指して」において、考察の仕方を示している。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を掲載している。 ⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、社会参画を促す問いを記載している。

<p>帝国</p>	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、事例を用いて考察の仕方を複数示している。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、社会参画の事例を掲載した資料と問いを記載している。</p>
<p>日文</p>	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、事例を用いて考察の仕方を複数示している。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、社会参画を促す資料を記載している。</p>

自由社	<ul style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いを記載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを掲載している。 ③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義や敬意の表し方を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、学習課題に関連した資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を掲載し、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をおおむねバランスよく配分している。 ⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、選挙に関する資料を掲載している。 ⑩ まとめや振り返りのポイントを複数示している。 ⑪ 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。 ⑫ レポートづくりなどで、まとめの手順を示している。 ⑬ 「よりよい社会を目指して」において、考察の仕方を示している。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、地球温暖化に関する事例を掲載している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに掲載している。 ③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義や敬意の表し方を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。 ⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。 ⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。 ⑬ 「よりよい社会を目指して」において、事例を用いて考察の仕方を複数示している。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポート作成後に、社会参画の事例を掲載した資料と問いを記載している。

教科書の特色（広島中学校）

種目【社会（地図）】

発行者名	教科書の特色
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 地図の活用力を高めることができるように、地図記号の凡例、各地図・各資料に応じた凡例、読図の視点を記載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真や解説文を掲載している。 ③ 世界の様々な地域及び日本の様々な地域に、環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料を掲載している。 ④ 一般図又は資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号を記載し、地図の読み取りの視点を具体的な記述で記載している。 ⑤ 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料を複数掲載している。 ⑥ 世界各地の人々の生活と環境で、世界各地の衣食住、宗教に関わる資料を掲載し、世界と比べた日本の地域的特色で、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きに関する資料を掲載している。 ⑦ アジア州において、人口・産業発展・民族・宗教に関する資料を全て掲載している。 ⑧ 地図を活用した調べ方とその手順を資料とともに記載し、索引の使い方を記載している。 ⑨ 資料の読み取りを促す問いを大項目ごとに記載している。 ⑩ 複数の地図を活用する際の、活用の視点を示している ⑪ 世界各地の人々の生活と環境で、日本の文化に関する資料を複数掲載している。 ⑫ 資料を関連付けて考察する問いを示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ① 地図の活用力を高めることができるように、地図記号の凡例、各地図・各資料に応じた凡例、読図の視点を記載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真や解説文及び経緯に関する資料を掲載している。 ③ 世界の様々な地域及び日本の様々な地域に、環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料を掲載している。 ④ 一般図と資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号を記載し、地図の読み取りの視点を具体的な記述で記載している。 ⑤ 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料を複数掲載している。 ⑥ 世界各地の人々の生活と環境で、世界各地の衣食住、宗教に関わる資料とめあてを掲載し、世界と比べた日本の地域的特色で、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きに関する資料とめあてを掲載している。 ⑦ アジア州において、人口・産業発展・民族・宗教に関する資料を全て掲載している。 ⑧ 地図を活用した調べ方とその手順を資料とともに記載し、索引の使い方を記載している。 ⑨ 資料の読み取りを促す問いを大項目ごとに記載している。 ⑩ 複数の地図を活用する際の、活用の視点と事例を示している。 ⑪ 世界各地の人々の生活と環境で、日本の文化に関する資料を掲載している。 ⑫ 中項目ごとに、資料を関連付けて考察する問いを示している。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 数学 】

発行者名	教科書の特徴
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに説明や話し合いを促す問いがある。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にある。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに、単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはあり、さらに、その内容について生徒に考えさせる問題や記述がある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはあり、さらに、その内容について生徒に考えさせる問題や記述がある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。

学 図	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに説明や話し合いを促す問いがある。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに、単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはあり、さらに、その内容について生徒に考えさせる問題や記述がある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに、説明や話し合いを促す問いがある。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはある。 ⑮ 第1学年にレポートのかき方についての記載がある。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに、説明や話し合いを促す問いがある。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
数研	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはある。 ⑮ レポートのかき方についての記載がない。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
-----	--

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 理科 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示しており、章の導入ではねらいにつながるような課題設定をしている。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補足的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように全ての単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補足的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの書き方やその具体例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察のねらいと考察が適切に対応している。 ⑮ 生物のつくりや働きの精妙さを感じさせる補足的資料を掲載していると共に、生命の連続性によって今の自分の存在があることを意識できるような記述をしている。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を全ての単元で複数設定している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補足的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補足的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察のねらいと考察が対応している。 ⑮ 生物のつくりや働きの精妙さを感じさせる補足的資料を掲載していると共に、生命の連続性によって今の自分の存在があることを意識できるような記述をしている。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を全ての単元で設定している。

学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察のねらいと考察が対応している。 ⑮ 生物のつくりや働きの精妙さを感じさせる補充的資料を掲載していると共に、生命の連続性によって今の自分の存在があることを意識できるような記述をしている。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を設定している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように全ての単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。また、巻頭・巻末には広島県に関わる資料を紹介している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察のねらいと考察が対応している。 ⑮ 生物のつくりや働きの精妙さを感じさせる補充的資料を掲載していると共に、生命の連続性によって今の自分の存在があることを意識できるような記述をしている。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を設定している。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理による環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例を記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、必要だと考えられる調べ学習のテーマ例を全て紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。また、巻頭・巻末には広島県に関わる資料を紹介している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの書き方やその具体例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察のねらいと考察が適切に対応している。 ⑮ 生物のつくりや働きの精妙さを感じさせる補充的資料を掲載している。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を設定している。
-----	---

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 音楽（一般） 】

発行者名	教科用図書の特徴
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の学習目標を明確に示しており、題材において扱う〔共通事項〕を示している。 ② 発声のポイント等を扱ったページを掲載している。 伝統的な歌唱を掲載しており、発声のポイントを示している。 全ての楽曲において、学習のポイントと楽曲の背景を示している。 ③ 「旋律づくり」及び「構成の工夫」の視点を関連付けた創作の活動を掲載している。 ④ 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材を各学年において、それぞれ掲載している。また、諸外国の音楽文化を扱った題材を各学年において掲載するとともに、我が国の音楽文化との関連について記載している。 ⑤ 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲を複数掲載しているとともに、全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連を図っている。 ⑥ 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材を複数掲載している。 ⑦ 各学年において、領域同士を関連させて、教材を配列している。 ⑧ 発展的な内容について記載している。 ⑨ 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しを、全ての領域において掲載している。 ⑩ 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材を複数掲載している。 ⑪ 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材を掲載している。 ⑫ 各学年の我が国の鑑賞の題材において、楽曲の特徴を、その楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料を掲載するとともに、各学年において、諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料を掲載している。 ⑬ 歌唱の題材において、学習の目標のみ記載している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の学習目標を明確に示しており、各学年の題材において扱う〔共通事項〕を示している。 ② 発声のポイント等を扱ったページを、各学年に掲載している。 伝統的な歌唱を、複数学年において掲載しており、発声のポイントを示している。 楽曲において、学習のポイントと楽曲の背景を示している。 ③ 「旋律づくり」及び「構成の工夫」を視点とした創作の活動を掲載している。 ④ 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材を各学年において、それぞれ掲載しているとともに、巻末の資料との関連付けがされている。また、諸外国の音楽文化を扱った題材を各学年において掲載している。 ⑤ 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲を複数掲載しているとともに、全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連を図っている。 ⑥ 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材を複数掲載している。 ⑦ 各学年において、領域同士を関連させて、教材を配列している。 ⑧ 学習指導要領の内容との関連を図った発展的な内容について記載している。 ⑨ 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しを、全ての領域において掲載している。 ⑩ 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材を複数掲載している。 ⑪ 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材を複数掲載している。 ⑫ 各学年の我が国の鑑賞の題材において、楽曲の特徴を、その楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料を掲載するとともに、諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料を掲載している。 ⑬ 各学年の歌唱の題材において、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載している。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 音楽（器楽合奏） 】

発行者名	教科用図書の特徴
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の目標を明確に示している。 ② 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明している。 ③ 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動を掲載している。また、巻頭・巻末において、演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等を掲載しているとともに、巻頭にある内容を重複して巻末にも取り上げている。 ④ 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説を記載するとともに、複数の練習曲を掲載している。 ⑤ クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽やそれらの合奏曲を教材として掲載している。 ⑥ 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を、様々な角度から撮影した複数の写真と、演奏家が演奏している写真を、巻頭・巻末に掲載しているとともに、楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しを掲載している。 ⑦ 表現の工夫を伝え合う活動を掲載している。 ⑧ 鑑賞との関連を図った題材を複数掲載している。 ⑨ 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景について複数記載している。 ⑩ 創作との関連を図った題材を複数掲載している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の目標を明確に示している。 ② 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明している。 ③ 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動を複数掲載している。また、巻頭・巻末において、演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等を掲載しているとともに、巻頭にある内容と異なった多様な種類の内容を巻末に取り上げている。 ④ 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説を記載するとともに、複数の練習曲及び関連する鑑賞教材を掲載している。 ⑤ クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽を教材として掲載している。 ⑥ 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を、様々な角度から撮影した複数の写真を掲載しているとともに、楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しを掲載している。 ⑦ 表現の工夫を伝え合う活動を複数掲載している。 ⑧ 鑑賞との関連を図った題材を複数掲載している。 ⑨ 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景について複数記載している。 ⑩ 創作との関連を図った題材を複数掲載している。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 美術 】

発行者名	教科用図書の特徴
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① めあてに対するふりかえりを、題材ごとに観点別に示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、作品の一部を原寸大で示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 表現における同一テーマで、平面及び立体の作品をそれぞれ掲載している題材が複数あり、多様な表現例としてコンピュータを用いた作品を掲載している。 ⑫ 美術文化に関して、日本と諸外国の文化の関係を年表等で掲載している。 ⑬ 心豊かな環境を考えて発想や構想をするなどのデザインの学習において、自ら調べ、環境に果たすデザインの役割を考えさせる記載を複数示している。

<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 目標を観点別に示すとともに、題材ごとに課題意識をもたせるための問いを示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、作品の一部を原寸大で示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示し、生活に生かすことを前提に自ら調べを促す問いやコラム等を設定している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 表現における同一テーマで、平面及び立体の作品をそれぞれ掲載している題材が複数あり、多様な表現例としてコンピュータを用いた作品を掲載している。 ⑫ 美術文化に関して、日本と諸外国の文化の関係を現代とのつながりで複数ページにわたって解説を記載している。 ⑬ 心豊かな環境を考えて発想や構想をするなどのデザインの学習において、自ら調べ、環境に果たすデザインの役割を考えさせる記載を複数示している。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学びのねらいを、題材ごとに観点別に示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、和紙を用いて原寸大の作品を示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 表現における同一テーマで、平面及び立体の作品をそれぞれ掲載している題材が複数あり、多様な表現例としてコンピュータを用いた作品を掲載している。 ⑫ 美術文化に関して、日本と諸外国の文化の関係を年表等で掲載している。 ⑬ 心豊かな環境を考えて発想や構想をするなどのデザインの学習において、自ら調べ、環境に果たすデザインの役割を考えさせる記載を複数示している。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 保健体育 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示し、指導内容の体系化を図っている。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付し、さらにポイントとなる箇所にマーク等で説明を加えている。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示し、学習の振り返りができるよう問題等を記載することで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、全ての大単元に、実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 各学年の保健編の後に体育編を掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 全ての大単元で、本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を複数記載している。また、言語活動を充実させる資料や学習シートを掲載している。 ⑪ 科学的・論理的な思考力・的確な判断力を育てるための知識を実習等で活用できる課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載している。 ⑬ 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫として、全ての大単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に、単元の目標を示している。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付している。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示すことで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、「傷害の防止」、「体育編」で、実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるために、全ての大単元で、知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 体育編を保健編の前に掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 「考えよう」というマークで、課題を提示している。 ⑩ 事例を用いたロールプレイングを掲載し、学習シートに記載できるようにしている。 ⑪ 科学的・論理的な思考力・的確な判断力を育てるための知識を実習等で活用できる課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載し、本文以外にも理解させる資料を掲載している。 ⑬ 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫として、単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。

大修館	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に、単元の目標を示している。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付し、さらにポイントとなる箇所に吹き出して説明を加えている。 ③ 習得すべき基本用語をキーワードとして記している。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、「健康と環境」、「傷害の防止」、「体育編」で実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるために、全ての大単元で、知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 体育編を保健編の前に掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 全ての大単元で、本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を単元の一つ程度記載している。 ⑪ 科学的・論理的な思考力・的確な判断力を育てるための知識を実習等で活用できる課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載している。 ⑬ 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫として、単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示し、指導内容の体系化を図っている。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付している。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示し、学習の振り返りができるよう問題等を記載することで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、全ての大単元に、実習・調査のいずれかの事例を掲載し、その事例数も多い。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 単元の構成や題材を系統立てて記載しており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を複数記載している。また、言語活動を充実させる資料や学習シートを掲載している。 ⑪ 科学的・論理的な思考力・的確な判断力を育てるための知識を実習等で活用できる課題や内容を複数掲載している。 ⑫ 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載し、本文以外にも理解させる資料を掲載している。 ⑬ 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫として、全ての大単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 技術・家庭（技術分野） 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、「目標」及び内容に関する写真やイラストを示している。 ② 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示している。また、内容A及びCにおいて、「伝統・文化」マークを付けて、伝統的な文化を示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を3部構成で示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、学習のはじめにできる簡単な活動を、「考えてみよう」、「調べてみよう」等で示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において豊富に挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例を挙げ、「資料」マークを付して示している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくしている。 ⑧ 内容Bにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。また、小学校や他教科との関連についてもマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。また、制作作品の評価・修正について示している。 ⑪ 内容Aにおいて、制作作品の機能や構造を検討する図の例を複数示している。 ⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点を目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習内容の具体例を示している。 ⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を複数掲載している。 ⑭ 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等を掲載している。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、内容に関する写真を示している。 ② 伝統と文化に関する内容について、写真を用いて示している。また、口絵にも同様に示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「まとめ」と「章末問題」を2部構成で示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、本文中に「調べよう」、「やってみよう」、「考えよう」を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において複数挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつエネルギー変換の利用について考えさせるための問いを示している。また、学習内容に関して、参考となる資料等を掲載している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。 ⑧ 内容B及びDにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。

	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を示している。 ⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例を示している。 ⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を掲載している。 ⑭ 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等を掲載していない。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、「目標」及び内容に関する写真やイラストを示している。 ② 伝統文化に関する内容について、「今も生きる先人の技術」や「活躍している日本の伝統技術」などに、写真や絵で示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を2部構成で示している。また、学習のまとめごとに「ふり返し」を示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、各学習項目を学ぶにあたって、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」等を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において豊富に挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いを示している。また、学習内容に関して、参考となる資料等を掲載している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくしている。 ⑧ 内容Bにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。また、他教科との関連についてもマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。また、発表後の評価と改善について、作品評価表を示している。 ⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を複数示している。 ⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習内容の具体例を示している。 ⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を複数掲載している。 ⑭ 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等を掲載している。また、考えさせる問いを挙げている。

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」、吹き出しによる問いかけ、学習活動を促すような問いを記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、複数の内容で具体例を記載している。 ③ 循環型社会に関わる内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を複数記載し、生徒が目的をもって調理や製作ができる見出しを示している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動や巻末において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹介し、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連や他教科、小学校との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載している。 ⑬ D内容以外でも、意思決定のプロセスに関する記載がある。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。 ⑮ 学習を深める内容を記載している。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」を記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、具体例を記載し、写真や絵で紹介している。 ③ 循環型社会に関わる内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を掲載している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動を設定し、生活に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載している。 ⑬ 意思決定のプロセスに関する記載がある。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。 ⑮ 学習を深める内容を記載している。

開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」、吹き出しによる問いかけ、学習活動を促すような問いを記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、複数の内容で具体例を記載している。 ③ 各内容に、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を複数記載し、生徒が目的をもって調理や製作ができる見出しを示している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動や巻末において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹介し、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や複数の実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連や他教科、小学校との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載するとともに、言語活動の充実を図る内容を掲載している。 ⑬ 意思決定のプロセスに関する記載がある。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。 ⑮ 学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容を記載している。
-----	--

教科書の特徴（広島中学校）

種目【 英語 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」、「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 3年生の最初の単元で「受け身」を初出として扱っている。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動を全て設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問があり、読み物教材において、文章の構成を意識させる設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 生徒自身が自主的に学ぶための学習到達目標を設定している。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」、「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 3年間を通した学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動を全て設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題がある。 ⑮ 生徒自身が自主的に学ぶための学習到達目標を設定している。

学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」、「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定をしている。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 3年生の最初の単元で「受け身」を初出として扱っている。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問があり、読み物教材において、文章の構成を意識させる設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 生徒自身が自主的に学ぶための学習到達目標を設定している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」、「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定をしている。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱い、参考になる用例を示している。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 生徒自身が自主的に学ぶための学習到達目標を設定している。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」、「聞く」活動を設定しており、第2・3学年の4技能のバランスがとれている。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツや、会話に役立つ表現を取り上げるコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 3年間を通した学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問があり、読み物教材において、文章の構成を意識させる設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 生徒自身が自主的に学ぶための学習到達目標を設定しており、教科書の内容をより発展的に扱うコンテンツがある。
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」、「聞く」活動を設定しており、第2・3学年の4技能のバランスがとれている。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習の設定や他教科等と関連させた教材を選定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱い、参考になる用例を示している。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 生徒自身が自主的に学ぶための学習到達目標を設定している。

評価表
(広島中学校)

種目【 国語 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元・教材の目標の示し方	○単元・教材ごとの目標等の記載	A B基準を満たすとともに、教材ごとに指導事項に基づいた付けた力を一覧や目次等で示している。 B 教材ごとに目標を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	A	A	A
	②基礎的な言語の定着	○言語・漢字・文法の指導の記述	A B基準を満たすとともに、習得や活用のための課題等がある。 B 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明している。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (2) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。 2 (1) ア 知識をまとめて指導したり、繰り返して指導したりすることが必要なものについては、特にそれだけを取り上げて学習させることにも配慮すること。	A	A	A	A	A
	③伝統的な言語文化に関する内容の記述	○古典を取り扱った単元の教材	A B基準を満たすとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 B 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章がある。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (5) 古典に関する教材については、古典の原文に加え、古典の現代語訳、古典について解説した文章などを取り上げること。	A	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習 に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○身近な話題や社会の出来事を取り上げた教材	A B基準を満たすとともに、テーマの例を複数示している。 B 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第1学年〕 B書くこと(1)ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。 〔第2学年〕 B書くこと(1)ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。 〔第3学年〕 B書くこと(1)ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	A	B	A	B	A
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題解決的な学習を促す言語活動の設定	A B基準を満たすとともに、「読むこと」の単元において主体的な問題解決に役立つ読み方を図等で示している。 B 問題解決的な学習を促す言語活動が設定された単元がある。 C B基準を満たしていない。	【国語科改訂の要点(中教審答申)】 (2) 学習過程の明確化 自ら学び、課題を解決していく能力の育成を重視し、指導事項については学習過程を一層明確化した。 【言語活動の充実に関する指導事例集】 「教科等の特質を踏まえた指導の充実及び留意事項」 学習指導要領の内容の(2)に示す言語活動を基に、具体的な言語活動を通して指導事項を指導することが大切である。その際、「考えを書く」「話し合う」といった活動が脈絡なく行われることのないよう、生徒が自ら学び、課題を解決していくための学習過程を明確化し、単元を貫く言語活動を位置付けることが必要である。	B	B	A	B	B
	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫	○学習過程と振り返りの視点の示し方	A B基準を満たすとともに、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればよいかを示している。 B 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程が示されているとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2(6)各教科の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・教材等の配列	○各領域の関連を図った単元の構成	A B基準を満たすとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 B 各単元は、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1(2)第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。	A	B	A	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習に活用できる教材とその内容	A B基準を満たすとともに、単元での学びを生かし、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 B 発展的な学習に活用できる読み物教材を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(1)教材は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、読むことなどの能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨巻末資料の示し方	○巻末資料の内容と表記	A B基準を満たすとともに、全ての領域に関する資料がある。 B 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2(1)ア 知識をまとめて指導したり、繰り返して指導したりすることが必要なものについては、特にそれだけを取り上げて学習させることにも配慮すること。	A	B	A	A	A
	⑩本文記述との関連付けがなされた図表等	○本文記述と図表の適切な関連付けがなされた教材	A B基準を満たすとともに、複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 B 図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)エ 科学的、論理的な見方や考え方を養い、視野を広げるのに役立つこと。	A	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪読書と情報活用	○読書に親しむ態度の育成に関する記述	A B基準を満たすとともに、読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 B 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第1学年〕 1目標(3) 読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 〔第2学年〕 1目標(3) 読書を生活に役立てようとする態度を育てる。 〔第3学年〕 1目標(3) 読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。	A	B	A	B	A
	⑫言語活動の種類	○学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述	A 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 B 学習指導要領に例示された言語活動を通して指導する単元がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(1)…第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれ(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。	A	B	A	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○科学的・論理的な思考を促す単元	A B基準を満たすとともに、さらに科学的・論理的な思考を促すためのコラムや資料がある。 B 科学的・論理的な思考を促す単元がある。 C B基準を満たしていない。	【国語科改訂の要点(中教審答申)】 (1)目標及び内容の構成 ①目標 論理的な思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするとともに、伝統的な言語文化に触れたり、国語の特質を理解したりしながら、国語に対する認識を深めたり国語を尊重したりする態度の育成を位置付けている。 【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)エ 科学的、論理的な見方や考え方を養い、視野を広げるのに役立つこと。	A	B	A	A	A
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○文章を読んで人間、社会、自然などについて考えるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つ内容の記述	A 人間、社会、自然、国際理解の四つに関係する教材を全ての学年に掲載している。 B 人間、社会、自然、国際協調に関係する教材をいずれかの学年に掲載している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第3学年〕 「C読むこと」(2)エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	A	A	A	A	A
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○自主的な学習を促す資料等の工夫	A B基準を満たすとともに、学習の手引きで発展的な課題が複数示され、選択させる工夫がある。 B 自主的な学習に活用できる資料を掲載している。 C B基準を満たしていない。		B	B	A	B	B

種目【 書写 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の記載	A B基準を満たすとともに、小単元ごとに目標を示している。 B 大単元ごとに目標が示されている。 C B基準を満たしていない。	1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A	B	A	A
	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	○正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方の写真等の示し方や説明方法	A B基準を満たすとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 B 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を、写真やイラストを用いて説明している。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 ※小学校第1学年及び第2学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。</u>	A	B	B	A	B
	③伝統と言語文化に関する内容の記述	○文字や書の文化・伝統の理解を促す記述	A B基準を満たすとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 B 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) キ 我が国の伝統と文化に対する <u>関心や理解を深め</u> 、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。 【解説】 我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度の育成も大切である。	A	A	B	A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるためのコラムや資料	A B基準を満たすとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 B 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 第3学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。</u>	A	A	A	A	A
	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方	A B基準を満たしたうえで、全ての小単元において振り返りの観点を示している。 B 学習過程が示されるとともに、大単元において振り返りの観点を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2 (6) 各教科の指導に当たっては、 <u>生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること</u>	A	B	A	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥単元・教材や資料等の配列	○毛筆教材に関連付けた硬筆記入欄の設定	A B基準を満たすとともに、硬筆記入欄を全ての学年に設定している。 B 硬筆記入欄を設定している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) イ <u>硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うようにすること。</u>	B	B	B	A	B
	⑦発展的な学習の扱い方	○発展的な内容の取扱い	A B基準を満たすとともに、それらを全ての学年において設定している。 B 発展的な内容であることを示したページがある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) キ 我が国の伝統と文化に対する <u>関心や理解を深め</u> 、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。	B	B	B	A	B
《観点4》 内容の表現・表記	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	○図・写真、イラストによる筆使い等の示し方	A B基準を満たすとともに、写真を用いて筆使いについて説明している。 B 薄墨と朱の二色で、筆使いが示されるとともに、筆脈を矢印等で示している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 第1学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。</u>	A	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の充実	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	○学習や日常生活と関連付けがなされた教材	A B基準を満たすとともに、国語科の学習指導要領に例示された言語活動を取り扱った教材が複数ある。(手紙・報告文等) B 日常の様々な書式を取り扱った教材がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) ア文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、 <u>書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。</u>	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑩科学的・論理的な思考力, 的確な判断力を育てるための工夫	○文字や書に対する認識を深めるための工夫	A B基準を満たすとともに, 全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 B 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)エ <u>科学的, 論理的な見方や考え方を養い, 視野を広げるのに役立つこと。</u>	A	A	A	A	A
	⑪豊かな人間性や社会性を培い, 我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○日本の文字文化と他国の文字文化の取扱い	A B基準を満たすとともに, 古典に親しむ活動や実際の書や絵巻物を掲載している。 B 日本の文字文化と他国の文字文化についての掲載がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)キ <u>我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め, それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。</u>	A	A	A	A	A
	⑫高い目的意識をもって, 自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○自主的な学習を促す資料等の工夫	A B基準を満たすとともに, 自ら学ぶために活用できる問題や教材等を掲載している。 B 教科の学習に活用できる資料(レポート, 新聞の書き方等)を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2(6)各教科の指導に当たっては, <u>生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。</u>	A	B	B	A	A

種目【 社会（地理的分野） 】評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	教出	帝国	日文
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○単元の導入における見通しをもたせるための資料や問いの記載	A 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料と問いが記載されている。 B 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料又は問いが記載されている。 C 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料も問いも記載されていない。	【解説】 現代の日本や世界の地理的事象を取り扱う地理学習の特質を生かして、作業や体験を伴う学習や課題を設定し追究する学習などを工夫し、生徒の主体的な学習を促すことが必要である。	A	A	A	A
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真等の資料が掲載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料が掲載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する記述が記載されている。	【内容の取扱い】 (ア)「領域の特色と変化」については、我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに、 <u>北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。</u>	A	B	A	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国際関係や文化交流に関する読み物資料	A 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が複数掲載されている。 B 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が掲載されている。 C 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が掲載されていない。	【目標】 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、 <u>広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。</u>	A	A	B	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○学習テーマを見いだすための問いや資料の掲載の工夫と具体例	A 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いが複数掲載されている。 B 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いが掲載されている。 C 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料又は問いが掲載されている。	【内容の取扱い】 州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて <u>地域的特色を理解させるようにすること。</u> その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。	A	C	C	B
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	A 広島県を取り上げた事例が複数掲載され、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例も掲載されている。 B 広島県を取り上げた事例が複数掲載されている。 C 広島県を取り入れた事例が掲載されている。	【解説】 身近な地域は、 <u>生徒が生活舞台にしている地域</u> であり、学習対象を生徒が <u>直接体験できる</u> といった特質を有している。	A	A	B	A
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順の例	A 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点が示されるとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 B 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点が示されている。 C 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの過程に、学習の手順が示されている。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して <u>地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。</u>	B	A	A	A
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	A 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が資料と解説文で示され、自ら調べることを促す課題が記載されている。 B 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が資料と解説文で示されている。 C 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が示されている。	【解説】 「世界各地との時差」を取り上げるに当たっては、海外と衛星中継しているテレビのニュース番組の映像を活用するなどの国際化した生活場面と関連付けたり、 <u>等時帯や日付変更線を示す地図と地球儀を見比べたり、簡単な時差の計算をしたりする学習活動</u> を通して、日本と世界各地との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解させる。	A	A	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○各大項目のページ数	A 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が20%未満である。 B 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が20%以上25%未満である。 C 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が25%以上である。		A	A	A	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが各大項目に掲載されている。 B 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されている。 C 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、 <u>補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。</u>	A	A	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	教出	帝国	日文
《観点4》 内容の表現 ・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等の資料と問いの掲載	A 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いが記載されている。 B 「中国・四国地方」の学習において、資料から学習課題を見いだす問いが記載されている。 C 「中国・四国地方」の学習において、資料から学習課題を見いだす問いが記載されていない。	【内容】 ウ 日本の諸地域 日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の（ア）から（キ）で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。	A	A	A	A
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【総則】 （6）各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○単元末における多面的・多角的に考察させる事例	A 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法と具体例を記載した事例が示されている。 B 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を記載した事例が示されている。 C 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を記載した事例が示されていない。	【解説】 地理的事象を考察し、判断、理解するに当たっては、「公正」さに留意することが大切である。そのためには、 <u>資料を適切に収集、選択、処理、活用し、資料に基づいて考察する態度を身に付けさせることが特に大切である。</u>	A	B	A	A
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A レポート作成等において、まとめ方とまとめ例が複数掲載されている。 B レポート作成等において、まとめ方又はまとめ例が掲載されている。 C レポート作成等において、まとめ方もまとめ例も掲載されていない。	【解説】 今回の改訂で重視されている言語力育成の観点から、 <u>観察や調査等の結果を論述したり、意見交換したりするなどの言語活動を充実させることに特に留意することが必要である。</u>	A	A	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○筋道を立てて考察することを促す事例	A 筋道を立てて考察することを促す事例と手法が「世界の様々な地域の調査」、「身近な地域の調査」の双方に掲載されている。 B 筋道を立てて考察することを促す事例又は手法が「世界の様々な地域の調査」、「身近な地域の調査」のいずれかに掲載されている。 C 筋道を立てて考察することを促す事例も手法も掲載されていない。	【解説】 国際化、情報化など社会の変化の激しい時代にあつては、主題を追究、考察して調べ方や学び方を身に付けることが大切であることはいうまでもない。 <u>内容の（1）のア、イ及びウで習得した知識、概念や技能を活用して、興味・関心ある世界の地理的事象を調査、探究することで、地域的特色をとらえる調べ方や学び方の視点や方法を身に付けることができる。</u>	A	B	B	A
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○我が国の伝統文化や文化の多様性に関する資料	A 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料が複数掲載されている。 B 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料が掲載されている。 C 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料が掲載されていない。	【目標】 （3）大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。	A	A	A	A
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○社会参画を促す資料	A 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料が具体例とともに掲載されている。 B 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料又は吹き出し等が掲載されている。 C 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料も吹き出し等も掲載されていない。	【解説】 身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、 <u>生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養う。</u>	B	B	B	A

種目【 社会（歴史的分野） 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価								
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	学び舎	
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習課題の示し方	○学習課題の記載の仕方	A 学習課題が、毎時間示されている。 B 学習課題が示されている。 C 学習課題が示されていない。	【内容の取扱い】 (1) イ 歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着を図ること。	A	A	A	A	A	A	A	A	B
	②我が国の国土と歴史 に対する理解と愛情 を育てるための工夫	○歴史上の人物が掲載されている資料	A 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が、各大項目に掲載されている。 B 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されている。 C 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されていない。	【目標】 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。	B	B	B	B	B	B	B	A	C
		○神話・伝承等を扱った事例数	A 当時の人々の信仰やもの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が複数掲載されている。 B 当時の人々の信仰やもの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が掲載されている。 C 当時の人々の信仰やもの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が掲載されていない。	【内容の取扱い】 (3) エ 考古学などの成果を活用するとともに、神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やもの見方などに気付かせるよう留意すること。	A	A	A	A	B	A	A	A	B
		○文化遺産を取り扱った資料	A 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が複数掲載されている。 B 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されている。 C 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されていない。	【目標】 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。	A	A	A	B	A	B	A	A	B
③国際社会で主体的に 生きていくための基 盤となる知識・技能を 身に付けさせる工夫	○歴史に見られる国際関係や 文化交流に関する資料	A 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料が掲載されている。 B 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料が掲載されている。 C 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料が掲載されていない。	【目標】 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。	A	A	A	A	B	A	A	A	B	
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるた めの工夫	○導入における興味・関心を高 める問いや資料	A 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いが記載されている。 B 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いが記載されている。 C 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料又は問いが記載されている。	【内容の取扱い】 (2) ウ 各時代の学習の初めにその特色の究明に向けた課題意識を育成した上で、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、大観や表現の仕方を工夫して、各時代の特色をとらえさせるようにすること。	A	B	A	A	A	B	A	A	A
	⑤課題の設定、整理・分 析、振り返りを展開す るための構成上の工 夫	○身近な地域（広島県）を取り 上げた事例	A 広島県を取り上げた事例を複数掲載し、広島県の事象を調査、考察する方法及び具体例が記載されている。 B 広島県を取り上げた事例が複数掲載されている。 C 広島県を取り上げた事例が掲載されている。	【内容】 (1) イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。	A	B	B	B	A	B	A	A	B
		○「身近な地域の歴史を調べ る」学習手順の示し方	A 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程が記載されるとともに留意点が示されている。 B 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点が示されている。 C 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順又は留意点が示されている。	【目標】 (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	B	A	A	C	B	B	C
⑥作業的・体験的な学習 を実施するための工 夫	○作業的・体験的な学習の事例	A 作業的・体験的な活動例が各大項目に掲載されている。 B 作業的・体験的な活動例が掲載されている。 C 作業的・体験的な活動例が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 資料等の活用と作業的、体験的な学習 指導の全般にわたって、資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図るようにする。	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価							
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	学び舎
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○近現代の学習ページの分量	A 近現代のページ数が全時代の50%以上である。 B 近現代のページ数が全時代の45%以上～50%未満である。 C 近現代のページ数が全時代の45%未満である。	【解説】 歴史的分野 ウ 近現代の学習の一層の重視 従前は、内容の「(5) 近現代の日本と世界」という単一の大項目であったものを、「(5) 近代の日本と世界」と「(6) 現代の日本と世界」の二つの大項目として構成した。これは、 <u>近現代の学習を一層重視し、現代の社会についての理解が深まるように配慮したものである。</u>	A	A	B	A	A	B	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 問いが示された発展的な資料が各大項目に掲載されている。 B 問いが示された発展的な資料が掲載されている。 C 発展的な資料が掲載されている。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、 <u>補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、</u> 教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	A	A	A	A	B	A	B
《観点4》 内容の表現・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○写真等の資料と問いの記載	A 見開きページにおいて、関連付けて考察させる複数の資料と問いが記載されている。 B 見開きページにおいて、関連付けて考察させる資料と問いが記載されている。 C 見開きページにおいて、関連付けて考察させる問いが記載されていない。	【目標】 (4) 歴史に対する興味・関心を高め、 <u>様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</u>	A	A	A	A	A	C	A	C
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【解説】 イ 歴史について考察する力や説明する力の育成 (ウ) 思考・判断・表現する学習と確かな理解 ひとまとまりの学習内容が十分に理解され定着するためには、 <u>学習のねらいを明確に意識させるための「導入」や、学習の成果を確かにつかませるための「まとめ」が重視され、その工夫と充実が図られる必要があるのである。</u>	B	A	A	A	A	B	B	C
《観点5》 言語活動の充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例の記載	A 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例が複数掲載されている。 B 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例が掲載されている。 C 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例が掲載されていない。	【解説】 文献や地図、地図、統計など歴史学習にかかわる様々な性格の資料や、作業的・体験的な活動によって得られた幅広い資料の中から、 <u>必要な資料を選択して有効に活用することで、歴史的事象を一面的にとらえるのではなく、様々な角度から考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育成することが大切である。</u>	A	A	A	A	A	B	A	B
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A まとめ方について、作品例と手順が示されたものが複数掲載されている。 B まとめ方について、作品例と手順が示されたものが掲載されている。 C まとめ方について、作品例又は手順が示されたものが掲載されている。	【中央教育審議会答申】 子どもたちの思考力・判断力・表現力等を確実に高めるために、まず、各教科の指導の中で、 <u>基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、観察・実験やレポートの作成、論述といったそれぞれの教科の知識・技能を活用する学習活動を充実させることを重視する必要がある。</u>	A	A	B	A	B	A	A	A
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○筋道を立てて考察する方法を示した具体的な事例	A 筋道を立てて考察する方法と具体的な事例が記載されている。 B 筋道を立てて考察する方法が記載されている。 C 筋道を立てて考察する方法が記載されていない。	【解説】 必要な資料を選択して有効に活用することで、 <u>歴史的事象を一面的にとらえるのではなく、様々な角度から考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育成することが大切である。</u>	A	A	B	A	A	B	B	C
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	A 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。 B 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が掲載されている。 C 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が掲載されていない。	【目標】 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、 <u>我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに興味をもたせ、国際協調の精神を養う。</u>	A	A	A	A	A	B	A	A
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○社会の一員としての自覚を高める問いや具体例	A 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高めるような問いと具体例が掲載されている。 B 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。 C 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問いも具体例も掲載されていない。	【目標】 (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、 <u>それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。</u>	A	B	B	B	B	B	A	B

種目【 社会：公民的分野 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習課題の示し方	○学習の見通しをもたせるための資料や問いかけ	A 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料がある。 B 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問い又は資料がある。 C 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いも資料もない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が <u>学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。</u>	A	B	B	A	A	B	A
	②公民としての基礎的教養を培うための工夫	○現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例	A 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが事例とともに複数掲載されている。 B 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが事例とともに掲載されている。 C 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが掲載されている。	【解説】 イ 現代社会をとらえる見方や考え方 ここでは「 <u>物事の決定の仕方</u> 」や「 <u>きまり</u> 」などの社会生活に見られる事例を示し、その意義などを考えさせることを通して見方や考え方の基礎を身に付けさせることを求めているのである。	A	A	B	A	A	C	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国旗・国歌に関する記載の仕方	A 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示され、国旗・国歌の意義と敬意の表し方が記載されている。 B 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示され、国旗・国歌の意義が記載されている。 C 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示されておらず、国旗・国歌の意義が記載されていない。	【内容の取扱い】 (ウ)「 <u>国家間の相互の主権の尊重と協力</u> 」との関連で、 <u>国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるよう配慮すること。</u>	B	B	C	B	B	A	A
		○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、記載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する事実が示されている。	【解説】 固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、 <u>現状にいたる経緯、我が国が正当に主張している立場、我が国が平和的な手段による解決に向けて努力していることを理解させる。</u>	A	A	C	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例	A 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いがある。 B 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いがある。 C 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いがない。	【目標】 (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、 <u>事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</u>	A	A	C	B	B	C	A
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	A 広島県を取り上げた事例が複数掲載されるとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例が掲載されている。 B 広島県を取り上げた事例が掲載されている。 C 広島県を取り上げた事例が掲載されていない。	【内容の取扱い】 イ 生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮し、 <u>且</u> 常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにすること。	A	B	B	B	B	B	B
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順と留意点	A 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容が複数あるとともに、全ての過程において、学習の手順と留意点が示されている。 B 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容があり、学習の手順と留意点が示されている。 C 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容があるが、学習の手順も留意点も示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 生徒の主体的な学習を促し、 <u>課題を解決する能力を一層培うため、各分野において、第2の内容の範囲や程度に十分配慮しつつ事項を再構成するなどの工夫をして、適切な課題を設けて行う学習の充実を図るよう</u> にすること。	A	A	B	A	A	B	A
		○作業的・体験的な学習の事例と具体例	A 作業的・体験的な学習を促す事例が資料と解説で複数掲載されている。 B 作業的・体験的な学習を促す事例が資料と解説で掲載されている。 C 作業的・体験的な学習を促す事例が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに <u>作業的、体験的な学習の充実を図る</u> ようにする。	A	A	B	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○大項目ごとのページ数	A 私たちと現代社会：私たちと経済（経済のしくみ・経済活動）：私たちと政治：私たちと国際社会の諸課題＝1：2：4：2を基準とし、各大項目の誤差の合計が20%未満である。 B 20%以上～25%未満である。 C 25%以上である。		A	A	B	A	A	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが全ての大項目に掲載されている。 B 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されている。 C 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	A	B	A	B	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等を活用し考察を促す事例	A 「選挙の意義」において、考察を促す事例が複数掲載され、吹き出し等による問いが示されている。 B 「選挙の意義」において、考察を促す事例が掲載され、吹き出し等による問いが示されている。 C 「選挙の意義」において、考察を促す事例が掲載されておらず、吹き出し等による問いが示されていない。	【解説】 「選挙の意義」については、～具体的な事例を取り上げて関心を高めさせるとともに、正しい選挙が行われることや選挙に参加することの重要性について十分に考えさせることが大切である。	A	A	B	B	A	C	B
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	A	B	A	A	C	B
《観点5》 言語活動の充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例	A 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されている。 B 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されている。 C 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されていない。	【目標】 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	C	A	A	B	A
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点が示されている。 B レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順が示されている。 C レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順が示されていない。	【解説】 公民的分野では、習得した知識、概念や技能を活用して、社会的事象について考えたことを説明したり、自分の考えをまとめて論述したり、議論などを通して考えを深めたりすることを重視した。	A	A	B	A	A	B	A
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○筋道を立てて考察する方法を示した具体的な事例	A 「よりよい社会を目指して」において、考察の仕方が事例を用いて複数示されている。 B 「よりよい社会を目指して」において、考察の仕方が示されている。 C 「よりよい社会を目指して」において、考察の仕方が示されていない。	【解説】 「イ よりよい社会を目指して」については、十分に時間を確保して指導をすることが大切である。また、自分とかわらせて考えさせ、考えたことを説明させる学習活動を取り入れるなどの工夫も必要である。	A	B	B	A	A	B	A
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	A 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料が複数掲載されている。 B 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料が掲載されている。 C 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムも読み物資料も掲載されていない。	【解説】 我が国の伝統と文化が自然や社会とのかかわりの中でどのように受け継がれてきたのかを考えさせたり、～自国の伝統と文化を大切にすることは、他国の伝統と文化を認め、尊重することにつながるなどなどに気付かせることを意味している。	A	A	B	A	A	A	A
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○よりよい社会の形成に参画することを促す資料や問い	A 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画の事例を掲載した資料と問いがある。 B 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。 C 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、生徒に社会参画を促す資料も問いもない。	【解説】 公民的分野はもとより、地理的分野、歴史的分野などの学習の成果を生かし、これからのよりよい社会の形成に主体的に参画する態度を養うこととした。	A	A	B	A	B	C	A

種目【 社会：地図 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					東書	帝国
《観点1》 基礎・基本 の定着	① 題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	○地図の見方の記載とその内容	A 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例，読図の視点が示されている。 B 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例が示されている。 C 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例が示されていない。	【解説】 (2) 各分野の改訂の要点 オ 地理的技能の育成の一層の重視 地図の読図や作図は，地理的事象の理解だけでなく，地理的な見方や考え方をはぐくむ上で必要不可欠な能力である。	A	A
	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文及び経緯に関する資料が掲載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文が掲載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文が掲載されていない。	【内容の取扱い】 (ア)「領域の特色と変化」については，我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに， <u>北方領土が我が国の固有の領土であることなど，我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。</u>	B	A
	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○環境・国際理解等の学習への活用	A 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されている。 B 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題又は世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されている。 C 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されていない。	【解説】 「我が国の国土（の地域的特色）」については，視野の狭い学習により単に地理的知識を詰め込むのではなく， <u>世界的視野から多面的・多角的に追究する学習</u> を通してとらえさせる必要がある。	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるための記載内容	A 一般図と資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が記載され，地図の読み取りの視点が具体的な記述で示されている。 B 一般図又は資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が記載され，地図の読み取りの視点が具体的な記述で示されている。 C 各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が地図に記載されている。	【解説】 (2) 各分野の改訂の要点 オ 地理的技能の育成の一層の重視 地図の読図や作図は，地理的事象の理解だけでなく，地理的な見方や考え方をはぐくむ上で必要不可欠な能力である。	B	A
	⑤ 課題の設定，整理・分析，振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題を追究するための資料の構成	A 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が複数掲載されている。 B 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が掲載されている。 C 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が掲載されていない。	【解説】 地域的特色を追究するための適切な課題を設定し， <u>様々な資料を適切に活用して地域的特色を考察し，追究した過程や結果を適切に表現するといった学習活動を，生徒に実際に取り組ませるようにすることが大切である。</u>	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列	○基礎資料図の記載	A 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料がめあてとともに掲載されている。 B 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料が掲載されている。 C 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料が掲載されていない。	【解説】 この中項目（世界各地の人々の生活と環境）は，世界各地の人々の生活の様子を， <u>衣食住や宗教とのかかわり</u> を中心に，自然及び社会的条件と関連付けて考察させ，世界の人々の生活や環境の多様性を理解させることを主なねらいとしている。 この中項目（世界と比べた日本の地域的特色）は「(ア) 自然環境」「(イ) 人口」「(ウ) 資源・エネルギーと産業」「(エ) 地域間の結び付き」の四つの小項目から構成されている。	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○資料の種類	A 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料が全て掲載されている。 B 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料のいずれかが掲載されている。 C 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料が掲載されていない。	【解説】 (ア) アジア：＜主題例＞人口急増と多様な民族・文化 “なぜアジアでは人口が急増し，民族，文化が多様なのか”という問いを立て，アジアにおける <u>人口急増地域の分布</u> ， <u>産業発展と人々の生活のかかわり</u> ， <u>民族や宗教分布</u> ， <u>宗教と生活とのかかわり</u> ， <u>宗教の伝播や人口の地域間移動の推移</u> などを追究すると，アジアの人口問題の出現や多様な民族構成，文化形成の背景が分かり，アジアの地域的特色の理解につながる。	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					東書	帝国
《観点5》 言語活動の 充実	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫	○地図を活用した調べ方の事例	A 地図を活用した調べ方とその手順が資料とともに記載され、索引の使い方が示されている。 B 地図を活用した調べ方とその手順が記載されている。 C 地図を活用した調べ方とその手順が記載されていない。	【解説】 「主な国々の名称と位置」については、(中略) 国名を単に覚えるだけの学習にならないよう、索引を使って国の位置を探するなど地図帳を活用した学習活動を行ったり、人物名、山、川などの地形名などに由来する国名に着目させたりするなど、生徒の関心を引き出す指導を工夫することが考えられる	A	A
	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○地図を活用した表現の記載の仕方	A 資料の読み取りを促す問いが大項目ごとに示されている。 B 資料の読み取りを促す問いが示されている。 C 資料の読み取りを促す問いが示されていない。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	A	A
《観点6》 学校の特色 を生かす工夫	⑩科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○資料分析の視点と事例	A 複数の地図を活用する際の、視点と活用例が示されている。 B 複数の地図を活用する際の、視点が示されている。 C 複数の地図を活用する際の、視点が示されていない。	【中央教育審議会答申】 多面性をもつ地理的事象は、それをとらえる観点によって大きく変化することから、ともすると一面的な考察、判断に陥りやすい。(中略) 資料を適切に収集、選択、処理、活用し、資料に基づいて考察する態度を身に付けさせることが特に大切である。	B	A
	⑪豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○日本及び世界の文化に関する資料	A 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料と地図が複数掲載されている。 B 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料と地図が掲載されている。 C 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料や地図が掲載されていない。	【解説】 「我が国の国土(の地域的特色)」については、視野の狭い学習により単に地理的知識を詰め込むのではなく、世界的視野から多面的・多角的に追究する学習を通してとらえさせる必要がある。	A	B
	⑫高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○自ら考察することを促す問い	A 中項目ごとに、資料を関連付けて考察する問いが示されている。 B 資料を関連付けて考察する問いが示されている。 C 資料を関連付けて考察する問いが示されていない。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	B	A

種目【 数学 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	大日本	学 図	教 出	啓林館	数研	日 文
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標を達成するための工夫	○学習課題と解決の過程	A Bの基準を満たし、さらに、説明や話し合いを促す問いがある。 B 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 C Bの基準に達していない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	A	A	A	B	B
	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りに関する扱い	A Bの基準を満たし、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 B 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述がある。 C Bの基準に達していない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 生徒の学習を確実なものとするために、新たな内容を指導する際には、既に指導した関連する内容を意図的に再度取り上げ、学び直しの機会を設定することに配慮するものとする。	A	A	A	A	A	A	B
	③事象を数理的に考察するための工夫	○日常生活や社会における事象を考察させている具体例とその展開	A Bの基準を満たし、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開が示されている。 B 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象が示されている。 C Bの基準に達していない。	【解説】 「事象を数理的に考察し表現する能力を高める」について「日常生活や社会において事象を数理的に考察する例として、実験や実測を通して得た具体的な資料を基にして予測することがある。例えば、水を熱し始めてからある温度になるまでの時間を知りたいとき、時間と水温の関係を調べてその結果をグラフに表し、おおむね直線上に並んでいることから一次関数とみなして予測することができる。」	B	A	A	B	A	B	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常生活とのかかわりを取り扱われている具体例	A Bの基準を満たし、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 B 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材がある。 C Bの基準に達していない。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような数学的活動に取り組む機会を設けるものとする。 イ 日常生活で数学を利用する活動	A	A	A	A	A	A	A
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題の具体例	A Bの基準を満たし、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 B 計算の仕方について問題解決的な学習の場面が設定されている。 C Bの基準に達していない。	【解説】 新たな知識の獲得やより深い数学的認識は、自らの活動による数学的な経験に応じて得られるものであることから、主体的に問題解決的な学習に取り組むことができるような数学的活動を充実させることが必要である。	A	B	A	B	A	B	A
	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫	○見いだす活動を行わせるための具体例とその展開	A Bの基準を満たし、さらに、関連した問題（発展した内容等）が複数設定されている。 B 具体例を通して規則性を見いだすような展開が示されている。 C Bの基準に達していない。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような数学的活動に取り組む機会を設けるものとする。 ア 既習の数学を基にして、数や図形の性質などを見いだし、発展させる活動	A	A	A	A	A	A	A
	⑦自学自習を行うための記述の工夫	○ヒントやポイントを示した吹き出し等の記載例	A Bの基準を満たし、さらに、その数が全者の平均以上ある。 B 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 C Bの基準に達していない。		B	B	A	A	B	A	B
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑧単元や資料等の配列	○各単元の章末問題、巻末問題、巻末資料の具体例	A Bの基準を満たし、巻末資料に生徒が使用できる具体物がある。 B 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるように提示されている。 C Bの基準に達していない。		A	A	A	A	B	B	B
	⑨発展的な学習に関する内容の記述	○該当学年で学習する範囲を超えた内容の具体例	A Bの基準を満たし、さらに次学年の内容等の系統を意識した問題が明記されている。 B 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にある。 C Bの基準に達していない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 第2の各学年の目標の達成に支障のない範囲内で、当該学年の内容の一部を軽く取り扱い、それを後の学年で指導することができる。また、学年の目標を逸脱しない範囲内で、後の学年の内容の一部を加えて指導することもできる。	B	A	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
《観点4》 内容の表現・表記	⑩イラスト・写真の活用	○イラスト・写真の具体例	A Bの基準を満たし、さらにイラスト・写真の合計数が全者の平均以上ある。 B 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真が掲載されている。 C Bの基準に達していない。		A	B	A	A	B	B	B
《観点5》 言語活動の充実	⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	○説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例	A Bの基準を満たし、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 B 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはある。 C Bの基準に達していない。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような数学的活動に取り組む機会を設けるものとする。 ウ 数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動	B	B	A	A	A	B	A
	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	○ノートのかき方の取扱い	A Bの基準を満たし、さらに単元の中にも記述がある。 B 各学年の巻頭にノートのかき方の記述がある。 C Bの基準に達していない。		A	B	A	B	B	A	B
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解	A Bの基準を満たし、さらに新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりするという2つの記述がある。 B 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 C Bの基準に達していない。	【第2学年 目標(2)】 基本的な平面図形の性質について、 <u>観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。</u>	A	B	A	A	A	B	A
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題や問題の記載例	A Bの基準を満たし、その内容について生徒に考えさせる問題や記述がある。 B 各学年において、数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題が各学年に1つはある。 C Bの基準に達していない。	【解説】 <u>定理にまつわる歴史的な背景や逸話の紹介等を通して、生徒の興味・関心を引き出す工夫をすることも大切である。</u>	A	A	A	B	B	B	B
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○レポート作成の扱い、記載例	A Bの基準を満たし、さらに、生徒のレポートの具体例が記載されている。 B レポートのかき方について記載されている。 C Bの基準に達していない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 <u>数学的活動の過程を振り返り、レポートにまとめ発表することなどを通して、その成果を共有する機会を設けること。</u>	A	A	A	B	A	C	A

種目【 理科 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元や章の導入における取扱い内容	A Bの基準を満たし、単元の導入で示されているねらいにつながるような課題や問いかけが全ての章の導入で行われている。 B 単元の導入において、「これから学ぶこと」、「ねらい」が具体的に示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	B	B	B	B
	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	○既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例	A Bの基準を満たし、既習事項の数が全者の平均以上示されている。 B 単元末に基本的な概念や用語が記載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	A	A	B	B
	③観察、実験の技能を習得させるための工夫	○観察、実験の基本操作及び観察、実験における安全確保の状況	A Bの基準を満たし、実験器具の基本操作が5者の平均以上示されている。 B 観察、実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項が記載されており、各実験との関連性が図られている。また、レポート(ノート)の記述のしかた、グラフのかき方の説明がされている。 C 基本操作の説明や危険防止のための留意事項が記載されているが、実験との関連性が図られていない。または、レポート(ノート)、グラフのかき方についての説明がない。	【解説】 物質の性質及び物質の状態変化の様子についての観察、実験を行い、結果を分析して解釈し、物質の性質や溶解、状態変化について理解させるとともに、物質を調べるための実験器具の操作や、実験結果の記録の仕方やレポートの書き方などの技能を習得させること及び物質をその性質に基づいて分類したり分離したりする能力を育てることが主なねらいである。	B	A	A	B	A
	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	○環境保全に関する取扱い方	A Bの基準を満たし、持続可能な社会の構築のために生徒が日常生活の中で実践できる取組を複数紹介されている。 B 薬品廃棄処理、中和を利用した環境保全について意識的に記載されている。かつ、自然界のつり合いに人間の活動が影響を与えている事例が複数挙げられている。 C 廃液処理、中和を利用した環境保全について意識的には記載されていない。または、自然界のつり合いに人間の活動が影響を与えている事例が複数挙げられていない。	【解説】 人間の活動などが自然界のつり合いに影響を与えていることを理解させるとともに、自然環境を保全することの重要性を認識させることが主なねらいである。 【解説】 廃棄物の処理は生徒に環境への影響や環境保全の大切さを考えさせるよい機会となる。特に、薬品を廃棄する場合、例えば、酸やアルカリの廃液は中和してから多量の水で薄めながら流すなど適切な処理をする必要がある。一方、重金属イオンを含む廃液は放流することを禁じられているのでそのまま廃棄することはせず容器に集めるなど、適切な方法で回収保管し、最終処分は廃棄物処理業者に委託する。	A	A	B	A	C
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等	A Bの基準を満たし、学習内容と職業との関連付けを図った読み物等が記載されている。 B 学習内容と日常生活や社会との関連付けを図った読み物等が全ての単元で記載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていることに触れること。また、理科で学習することが様々な職業などと関係していることにも触れること。	A	A	A	B	A
	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い	○ものづくりの内容、数及び補充的な観察・実験の数	A Bの基準を満たし、全ての単元にもものづくり(単なる調べものは除く)が位置付けられている。 B 全ての章に補充的な観察・実験が位置づけられている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 原理や法則の理解を深めるためのものづくりを、各内容の特質に応じて適宜行うようにすること。	A	A	A	A	A
	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	○科学的に探究する活動の過程の示し方	A B基準の科学的に探究する活動の過程が全ての学年で示されている。 B 科学的に探究する活動の過程がまとめて示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 観察、実験、野外観察を重視するとともに、地域の環境や学校の実態を生かし、自然の事物・現象を科学的に探究する能力の基礎と態度の育成及び基本的な概念の形成が段階的に無理なく行えるようにすること。	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	大日本	学図	教出	啓林館
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧単元の配列の工夫	○単元の配列	A 1年の粒子分野において、単元配列が「気体」→「水溶液」→「状態変化」となっている。かつ、2年生のエネルギー分野において、単元配列が「電流の正体」→「電流と電圧」→「電流と磁界」となっている。 B 1年の粒子分野において、単元配列が「気体」→「水溶液」→「状態変化」となっている。または、2年生のエネルギー分野において、単元配列が「電流の正体」→「電流と電圧」→「電流と磁界」となっている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 事項の順序は、特に示す場合を除き、指導の順序を示すものではないので、学校においては、その取扱いについて適切な工夫を加えるものとする。 【総則解説】 学校においては、創意工夫を加え、地域や学校の実態及び生徒の発達の段階や特性を考慮し、系統的、発展的な指導が進められるよう指導内容を具体的に組織、配列することが必要である。	A	C	C	A	B
	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫	○「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い	A B基準の調べ学習のテーマ例の中に学習指導要領解説に記載されている内容が全て入っている。 B 環境問題について、調べ学習のテーマ例が紹介されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 科学技術の利用と環境保全に関わる事柄をテーマとして取り上げ、生徒に選択させるようにする。テーマとして、次のような例が考えられる。 ・新エネルギーの利用と環境への影響 ・原子力の利用とその課題 ・バイオ燃料の利用とその課題 ・環境保全と資源の利用	B	B	B	B	A
	⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	○補充的な問題及び発展的な学習の取扱い	A Bの基準を満たし、各章にも補充的な問題が設定されている。かつ、全ての単元に発展的な学習の内容が複数紹介されている。 B 全ての単元に補充的な問題が設定され、かつ、全ての単元に発展的な学習の内容が紹介されている。 C 全ての単元に補充的な問題が設定されていない。または、発展的な学習の内容が単元に位置づいていない。	【総則解説】 指導方法については、生徒の発達の段階や学習の実態などに配慮しながら、(中略)生徒の興味・関心や理解の状況に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導などを柔軟かつ多様に導入することが重要である。	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い	○単元の導入部分における写真や資料等の取扱い方及び巻頭・巻末の資料の内容	A Bの基準を満たし、巻頭・巻末資料において、広島県に関わる資料が紹介されている。 B 全ての学年の各単元の導入にその単元に関係する図や写真が掲載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則解説】 教科では、基礎的・基本的な知識・技能を習得しつつ、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する	B	B	B	A	A
《観点5》 言語活動 の充実	⑫観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫	○分析・解釈する視点の与え方とその具体例	A Bの基準を満たし、グラフの分析の視点を具体的に示されている。 B 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいのか、視点が示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 観察、実験などを行うに当たっては、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、 <u>思考力や表現力などを養うことが重要である。</u>	A	A	A	A	A
	⑬科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫	○レポート作成の示し方、話し合いや説明の活動を促す工夫	A Bの基準を満たし、レポートの書き方が全学年で示されている。 B レポートの例、話し合いや説明の場面が全学年で示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 課題解決のために探究する学習活動には、(中略)科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが考えられる。(中略)例えばレポートの作成、発表、討論など知識及び技能を活用する学習活動を工夫し充実を図る必要がある。	A	C	C	B	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑭科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○科学的な探究の流れにそった観察・実験の記述	A Bの基準を満たし、課題や観察・実験のねらいに対応した考察の内容となっている割合が全者の平均以上である。 B 章の最初に前の章の学習との関連性を意識した記述がある。 C Bの基準を満たしていない。	【目標】 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。	A	B	B	B	A
	⑮豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○生命に対する畏敬の念や生命を尊重する態度を培わせる記述	A Bの基準を満たし、3年生「生命の連続性」において、生命の連続性によって今の自分の存在があることを意識できるような記述がある。 B 2年生「動物の生活と生物の変遷」において、消化、吸収、排出、循環、感覚器官、運動のしくみの全てで生物のつくりや働きの精妙さを感じさせる補充的資料が掲載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 「生命」については、生物の飼育・栽培、生物や生命現象についての観察、実験などを通して、 <u>生物のつくりと働きの精妙さを認識させ、かけがえのない生命の尊さを感じさせるようにする。</u> このような体験を通して生命に対する畏敬の念や生命を尊重する態度を培うようにする。	A	A	A	A	B
	⑯高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○高い目的意識をもたせ、生徒自らの学びを促す場面の設定	A B基準の場面が全ての単元で複数設定されている。 B 意図的に学習した内容を活用して考えさせる場面が全ての単元に設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 「科学的な見方や考え方を養うこと」とは、自然を科学的に探究する能力や態度が育成され、自然についての理解を深めて知識を体系化し、いろいろな事象に対してそれらを総合的に活用できるようになることである。	A	B	C	C	C

種目【 音楽（一般） 】評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	A 題材の学習目標が明確に示されている。 B 題材の学習目標が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A
		○〔共通事項〕について記載	A 各学年の題材において、扱う〔共通事項〕が示されている。 B 題材において、扱う〔共通事項〕が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の要点】 キ この〔共通事項〕は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、 <u>表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫することとした。</u> 【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、 <u>表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫すること。</u>	B	A
	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	○歌唱の技能のうち、発声のポイントや身体の使い方等についての記載	A 発声のポイント等を扱ったページが、各学年に掲載されている。 B 発声のポイント等を扱ったページが掲載されている。 C 発声のポイント等を扱ったページが掲載されていない。	【目標】 〔第1学年〕 1 目標 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、 <u>基礎的な表現の技能を身に付け、</u> 創意工夫して表現する能力を育てる。 【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) イ <u>変声期について気付かせるとともに、変声期の生徒に対しては心理的な面についても配慮し、適切な声域と音量によって歌わせるようにすること。</u> (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	B	A
		○歌唱の技能のうち、我が国の伝統的な歌唱に関する記載	A 伝統的な歌唱が、複数学年において掲載されており、発声のポイントが示されている。 B 伝統的な歌唱が掲載されており、発声のポイントが示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) イ <u>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) イ <u>曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。</u>	B	A
		○歌唱共通教材の構成と扱う学年	A 全ての楽曲において、学習のポイントと楽曲の背景が示されている。 B 学習のポイントと楽曲の背景が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) ア 各学年の「A表現」の(4)のイの(ア)の歌唱教材については、以下の <u>共通教材の中から各学年に1曲以上を含めること。</u> 【内容】 〔第1学年〕及び〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (4) イ(ア) 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、 <u>我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</u>	A	B
③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	○創作の題材の取り上げ方と題材構成の扱い	A 「旋律づくり」及び「構成の工夫」の視点を関連付けた創作の活動が掲載されている。 B 「旋律づくり」及び「構成の工夫」を視点とした創作の活動が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (3) ア <u>言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (3) ア <u>言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</u>	A	B	

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	④様々な音楽文化についての理解を深める工夫	○我が国の音楽文化の取り上げ方	A 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材が各学年において、それぞれ掲載されているとともに、巻末の資料との関連付けがされている。 B 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材が各学年において、それぞれ掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の趣旨】 (ii) 改善の具体的事項 (エ) 我が国の伝統文化に関する学習を充実する観点から、和楽器については、簡単な曲の表現を通して、伝統音楽のよさを一層味わうことができるようにするとともに、我が国の伝統的な歌唱の指導も重視するようにする。 【音楽科改訂の要点】 (1) 目標の改善 「音楽文化についての理解を深め」ることを教科目標の中に規定した。 音楽科では、例えば、曲種に応じた発声や和楽器で表現すること、音楽をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞することなど、生徒が音楽文化について理解を深めていくことにつながる学習が行われる。	B	A
		○諸外国の音楽文化の取り上げ方	A 諸外国の音楽文化を扱った題材が、各学年において掲載されており、さらに我が国の音楽文化との関連について記載されている。 B 諸外国の音楽文化を扱った題材が、各学年において掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。		A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○巻末の合唱曲の扱い	A 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲が複数掲載されている。 B 巻末において、合唱曲が複数掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の趣旨】 (ii) 改善の具体的事項 (オ) 合唱や合奏など全員で一つの音楽をつくっていく体験を通して、表現したいイメージを伝え合ったり、協同する喜びを感じたりする指導を重視する。 【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	A	A
		○巻頭と巻末の資料の内容	A 全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られている。 B 巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られている。 C 巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られていない。		A	A
	⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫	○思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例	A 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が複数掲載されている。 B 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が掲載されている。 C 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が掲載されていない。	【解説】 音を音楽のよさや美しさなどの質的な世界を感じ取りながら思考・判断し表現する一連の過程を大切にしたい指導が必要となる。	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦教材の分量及び配列	○教材の配列とその具体例、目次に示された領域ごとの教材	A 各学年において、領域同士を関連させて、教材が配列されている。 B 領域同士を関連させて、教材が配列されている。 C Bの基準が満たされていない。		A	A
		⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習内容の記述とその具体例	A 学習指導要領の内容との関連を図った発展的な内容について記載されている。 B 発展的な内容について記載されている。 C 発展的な内容が記載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	B
《観点4》 内容の表現・表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容	A 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが、全ての領域において記載されている。 B 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが記載されている。 C 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが記載されていない。		A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点5》 言語活動の 充実	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫	○鑑賞の視点の提示の仕方とその具体例	A 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材が複数掲載されている。 B 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) ア <u>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) ア <u>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。</u>	A	A
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑪科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○表現と鑑賞の関連を図った学習活動	A 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数掲載されている。 B 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画作成上の配慮事項】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫する。 【解説】 〔共通事項〕をよりどころとして、表現と鑑賞の相互関連を図った題材の指導計画を作成したり、歌唱、器楽、創作の相互関連を図った題材の指導計画を作成したりすることも重要である。	B	A
	⑫豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○鑑賞における我が国の音楽文化の扱い	A 各学年の鑑賞の全ての題材において、楽曲の特徴を、その楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料が掲載されている。 B 各学年の鑑賞の題材において、楽曲の特徴を、その楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) イ <u>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) イ <u>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。</u>	B	B
		○鑑賞における諸外国の音楽文化の扱い	A 各学年において諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されている。 B 諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されている。 C 諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されていない。		A	B
	⑬高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○歌唱の学習展開の工夫	A 各学年の歌唱の題材において、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。 B 歌唱の題材において、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) ア <u>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。</u> ウ <u>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) ア <u>歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。</u> ウ <u>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。</u>	C	A

種目【 音楽：器楽合奏 】評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	A 題材の学習目標が明確に示されている。 B 題材の学習目標が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A
	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	○和楽器の取扱い方	A 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等が写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明されている。 B 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等が写真等を用いて説明されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ 楽器の特徴をとらえ、 <u>基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ 楽器の特徴を理解し、 <u>基礎的な奏法を生かして演奏すること。</u>	A	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	③興味・関心を高めるための工夫	○合奏のための教材	A 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が複数掲載されている。 B 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されている。 C 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (7) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア <u>生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにするなどコミュニケーションを図る指導を工夫すること。</u>	B	A
		○巻頭・巻末の内容	A 演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等が掲載されるとともに、巻頭にある内容と異なった多様な種類の内容が巻末に取り上げられている。 B 演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等が掲載されるとともに、巻頭にある内容が重複して巻末にも取り上げられている。 C Bの基準が満たされていない。		B	A
	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	○和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の具体例	A 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説が記載されるとともに、複数の練習曲及び関連する鑑賞教材が掲載されている。 B 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説が記載されるとともに、複数の練習曲が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、 <u>和楽器の指導については、3年間を通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること。</u> (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	B	A
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑤教材の分量及び配列	○教材の配列	A クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽やそれらの合奏曲が教材として掲載されている。 B クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽が教材として掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【解説】 「我が国及び諸外国の様々な音楽」は、 <u>我が国及び諸外国の芸術音楽、民族音楽、ポピュラー音楽など幅広くとらえることが大切である。</u> <u>小アンサンブルなどによる様々な編成を工夫して、生徒が表現したい方法や形態を選択して取り組むなど、生徒一人一人が個性を発揮し、主体的に活動することができるよう工夫することが大切である。</u>	A	B
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○写真の内容	A 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を様々な角度から撮影した複数の写真が掲載されているとともに、演奏家が演奏している写真が、巻頭・巻末に掲載されている。 B 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を様々な角度から撮影した複数の写真が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	A	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点4》 内容の表現・表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○イラスト等の活用	A 楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しが全ての楽器のページに掲載されている。 B 楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しが掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ <u>楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ <u>楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。</u>	B	B
《観点5》 言語活動の充実	⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫	○表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例	A 表現の工夫を伝え合う活動が複数掲載されている。 B 表現の工夫を伝え合う活動が掲載されている。 C 表現の工夫を伝え合う活動が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (7) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア <u>生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにするなどコミュニケーションを図る指導を工夫すること。</u>	B	A
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑧科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○器楽と鑑賞の関連について	A 鑑賞との関連を図った題材が複数掲載されている。 B 鑑賞との関連を図った題材が掲載されている。 C 鑑賞との関連を図った題材が掲載されていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 ウ <u>声部の役割と全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 ウ <u>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</u>	A	A
	⑨豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○和楽器において、その楽器の歴史的背景等についての記載	A 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景が複数記載されている。 B 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景が記載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、和楽器の指導については、 <u>3年間を通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること。</u>	A	A
	⑩高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○器楽と創作との関連	A 創作との関連を図った題材が複数掲載されている。 B 創作との関連を図った題材が掲載されている。 C 創作との関連を図った題材が掲載されていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(3) 創作 ア <u>言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(3) 創作 ア <u>言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</u>	A	A

種目【 美術 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					開隆堂	光村	日文
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○評価の4観点を踏まえた題材の目標(振り返り)の示し方及び課題意識のもたせ方	A 題材の目標(振り返り)が観点別に示された上で、課題意識をもたせる問いが示されている。 B 題材の目標(振り返り)が観点別に示されている。 C 題材の目標(振り返り)が観点別に示されていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	B	A	B
	②作品の理解を深めるための工夫	○制作手順の掲載(図・写真)	A 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されている。 B 絵、彫刻、デザイン、工芸の複数の領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されている。 C 絵、彫刻、デザイン、工芸の複数の領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されていない。	【内容】 第2学年及び第3学年 A表現(3) イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。 【解説】 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考え」とは、材料や用具、表現方法を効果的に活用するために、その特性などから制作の順序や見通しを考慮することである。	A	A	A
	③日本の美術文化に関する内容	○日本の伝統的な表現や技法による作品の掲載の仕方	A 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載され、比較できるような問いが記載されている。 B 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載されている。 C 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載されていない。	【内容】 第2学年及び第3学年 B鑑賞(1) ウ 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○表現への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	A 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文(～しよう。)とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されている題材の数が複数ある。 B 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文(～しよう。)とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されている。 C 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文(～しよう。)とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されていない。	【解説】 「A表現」は、主体的に描いたりつくったりする表現の幅広い活動を通して、発想や構想の能力と、創造的な技能を育成する領域である。 生徒の創造的な技能の伸長を図るには、表現活動の中で、生徒が自分のもっている力を発揮しながら表現方法を選択したり、試行錯誤しながら創意工夫したりする場面を意図的に位置付け、発想や構想の能力と、それを表現する技能とを関連付けながら指導することが重要である。	A	A	A
		○鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	A 原寸大で示すなど作品に興味をもたせるための鑑賞作品の提示の仕方が工夫されているとともに、比較できる作品等が同一題材に複数掲載されている。 B 原寸大で示すなど作品に興味をもたせるための鑑賞作品の提示の仕方が工夫されている。 C 作品に興味をもたせるような鑑賞作品の提示の仕方が工夫されていない。	【解説】 「B鑑賞」では、主体的な鑑賞の能力を高めることをねらいとしており、授業では漠然と鑑賞をするのではなく、教師が造形的な要素などの見る視点を与えることが大切である。 作品に対する生徒の興味・関心をより高めたり、いくつかの鑑賞の視点を設定したりしながら、できるだけ生徒自身の目や手、心や知で作品のよさや美しさを発見し鑑賞を深めていけるような配慮が必要である。	A	A	A
	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	○生活や社会における美術の働きを実感するための具体例の示し方	A 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示され、生活に生かすことを前提に自ら調べることを促す問いが設定されている。 B 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示されている。 C 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示されていない。	【解説】 鑑賞の対象を美術作品に限定せず、日用品を含む工芸品、動植物、風景、四季や自然現象など、自然や環境、生活に見られる造形をも対象に含めて幅広く考えることを示している。特に、自然や身の回りの造形に目を向けることは、生活の中の造形や美術の働きを感じ取る上でも重要である。	B	A	B
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥題材や資料等の配列	○題材の構成と分量	A 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合が1:1程度であり、題材の構成のバランスが極めて取れている。 B 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合の差が2割程度であり、題材の構成のバランスがおおむね取れている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。 (1) 第2の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互の関連を図るようにすること。	B	B	B
	⑦掲載している作品等の数	○〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品等の数	A 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が、「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載されている。 B 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品が掲載されている。 C 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品が掲載されていない。	【解説】 一人の作者の表現を形や色彩、技法などと主題の関係について根拠をもって理解し、その上で個性的な生き方や作者の残した言葉などから内面まで推し量り、鑑賞を深めることは意義深い。	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					開隆堂	光村	日文
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧折り込みページの 活用及び大型図版 の掲載	○見開き又は折り込みペー ジの大型図版の示し方	A 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かした作品提 示が工夫されている。 B 見開き又は折り込みページの大型図版が提示されている。 C 見開き又は折り込みページの大型図版が提示されていない。	【解説】 鑑賞作品については、 <u>実物と直接向かい合い</u> 、作品のもつよさや美しさを実感 をもってとらえさせることが理想であるが、 <u>それができない場合は、大きさや 材質感など実物に近い複製</u> 、 <u>作品の特徴がよく表されている印刷物</u> 、 <u>ビデオ</u> 、 <u>コン ピュータなどを使い</u> 、 <u>効果的に鑑賞指導を進めることが必要である。</u>	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑨言語を用いた発 想・構想の工夫	○発想・構想段階における話 合いや発表の事例	A 発想・構想のための話合いの視点が複数提示され、写真や図とともに段 階を追って解説されている。 B 発想・構想のための話合いの視点が複数提示されている。 C 発想・構想のための話合いの視点が提示されていない。	【解説】 形や色彩、材料などを、 <u>単に自己の感覚のままに用いるのではなく、他者に 対しても共感が得られるように、造形やその効果に対する客観的な見方やと らえ方の指導が必要になる。</u>	A	A	A
	⑩鑑賞の仕方の工夫	○言語活動を促す鑑賞の方 法の示し方及び具体例	A 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、〔共通事項〕を踏ま えて提示され、写真や図とともに解説されている。 B 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法が提示されている。 C 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法が提示されていない。	【解説】 「B鑑賞」では、 <u>作品などに対する思いや考えを話し合い、対象の見方や感 じ方を広げる場面で、漠然と作品を鑑賞するのではなく、〔共通事項〕の視点 から鑑賞することで、作品を構成している造形の要素や形や色彩などから生 じる感情や、特徴からとらえたイメージなどを基に話したり他の生徒の意見 を聞いたりするなどの学習活動が考えられる。</u>	A	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工 夫	⑪科学的・論理的な思 考力、的確な判断力 を育てるための工 夫	○同一テーマ内における多 様な表現方法・表現形式に よる作品の掲載	A 表現における同一テーマで、平面及び立体の作品がそれぞれ掲載されて いる題材が複数あり、多様な表現例としてコンピュータを用いた作品が掲 載されている。 B 表現における同一テーマで、平面及び立体の作品がそれぞれ掲載されて いる題材が複数ある。 C 表現における同一テーマで、平面及び立体の作品がそれぞれ掲載されて いる題材がない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 イ 美術の表現の可能性を広げるために、 <u>写真・ビデオ・コンピュータ等の 映像メディアの積極的な活用を図るようにすること。</u> ウ 日本及び諸外国の作品の独特な表現形式、漫画やイラストレーション、 図などの <u>多様な表現方法を活用できるようにすること。</u> 【解説】 多様な表現方法の活用 <u>生徒の表現の能力を一層豊かに育成するためには、ねらいや目的に応じて表 現方法を選択できるように、多様な表現方法を学習する機会を効果的に取り 入れる必要がある。</u>	A	A	A
	⑫豊かな人間性や社 会性を培い、我が国 の文化とともに多 文化を理解する態 度を育てるための 工夫	○美術文化や表現などに関 して日本と諸外国との違 いや影響について扱っ ている題材、コラム等の掲載	A 美術文化に関して、日本と諸外国の文化の関係を現代とのつながりで複 数ページにわたって解説が記載されている。 B 美術文化に関して、日本と諸外国の文化の関係が年表等で掲載されている。 C 美術文化に関して、日本と諸外国の文化の関係が掲載されていない。	【解説】 美術においては、 <u>古くからの美術作品や生活の中の様々な用具や造形などが 具体的な形として残されており、受け継がれてきたものを鑑賞することによ り、その国や時代に生きた人々の美意識や創造的な精神などを直接感じ取る ことができる。それらを踏まえて現代の美術や文化をとらえることにより、 文化の継承と創造の重要性を理解するとともに、美術を通じた国際理解にも つながることになる。</u>	B	A	B
	⑬高い目的意識をも って、自ら学ぼうと する姿勢・意欲を育 てるための工夫	○〔共通事項〕を踏まえ、美 術が環境に果たす役割を 理解する学習の目的に合 わせて自ら調べるための 資料等の掲載	A 心豊かな環境を考えて発想や構想をするなどのデザインの学習において、 自ら調べ、環境に果たすデザインの役割を考えさせる内容が複数記載されて いる。 B 心豊かな環境を考えて発想や構想をするなどのデザインの学習において、 自ら調べ、環境に果たすデザインの役割を考えさせる内容が記載されている。 C 心豊かな環境を考えて発想や構想をするなどのデザインの学習において、 自ら調べ、環境に果たすデザインの役割を考えさせる内容が記載されていな い。	【第2学年及び第3学年 目標(1)】 <u>主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を 創造していく意欲と態度を高める。</u> 【解説】 生徒や学校などの実態に応じて、 <u>身近な環境に目を向け、心安らぐ生活空間 を構成や装飾する視点や、人間も自然という大きな環境の中で生きているこ とを自覚し自然と共生していく視点に立って課題を発見し、心豊かな環境を 考えて発想や構想をするなどの学習を取り入れることも大切である。</u> 「目的や機能との調和のとれた洗練された美しさ」とは、 <u>生活の中にあるデ ザインや工芸などに見られる、機能性と調和のとれた洗練された美しさのこ とである。</u> <u>デザインなどの目的や機能をもった造形作品は、多くの場合、日常生活で幅 広く利用されるという意味で、社会的な広がりの中で営まれる表現活動であ る。</u>	A	A	A

種目【 保健体育 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	大日本	大修館	学研
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の提示，指導内容の体系化が図られた記載内容	A 単元の目標が示され，学校段階の接続に応じて指導内容を整理し，体系化が図られている記載がある。 B 単元の目標が示されている。 C 単元の目標が示されていない。	【解説】 発達の段階のまとまりを考慮し，小学校，中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ること。	A	B	B	A
	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	○健康・安全に関する科学的な理解を図るための資料等への補足説明の内容	A 資料等の補足資料に説明が付され，さらにポイントとなる箇所に吹き出しなどで説明を加えている。 B 資料等の補足資料に説明が付されている。 C 資料等の補足資料に説明がない。	【解説】 抽象的な思考なども可能になるという発達の段階を踏まえて，心身の健康の保持増進に関する基礎的・基本的な内容について科学的に思考し，理解できるようにする。	A	B	A	B
	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○基本用語の取扱いと学習の振り返り	A 習得すべき基本用語の解説が具体的に示され，学習の振り返りができるよう問題等が記載されている。 B 習得すべき基本用語の解説が具体的に示されている。 C 習得すべき基本用語の解説が示されていない。	【解説】 心身の健康の保持増進にかかわる資質や能力を育成するため，基礎的・基本的な知識の暗記や再現にとどまらず，知識を活用する学習活動によって思考力・判断力などの資質や能力が育成されるよう，実習や実験などの指導方法の工夫を行うこと。	A	B	C	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める読み物の取扱い	A 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について，文章や図，表等と関連させた読み物が掲載されている。 B 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について記載されている。 C 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について記載されていない。	【学びのイノベーション事業実証研究報告書】 画像や動画など，視覚的でわかりやすい教材を活用しながら説明することで，児童生徒の学習に対する興味・関心を喚起し，意欲的に学習に取り組むことができた。	A	A	A	A
	⑤体験的な学習を実施するための工夫	○実習や調査を実施するための資料の取扱い数	A すべての大単元に，実習・調査のいずれかの事例が掲載され，事例数が全者中最も多い。 B すべての大単元に，実習・調査のいずれかの事例が掲載されている。 C 実習・調査のいずれかの事例が，大単元に掲載されていない場合がある。	【解説】 知識を活用する学習活動によって思考力・判断力などの資質や能力が育成されるよう，実習や実験などの指導方法の工夫を行うこと。 【内容の取扱い】 保健分野の指導に際しては，知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。その指導に当たっては，事例などを用いたディスカッション，ブレインストーミング，心肺蘇生法などの実習，実験，課題学習などを取り入れること。	B	C	C	A
	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	○実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例	A すべての大単元で，図や表，挿絵等を用いた知識を活用するための課題等が示されている。 B すべての大単元で，知識を活用するための課題等が示されている。 C 大単元に，知識を活用するための課題等が示されていない場合がある。	【目標】 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り，明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 【解説】 現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるよう，自らの健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力などの資質や能力を育成することを目指している。	A	B	B	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元・題材や資料等の配列	○各単元における項目の系統的な構成及び1時間の授業の流れの例示	A 単元が系統的に示されており，1時間の授業の流れが示されている。 B 単元が系統的に示されている。 C 単元が系統的に示されていない。	【解説】 発達の段階のまとまりを考慮し，小学校，中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ること。 【指導計画の作成】 保健体育科の目標を達成するためには，学習指導を計画的に，しかも効率よく展開する必要がある。	A	A	A	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫	○発展的な学習の設定	A すべての大単元で，本編と関連させた発展的な内容が記載されている。 B 本編と関連させた発展的な内容が記載されている。 C 本編と関連させた発展的な内容が記載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては，生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう，学校や生徒の実態に応じ，個別指導やグループ別指導，繰り返し指導，学習内容の習熟の程度に応じた指導，生徒の興味・関心等に応じた課題学習，補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導，教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し，個に応じた指導の充実を図ること。	A	B	A	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	大日本	大修館	学研	
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	○課題提示の場面でのイラスト・写真の示し方、マーク等の活用	A 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真、図表が掲載されている。 B 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真が掲載されている。 C 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真が掲載されていない。	【学びのイノベーション事業実証研究報告書】 画像や動画など、視覚的でわかりやすい教材を活用しながら説明することで、児童生徒の学習に対する興味・関心を喚起し、意欲的に学習に取り組むことができた。	A	B	A	A	
	《観点5》 言語活動の 充実	⑩自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫	○知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり、話したりする学習方法の記載及び取扱い数	A ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例が複数記載されるとともに、言語活動を充実させる資料や学習シートが掲載されている。 B ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例が1単元に1つ程度記載されている。 C ディスカッション等の学習方法が記載されておらず、言語活動に係る学習活動についての事例が1単元に1つ程度記載されていない。	【総則】 生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない。	A	C	B	A
	《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○ロールプレイング等生徒が意志決定を行う学習内容の取扱い数	A 習得した知識を実習等で活用できる内容が全者の平均以上あり、多くの場面で実践力を育てるよう工夫されている。 B 習得した知識を実習等で活用できる内容がある。 C 習得した知識を実習等で活用できる内容がない。	【内容の取扱い】 指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレインストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること、	B	B	B	A
⑫豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫		○国際的なスポーツについての内容の掲載	A 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載され、本文以外にも理解させる資料が掲載されている。 B 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載されている。 C 国際的にスポーツが果たす文化的な意義について掲載されていない。	【解説】 現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきていること、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割が重要になってきていること、文化としてのスポーツが人々を結びつける重要な役割を担っていることなどを中心として構成している。	B	A	B	A	
⑬高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫		○高い目的意識をもたせ、生徒自らの学びを促す場面の設定	A 全ての単元の終わりに、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されている。 B 単元の終わりに、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されている。 C 単元の終わりに、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されていない。	【解説】 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	A	B	B	A	

種目【 技術・家庭（技術分野） 】評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における 目標の示し方	○目標の示し方	A 各内容や項目において「目標」を示し、かつ内容に関する写真やイラストが示されている。 B 各内容の項目において「目標」が示されている。 C 各内容や項目において「目標」が示されていない。	【解説】 (3) 題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。	A	C	A
	②伝統と文化に関する 内容の記述	○伝統と文化に関する内容 の示し方及び具体例	A 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されており、かつ伝統と文化に関するマークで示されている。 B 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されている。 C 伝統と文化に関する内容について、具体例が挙げられていない。	【解説】 2 技術分野の内容 A (1) ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること。 伝統的な製品や建築物などに見られる緻密な加工や仕上げの技術など、我が国の生活や産業にかかわるものづくりの技術を取り上げ、これらが我が国の文化や伝統を支えてきたことについても気付かせるよう指導する。	A	B	B
	③学習のまとめの構成 上の工夫	○学習のまとめの示し方、 設定の仕方	A 各内容の章末に学習のまとめの活動を示し、かつ学習のまとめごと振り返りが示されている。 B 各内容の章末に学習のまとめの活動が示されている。 C 各内容の章末で学習のまとめの活動が示されていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	B	A
《観点2》 主体的に学習 に取り組む工夫	④興味・関心を高める ための工夫	○興味・関心を高める記載 の仕方とその具体例	A 学習項目ごとに、学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されている。 B 学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されている。 C 学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されていない。	【解説】 (2) 問題解決的な学習の充実 問題解決能力とは、課題を解決するに至るまでに段階的にかかわる能力をすべて含んだものであり、課題に対して様々な角度から考える思考力、その思考力を総合して解決を図る判断力、判断した結果を的確に創造的に示すことのできる表現力等があげられる。これらの能力の育成には、生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行うことが大切である。	A	B	A
	⑤実践的・体験的な 学習を実施する ための工夫	○実践的・体験的な学習の 実習事例及び事例数	A 実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において豊富に挙げられている。 B 実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において複数挙げられている。 C 実践的・体験的な学習の実習事例が挙げられていない。	【解説】 第1節 技術・家庭科の目標 具体的な指導に当たっては、生徒自らが生活に関心をもち、実践的・体験的な学習活動を通して獲得した知識と技術が、生活の自立につながるよう学習活動を組み立てることが重要である。	A	B	A
	⑥技術を適切に評価 し活用すること に関する内容の記述	○評価・活用に関する内容 構成及び考えさせるための 問いの例の記述や資料 の掲載	A エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例が挙げられている。また、学習内容に関して、参考となる内容や資料等が掲載されている。 B エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例が挙げられている。 C エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げられていない。	【解説】 第1章 総説 2 技術・家庭科改訂の趣旨 (i) 改善の基本方針 (イ) 持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。また情報通信ネットワークや製品の安全性に関するトラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。	A	A	A
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦題材の配列	○学習内容の構成とページ 数及び指導事項との関連	A 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくされている。 B 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。 C 学習内容が指導事項に対応しておらず、指導する内容や項目に適した分量で構成されていない。	【解説】 (2) 各分野の各項目に配当する授業時数及び履修学年 技術分野及び家庭分野の各項目に配当する授業時数と履修学年については、各分野の内容AからDの各項目に適切な授業時数を配当するとともに、3学年間を見通して履修学年や指導内容を適切に配列する。	A	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例	A 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されており、かつ複数の内容でマークが示されている。 B 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されている。 C 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	B	A	B
	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用	○学習内容と関連したマークの種類及び扱い方	A 他の内容との関連がマークで示されており、かつ小学校や他教科との関連についてもマークで示されている。 B 他の内容との関連がマークで示されている。 C 他の内容との関連がマークで示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 各項目及び項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、 <u>小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。</u>	A	B	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○表現・発表する学習活動の具体例	A 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されており、かつ制作品の評価・修正について示されている。 B 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されている。 C 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されていない。	【解説】 D (2) ア メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計ができること。 この学習では、 <u>設計する際には、自分の考えを整理するとともに、よりよいアイデアが生み出せるよう、作品全体の構造や画面構成の図(アイデアスケッチ)、制作工程表などを適切に用いることについて指導する。</u>	A	B	A
	⑪言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫	○構想したことをまとめたり、検討したりする具体例	A 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が複数示されている。 B 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が示されている。 C 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が示されていない。	【解説】 4 言語活動の充実 技術・家庭科の特性を踏まえ、生活における課題を解決するために、言葉だけでなく、 <u>設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。</u>	A	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例	A 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例が示されている。 B 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例が示されている。 C 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例が示されていない。	【目標】 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、 <u>進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</u>	A	B	A
	⑬豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載	A 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が複数掲載されている。 B 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されている。 C 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されていない。	【解説】 D (1) ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、 <u>情報モラルについて考えること。</u> 情報通信ネットワークにおいて知的財産を保護する必要性を知ることができるようにする。その上で、情報通信ネットワーク上のルールやマナーの遵守、危険の回避、人権侵害の防止等、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を育成する。	A	B	A
	⑭高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢、意欲を育てるための工夫	○学習の内容を深めたり広げたりしていくための資料の掲載や問いの記述	A 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等が掲載されている。また、考えさせる問いが挙げられている。 B 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等が掲載されている。 C 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等が掲載されていない。	【解説】 1 技術分野の目標 「技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる」とは、技術分野の学習を通して身に付けた基礎的・基本的な知識及び技術、さらには、技術と社会や環境とのかかわりについての理解に基づき、 <u>技術の在り方や活用の仕方などに対して客観的に判断・評価し、主体的に活用できるようにすることを示している。</u>	B	C	A

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における 目標の示し方	○目標の示し方とその具体 例	A 項目ごとに「目標」を設定するとともに、学習活動を促すた めの吹き出しによる問いかけが示されている。 B 項目ごとに「目標」が設定されている。 C 項目ごとに「目標」が設定されていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従 い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や 特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教 育を行うものとする。	A	B	A
	②伝統と文化に関す る内容の記述	○伝統と文化に関する内容 の示し方及び具体例	A 各内容において、伝統や文化に関する具体例が、複数掲載さ れている。 B 伝統や文化に関する具体例が、掲載されている。 C 伝統や文化に関する具体例が、掲載されていない。	【内容の取扱い】 (2) ウ また、地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。 (3) ア (1) のアについては、 <u>和服の基本的な着装を扱うこともできること。</u>	A	B	A
	③持続可能な社会に 関する内容の記述	○持続可能な社会に関する 内容の扱い方	A 各内容において、持続可能な社会に関わる内容が、具体的に 示されている。 B 循環型社会に関わる内容が具体的に示されている。 C 循環型社会に関わる内容を具体的に示されていない。	【解説】 (i) 改善の基本方針 (イ) <u>持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネ ルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。また情報通信ネットワークや製品の安全性に関するト ラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。</u>	B	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高め るための工夫	○ガイダンスの構成、吹き 出し等の興味・関心を高 めるための工夫	A ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が示され、学習活動を促すよう記載されている。 B ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が記載されている。 C ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が記載されていない。	【解説】 技術・家庭科の指導を体系的に行う視点から、両分野ともに、小学校での学習を踏まえ中学校での <u>3 学年間の学習の見通しを立たせるガイダンス的な内容を設定し、第1学年の各分野の最初に履修させ ることとした。</u>	A	A	A
	⑤実践的・体験的な 学習を実施するた めの工夫	○実践的・体験的な学習の 具体例	A 実践的・体験的な学習の実習事例が複数記載され、生徒が目 的をもって調理や製作ができる見出しが示されている。 B 実践的・体験的な学習の実習事例が記載されている。 C 実践的・体験的な学習の実習事例が記載されていない。	【目標】 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識 及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を もって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。	A	B	A
	⑥学習を振り返り、 生活に生かすため の構成上の工夫	○振り返りの示し方及び設 定の仕方	A 章末における学習のまとめの活動を設定するとともに、巻末 において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹 介するなど、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容が 示されている。 B 章末における学習のまとめの活動を設定し、生活に生かす実 践的な内容が示されている。 C 章末における学習のまとめの活動が設定されていない。	【解説】 (2) 問題解決的な学習の充実 学習の進め方として、 <u>計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程</u> を適切に組み立て、生徒が段階 を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。 (4) 学習指導と評価 学習指導を進めるに当たっては、技術・家庭科の特質を生かした実践的・体験的な学習活動や問題解 決的な学習を通して、基礎的・基本的な <u>内容の確実な定着と個性を生かす教育の充実という視点から 改善を図ることが必要である。</u>	A	B	A
⑦問題解決的な学習 活動の工夫	○「生活の課題と実践」に おける学習の進め方及び 実践事例	A 問題解決的な学習の進め方及び各内容において、複数の実践 事例が記載されている。 B 問題解決的な学習の進め方及び実践例が記載されている。 C 問題解決的な学習の進め方及び実践例が記載されていない。	【解説】 (2) 問題解決的な学習の充実 これらの能力の育成には、 <u>生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追 究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返す行いが大切である。</u> そのためには、 <u>学習の進め方として、計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立 て、生徒が段階を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。</u>	B	B	A	

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	A 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されるとともに、D内容の関連を図りながら学習が展開されている。 B 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。 C 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されていない。	【解説】 (3) 題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な <u>関連を図り</u> 、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。	A	A	A
	⑨発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び具体例	A 発展的な学習内容を、発展的な内容であることを示すマークを付して複数示されている。 B 発展的な学習内容を、発展的な内容であることを示すマークを付して示されている。 C 発展的な学習内容が示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (3) 各項目及び各項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、 <u>小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。</u>	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用	○学習内容と関連した記述・資料等の示し方及び具体例	A 他の内容との関連や他教科、小学校との関連が示されている。 B 他の内容との関連が示されている。 C 他の内容との関連が示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (3) 各項目及び各項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、 <u>小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。</u>	A	B	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例	A 各内容において、実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されている。 B 実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されている。 C 実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 4 各分野の指導については、衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。 【解説】 技術・家庭科においても、国語科で培った能力を基本に、知的活動の基盤という言語の役割の観点から、 <u>実習等の結果を整理し考察するといった学習活動を充実する必要がある。</u>	A	A	A
	⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫	○まとめと発表の仕方の示し方及び具体例	A まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されるとともに、言語活動の充実を図るための内容が記載されている。 B まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されている。 C まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されていない。	【解説】 技術・家庭科の特性を踏まえ、生活における課題を解決するために、言葉だけでなく、 <u>設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。</u>	B	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○生活に必要な判断力を育てる記載	A D内容以外でも、意思決定のプロセスに関する記載がある。 B 意思決定のプロセスに関する記載がある。 C 意思決定のプロセスに関する記載がない。	【内容】 D 身近な消費生活と環境 (1) イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。 【解説】 生活に必要な物資・サービスの選択、購入に当たっては、 <u>本当に必要かどうかの判断が大切である</u> あることに気付くようにし、多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し、物品・サービスの適切な選択ができるようにする。	A	B	B
	⑭豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○家庭生活と地域の人々との関わりについての学習の事例	A 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例やロールプレイングが掲載されている。 B 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例が記載されている。 C 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例が記載されていない。	【内容】 A 家族・家庭と子どもの成長 (2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。 ア 家庭や家族の基本的な機能と、 <u>家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。</u> 【内容の取扱い】 ア (1)、(2)及び(3)については、相互に関連を図り、実習や観察、 <u>ロールプレイング</u> などの学習活動を中心とするよう留意すること。 イ (2)のアについては、 <u>高齢者などの地域の人々とのかかわりについても触れるよう留意すること。</u>	A	A	A
	⑮高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○学習を深化・発展へとつなげる内容の記載	A 学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容が記載されている。 B 学習を深める内容が記載されている。 C 学習を深める内容が記載されていない。	【解説】 生徒の生活の実態を把握し、 <u>基礎的なものから応用的なものへ、簡単なものから難しいものへと内容を発展させ、無理なく学習が進められるよう配慮して、学習の充実感が味わえるようにすることが重要である。</u>	B	B	A

種目【 英語 】 評価表

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○目標の表記の仕方	A Bの基準を満たし、学習の目指す姿が具体的に示されている。 B 単元の導入において、「ねらい」が示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	B	B	A	A
	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	○基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動の設定数のバランス ○1年生導入期の「話す」「聞く」言語活動の設定	A Bの基準を満たし、2・3年生の4技能のバランスがとれている。 B 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生導入期に「話す」「聞く」活動が設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 中学校段階では、「聞くこと」、「話すこと」に加え、「読むこと」、「書くこと」を明示することで、小学校における外国語活動ではぐくまれた素地の上に、これらの四つの技能をバランスよく育成することの必要性を強調したわけである。	B	B	B	B	A	A
	③言語に対する理解を深めるための工夫	○関連ある文法事項のまとめの扱い方	A Bの基準を満たし、関連ある文法事項をまとめるだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等が示されている。 B 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴が、整理されている。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 (4) 言語材料の取扱い エ 英語の特質を理解させるために、関連のある文法事項はまとまりをもって整理するなど、効果的な指導ができるように工夫すること。	A	A	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定	A Bの基準を満たし、発展的な課題が設定されている。 B 日常のコミュニケーションにおける特定の場面が設定されている。 C 日常のコミュニケーションにおける特定の場面が設定されていない。	【解説】 (2) 言語活動の取扱い (イ) 日常のコミュニケーションにおいては、特定の場面や状況にふさわしい表現があり、言語活動の指導に当たっては、 <u>具体的で分かりやすい場面や状況にふさわしいものを示しておくことが必要である。</u>	A	A	B	B	A	A
	⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫	○ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツの設定	A Bの基準を満たし、会話に役立つ表現を取り上げるコンテンツを設定している。 B ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツが設定されている。 C ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツが設定されていない。	【解説】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 キ 学習形態の工夫としては、ペアワークやグループワークが挙げられているが、生徒一人一人の活動が行いやすいという利点を生かして、これらの形態を適宜取り入れながら、 <u>効果的な授業が展開</u> できるようにする必要がある。	B	B	B	B	A	B
	⑥問題解決的な学習に関する内容構成	○問題解決的な学習の設定 ○他教科等と関連させた教材選定	A Bの基準を満たし、他教科等と関連させた教材が選定されている。 B 問題解決的な学習が設定されている。 C 問題解決的な学習が設定されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2) 教材選定の観点 ア 多様なものの見方や考え方を理解し、 <u>公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。</u> 【総則】 (2) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。	B	B	B	B	B	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦言語材料の配列	○文法事項の段階的な配列	A 2年生で「受け身」が初出として扱われ、3年生においても、「受け身」を扱う単元が設定されている。 B 3年生の最初の単元で「受け身」が初出として扱われている。 C 3年生の2つ目以降の単元で「受け身」が初出として扱われている。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 イ 2の(3)の言語材料については、 <u>学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すること。</u> 【解説】 (2) 言語活動の取扱い イ 外国語科では、授業時数が(中略)、外国語科の指導においては、第2学年においては第1学年での学習内容を、第3学年においては第1学年及び第2学年での学習内容を、 <u>言語活動の中で繰り返し学習すること</u> で、言語材料の定着を図るとともに、それらを実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動において活用させることが重要であるためであり、指導に当たっては、特にこれらの点に留意することが必要である。	B	A	B	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑧ 題材の内容構成と分量	○ 3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	A 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材が扱われている。 B 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学のうち、扱われていない分野がある。(4つ以内) C 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学のうち、扱われていない分野が5つ以上ある。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2) 教材選定の観点 英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし、次の観点に配慮する必要がある。	A	A	A	A	A	A
	⑨ 小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	○ 1年生導入期における題材の構成	A Bの基準を満たし、第1学年導入期にAからZの全てに関する発音と綴りの関係が扱われている。 B あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話が扱われている。 C 上記の内容で扱われていないものがある。	【内容】 (4) 言語材料の取扱い ア 発音と綴りとを関連付けて指導すること。 【解説】 小学校における外国語活動では、音声を中心に慣れ親しみ、それを受けて中学校では文字を通じた学習が始まることから、音声と文字の関係に触れた学習をすることが適切であることを示したものである。	A	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑩ 巻末等資料の工夫	○ 語彙リストにおける表記の仕方	A 様々な品詞が扱われ、参考になる用例が示されている。 B 様々な品詞が扱われている。 C 様々な品詞が扱われていない。	【解説】 (3) 言語材料 ウ 語、連語及び慣用表現 言語の使用場面や言語の働きなどを考慮して、よく用いられるものを取り上げるとともに、特に今回の改定で新たに明示されたように、言語活動などにおいて活用することを通して定着を図るようにすることが極めて重要である。	B	B	B	A	B	A
	⑪ 学習到達目標の設定	○ 学習到達目標の設定の仕方	A 3年間を通じた学習到達目標が設定されている。 B 学年ごとの学習到達目標が設定されている。 C 学習到達目標が設定されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 ア 各学校においては、生徒や地域の実態に応じて、学年ごとの目標を適切に定め、3年間を通して英語の目標の実現を図るようにすること。	B	A	B	B	A	B
《観点5》 言語活動の充実	⑫ 4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	○ 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおける言語活動の設定の仕方	A 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動が全て設定されている。 B 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動がほとんど設定されている。 C 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動がほとんど設定されていない。	【解説】 ③ 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ③は、外国語によるコミュニケーション能力の育成を掲げたものであるが、これを最後におくことによって、最重要事項であることを強調している。併せて、4技能の総合的な育成という改善の基本方針も盛り込んだ記述としている。	A	A	B	B	B	B
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬ 科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫	○ 3年生における読みの意見や問いの設問、文章構成を意識させる設問の設定の仕方	A 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問があり、読み物教材において、文章構成を意識させる設問がある。 B 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 C 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がない。	【解説】 (1) 言語活動 ウ 読むこと(ウ) 物語や説明文などは文章としてある程度の長さを持ち、まとまった内容を伝えようとするものである。この指導事項においては、一語一語の意味や一文一文の解釈など、内容の特定部分にのみとらわれたりすることなく、書き手の伝えようとすることを正確に読み取ることが示している。 【内容】 (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりすることができるよう、書かれた内容や考え方をとらえること。	A	B	A	B	A	B
	⑭ 豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫	○ 3年生における、自分の意見を整理し、筋道立てて表現するための課題の設定の仕方	A Bの基準を満たし、ディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 B 自分の意見を整理し、筋道立てて表現するための課題がある。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 (1) 言語活動 イ 話すこと(ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること 【解説】 「問答したり」とは、聞いたり読んだりなどした事柄について、理解を確実にしたり考えを深めたりするために、互いに分からない点や確かめたい点などを尋ねたり、答えたりすることを意味する。(中略) また、「意見を述べ合ったり」とは、生徒が単に聞いたり読んだりしたことなどを理解することにとどまらず、理解したことについて自らの感想や考えを伝え合うことである。 【内容】 (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること 【解説】 与えられたテーマについて、自分の意見や主張を聴き手に対して分かりやすく話すという活動を示している。	A	B	A	A	A	A
	⑮ 高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫	○ 学習到達目標の設定や教科書で学習した語句・文法事項などを、さらに発展的に活用する教材の設定の仕方	A Bの基準を満たし、教科書で学習した語句・文法事項などを、さらに発展的に活用する教材がある。 B 生徒自らが自主的に学ぶための学習到達目標が設定されている。 C 学習到達目標が設定されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	B	B	B	B	A	B

令和 2 年度県立三次中学校において使用する教科用図書
（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料 3 - 1	令和 2 年度に県立三次中学校で使用する中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定について……………	1
資料 3 - 2	令和 2 年度：教科書の選定結果（三次中学校）……………	2
資料 3 - 3	令和 2 年度：教科書の選定理由（三次中学校）……………	3
資料 3 - 4	令和 2 年度：教科書の選定の観点及び視点（三次中学校）……………	10
資料 3 - 5	令和 2 年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由 ……………	15
資料 3 - 6	教科書の特色（三次中学校）……………	44
資料 3 - 7	評価表（三次中学校）〔A 3 判 別冊〕	

令和 2 年度に県立三次中学校で使用する中学校用教科用図書
 (「特別の教科 道徳」を除く) の選定について

教育目標等

【教育目標及び育てたい生徒像】

「知」・「徳」・「体」・「志」・「美」の調和のとれた人格を形成し、地域から信頼され敬愛される学校

「知」 知性，探究心，創造性に溢れ，主体的に学ぶ人物

「徳」 人間の多様性を尊重し，真理と正義を愛する徳性の高い人物

「体」 心身ともに健康にして，忍耐力のある，逞しい人物

「志」 地球規模の視野で，他者と協働して人類の発展に貢献しようとする高い志をもつ，挑戦心溢れる人物

「美」 伝統ある本校の生徒であることに誇りをもち，美しい言葉・姿勢を備えた，情操豊かな人物

選定資料を参考に十分な調査・研究を行う

教科書選定の観点

観点 1 基礎・基本の定着

観点 2 主体的に学習に取り組む工夫

観点 3 内容の構成・配列・分量

観点 4 内容の表現・表記

観点 5 言語活動の充実

観点 6 学校の特色を生かす工夫

各教科の学習を通して「知」・「徳」・
「体」・「志」・「美」の調和のとれた人格
を形成するための視点を設定

<視点>

- 1 知性，探究心，創造性，逞しさを育むための工夫
- 2 人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫
- 3 伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫

視点ごとに評価し，総合的に判断する。

別紙 1

令和 2 年度：教科書の選定結果（三次中学校）

種目	教科書	発 行 者		書 名
		番 号	略 称	
国	語	38	光村	国語
書	写	17	教出	中学書写
社会（地理的分野）		116	日文	中学社会 地理的分野
社会（歴史的分野）		2	東書	新しい社会 歴史
社会（公民的分野）		2	東書	新しい社会 公民
地	図	46	帝国	中学校社会科地図
数	学	11	学図	中学校数学
理	科	2	東書	新編 新しい科学
音 楽（一般）		27	教芸	教育芸術社
音 楽（器楽合奏）		27	教芸	教育芸術社
美	術	38	光村	美術
保 健 体 育		224	学研	新・中学保健体育
技 術 ・ 家 庭 （技術分野）		9	開隆堂	技術・家庭（技術分野）
技 術 ・ 家 庭 （家庭分野）		9	開隆堂	技術・家庭（家庭分野）
英	語	17	教出	ONE WORLD English Course

別紙 2

令和 2 年度：教科書の選定理由（三次中学校）

種 目	発行者	選 定 理 由
国 語	光村	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，教材ごとに目標を示すだけでなく，目次等において領域別教材一覧を掲載し，指導事項に基づいた付けたい力を示しており，生徒がその教材でどのような力を身に付ければよいかを理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，生徒の興味・関心を高めるための工夫として，例えば，「書くこと」の学習において，身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例が複数示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，創造性を育むことにつながる，創作文や意見文などの感じたことや考えたことを書く活動が扱われている教材が巻末資料に掲載されているとともに，書く際に活用できる言葉が種類別に掲載されている。また，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせることにつながる，人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材が，全ての学年に掲載されている。</p>
書 写	教出	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。姿勢，執筆法，用具の扱いを示す際には，毛筆や硬筆以外にもボールペンの持ち方を示すなど工夫されている。また，硬筆の記入欄が全ての学年に掲載されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，興味・関心を高めるためのコラムや資料が充実しているだけでなく，学習活動の「振り返り」も充実しており，大単元だけでなく，全ての小単元においても「振り返り」の観点が示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，知性を育むことにつながる，文字や書に対する深い理解を促す視点が掲載されているとともに，全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点が示されている。</p>

<p>社会（地理的分野）</p>	<p>日文</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，学習内容を習得させるまとめの問いかけに加えて，獲得した知識を活用して考察する課題を示すことで，基礎的・基本的な内容の習得とともに生徒の発展的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，「身近な地域の調査」の学習において，課題の設定，調査，考察，まとめ・振り返りの全ての過程に，具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示し，生徒が主体的に学習を進められよう工夫されている。特に，まとめの過程では，レポートによるまとめ例を掲載し，生徒に最終的なまとめのイメージを描かせるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす観点では，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるために，「身近な地域の調査」において，レポートを作成した後に，「私たちにできることを考えよう」という特設ページを設けて，自分たちの課題として地域の課題を捉え，解決に向けて自分たちが実践できることを考察させるよう工夫されている。こうした学習活動を通して，地域社会の参画を促すことができると考える。</p>
<p>社会（歴史的分野）</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，発展的な学習に活用できる資料として「深めよう」を各大項目に掲載し，生活と関連付けて考察する問いを記載し，歴史に対する興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，各大項目に「私たち歴史探検隊」を掲載し，その中で学習テーマの設定，調査，まとめ，考察の過程と，それぞれの問題解決の過程に留意点や具体例を示し，生徒が主体的に「身近な地域の歴史を調べる」活動に取り組むよう工夫されている。また，広島県を取り上げた事例を豊富に掲載し，生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。言語活動の充実の観点では，マッピング，比較表，新聞，年表，プレゼンテーションソフト等の多様なまとめ方を掲載し，習得した知識を様々な視点で考察しながら時代の特色を捉えるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，探究心・創造性を育むために，全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されているとともに，探究的な活動を促す問いが示されている。具体的には，「近世の日本」の単元末に，室町時代の文化の中に現在に結びつくものがあることに気付かせるため，衣食住についての資料を掲載し，身近な生活の中に，室町時代から続いているものを探すことを促す問いが示されている。</p>

社会（公民的分野）	東書	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，学校生活における身近な事例や社会生活に見られる具体的な事例が豊富であるとともに，現代社会を捉える見方や考え方を確実に身に付けさせるため，合意形成のプロセスにおいて，他者と協働することで新たな考えを生み出すための手立てや考え方が明確に示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，課題を解決する学習の内容が豊富であるとともに，それぞれの学習過程において，主体的な学びを促す手順や留意点が明確に示されている。さらに，広島県に関する写真やグラフ等が豊富であるとともに，広島県の事象をもとに，調査，考察する方法や具体例が掲載され，生徒の興味・関心を高め，課題意識をもって主体的に学習に取り組むよう工夫されている。また，多面的・多角的に考察させるための多様な手法もバランスよく示されている。</p> <p>学校の特色を生かす観点では，知性，探究心，創造性，逞しさを育むために，全ての単元末に発展的な事例が掲載されるとともに，探究的な活動を促す問いが示されている。具体的には，「東日本大震災からの復興と防災」として，仙台市の取組を取り上げ，防災や減災のために自分たちにできることはないかを考えるように促す問いが示されており，知性，探究心，創造性等を育むことに有効である。</p>
地 図	帝国	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点で全般的に優れている。特に，資料がめあてとともに掲載されるなど，興味・関心をもって地理的事象を考察するよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，地図の読み取りの視点や学習課題を示した「地図をみる目」，「やってみよう」が豊富に掲載され，主体的に地図帳を活用して学習に取り組むよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，世界各地の人々の生活と環境において，環境問題に関する資料と探究的な活動を促す問いが示されており，探究的な学習に取り組むように工夫されている。</p>
数 学	学図	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，巻末資料に生徒が使用できる具体物があり，それらを活用して指導することは基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために有効である。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，計算問題で計算の仕方を説明させる場面が設定されている。また，単元の内容を利用・活用する問題でも理由を説明させる場面が設定され，問題解決に向けて協働的に取り組ませることができるよう工夫されている。言語活動の充実の観点では，各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり，単元の中にもその記述がある。ノートのかき方を示すことで，生徒に考えを筋道立てて整理する方法を理解させることができるだけでなく，説明する活動にも利用させることができる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，証明の構想や方針等について考える内容が充実しており，数学的な推論の必要性和意味を実感させることに有効である。また，他者と協働する力を育てるための工夫として，事柄の本質を明らかにすることを促し，考えたことを数学的な表現を用いて説明し伝え合う場面が設けられている。</p>

理 科	東書	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量の観点において，全般的に優れている。特に，各単元末において，基本的な用語が多数掲載されており，かつ簡潔にまとめられ，基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるようになっている。加えて，環境マップの作成や実習テーマ例の紹介など，持続可能な社会の構築のために生徒が日常生活の中で実践できる具体的な取組が紹介されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，日常生活や社会，職業との関係を意識した記述が多く見られ，理科の学習内容への興味・関心を高めるように工夫されている。また，全ての単元にもものづくりが設定され，観察・実験も数多く紹介されており，生徒が主体的に取り組めるように工夫されている。さらに，言語活動の充実の観点では，科学的な思考力・表現力の育成に向けて，レポートの作成方法が具体的に例示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，生徒同士で意見を検討・改善させる場面や学習した内容を結び付けて考えさせる場面が全ての単元で意図的に複数設定されており，他者と協働する力の育成や生徒が高い目的意識をもち，主体的な学びを促すために有効である。</p>
音 楽（ 一 般 ）	教芸	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，その題材における指導事項を明確にするために，学習目標と学習のポイントが各教材に記載されているとともに，それらの教材に関連のある〔共通事項〕がマークで示されている。また，それぞれの教材で学習する〔共通事項〕が「音楽学習MAP」のページにおいて確認できるよう，掲載の仕方が工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，巻頭・巻末の全ての資料が本文と関連が図られており，写真の掲載によって生徒の学習意欲を喚起する視覚的支援の工夫が見られる。また，巻末の合唱曲には，楽曲の特徴と学習のポイントが明確に示されており，歌唱の学習に対する興味・関心を高める工夫が見られる。さらに，創作や鑑賞の題材においては，つくった旋律や音楽から聴き取ったことを記録する等，生徒が課題解決に向けて主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，探究心，創造性を育むために，各学年の創作の題材において，イメージを膨らませながら，音を音楽へと構成する過程が具体的に記載されている。また，鑑賞においては，各学年において諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されており，多様な音楽文化を理解し，尊重する態度の育成に有効である。</p>

音 楽 (器楽合奏)	教芸	<p>基礎・基本の定着の観点において優れている。特に、各楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を、写真や図の掲載とともに演奏のポイントを押さえて説明している。また、巻頭・巻末において和楽器に関する資料を掲載して、学習の充実が図られるような工夫が見られる。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が複数掲載されており、友達の表現のよさに触れ、それらのよさを取り入れる等、音を合わせて表現する活動に主体的に取り組ませる工夫が見られる。また、各楽器において、鑑賞教材がその楽器のページの冒頭部分に掲載されており、まず楽器の音色の特徴を感じ取らせることで、楽器の演奏に対する興味・関心を高め、演奏の技能を身に付けることへ意欲的に取り組ませる工夫が見られる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、伝統を重んじる心を育むために、和楽器の奏法等とともに、和楽器が使われていた時代の歴史的背景についての内容が複数掲載されており、我が国の音楽文化への理解を深める上で有効である。</p>
美 術	光村	<p>基礎・基本の定着、内容の表現・表記の観点において、全般的に優れている。特に、題材の重点目標に関わって、課題意識をもたせる問いが工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、表現において、発想・構想段階における生徒の思考を促し、見通しをもたせる工夫として、ポスター制作の流れやアイデアスケッチをしながらデザインを試行錯誤する生徒の姿が、写真とともに段階的に分かりやすく示されている。また、生活や社会における美術の働きを実感する工夫として、「生活に生かそう」のマークとともにコラム等があり、主体的な学びを促す工夫がある。言語活動の充実の観点では、鑑賞の視点として、一つの作品において、補色の効果や筆づかい、絵の具の質感など複数の視点で友達と話し合えるように工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、巻頭で、美術を学ぶこと、発達段階における美術との関わりや生活の中での美術との関わりについて示すこと及び美術を学ぶことの意欲をもたせている。また、美術文化に関して、日本と諸外国の美術文化の関係を年表とともに掲載したり、日本や諸外国の文様を比較して鑑賞し、それぞれの文様のよさや美しさを味わうことができるようにしたりする等の工夫が見られる。さらに、日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するために、世界遺産について写真とともに解説が掲載されており、人間の多様性や伝統を尊重する態度の育成に有効である。</p>

<p>保 健 体 育</p>	<p>学研</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，発達段階のまとまりを考慮し，小学校，中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図る工夫が見られる。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，文章や図，表等，視覚的に関連させた読み物教材を掲載することで，生徒の興味・関心を喚起し，意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。また，全ての単元に，実習・調査のいずれかの事例や，図や表，挿絵等を用いた知識を活用するための課題等が示されており，生徒が興味・関心を高めながら，主体的に学習に取り組める場面が多く設定されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され，スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料が豊富であるため，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成することに有効である。</p>
<p>技 術 ・ 家 庭 (技術分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，内容A「材料と加工に関する技術」，内容B「エネルギー変換に関する技術」，内容C「生物育成に関する技術」，内容D「情報に関する技術」の項目ごとに「目標」及び内容に関する写真やイラストが示されている。また，学習のまとまりごとに「ふり返り」を設定し，学習を振り返る視点が示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，各項目を学習するにあたって「調べてみよう」，「やってみよう」，「観察してみよう」等を示し，学習への興味・関心を高めている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために，生活における問題点や改善点に目を向けさせ，生活における課題を解決するために，工夫したり創造したりする学習活動の具体例が豊富に示されている。また，技術と自分たちの未来について考えさせる問いが挙げられるなど高い目的意識をもって，探究心及び創造力を育てるための工夫がされている。</p>
<p>技 術 ・ 家 庭 (家庭分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，持続可能な社会に関する内容が充実しており，各内容の最後に「持続可能な社会をつくる」を設定し，「食生活と環境とのかかわり」，「環境に配慮した衣生活」など，生徒自らが考えることのできる具体例が豊富に示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，「自分にできる，安全・安心な暮らしの工夫」などの「生活の課題と実践」において，生徒自らが，課題を発見し，課題を解決する意欲を高めるために，問題解決的な学習の進め方や実践事例を複数記載して，計画，実践，評価，改善など段階を追って学習を深める工夫が示されている。また，「言語活動の充実のために」というページを設定し，まとめと発表の仕方やその具体例を掲載する等，言語活動の充実を図るよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，生徒が学習した知識及び技能を実際の生活で生かすことができる活動例が豊富に示され，創造力及び逞しさを育むことに有効である。</p>

英 語	教出	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，基礎・基本の定着を図る4領域等の言語活動においては，小学校外国語活動との円滑な接続を踏まえ，1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を重点的に設定し，2・3年生では4領域の均等を図るなど，4領域のバランスに配慮した言語活動を設定している。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，日常生活における会話をスムーズに続けるための「コツ」（3年P26）や話を展開するための方法，（3年P70）読みを効果的に進めるための方法（3年P15.59）を示しており，生徒のコミュニケーションへの関心・意欲を高めるための工夫がみられる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，読み取った内容に関し，自分の意見をもたせる設問とともに，自らの思いや考えを書かせる等他領域と関連付けながら，発展的な活動が設定されており，知性，創造性を育むことに有効である。</p>
--------	----	--

令和2年度：教科書の選定の観点及び視点（三次中学校）

1 選定の観点

- 観点1 基礎・基本の定着
- 観点2 主体的に学習に取り組む工夫
- 観点3 内容の構成・配列・分量
- 観点4 内容の表現・表記
- 観点5 言語活動の充実
- 観点6 学校の特色を生かす工夫

2 選定の視点

それぞれの観点のもと、種目ごとに視点を設定した。

ただし、観点6については、次の視点を全ての種目に共通で設定した。

- 知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫
- 人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫
- 伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫

種目ごとの視点

種目	視点
国語	①単元・教材の目標の示し方 ②基礎的な言語の定着 ③伝統的な言語文化に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ⑦単元・教材等の配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述 ⑨巻末資料の示し方 ⑩本文記述との関連付けがなされた図表等 ⑪読書と情報活用 ⑫言語活動の種類 ⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
書写	①単元の目標の示し方 ②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方 ③伝統と言語文化に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ⑥単元・教材や資料等の配列 ⑦発展的な学習の扱い方 ⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用 ⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫 ⑩知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑪人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑫伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫

<p>社会 (地理的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫</p>
<p>社会 (歴史的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫</p>
<p>社会 (公民的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②公民としての基礎的教養を培うための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫</p>

地 図	<ul style="list-style-type: none"> ①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥題材や資料等の配列 ⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い ⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫 ⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑩知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫 ⑪人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑫伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標を達成するための工夫 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ③事象を数理的に考察するための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑥見通しをもち, 論理的に考察するための工夫 ⑦自学自習を行うための記述の工夫 ⑧単元や資料等の配列 ⑨発展的な学習に関する内容の記述 ⑩イラスト・写真の活用 ⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ⑬知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②知識や概念の定着を図り, 理解を深めるための工夫 ③観察, 実験の技能を習得させるための工夫 ④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験, ものづくりの取扱い ⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫 ⑧単元の配列の工夫 ⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫 ⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫 ⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ⑫観察, 実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ⑬科学的な概念を使用して考えたり, 説明したりする活動の工夫 ⑭知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫 ⑮人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑯伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫

<p>音 楽 (一般)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の目標の示し方 ②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫 ④様々な音楽文化についての理解を深める工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫 ⑦教材の分量及び配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用 ⑩鑑賞領域における言語活動の工夫 ⑪知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑫人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑬伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
<p>音 楽 (器楽合奏)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の目標の示し方 ②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③興味・関心を高めるための工夫 ④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫 ⑤教材の分量及び配列 ⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用 ⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫 ⑧知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑨人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑩伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
<p>美 術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の目標の示し方 ②作品の理解を深めるための工夫 ③日本の美術文化に関する内容 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫 ⑥題材や資料等の配列 ⑦掲載している作品等の数 ⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載 ⑨言語を用いた発想・構想の工夫 ⑩鑑賞の仕方の工夫 ⑪知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑫人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑬伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
<p>保健体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫 ③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤体験的な学習を実施するための工夫 ⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫 ⑦単元・題材や資料等の配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用 ⑩自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫 ⑪知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑫人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑬伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫

<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学習項目における目標の示し方 ②伝統と文化に関する内容の記述 ③学習のまとめの構成上の工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述 ⑦題材の配列 ⑧発展的な学習の扱い方 ⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用 ⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ⑪言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫 ⑫知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑬人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑭伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学習項目における目標の示し方 ②伝統と文化に関する内容の記述 ③持続可能な社会に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫 ⑦問題解決的な学習活動の工夫 ⑧題材の配列 ⑨発展的な学習の扱い方 ⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用 ⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫 ⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫
<p>英 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫 ③言語に対する理解を深めるための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫 ⑥問題解決的な学習に関する内容構成 ⑦言語材料の配列 ⑧題材の内容構成と分量 ⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列 ⑩巻末等資料の工夫 ⑪学習到達目標の設定 ⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫 ⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫 ⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫 ⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫

令和 2 年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 国語 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点 1》 基礎・基本 の定着	①単元・教材の目標の示し方	○単元・教材ごとの目標等の記載	本校では、授業の目標や進め方を十分に理解し、見通しをもった上で能動的に授業に臨む生徒、自学自習のできる生徒の育成に力を入れている。そのため教材ごとの付けたい力の一覧が明確に記載されていることが望ましい。
	②基礎的な言語の定着	○言語・漢字・文法の指導の記述	言語・漢字・文法の学習は、基礎的・基本的な事項であり、全ての生徒が習得し、活用を図らなければならないものである。そのため、教科書の記述が分かりやすく示されていることが重要であると考えられる。
	③伝統的な言語文化に関する内容の記述	○古典を取り扱った単元の教材	言語文化に親しむ態度を育てること、我が国に伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりすることを目的としており、古典教材の学習後に古典についての書籍が紹介されているのが望ましい。
《観点 2》 主体的に学習 に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○身近な話題や社会の出来事を取り上げた教材	意見を述べるためには、どのような論の展開で記述するかを考え、論点についての立場を決め、考えの中心や主張を明確にすることが大切である。そして、その題材として身の回りの物事や体験、社会生活の様々な問題が複数例示されていることは、学習に対する興味・関心を高めることにつながる。
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題解決的な学習を促す言語活動の設定	問題解決的な学習を機能的に進めていくためには、学んだことが他の単元の学習に利活用できることが大切である。そのため、考え方や方法が示されていることが重要である。
	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○学習過程と振り返りの視点の示し方	本校では、豊かな創造力・表現力の育成を目指しており、学習の手引きで筋道に従って問題を解決していくことが有効であると考えられる。また、その際、話し合いを通じて自他の考えを豊かなものにするためには、思考ツール等を用いることが重要である。
《観点 3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・教材等の配列	○各領域の関連を図った単元の構成	本校では総合的な国語の力の育成を目指しており、そのためには、複数の領域を関連させて指導し、考えを深めることが大切である。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習に活用できる教材とその内容	本校では、基礎・基本の定着の上で、発展的な学習を展開している。そのため、並行読書等の発展的な学習に活用できる教材が掲載されていることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨巻末資料の示し方	○巻末資料の内容と表記	補足的な説明を加えたり、既習事項の学習を深めたりするために、巻末資料には、全ての領域、事項が扱われていることが必要である。
	⑩本文記述との関連付けがなされた図表等	○本文記述と図表の適切な関連付けがなされた教材	日常の学習や生活の中では、説明や記録の文章を分かりやすいものにするために図表などを用いることがある。そこで、効果的な図表の使い方について考えさせる場面が必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪読書と情報活用	○読書に親しむ態度の育成に関する記述	多様な種類の作品によって、生徒の興味・関心の幅を広げるとともに、読書活動を促す具体的な言語活動によって読書に親しませることは重要である。
	⑫言語活動の種類	○学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述	本校では、言語活動を重視し、思考力、判断力、表現力の育成につなげている。この点からも、学習指導要領に示された言語活動例は各領域で、適切かつ、例示が豊富であることが必要である。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、 逞しさを育むための 工夫	○創造性を育む巻末資料	本校では、知性、探究心、創造性、逞しさを育むことを目指している。そのため、巻末においても創造性を育むことにつながる教材が示されていることが重要である。
	⑭人間の多様性を尊重し、 地球規模の視野で他者と協働する 力を育てるための工夫	○国際的な内容を取り上げた読み物教材	地球規模の視野を育成するためには、国際的な内容を取り扱った読み物教材(外国を舞台とした文学的文章、国際問題を取り扱った説明的な文章等)が豊富であることが重要である。
	⑮伝統を重んじるとともに、 人類の発展に貢献しようとする 高い志をもたせるための 工夫	○人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材	本校では、伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせることを目指している。そのため、人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材があることが望ましい。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 書写 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の記載	本校では、授業の目標や進め方を十分に理解し、能動的に授業に臨む生徒、自学自習のできる生徒の育成に力を入れているため、教科書に目標が明確に記載されていることが望ましい。
	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	○正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方の写真等の示し方や説明方法	正しく整った字を書くためには、正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方を理解するとともに、様々な用具についてふれたり、写真などで視覚的に理解したりすることは有効である。
	③伝統と言語文化に関する内容の記述	○文字や書の文化・伝統の理解を促す記述	我が国の伝統的な文字や諸外国の文字などにふれ、これからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度を育成する必要がある。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるためのコラムや資料	書写の学習活動を日常生活に生かすためには、様々な観点のコラムなどがあることで、生徒の興味・関心が高まる。
	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方	学び方の手順やポイントや振り返りについて示すことにより、学習方法を理解し、次回の学習への意欲が高まる。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑥単元・教材や資料等の配列	○毛筆教材に関連付けた硬筆記入欄の設定	毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力を養うように配慮することが求められている。したがって、毛筆教材と硬筆教材が関連付けられて配置されていることが必要である。また、硬筆の書き方をより深く理解するためには、直接教科書に書き込ませ、模範例と比較することのできるページが多くあることが望ましい。
	⑦発展的な学習の扱い方	○発展的な内容の取扱い	生徒が主体的に学習を進めるために、発展的な学習内容があることは重要である。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	○図・写真、イラストによる筆使い等々の示し方	整った字を書くためには、筆使いを分かりやすく示すことが有効である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	○学習や日常生活と関連付けがなされた教材	相手意識や目的意識をもって文字を書き表すことが、実生活や学習場面に役立つ書写の能力の基礎となる。
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑩知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○文字や書に対する深い理解を促す視点	知性を高め、探究心を育てるためには、文字や書き方について調べたり比較したりするなどの視点が示されていることが望ましい。
	⑪人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○他国の文字文化の取扱い	地球規模の視野で物事をとらえることができるようにするためには、他国の文字文化を取り扱っていることが望ましい。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
	⑫伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○日本の伝統的な文字文化の取扱い	伝統を重んじる意識を高めるためには、日本の伝統的な文字文化を取り扱っていることが望ましい。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会：地理的分野 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○単元の導入における見通しをもたせるための資料や問いの記載	単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせるためには、導入における資料や問いの構成の工夫が必要である。
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題に着目させるためには、領土問題等に関する資料や写真等が掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国際関係や文化交流に関する読み物資料	広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させるためには、国際関係や文化交流に関する読み物資料が豊富である必要がある。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○学習テーマを見いだすための問いや資料の掲載の工夫と具体例 ○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	世界の諸地域の学習において、主題を設けてそれぞれの州の地域的特色を理解するためには、生徒が自ら主題（テーマ）を見いだすための問いや資料が豊富に掲載されている必要がある。 地理的事象を身近に感じ取ったり、自分たちの生活と結び付けて考察したりするためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順の例	「身近な地域の調査」において、主体的に調査活動を行うためには、調査方法の手順とともに留意点が明確に示されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	日本と外国の都市との時差を計算することを通して、我が国と世界各地との位置関係の理解を促すためには、等時帯や日付変更線を示す地図等の資料を活用する手法や具体例が記載されている必要がある。
	《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○各大項目のページ数
⑧発展的な学習に関する内容の記載状況		○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うためには、学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真等の 活用	○イラスト・写真等の資料と 問いの掲載	事象の特色や事象間の関連を考察する学習 を充実するためには、関連付けが図れる資料 や問いが掲載されている必要がある。
	⑩本文以外の記述の工 夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表 現する力を高めるためには、毎時間のまとめ や振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工夫	○単元末における多面的・多 角的に考察させる事例	単元の特色を大きく捉え、多面的・多角的 に地域的特色を捉える力を付けるためには、 言語活動の手法や具体例を掲載した課題が必 要である。
	⑫目的に応じて適切に 表現する力を育てる ための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じて適切にまとめる力を付けるた めには、まとめ方や具体例が豊富に掲載され ている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造 性、逞しさを育むた めの工夫	○単元末における発展的な事 例	探究心、創造性を育むためには、学習内容 の理解をより深めたり、他の学習内容との関 連へと広げたりする事例が豊富に掲載されて いる必要がある。
	⑭人間の多様性を尊重 し、地球規模の視野 で他者と協働する力 を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	人間の多様性を尊重し、他者と協働する力 を育てるためには、我が国の伝統文化及び他 国の文化の多様性の理解を促す資料が豊富に 掲載されている必要がある。
	⑮伝統を重んじるとと もに、人類の発展に 貢献しようとする高 い志をもたせるため の工夫	○地域社会への参画を促す資 料	人類の発展に貢献しようとする高い志をも たせるためには、身近な地域の調査において、 地域社会への参画を促す資料が掲載されてい る必要がある。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会：歴史的分野 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○学習課題の記載の仕方	単元の目標とのかかわりを意識しながら毎時間の学習を進めていくことができるようにするためには、1時間ごとの学習課題が明示されている必要がある。
	②我が国の国土と歴史 に対する理解と愛情 を育てるための工夫	○歴史上の人物が掲載されている資料	国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てるためには、歴史上の人物が掲載された資料が豊富である必要がある。
		○神話・伝承等を扱った事例数	神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるためには、神話・伝承等を扱った事例が豊富に掲載されている必要がある。
		○文化遺産を取り扱った資料	現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を養うためには、文化遺産が掲載された資料が豊富である必要がある。
③国際社会で主体的に 生きていくための基 盤となる知識・技能 を身に付けさせる工 夫	○歴史に見られる国際関係や 文化交流に関する資料	我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせ、国際協調の精神を育成するためには、我が国と諸外国の歴史や文化が相互にかかわっていることを示す資料が豊富に掲載されている必要がある。	
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高める ための工夫	○導入における興味・関心を 高める問いや資料	主体的に学習に取り組むためには、単元の学習に対する興味・関心を高め、単元の見通しをもたせる資料や問いの構成の工夫が必要である。
		○身近な地域（広島県）を取 り上げた事例	歴史的な事象を身近に感じ取り、現代の生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・ 分析、振り返りを展 開するための構成上 の工夫	○「身近な地域の歴史を調べ る」学習手順の示し方	「身近な地域の歴史を調べる」学習において、主体的に調査活動を行うためには、調査方法の手順とともに留意点が明確に示されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学 習を実施するための 工夫	○作業的・体験的な学習の事 例	作業的・体験的な学習の充実を図り、主体的な活動を促すためには、自ら調べるような課題が示された作業的・体験的な活動例が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配 列・分量	○近現代の学習ページの分量	近現代の学習の一層の重視を図るためには、 近現代の学習ページの適切な分量が必要である。
	⑧発展的な学習に関す る内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展 的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うた めには、学習課題が提示され、発展的な学習 に活用できる資料が豊富に掲載されている 必要がある。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真等の 活用	○写真等の資料と問いの記載	事象の特色や事象間の関連を考察する学 習を充実するためには、関連付けが図れる資 料や問いが掲載されている必要がある。
	⑩本文以外の記述の工 夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表 現する力を高めるためには、毎時間のまとめ や振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させ る事例の記載	時代の特色を捉える力を育むためには、資 料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察 させる事例が豊富に記載されている必要が ある。
	⑫目的に応じて適切に 表現する力を育てる ための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じて適切にまとめる力を付ける ためには、まとめ方や具体例が豊富に掲載さ れている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造 性、逞しさを育むた めの工夫	○学習内容を発展的に考察さ せる事例	探究心、創造性を育むためには、学習内容 の理解をより深めたり、他の学習内容との関 連へと広げたりする事例が豊富に掲載され ている必要がある。
	⑭人間の多様性を尊重 し、地球規模の視野 で他者と協働する力 を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	人間の多様性を尊重し、他者と協働する力 を育てるためには、我が国と諸外国の歴史や 文化が相互に深くかかわっていることを考 えさせる資料が豊富に掲載されている必要 がある。
	⑮伝統を重んじるとと もに、人類の発展に 貢献しようとする高 い志をもたせるため の工夫	○社会の一員としての自覚を 高める問いや資料	人類の発展に貢献しようとする高い志を もたせるためには、歴史の学習を振り返り、 社会の一員としての自覚を高める問いや資 料が示されている必要がある。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会：公民的分野 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○学習の見通しをもたせるための資料や問いかけ	単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせるためには、導入における資料や問いの構成の工夫が必要である。
	②公民としての基礎的教養を培うための工夫	○現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例	現代社会をとらえる見方や考え方の基盤となる「対立と合意」、「効率と公正」について理解を深めるためには、合意形成のプロセスが事例とともに豊富に掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国旗・国歌に関する記載の仕方	国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるためには、我が国の国旗・国歌を取り扱っている資料や国旗・国歌の意義及び敬意の表し方が記載されている事例が必要である。
		○領土をめぐる問題等に関する記載	固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、現状にいたる経緯、我が国が正当に主張している立場、我が国が平和的手段による解決に向けて努力していることを理解させるためには、領土問題及び尖閣諸島に関する経緯と取組が記載されている資料が必要である。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例	主体的に学習に取り組むためには、単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせる資料や問いの構成の工夫が必要である。
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	社会的事象を身近に感じ取ったり、自分たちの生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順と留意点	生徒の主体的な学びを促すためには、課題発見・解決学習の手順と留意点が掲載されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	作業的・体験的な学習の充実を図り、主体的な活動を促すためには、自ら調べるような課題が示された作業的・体験的な活動例が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○大項目ごとのページ数	学習内容を定着及び深化させるためには、大項目ごとに適切なページ数が配分されている必要がある。
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うためには、学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等を活用し考察を促す事例	事象の特色や事象間の関連を考察する学習を充実するためには、関連付けが図れる資料や問いが必要である。
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表現する力を高めるためには、毎時間のまとめや振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例	社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力を付けるためには、資料を用いて、考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が豊富に記載されている必要がある。
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じてまとめる力を付けるためには、まとめ方の手順と留意点が示された具体例が豊富に掲載されている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○単元末における発展的な事例	探究心、創造性を育むためには、学習内容の理解をより深めたり、他の学習内容との関連へと広げたりする事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	人間の多様性を尊重し、他者と協働する力を育てるためには、国際社会における文化が国家間で相互に関わりがあることを考えさせる資料が豊富に掲載されている必要がある。
	⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○持続可能な社会の形成への参画を促す資料や問い	人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるためには、持続可能な社会の形成に向けて、課題を探究する活動を促す資料や問いが掲載されている必要がある。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 社会：地図 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	○地図の見方の記載とその内容	地図帳を活用する力を高めるためには、地図記号の凡例がまとめて記載され、各地図・各資料に応じた凡例が示されている必要がある。
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題に着目させるためには、領土問題等に関する資料や解説文が掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○環境・国際理解等の学習への活用	世界的視野から多面的・多角的に社会的事象を追究する学習を行うためには、環境問題や日本と世界との結び付きを示す資料が掲載されている必要がある。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるための記載内容	地図から情報を読み取ることへの興味・関心を高めるためには、読図の視点を示すとともに、各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題を追究するための資料の構成	地域的特色を考察し、追究した過程や結果を適切に表現する学習活動を充実させるためには、課題の追究に関わる資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥題材や資料等の配列	○基礎資料図の記載	学習内容の理解及び定着を図るためには、学習内容に関する基礎資料図が豊富に掲載されている必要がある。
《観点4》 内容の表現・表記	⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○資料の種類	世界の諸地域の学習において、主題に対する考察を深めるためには、主題に関する資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の充実	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫	○地図を活用した調べ方の事例	資料を活用する力を育てるためには、多様な調査方法や調査の手順を示した事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○地図を活用した表現の記載の仕方	適切な表現力を育てるためには、地図を活用して情報を適切に読み取ることを促す問いが豊富である必要がある。
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑩知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○自ら考察することを促す問い	探究心、創造性を育むためには、資料と学習内容を関連付けて考察することを促す問いが豊富に掲載されている必要がある。
	⑪人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○日本及び世界の文化に関する資料	人間の多様性を尊重し、他者と協働する力を育てるためには、日本及び世界の文化に関する資料が豊富に記載されている必要がある。
	⑫伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○世界的な課題に関する資料	人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるためには、世界的な課題について考察することを促す資料が豊富に掲載されている必要がある。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 数学 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標を達成するための工夫	○学習課題と解決の過程	単元の目標を達成するためには、学習課題と解決の過程や例題が分かりやすく提示されていることが必要である。
	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りに関する扱い	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着のためには、スパイラルに学習できるような工夫が必要である。
	③事象を数理的に考察するための工夫	○日常生活や社会における事象を考察させている具体例とその展開	具体例を基にして日常生活や社会における事象を数理的に考察させることが必要である。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常生活とのかかわりを取り扱われている具体例	数学への興味・関心を高めるためには、数学が日常生活とのかかわっているという具体例の提示が必要である。
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題の具体例	問題解決的な学習を進めるためには、場面設定など適切な課題提示が必要である。
	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫	○見いだす活動を行わせるための具体例とその展開	見通しをもって問題解決をするためには、推測して考察できる具体例の提示が必要である。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦自学自習を行うための記述の工夫	○ヒントやポイントを示した吹き出し等の記載例	生徒が主体的に考えようとするきっかけとなるためには、適切な具体例や振り返りを想起させるポイントの提示が必要である。
	⑧単元や資料等の配列	○各単元の章末問題、巻末問題、巻末資料の具体例	学習内容の定着及び理解のために、各単元の章末問題や巻末問題が習熟に応じて学習できるような配列になっていることが必要である。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨発展的な学習に関する内容の記述	○該当学年で学習する範囲を超えた内容の具体例	学習の系統性を生徒に意識させるためには、発展的な学習に活用できる教材の例示が必要である。
	⑩イラスト・写真の活用	○イラスト・写真の具体例	生徒が学習において理解の補助となるようなイラスト・写真の提示が必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	○説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例	数学的活動を活発にするためには、根拠を明らかにし筋道立てて説明したり、話し合ったりする問題や問の設定が必要である。
	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	○ノートのかき方の取扱い	自分の考えをまとめ記述する力を付けるために、自分の考えをまとめるポイントを整理する具体的なノートのかき方の取扱いが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑬知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための 工夫	○数学的な推論の必要性和 意味及びその方法の理解	本校では, 知性, 探究心, 創造性, 逞しさを もった生徒を育成することを重視しているた め, 論理的思考を促す問題が充実しているこ とが必要である。
	⑭人間の多様性を尊重 し, 地球規模の視野で 他者と協働する力を 育てるための工夫	○数学的な表現を用いて説 明し伝え合う問題例, 記 載数	本校では, 他者と協働する力を育てるため に, 対話的な学びを重視している。そのため, 事象を数学的な表現を用いて論理的に説明し たり, 互いに自分の考えを伝え合ったりする ことで, よりよい考えに高めたり事柄の本質を 明らかにしたりする問題例が示されているこ とが必要である。
	⑮伝統を重んじるとと もに, 人類の発展に貢 献しようとする高い 志をもたせるための 工夫	○レポート作成の扱い, 記 載例, 記述ページ数	本校では, 高い志をもち, 主体的に課題に取 り組む学習を重視しており, 生徒が解決の過 程や結果を振り返って統合的・発展的に考 察するためには, 具体的にレポートの記載 例が示されていることが必要である。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 理科 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元や章の導入における取扱い内容	単元への導入の仕方や学習のねらいの示し方が明確であることが生徒に学習意欲及び目的意識をもたせるためには大切であると考ええる。
	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	○既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例	既習事項を活用して思考・表現させることは、知識や概念の定着を図る上で重要である。また、単元末のまとめにおいて、基本的な用語等が分かりやすく表記されていることが理解を深めることに有効であると考ええる。
	③観察、実験の技能を習得させるための工夫	○観察、実験の基本操作及び観察、実験における安全確保の状況	観察、実験の際に操作の手順や危険防止等の留意事項が記載されていることが、結果を明確にさせるとともに、安全に留意した観察、実験を行わせるためには必要であると考ええる。
	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	○環境保全に関する取扱い方	環境保全は教育基本法等に記載された教育の目標の一つである。そのため、事例の内容、数が適切であることが重要であると考ええる。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等	学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを図ることは、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感させることにつながり、生徒の興味・関心を高めることになると考える。
	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い	○ものづくりの内容、数及び補充的な観察・実験の数	様々な観察・実験やものづくりは学習者の興味・関心を高め、その過程や結果を基に自ら原理や法則を理解しようとする態度を育む。そのため、補充的な観察・実験やものづくりが適切に記載されていることが重要であると考ええる。
	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	○科学的に探究する活動の過程の示し方	生徒一人一人に科学の基本的な概念を形成していくためには、生徒が自然の事物・現象を探究していくことが大切である。そのため、科学的に探究する活動の過程の示し方が適切であることが重要であると考ええる。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧単元の配列の工夫	○単元の配列	学校の実態に応じて弾力的な年間指導計画を作成するためには、単元の配列の特徴を踏まえることが必要であると考ええる。
	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫	○「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い	教科で学習したことを総合的に活用するために、調べ学習の例が適切に示されていることは、意識付けや展望をもった学習につながると考える。
	⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	○補充的な問題及び発展的な学習の取扱い	改訂に当たっての基本的な考え方に、科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることが示されており、そのためには補充的な学習が重要である。また、生徒の興味・関心を高め、自主的な学習を促すためには発展的な学習の内容に工夫が必要であると考ええる。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑪科学的な探究を 行うための写真 及び資料等の取 扱い	○単元の導入部分における 写真や資料等の取扱い方 及び巻頭・巻末の資料の 内容	理科においては、写真、図及び資料の扱い方が、 生徒の認識を深めることに極めて有効であると考 える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑫観察、実験の結果 を分析し解釈す る学習活動の工 夫	○分析・解釈する視点の与 え方とその具体例	観察、実験の結果を分析・解釈することは結果か ら適切な結論を導く上で、重要であり、表やグラフ の活用を含めて、言語活動の充実を図ることにつな がるものとする。
	⑬科学的な概念を 使用して考えたり、説明したりす る活動の工夫	○レポート作成の示し方、 話し合いや説明の活動を促 す工夫	レポートの作成方法について具体例を挙げて分 かりやすく示し、話し合いや説明の活動を促してい ることが、科学的な概念を使用して考えたり説明し たりする活動につながるものとする。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑭知性、探究心、創 造性、逞しさを育 むための工夫	○科学的な探求の流れにそ った観察・実験の記述	本校では、知性、探究心、創造性、逞しさを育成 を目指している。科学的に探究する学習活動を設定 することがその育成につながるものとする。
	⑮人間の多様性を 尊重し、地球規模 の視野で他者と協 働する力を育てる ための工夫	○生徒同士で意見を検討・ 改善させる工夫	本校では、多様な価値観を尊重しながら協働する 力の育成を掲げている。生徒同士の意見を検討・改 善する場面を設定することで、多様な意見を理解す ることがその育成につながるものとする。
	⑯伝統を重んじると ともに、人類の発 展に貢献しよう とする高い志をも たせるための工 夫	○目的意識をもたせ、生徒 の主体的な学びを促す場 面の設定	本校では、高い志をもたせることを目指してい る。課題を発見する場面が設定されており、目的意 識を持つことで、主体的な学びを促し、高い志をも ってさまざまなことに取り組むことにつながるもの とする。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 音楽（音楽一般） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由	
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	題材の学習目標が明確に示されていることが、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことにつながると考える。	
		○〔共通事項〕について記載	題材において扱う〔共通事項〕が示されていることが、音楽の特徴を感じ取って表現や鑑賞の活動を進めていくために必要であると考え。	
	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	○歌唱の技能のうち、発声のポイントや身体の使い方等についての記載	発声のポイントとして、身体の使い方や声の出し方等を具体的に示すことが、歌唱における基礎的な技能の定着に必要であると考え。	
		○歌唱の技能のうち、我が国の伝統的な歌唱に関する記載	我が国の伝統的な歌唱について具体的に記載されていることが、曲種に応じた発声を適切に理解させ、基礎・基本の定着を図るために必要であると考え。	
		○歌唱共通教材の構成と扱う学年	歌唱教材において我が国で歌い継がれている楽曲の背景となる、作詞者・作曲者の思いが記載されていることが、我が国の音楽文化を大切にするとともに、それらを受け継いでいこうとする態度を育成し、基礎的な歌唱表現の技能の向上につながると考える。	
	③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	○創作の題材の取り上げ方と題材構成の扱い	○我が国の音楽文化の取り上げ方	我が国の伝統的な音楽文化に関わる題材が掲載されていることが、諸外国の様々な音楽文化に対する理解を深めるために大切であると考え。
			○諸外国の音楽文化の取り上げ方	諸外国の音楽文化を扱った題材が掲載されていることが、国際社会の中で、様々な文化の違いを超えて活躍する人材を育成するために必要であると考え。
	《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○巻末の合唱曲の扱い	巻末の合唱曲に学習のポイントが示される等の工夫がされていることが、主体的に音楽を表現しようとする態度の育成に必要であると考え。
○巻頭と巻末の資料の内容			本文の内容と関連のある写真・資料や、芸術に対する興味・関心が高まる資料が巻頭や巻末に掲載されていることが、視覚的に生徒の理解を深める効果があると考え。	
⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫		○思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例	思考・判断し表現する一連の学習過程が具体的に示された題材が掲載されていることが、思いや意図をもって、主体的に音楽を表現しようとする態度の育成につながると考える。	

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦教材の分量及び配列	○教材の配列とその具体例, 目次に示された領域ごとの教材	領域同士を関連させて教材が配列されていることが、音楽の特徴を感じ取る活動を充実させ、表現や鑑賞の学習活動に生かすことにつながると考える。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習内容の記述とその具体例	発展的な学習を適切に設定することが、生徒の学習意欲の喚起と学習内容の深化につながると考える。
《観点4》 内容の表現・表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容	本文の記述と適切な関連付けがなされたキャラクターやマーク等が掲載されていることが、生徒の思考や活動のヒントになり学習意欲を喚起することにつながると考える。
《観点5》 言語活動の充実	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫	○鑑賞の視点の提示の仕方とその具体例	音楽科における言語活動の充実を視点として、〔共通事項〕との関連を図った鑑賞の題材が掲載されていることが、生徒の思考を促し楽曲の特徴や構造の理解を深めることにつながると考える。
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑪知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫	○創作における音を音楽へと構成する過程の扱い	創作するにあたっての手順や知識が具体的に示されることにより、創作活動が効果的に進められ、知性, 探究心, 創造性が培われると考える。
	⑫人間の多様性を尊重し, 地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○歌唱における合唱の扱い	合唱における声部の役割や全体の響きなどについて着目する視点が示されることにより、音楽表現を練り上げていく過程を重視した指導が進められると考える。
		○鑑賞における諸外国の音楽文化の扱い	鑑賞において、諸外国の音楽の特徴及び音楽文化との関わりが示されることにより、諸外国の音楽に対する理解を深めることにつながると考える。
	⑬伝統を重んじるとともに, 人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○鑑賞における我が国の音楽文化の扱い	鑑賞において、我が国の音楽の特徴及び音楽文化が示されることにより、我が国の伝統音楽のよさを味わうことができるようになると考える。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 音楽（器楽合奏） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	題材の学習目標が明確に示されていることが、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことにつながると思う。
	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	○和楽器の取扱い方	学習指導要領に示された和楽器の取扱いについて、楽器の構造や奏法が具体的に示されていることが、生徒の基礎的な演奏技能を高めるための工夫の一つと考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	③興味・関心を高めるための工夫	○合奏のための教材	合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されていることが、生徒が自ら課題をもち、表現活動に主体的に取り組むことにつながると思う。
		○巻頭・巻末の内容	多様な音楽活動のための資料や、楽器の演奏への関心が高まる資料が充実していることが、器楽における生徒の興味・関心を高めることにつながると思う。
	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	○和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の具体例	和楽器の構造や奏法が具体的に示されていることに加え、鑑賞教材との関連を図った題材が掲載されていることが、技能の習得にとどまらず、我が国の伝統文化についての理解を深めることにつながると思う。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑤教材の分量及び配列	○教材の配列	複数の種類の音楽やそれらの合奏曲が教材として配列されていることが、生徒の学習意欲の喚起と学習の深化につながると思う。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○写真の内容	和楽器の構造や奏法が具体的に示された写真が掲載されていることが、生徒の思考を促す効果があり、演奏技能の習得において視覚的支援の効果が高いと考える。
		○イラスト等の活用	楽器の構造や奏法等について説明したイラスト等が掲載されていることが、生徒の思考や活動のヒントになるとともに、学習意欲を喚起することにつながると思う。
《観点5》 言語活動の 充実	⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫	○表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例	生徒が音楽に対する思いや意図を相互に伝え合う活動を取り入れることが、音楽科における言語活動の充実を図ることにつながり、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する上で重要であると思う。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑧知性，探究心，創造性， 逞しさを育むための工夫	○器楽と鑑賞の関連について	〔共通事項〕をよりどころとして，器楽と鑑賞を関連させることにより，創造的な表現の工夫を探究することができる考える。
	⑨人間の多様性を尊重し，地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○多様な合奏曲の掲載	多様な音楽の種類に触れ，他者と協働して合奏することにより，視野の拡大及び協働する力の育成につなげることができる考える。
	⑩伝統を重んじるとともに，人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○和楽器において，その楽器の歴史的背景等についての記載	和楽器について，歴史的背景等の文化を知ることにより，我が国の音楽を大切に，伝統を重んじることにつながると考える。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 美術 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○評価の4観点を踏まえた題材の目標（振り返り）の示し方及び課題意識のもたせ方	題材の目標が評価の4観点を踏まえたものになっていることだけでなく、課題意識をもたせる問いが明確に示されることにより、より目標に向かって学習に取り組む意欲が高まり、基礎・基本の定着につながると考える。
	②作品の理解を深めるための工夫	○制作手順の掲載（図・写真）	表現の4領域（絵、彫刻、デザイン、工芸）全てにおいて、制作手順が、図や写真で段階的に分かりやすく記載されていることにより、生徒の作品に対する理解が深まり、表現活動における豊かな発想・構想につながると考える。
	③日本の美術文化に関する内容	○日本の伝統的な表現や技法による作品の掲載の仕方	日本の伝統的な作品の表現や技法を幅広い視点で学習することにより、生徒の日本の美術や文化と伝統に対する理解と愛情を深め、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めると考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○表現への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	主体的に表現することへの興味・関心を高めるためには、生徒が見通しを立てて表現したり、表現の過程で試行錯誤したりする具体的な例が示されていることが必要と考える。
		○鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	主体的に鑑賞することへの興味・関心を高めるためには、生徒が実物の作品への興味をもったり、作品を見る視点や造形的な要素などに自らが気付いたりするような提示方法の工夫が示されていることが必要と考える。
	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	○生活や社会における美術の働きを実感するための具体例の示し方	生活や社会における美術の働きを実感するための具体例を示すとともに、美術の働きを生活に生かすことを促すことにより、生徒が自ら調べ、生活の中の造形や美術の働きをより深く理解することにつながると考える。
《観点3》 内容の構成 ・配列・分 量	⑥題材や資料等の配列	○題材の構成と分量	A表現（1）に係る題材、A表現（2）に係る題材、B鑑賞（1）に係る題材の構成と分量をバランスよく取り入れることで、各領域の基礎的能力が相互に作用しながら育成されると考える。
	⑦掲載している作品等の数	○〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品等の数	〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が掲載されている作品に数多く触れることで、生徒の作品に対する理解がより深まり、造形的な視点から豊かに発想・構想する能力及び創造的な技能を育成することにつながると考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載	○見開き又は折り込みページの大型図版の示し方	見開き又は折込みページや大型図版を有効に活用し、大型図版の特性を生かした作品提示を工夫することにより、作品のもつよさや美しさを、実感をもってとらえることができる。と考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑨言語を用いた発想・構想の工夫	○発想・構想段階における話し合いや発表の事例	発想・構想段階において、主題を生み出したり構想を練ったりするために話し合う視点を提示し、写真や図などで段階を追って解説することで、生徒が主体的に言語活動を行い、豊かな発想や構想を行うことができると考える。
	⑩鑑賞の仕方の工夫	○言語活動を促す鑑賞の方法の示し方及び具体例	〔共通事項〕を踏まえ、話し合いやまとめなどの言語活動を効果的に行う方法を写真や図を交えて示すことで、鑑賞の能力を高めることにつながると考える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪知性, 探究心, 創造性, 逞しさを育むための工夫	○美術を学ぶことの意欲をもたせる工夫	美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義や学び方を示すことで、生徒が意欲をもって創造的に活動していくことができると考える。
	⑫人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○諸外国の美術や文化との相違や共通性に関する示し方	諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせる資料を示すことで、美術を通して国際理解を深めようとする意欲を育成できると考える。
	⑬伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○日本の美術や伝統、文化の理解と継承に関する作品や具体例	日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例を示すことにより、生徒が日本の美術文化に対する理解を深めた上で、自分たちの手で継承し新たな価値や文化を積極的に創造していこうとする意欲につながると考える。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【保健体育】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の提示，指導内容の体系化が図られた記載内容	発達の段階のまとまりを考慮し，小学校，中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ることが必要であると考え
	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	○健康・安全に関する科学的な理解を図るための資料等への補足説明の内容	抽象的な指導等も可能になるという発達の段階を踏まえ，補足説明等が明記されていることで科学的に思考し，理解につながると考える。
	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○基本用語の取扱いと学習の振り返り	習得すべき基本用語の解説が具体的に示され，さらに振り返りの方法が工夫されていることで，基礎的・基本的な知識の定着につながると考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める読み物の取扱い	生徒の身近な課題や社会の出来事について記載されていることが，生徒自身の生活を見つめるとともに，興味・関心を高めることにつながると考える。
	⑤体験的な学習を実施するための工夫	○実習や調査を実施するための資料の取扱い数	実習や実験，調査など知識を活用した学習活動を行うことで，思考力・判断力などの資質や能力が育成されたと考える。
	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	○実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例，実生活を振り返るチェック項目数	習得した知識を実生活に生かすために，分かりやすく関連付けられていることが重要であると考え
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・題材や資料等の配列	○各単元における項目の系統的な構成及び1時間の授業の流れの例示	系統的な単元の構成，授業の流れの提示により，発達段階に応じた学習の理解を深めることができ，見通しを持って学習することができる
	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫	○発展的な学習の設定及び取扱い数	発展的な学習の記載が，問題解決能力の育成につながり，また，学校や教師の創意工夫を加えた指導に展開できるもの
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	○課題提示の場面でのイラスト・写真の示し方，マーク等の活用	イラスト，写真等視覚的に分かりやすい教材を活用することで，生徒の学習に対する興味・関心を喚起し，意欲的に取り組むことにつながると考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑩自分の考えをまとめて書いたり，話したりする活動の工夫	○知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり，話したりする学習方法の記載及び取扱い数	自分の考えをまとめて書いたり，それをもとにグループで話し合ったり，表現することで，言語活動の充実を図ることができる

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特 色を生か す工夫	⑪知性，探究心，創造性， 逞しさを育むための工夫	○生徒自身が意思決定を行う 学習内容の取扱い数	生徒が知識や技能を活用して創造的な 思考力を促す学習を進めることが重要で あると考える。
	⑫人間の多様性を尊重し， 地球規模の視野で他者と 協働する力を育てるため の工夫	○国際的なスポーツやスポー ツにかかわる様々な立場に ついての内容の掲載	運動やスポーツ並びに健康に関する課 題について発見し，解決のための手立てを 考えていく学習を進めることが重要であ ると考える。
	⑬伝統を重んじるとともに， 人類の発展に貢献しよう とする高い志をもたせる ための工夫	○我が国の運動やスポーツに 関する歴史や健康に関する データの掲載	運動やスポーツに関する歴史や健康に 関するデータの変遷について，理解を深め ることが重要であると考え。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 技術・家庭（技術分野） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における目標の示し方	○目標の示し方	各内容を学習する意義や目標、題材との関連を理解することが、生活の中にある技術的な問題を解決する態度や能力の育成につながると考える。
	②伝統と文化に関する内容の記述	○伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例	我が国の生活や産業にかかわるものづくりの技術などの具体的な記述が、我が国の伝統と文化を支えてきた技術をより深く理解することにつながると考える。
	③学習のまとめの構成上の工夫	○学習のまとめの示し方、設定の仕方	学習のまとめの示し方を工夫することが、より学習内容の定着を図ることにつながると考える。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める記載の仕方とその具体例	技術分野で学習する学習内容について知らせ、学習の見通しをもたせることが、学習への興味・関心を高めることにつながると考える。
	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○実践的・体験的な学習の実習事例及び事例数	生活体験の少ない生徒にとって、実習事例が豊富であることは、実践的・体験的な学習に対する意欲を高め、学習を充実させることにつながると考える。
	⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述	○評価・活用に関する内容構成及び考えさせるための問いの例の記述や資料の掲載	技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めることが、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てることにつながると考える。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	指導内容との関連で各題材の分量が適切であることや、内容の配列が学習の流れに沿い、かつ調べやすいものであることは、効果的な活用につながると考える。
《観点4》 内容の表現・表記	⑧発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例	発展的な学習内容に関する記述の工夫が、学習に対する意欲や関心を高めるとともに、既習事項を活用することで、学習内容の理解を深めることにつながると考える。
	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用	○学習内容と関連したマークの種類及び扱い方	学習内容や題材のつながりを示す表記の工夫が、より学習を深めることにつながると考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点5》 言語活動の 充実	⑩ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○ 表現・発表する学習活動の具体例	教科の特徴である実践的・体験的な学習の結果を整理し、表現・発表する学習活動が、思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながるかと考える。
	⑪ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫	○ 構想したことをまとめたり、検討したりする具体例	製作品の機能や構造を検討することについて、図を用いて検討することが、思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながるかと考える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫ 知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○ 生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例	生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習を行うことは、探究心及び創造力を育むことにつながるかと考える。
	⑬ 人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○ 「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載	情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任について学習することで、人間の多様性を尊重したコミュニケーションを意識し、他者と協働する力を育てることにつながるかと考える。
	⑭ 伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○ 学習の内容を深めさせたり広げたりしていくための資料の掲載や問いの記述	本校では、高い志をもち、何事にも挑戦することを重視している。学習の内容を深めさせたり広げたりしていくための資料や問いにより、学習内容の深化を目指すとともに、学習したことを将来に向けて生かそうとする態度を育成することは大切であるかと考える。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における目標の示し方	○目標の示し方とその具体例	生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追究する学習を進められるよう配慮する必要がある。
	②伝統と文化に関する内容の記述	○伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例	伝統と文化について理解を深め、そのよさを継承・発展させるための学習の充実を図る必要がある。
	③持続可能な社会に関する内容の記述	○持続可能な社会に関する内容の扱い方	持続可能な社会の構築を目指し、環境とのかかわりなどに関する内容の改善・充実を図る必要がある。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○ガイダンスの構成、吹き出し等の興味・関心を高めるための工夫	ガイダンスにおいて、3年間の学習への見通しをもたせ、学習への意欲を高めるための工夫が必要である。
	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○実践的・体験的な学習の具体例	実践的・体験的な学習を進める上で、地域や学校・生徒の実態に応じた指導に対応するために、豊富な実践事例が充実し、生徒が目的をもって調理や製作ができる工夫が必要である。
	⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫	○振り返りの示し方及び設定の仕方	生活の自立を図るためには、自分の生活を振り返り進んで工夫できるように、学習を振り返り基礎的・基本的な内容を確認し、次への目標をもつことが重要である。
	⑦問題解決的な学習活動の工夫	○「生活の課題と実践」における学習の進め方及び実践事例	学習の進め方として、計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立て、生徒が段階を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑧題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	題材の設定に当たっては、学習内容や指導事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。
	⑨発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び具体例	発展的な学習内容に関する記述の工夫により、学習に対する意欲や関心を高めるとともに、既習事項を活用することで学習内容の理解を深めることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩本文記述と関連付けが なされた資料等の活用	○学習内容と関連した記 述・資料等の示し方及び 具体例	学習内容と題材のつながりや他教科等との 関連を示す表記の工夫は、学習内容への理解 をより深める上で必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪実習等の結果を整理 し、考察する学習活動 の工夫	○実習等の結果を整理した り考察したりする学習の 具体例	知的活動の基盤という言語の役割の観点から 実習等の結果を整理し考察する学習活動を 充実する必要がある。
	⑫言葉や図表、概念など を用いて考えたり、説明 したりする学習活動 の工夫	○まとめと発表の仕方の示 し方及び具体例	生活における課題を解決するために、言葉 や図表、概念などを用いて考えたり、説明し たりする学習活動の工夫を充実する必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、 逞しさを育むための工夫	○学習した内容を実生活で 活用するための活動例教 及び具体例	学習した知識及び技能を実際の生活で生か す場面を設定することは、創造力及び逞しさを 育むことにつながると考える。
	⑭人間の多様性を尊重 し、地球規模の視野で 他者と協働する力を育 てるための工夫	○家庭生活と地域の人々との 関わりについての学習 の事例	家庭生活や地域の人々との関わりについて の学習事例が豊富なことは、異なる文化・価 値観を尊重することにつながると考える。
	⑮伝統を重んじるととも に、人類の発展に貢献 しようとする高い志を もたせるための工夫	○学習を深化・発展へとつ なげる内容の記載	本校では、高い志をもち、何事にも挑戦す ることを重視しているため、学習の進化や発 展へとつながる学習内容を示した記載が必要 である。

令和2年度 三次中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 英語 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○目標の表記の仕方	学習意欲及び目標意識をもたせるためには、単元の目標の示し方が明確であることが必要である。
	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	○基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動の設定数のバランス ○1年生導入期の「話す」「聞く」言語活動の設定	小学校における外国語活動で育まれた素地の上に「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4つの技能をバランスよく育成することが必要である。
	③言語に対する理解を深めるための工夫	○関連ある文法事項のまとめの扱い方	英語の特質を理解させるためには、関連ある文法事項をまとまりをもって整理する等、効果的な指導ができるように工夫することが必要である。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定	日常のコミュニケーションを促進するためには、具体的で分かりやすい場面や状況を示すとともに、自分のことを表現するなどの発展的な課題を設定することが必要である。
	⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫	○ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツの設定	積極的なコミュニケーションを促すためには、ペアやグループの形態を適宜、取り入れながら、生徒一人一人の活動を行いやすくする工夫が必要である。また、日常生活でよく用いられる様々な慣用表現を身に付けさせることも重要である。
	⑥問題解決的な学習に関する内容構成	○問題解決的な学習の設定 ○他教科等と関連させた教材選定	多様なものの見方や考え方を理解したり、公正な判断力を養ったりするためには、他教科の内容と関連付けたり、主体的に問題解決を図ったりする学習を設定することが必要である。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦言語材料の配列	○文法事項の段階的な配列	学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すると共に、学習内容を言語活動の中で繰り返し学習させることが必要である。
	⑧題材の内容構成と分量	○3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学等に関するものの中から、生徒の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を取り上げることが必要である。
	⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	○1年生導入期における題材の構成	小学校外国語活動から円滑な接続を図るためには、音声と文字の関係に触れた学習をさせることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩巻末等資料の工夫	○語彙リストにおける表記の仕方	語彙の理解を深めさせるためには、様々な用例や品詞を扱うことが必要である。
	⑪学習到達目標の設定	○学習到達目標の設定の仕方	生徒が3年間を見通して、着実に英語力を身に付けていくためには、学習到達目標を適切に設定することが必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	○3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおける言語活動の設定の仕方	外国語によるコミュニケーション能力の育成のためには、単に知識等を得ることにとどまるのではなく、4技能を効果的に結び付け、言語活動を設定することが必要である。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、 逞しさを育むための工夫	○3年生における読み手の意見を問う設問、他の領域の活動に結び付けた発展的な教材の設定の仕方	本校では、知性、探究心、創造性、逞しさを育むことをめざしている。よって、知性、創造性を育むためには、発展的な学習を進める教材を示す必要がある。
	⑭人間の多様性を尊重し、 地球規模の視野で他者と協働する力を育 てるための工夫	○3年生における、自分の意見を整理し、適切に表現するための課題の設定の仕方	異なる文化をもつ者同士が互いに理解を深めるためには、互いに分からないことを尋ねたり、理解したことを伝えあったりする活動が有効である。そのためには、自分の考えを整理し、適切に表現するための課題の設定が必要である。
	⑮伝統を重んじるとともに、 人類の発展に貢献しようとする 高い志をもたせるための工夫	○伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材の扱い方	本校では、伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせることをめざしている。よって、伝統文化及び人類の発展に貢献した取組等に関する題材を、取り上げることは望ましい。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 国語 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 巻末において創造性を育むことにつながる教材を掲載していることに加え、書くことに活用できる言葉を具体的に示している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材を掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章がある。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明がある。 ⑩ 図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。

	<ul style="list-style-type: none"> ⑫ 学習指導要領に例示された言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 巻末において創造性を育むことにつながる教材を掲載していない。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材を全ての学年に掲載している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元があるとともに、「読むこと」の単元において主体的な問題解決に役立つ読み方を図等で示している。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 巻末において創造性を育むことにつながる教材を掲載している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材を掲載している。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 巻末において創造性を育むことにつながる教材を掲載していることに加え、書くことに活用できる言葉を具体的に示している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材を掲載している。
-----------	---

光村	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 巻末において創造性を育むことにつながる教材を掲載していることに加え、書くことに活用できる言葉を具体的に示している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。 ⑮ 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材を全ての学年に掲載している。
----	---

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 書写 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明するとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大單元及び小單元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 日本の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動を掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、大單元において振り返りのための評価の観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 日本の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動を掲載している。

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 大単元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大単元及び小単元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 日本の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 大単元だけでなく、小単元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明するとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大単元及び小単元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が全ての学年に設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページが全ての学年において設定されている。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 日本の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動を掲載している。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ① 大単元だけでなく、小単元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大単元及び小単元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 ⑫ 日本の文字文化についての掲載があるとともに、古典に親しむ活動を掲載している。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【社会（地理）】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための写真等の資料と吹き出しによる問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料及び写真を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いを複数掲載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「地方中枢都市広島」という学習内容を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程で、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を記載している。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 「世界の諸地域」の学習において、全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載しているとともに、探究的な活動を促す問いを示している。 ⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料又は吹き出し等を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための地図等の資料と吹き出しによる問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「中国・四国地方の中心 広島」という学習内容を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 「世界の諸地域」の学習において、全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載しているとともに、探究的な活動を促す問いが示している。 ⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料又は吹き出し等を掲載している。

<p>帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための写真等の資料と文章による問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真等を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料を掲載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べられるような問いを記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 「世界の諸地域」の学習において、全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載していない。 ⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料又は吹き出し等を掲載している。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための地図等の資料と吹き出し等による問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いを掲載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「人口の集中する広島市」という学習内容を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べられるような問いを記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の単元において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 「世界の諸地域」の学習において、全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載しているとともに、探究的な活動を促す問いを示している。 ⑭ 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を具体例とともに掲載している。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【社会（歴史）】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を各大項目に掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されているとともに、探究的な活動を促す問いが示されている。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。 ⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高めるような問いと具体例が掲載されている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を複数掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を各大項目に掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されているとともに、探究的な活動を促す問いが示されている。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。 ⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。

清水	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを掲載している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されていない。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。</p> <p>⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。</p>
帝国	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されていない。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。</p> <p>⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。</p>
日文	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。</p>

	<p>広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを掲載している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されているとともに、探究的な活動を促す問いが示されている。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。</p> <p>⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。</p>
自由社	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。</p> <p>文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いを記載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる資料を記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されている。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が掲載されている。</p> <p>⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。</p>
育鵬社	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を各大項目に掲載している。当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。</p> <p>文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法及び具体例が記載されている。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。</p>

	<p>⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連させて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されているとともに、探究的な活動を促す問いが示されている。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。</p> <p>⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高めるような問いと具体例が掲載されている。</p>
<p>学び舎</p>	<p>① 学習課題を記載している。</p> <p>② 歴史上の人物を調べる方法を示した資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」留意点を掲載している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる資料を記載している。</p> <p>⑩ 単元末に学習のまとめを記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されていない。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。</p> <p>⑮ 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲載されている。</p>

教科書の特色（三次中学校）

種目【社会（公民）】

発行者名	教科書の特色
東書	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載し、探究的な活動を促す問いを示している。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料と問いがある。</p>

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。 ③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。 ⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。 ⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。 ⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載していない。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。 ⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料と問いがある。
<p>清水</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに掲載している。 ③ 国旗・国家の働きなどについて記載するとともに、脚注において、我が国の国旗・国歌について解説している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島についての事実を記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、学習課題に関連した資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を掲載し、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をおおむねバランスよく配分している。 ⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、考察させる課題を掲載している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順を示している。 ⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載していない。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を掲載している。 ⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。

<p>帝国</p>	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載し、探究的な活動を促す問いを示している。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料と問いがある。</p>
<p>日文</p>	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載し、探究的な活動を促す問いを示している。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。</p>

自由社	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いを記載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義や敬意の表し方を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、学習課題に関連した資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を掲載し、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をおおむねバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、選挙に関する資料を掲載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りのポイントを複数示している。</p> <p>⑪ 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどで、まとめの手順を示している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載していない。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、生徒に社会参画を促す資料も問いもない。</p>
育鵬社	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義や敬意の表し方を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料に関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例を掲載していない。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p> <p>⑮ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料と問いがある。</p>

教科書の特色（三次中学校）

種目【社会（地図）】

発行者名	教科書の特色
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 地図の活用力を高めることができるように、地図記号の凡例、各地図・各資料に応じた凡例、読図の視点を記載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真や解説文を掲載している。 ③ 世界の様々な地域及び日本の様々な地域のいずれにも、環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料を掲載している。 ④ 一般図又は資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号を記載し、地図の読み取りの視点を具体的な記述で記載している。 ⑤ 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料を複数掲載している。 ⑥ 世界各地の人々の生活と環境で、世界各地の衣食住、宗教に関わる資料を掲載し、世界と比べた日本の地域的特色で、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きに関する資料を掲載している。 ⑦ アジア州において、人口・産業発展・民族・宗教に関する資料を全て掲載している。 ⑧ 地図を活用した調べ方とその手順を資料とともに記載し、索引の使い方を記載している。 ⑨ 資料の読み取りを促す問いを大項目ごとに記載している。 ⑩ 資料を関連付けて考察する問いを示している。 ⑪ 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料と地図を複数掲載している。 ⑫ 世界各地の人々の生活と環境において、環境問題に関する資料を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ① 地図の活用力を高めることができるように、地図記号の凡例、各地図・各資料に応じた凡例、読図の視点を記載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真や解説文及び経緯に関する資料を掲載している。 ③ 世界の様々な地域及び日本の様々な地域に、環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料を掲載している。 ④ 一般図と資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号を記載し、地図の読み取りの視点を具体的な記述で記載している。 ⑤ 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料を複数掲載している。 ⑥ 世界各地の人々の生活と環境で、世界各地の衣食住、宗教に関わる資料とめあてを掲載し、世界と比べた日本の地域的特色で、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きに関する資料とめあてを掲載している。 ⑦ アジア州において、人口・産業発展・民族・宗教に関する資料を全て掲載している。 ⑧ 地図を活用した調べ方とその手順を資料とともに記載し、索引の使い方を記載している。 ⑨ 資料の読み取りを促す問いを大項目ごとに記載している。 ⑩ 中項目ごとに、資料を関連付けて考察する問いを示している。 ⑪ 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料と地図を掲載している。 ⑫ 世界各地の人々の生活と環境において、環境問題に関する資料と探究的な活動を促す問いを示している。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 数学 】

発行者名	教科書の特徴
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にある。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに、単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載して

	いる。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに、単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、全ての学年の全ての単元に複数ある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに、説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、全ての学年の全ての単元に複数ある。 ⑮ 第1学年にレポートのかき方についての記載がある。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに、説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、全ての学年の全ての単元に複数ある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
数 研	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。 ⑮ レポートのかき方についての記載がない。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年の各単元に1つはある。 ⑮ 各学年にレポートのかき方についての記載があり、さらに、生徒のレポートの具体例を記載している。
-----	--

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 理科 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示しており、章の導入ではねらいにつながるような課題設定をしている。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように全ての単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの書き方やその具体例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察・実験のねらいと考察が適切に対応している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を全ての単元で複数設定している。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を全ての単元で複数設定している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察・実験のねらいと考察が対応している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を全ての単元で設定している。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を全ての単元で設定している。

<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例を記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補足的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補足的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察・実験のねらいと考察が対応している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を全ての単元で複数設定している。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を設定している。
<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補足的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように全ての単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補足的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。また、巻頭・巻末には広島県に関わる資料を紹介している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察・実験のねらいと考察が対応している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を設定している。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を設定している。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理による環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例を記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、必要だと考えられる調べ学習のテーマ例を全て紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。また、巻頭・巻末には広島県に関わる資料を紹介している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの書き方やその具体例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 章の最初に、前の章の学習との関連性を意識した記述をしており、課題や観察・実験のねらいと考察が適切に対応している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を設定している。 ⑯ 学習した内容を活用して考えさせる場面を設定している。
-----	---

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 音楽（一般） 】

発行者名	教科用図書の特徴
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の学習目標を明確に示しており、題材において扱う〔共通事項〕を示している。 ② 発声のポイント等を扱ったページを掲載しているとともに、伝統的な歌唱及びすべての歌唱共通教材において学習のポイント等 を示している。 ③ 「旋律づくり」及び「構成の工夫」の視点を関連付けた創作の活動を掲載している。 ④ 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材を各学年において掲載している。また、諸外国の音楽文化を扱った題材を各学年において掲載しており、我が国の音楽文化との関連について記載している。 ⑤ 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲を複数掲載しているとともに、全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連を図っている。 ⑥ 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材を複数掲載している。 ⑦ 各学年において、領域同士を関連させて、教材を配列している。 ⑧ 発展的な内容について記載している。 ⑨ 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しを、全ての領域において掲載している。 ⑩ 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材を複数掲載している。 ⑪ 創作の題材において、イメージを膨らませながら、音を音楽へと構成する過程が記載されている ⑫ 各学年の合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載しており、各学年の鑑賞の題材において、諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料を掲載している。 ⑬ 各学年の我が国の音楽の鑑賞において、全ての題材で楽曲の特徴をその楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料を掲載している。

<p>教芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の学習目標を明確に示しており、各学年の題材において扱う〔共通事項〕を示している。 ② 発声のポイント等を扱ったページを、各学年において掲載しているとともに、複数の伝統的な歌唱及び歌唱共通教材において学習のポイント等を示している。 ③ 「旋律づくり」及び「構成の工夫」を視点とした創作の活動を掲載している。 ④ 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材を各学年においてそれぞれ掲載しているとともに、巻末の資料との関連付けがされている。また、諸外国の音楽文化を扱った題材を各学年において掲載している。 ⑤ 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲を複数掲載しているとともに、全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連を図っている。 ⑥ 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材を複数掲載している。 ⑦ 各学年において、領域同士を関連させて、教材を配列している。 ⑧ 学習指導要領の内容との関連を図った発展的な内容について記載している。 ⑨ 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しを、全ての領域において掲載している。 ⑩ 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材を複数掲載している。 ⑪ 各学年の創作の題材において、イメージを膨らませながら、音を音楽へと構成する過程が具体的に記載されている。 ⑫ 各学年の合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載しており、各学年の鑑賞の題材において、諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料を掲載している。 ⑬ 各学年の我が国の音楽の鑑賞において、全ての題材で楽曲の特徴をその楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料を掲載している。
-----------	--

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 音楽（器楽合奏） 】

発行者名	教科用図書の特徴
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の目標を明確に示している。 ② 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明している。 ③ 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動を掲載している。また、巻頭・巻末において、演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等を掲載しているとともに、巻頭にある内容を重複して巻末にも取り上げている。 ④ 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説を記載するとともに、複数の練習曲を掲載している。 ⑤ クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽やそれらの合奏曲を教材として掲載している。 ⑥ 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を、様々な角度から撮影した複数の写真と、演奏家が演奏している写真を、巻頭・巻末に掲載しているとともに、楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しを掲載している。 ⑦ 表現の工夫を伝え合う活動を掲載している。 ⑧ 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材を複数掲載している。 ⑨ 我が国の音楽、諸外国の音楽の合奏曲の掲載、和楽器、ギター、手拍子など多様な楽器等を使用した合奏曲を掲載している。 ⑩ 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景を複数記載している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の目標を明確に示している。 ② 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等について、写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明している。 ③ 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動を複数掲載している。また、巻頭・巻末において、演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等を掲載しているとともに、巻頭にある内容と異なった多様な種類の内容を巻末に取り上げている。 ④ 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説を記載するとともに、複数の練習曲及び関連する鑑賞教材を掲載している。 ⑤ クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽を教材として掲載している。 ⑥ 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を、様々な角度から撮影した複数の写真を掲載しているとともに、楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しを掲載している。 ⑦ 表現の工夫を伝え合う活動を複数掲載している。 ⑧ 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材を複数掲載している。 ⑨ 我が国の音楽、諸外国の音楽の合奏曲の掲載、和楽器、ギター、手拍子など多様な楽器等を使用した合奏曲を掲載している。 ⑩ 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景を複数記載している。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 美術 】

発行者名	教科用図書の特徴
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① めあてに対するふりかえりを、題材ごとに観点別に示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、作品の一部を原寸大で示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義に気付かせる等の設定が複数ある。 ⑫ 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせることができるよう、資料を工夫して掲載している。 ⑬ 日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例を複数掲載している。

<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 目標を観点別に示すとともに、題材ごとに課題意識をもたせるための問いを示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、作品の一部を原寸大で示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示し、生活に生かすことを前提に自ら調べを促す問いやコラム等を設定している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義に気付かせる等の設定が複数ある。 ⑫ 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせることができるよう、資料を工夫して掲載している。 ⑬ 日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例を複数掲載している。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学びのねらいを、題材ごとに観点別に示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、和紙を用いて原寸大の作品を示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義に気付かせる等の設定が複数ある。 ⑫ 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせることのできる資料を掲載している。 ⑬ 日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例を複数掲載している。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 保健体育 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示し、指導内容の体系化を図っている。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付し、さらにポイントとなる箇所にマーク等で説明を加えている。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示し、学習の振り返りができるよう問題等を記載することで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、全ての大単元に、実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 各学年の保健編の後に体育編を掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 全ての大単元で、本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を複数記載している。また、言語活動を充実させる資料や学習シートを掲載している。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進める課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容を掲載している。さらに、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料を掲載している。 ⑬ 我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され、単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に、単元の目標を示している。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付している。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示すことで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、「傷害の防止」、「体育編」で、実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるために、全ての大単元で、知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 体育編を保健編の前に掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 「考えよう」というマークで、課題を提示している。 ⑩ 事例を用いたロールプレイングを掲載し、学習シートに記載できるようにしている。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進める課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容を掲載している。 ⑬ 我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され、単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。

大修館	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に、単元の目標を示している。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明が付され、さらにポイントとなる箇所に吹き出しで説明を加えている。 ③ 習得すべき基本用語をキーワードとして記している。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、「健康と環境」、「傷害の防止」、「体育編」で実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 体育編を保健編の前に掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 全ての大単元で、本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を単元の一つ程度記載している。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進める課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容を掲載している。 ⑬ 我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され、単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示し、指導内容の体系化を図っている。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付している。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示し、学習の振り返りができるよう問題等を記載することで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、全ての大単元に、実習・調査のいずれかの事例を掲載し、その事例数も多い。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 単元の構成や題材を系統立てて記載しており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を複数記載している。また、言語活動を充実させる資料や学習シートも掲載している。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進める課題や内容を複数掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容を掲載している。さらに、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料が掲載している。 ⑬ 我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され、全ての単元の終わりに生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等を掲載している。

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 技術・家庭（技術分野） 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、「目標」及び内容に関する写真やイラストを示している。 ② 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示している。また、内容A及びCにおいて、伝統と文化に関する内容に、「伝統・文化」マークを付けて、伝統的な文化を示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を3部構成で示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」等を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において豊富に挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例を挙げ、「資料」マークを付して示している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくしている。 ⑧ 内容Bにおいて、発展的な学習内容に発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。また、小学校や他教科との関連についてもマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。また、制作品の評価・修正について示している。 ⑪ 内容Aにおいて、制作品の機能や構造を検討する図の例を複数示している。 ⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点を目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習内容の具体例を示している。 ⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を複数掲載している。 ⑭ 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等を掲載している。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、内容に関する写真を示している。 ② 伝統と文化に関する内容について、写真を用いて、伝統と文化に関する内容を示している。また、口絵にも同様に示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「まとめ」と「章末問題」を2部構成で示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、本文中に「調べよう」、「やってみよう」、「考えよう」を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において複数挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつエネルギー変換の利用について考えさせるための問いを示している。また、学習内容に関して、参考となる資料等を掲載している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。 ⑧ 内容B及びDにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示してい

	<p>る。</p> <p>⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を示している。</p> <p>⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例を示している。</p> <p>⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を掲載している。</p> <p>⑭ 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等を掲載していない。</p>
開隆堂	<p>① 内容AからDの項目ごとに、「目標」及び内容に関する写真やイラストを示している。</p> <p>② ガイダンス的な内容の章を中心に、「今も生きる先人の技術」や「活躍している日本の伝統技術」などとして、伝統と文化を示している。</p> <p>③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を2部構成で示している。また、学習のまとめごとに「ふり返し」を示している。</p> <p>④ 興味・関心を高めるための工夫として、各学習項目を学ぶにあたって、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」等を示している。</p> <p>⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を、各内容において豊富に挙げている。</p> <p>⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いを示している。また、学習内容に関して、参考となる資料等を掲載している。</p> <p>⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくしている。</p> <p>⑧ 内容Bにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。</p> <p>⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。また、他教科との関連についてもマークで示している。</p> <p>⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。また、発表後の評価と改善について、作品評価表を示している。</p> <p>⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を複数示している。</p> <p>⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習内容の具体例を示している。</p> <p>⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を複数掲載している。</p> <p>⑭ 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等を掲載している。また、考えさせる問いを挙げている。</p>

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」, 吹き出しによる問いかけ, 学習活動を促すような問いを記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について, 複数の内容で具体例を記載している。 ③ 循環型社会に関わる内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ, 学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を複数記載し, 生徒が目的をもって調理や製作ができる見出しを示している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動や巻末において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹介し, 学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また, D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に, 発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連や他教科, 小学校との関連を示している。 ⑪ 各内容において, 整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載している。 ⑬ 学習した内容を実生活で活用するための活動例が, 各内容において挙げている。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。 ⑮ 学習を深める内容を記載している。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」を記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について, 具体例を記載し, 写真や絵で紹介している。 ③ 循環型社会に関わる内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ, 学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を掲載している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動を設定し, 生活に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また, D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に, 発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連を示している。 ⑪ 各内容において, 整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載している。 ⑬ 学習した内容を実生活で活用するための活動例が, 各内容において複数挙げている。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。 ⑮ 学習を深める内容を記載している。

開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」、吹き出しによる問いかけ、学習活動を促すような問いを記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、複数の内容で具体例を記載している。 ③ 各内容に、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を複数記載し、生徒が目的をもって調理や製作ができる見出しを示している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動や巻末において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹介し、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や複数の実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連や他教科、小学校との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載するとともに、言語活動の充実を図る内容を掲載している。 ⑬ 学習した内容を実生活で活用するための活動例が、各内容において複数挙げている。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。 ⑮ 学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容を記載している。
-----	---

教科書の特徴（三次中学校）

種目【 英語 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 3年生の最初の単元で「受け身」を初出として扱っている。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動を全て設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 伝統文化や人類の発展等に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 3年間を通した学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動を全て設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題がある。 ⑮ 伝統文化や人類の発展等に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。

学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴が、整理している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定をしている。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 3年生の最初の単元で「受け身」を初出として扱っている。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 伝統文化や人類の発展等に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定をしている。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱い、参考になる用例を示している。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 伝統文化や人類の発展等に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定しており、第2・3学年の4技能のバランスがとれている。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツや、会話に役立つ表現を取り上げるコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 3年間を通した学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問があり、教科書の内容をより発展的に扱うコンテンツがある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 伝統文化や人類の発展等に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定しており、第2・3学年の4技能のバランスがとれている。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習の設定や他教科等と関連させた教材を選定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱い、参考になる用例を示している。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見をもつための設問がある。 ⑭ 自分の意見を整理し、筋道立てて表現する課題やディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 ⑮ 伝統文化や人類の発展等に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。

評価表
(三次中学校)

種目【 国語 】評価表 (三次中学校)

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元・教材の目標の示し方	○単元・教材ごとの目標等の記載	A B基準を満たすとともに、教材ごとに指導事項に基づいた付けた力を一覧や目次等で示している。 B 教材ごとに目標を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところの従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	A	A	A
	②基礎的な言語の定着	○言語・漢字・文法の指導の記述	A B基準を満たすとともに、習得や活用のための課題等がある。 B 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明している。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (2) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。 2 (1) ア 知識をまとめて指導したり、繰り返して指導したりすることが必要なものについては、特にそれだけを取り上げて学習させることにも配慮すること。	A	A	A	A	A
	③伝統的な言語文化に関する内容の記述	○古典を取り扱った単元の教材	A B基準を満たすとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 B 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章がある。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (5) 古典に関する教材については、古典の原文に加え、古典の現代語訳、古典について解説した文章などを取り上げること。	A	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○身近な話題や社会の出来事を取り上げた教材	A B基準を満たすとともに、テーマの例を複数示している。 B 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第1学年〕 B書くこと(1)ア 日常生活の中から話題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。 〔第2学年〕 B書くこと(1)ア 社会生活の中から話題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。 〔第3学年〕 B書くこと(1)ア 社会生活の中から話題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	A	B	A	B	A
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題解決的な学習を促す言語活動の設定	A B基準を満たすとともに、「読むこと」の単元において主体的な問題解決に役立つ読み方を図等で示している。 B 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 C B基準を満たしていない。	【国語科改訂の要点(中教審答申)】 (2) 学習の明確化 自ら学び、課題を解決していく能力の育成を重視し、指導事項については学習過程を一層明確化した。 【言語活動の充実に関する指導事例集】 「教科等の特質を踏まえた指導の充実及び留意事項」 学習指導要領の内容の(2)に示す言語活動を基に、具体的な言語活動を通して指導事項を指導することが大切である。その際、「考えを書く」「話し合う」といった活動が脈絡なく行われることのないよう、生徒が自ら学び、課題を解決していくための学習過程を明確化し、単元を貫く言語活動を位置付けることが必要である。	B	B	A	B	B
	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫	○学習過程と振り返りの視点の示し方	A B基準を満たすとともに、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 B 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2(6)各教科の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	B	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・教材等の配列	○各領域の関連を図った単元の構成	A B基準を満たすとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 B 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (2) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。	A	B	A	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習に活用できる教材とその内容	A B基準を満たすとともに、単元での学びを生かし、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 B 発展的な学習に活用できる読み物教材を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (1) 教材は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことなどの能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨巻末資料の示し方	○巻末資料の内容と表記	A B基準を満たすとともに、全ての領域に関する資料がある。 B 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) ア 知識をまとめて指導したり、繰り返して指導したりすることが必要なものについては、特にそれだけを取り上げて学習させることにも配慮すること。	A	B	A	A	A
	⑩本文記述との関連付けがなされた図表等	○本文記と図表の適切な関連付けがなされた教材	A B基準を満たすとともに、複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 B 図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) エ 科学的、論理的な見方や考え方を養い、視野を広げるのに役立つこと。	A	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪読書と情報活用	○読書に親しむ態度の育成に関する記述	A B基準を満たすとともに、読書活動を促す具体的な言語活動例が示されている。 B 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第1学年〕 1目標 (3) 読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 〔第2学年〕 1目標 (3) 読書を生活に役立てようとする態度を育てる。 〔第3学年〕 1目標 (3) 読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。	A	B	A	B	A
	⑫言語活動の種類	○学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述	A 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 B 学習指導要領に例示された言語活動を通して指導する単元がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (1) …第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれ(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。	A	B	A	A	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、 逞しさを育むための 工夫	○創造性を育む巻末資料	A B基準を満たすとともに、書くことに活用できる言葉が具体的に示されている。 B 巻末において創造性を育むことにつながる教材が掲載されている。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) ウ 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。	A	C	B	A	A
	⑭人間の多様性を尊重し、 地球規模の視野で他者と協働する力を 育てるための工夫	○国際的な内容を取り上げた読み物教材	A 国際的な内容を取り扱った読み物教材が全ての学年に掲載されている。 B 国際的な内容を取り扱った読み物教材が掲載されている。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第3学年〕「C読むこと」(2) エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。 【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) ク 広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	A	A	A	A	A
	⑮伝統を重んじるとともに、 人類の発展に貢献しようとする高い志を もたせるための工夫	○人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材	A 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材が全ての学年に掲載されている。 B 人類の発展等に尽くした人物を取り上げた読み物教材が掲載されている。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第3学年〕 「C読むこと」(2) エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	B	A	B	B	A

種目【 書写 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の記載	A B基準を満たすとともに、小単元ごとに目標を示している。 B 大単元ごとに目標を示している。 C B基準を満たしていない。	1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A	B	A	A
	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	○正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方の写真等の示し方や説明方法	A B基準を満たすとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 B 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 ※小学校第1学年及び第2学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。</u>	A	B	B	A	B
	③伝統と言語文化に関する内容の記述	○文字や書の文化・伝統の理解を促す記述	A B基準を満たすとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 B 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)キ 我が国の伝統と文化に対する <u>関心や理解を深め</u> 、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。 【解説】 我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度の育成も大切である。	A	A	B	A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるためのコラムや資料	A B基準を満たすとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 B 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 第3学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。</u>	A	A	A	A	A
	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方	A B基準を満たしたうえで、全ての小単元において振り返りの観点を示している。 B 学習過程を示すとともに、大単元において振り返りの観点を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2(6)各教科の指導に当たっては、 <u>生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。</u>	A	B	A	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥単元・教材や資料等の配列	○毛筆教材に関連付けた硬筆記入欄の設定	A B基準を満たすとともに、硬筆記入欄が全ての学年に設定されている。 B 硬筆記入欄が設定されている。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2(2)イ <u>硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うようにすること。</u>	B	B	B	A	B
	⑦発展的な学習の扱い方	○発展的な内容の取扱い	A B基準を満たすとともに、それらが全ての学年において設定されている。 B 発展的な内容であることを示したページがある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)キ 我が国の伝統と文化に対する <u>関心や理解を深め</u> 、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。	B	B	B	A	B
《観点4》 内容の表現・表記	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	○図・写真、イラストによる筆使い等の示し方	A B基準を満たすとともに、写真を用いて筆使いについて説明している。 B 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 第1学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。</u>	A	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の充実	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	○学習や日常生活と関連付けがなされた教材	A B基準を満たすとともに、国語科の学習指導要領に例示された言語活動を取り扱った教材が複数ある。(手紙・報告文等) B 日常の様々な書式を取り扱った教材がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2(2)ア文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、 <u>書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。</u>	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑩知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○文字や書に対する深い理解を促す視点	A B基準を満たすとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 B 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)ア <u>国語に対する認識を深め</u> 、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。	A	A	A	A	A
	⑪人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○他国の文字文化の取扱い	A B基準を満たすとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 B 他国の文字文化についての掲載がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)ク 広い視野から <u>国際理解を深め</u> 、日本人としての自覚をもち、 <u>国際協調の精神を養う</u> のに役立つこと。	A	A	A	A	A
	⑫伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○日本の伝統的な文字文化の取扱い	A B基準を満たすとともに、古典に親しむ活動を掲載している。 B 日本の文字文化についての掲載がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)キ <u>我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め</u> 、 <u>それらを尊重する態度を育てる</u> のに役立つこと。	A	A	A	A	A

種目【 社会：地理的分野 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	教出	帝国	日文
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○単元の導入における見通しをもたせるための資料や問いの記載	A 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料と問いが記載されている。 B 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料又は問いが記載されている。 C 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料も問いも記載されていない。	【解説】 現代の日本や世界の地理的事象を取り扱う地理学習の特質を生かして、作業や体験を伴う学習や課題を設定し追究する学習などを工夫し、生徒の主体的な学習を促すことが必要である。	A	A	A	A
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真等の資料が掲載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料が掲載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する記述が記載されている。	【内容の取扱い】 (ア)「領域の特色と変化」については、我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに、北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。	A	B	A	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国際関係や文化交流に関する読み物資料	A 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が複数掲載されている。 B 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が掲載されている。 C 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が掲載されていない。	【目標】 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。	A	A	B	A
《観点2》 主体的に学習 に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○学習テーマを見いだすための問いや資料の掲載の工夫と具体例	A 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いが複数掲載されている。 B 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いが掲載されている。 C 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料又は問いが掲載されている。	【内容の取扱い】 州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。	A	C	C	B
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	A 広島県を取り上げた事例が複数掲載され、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例も掲載されている。 B 広島県を取り上げた事例が複数掲載されている。 C 広島県を取り入れた事例が掲載されている。	【解説】 身近な地域は、生徒が生活舞台にしている地域であり、学習対象を生徒が直接体験できるといった特質を有している。	A	A	B	A
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順の例	A 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点が示されるとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 B 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点が示されている。 C 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの過程に、学習の手順が示されている。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	B	A	A	A
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	A 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が資料と解説文で示され、自ら調べることを促す課題が記載されている。 B 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が資料と解説文で示されている。 C 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が示されている。	【解説】 「世界各地との時差」を取り上げるに当たっては、海外と衛星中継しているテレビのニュース番組の映像を活用するなどの国際化した生活場面と関連付けたり、等時帯や日付変更線を示す地図と地球儀を見比べたり、簡単な時差の計算をしたりする学習活動を通して、日本と世界各地との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解させる。	A	A	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○各大項目のページ数	A 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が20%未満である。 B 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が20%以上25%未満である。 C 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が25%以上である。		A	A	A	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが各大項目に掲載されている。 B 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されている。 C 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	A	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	教出	帝国	日文
《観点4》 内容の表現・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等の資料と問いの掲載	A 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いが記載されている。 B 「中国・四国地方」の学習において、資料から学習課題を見いだす問いが記載されている。 C 「中国・四国地方」の学習において、資料から学習課題を見いだす問いが記載されていない。	【内容】 ウ 日本の諸地域 日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の（ア）から（キ）で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。	A	A	A	A
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【総則】 （6）各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○単元末における多面的・多角的に考察させる事例	A 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法と具体例を記載した事例が示されている。 B 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を記載した事例が示されている。 C 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を記載した事例が示されていない。	【解説】 地理的事象を考察し、判断、理解するに当たっては、「公正」さに留意することが大切である。そのためには、 <u>資料を適切に収集、選択、処理、活用し、資料に基づいて考察する態度を身に付けさせることが特に大切である。</u>	A	B	A	A
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A レポート作成等において、まとめ方とまとめ例が複数掲載されている。 B レポート作成等において、まとめ方又はまとめ例が掲載されている。 C レポート作成等において、まとめ方もまとめ例も掲載されていない。	【解説】 今回の改訂で重視されている言語力育成の観点から、 <u>観察や調査等の結果を論述したり、意見交換したりするなどの言語活動を充実させることに特に留意することが必要である。</u>	A	A	A	A
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育てるための工夫	○単元末における発展的な事例	A 「世界の諸地域」の学習において、すべての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載され、探究的な活動を促す問いが示されている。 B 「世界の諸地域」の学習において、すべての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されている。 C 「世界の諸地域」の学習において、すべての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されていない。	【解説】 国際化、情報化など社会の変化の激しい時代にあつては、主題を追究、考察して調べ方や学び方を身に付けることが大切であることはいうまでもない。 <u>内容の（1）のア、イ及びウで習得した知識、概念や技能を活用して、興味・関心ある世界の地理的事象を調査、探究することで、地域的特色をとらえる調べ方や学び方の視点や方法を身に付けることができる。</u>	A	A	C	A
	⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	A 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料が複数掲載されている。 B 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料が掲載されている。 C 「日本の様々な地域」の学習において、多文化の理解と我が国の文化に関する読み物資料が掲載されていない。	【目標】 （3）大小様々な地域から成り立っている <u>日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていること</u> や各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。	A	A	A	A
	⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○地域社会への参画を促す資料	A 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料が具体例とともに掲載されている。 B 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料又は吹き出し等が掲載されている。 C 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料も吹き出し等も掲載されていない。	【解説】 身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、 <u>生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養う。</u>	B	B	B	A

種目【 社会：歴史的分野 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価								
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	学び舎	
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習課題の示し方	○学習課題の記載の仕方	A 学習課題が、毎時間示されている。 B 学習課題が示されている。 C 学習課題が示されていない。	【内容の取扱い】 (1) イ 歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着を図ること。	A	A	A	A	A	A	A	A	B
	②我が国の国土と歴史 に対する理解と愛情 を育てるための工夫	○歴史上の人物が掲載されている資料	A 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が、各大項目に掲載されている。 B 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されている。 C 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されていない。	【目標】 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。	B	B	B	B	B	B	B	A	C
		○神話・伝承等を扱った事例数	A 当時の人々の信仰やもの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が複数掲載されている。 B 当時の人々の信仰やもの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が掲載されている。 C 当時の人々の信仰やもの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が掲載されていない。	【内容の取扱い】 (3) エ 考古学などの成果を活用するとともに、神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やもの見方などに気付かせるよう留意すること。	A	A	A	A	B	A	A	A	B
		○文化遺産を取り扱った資料	A 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が複数掲載されている。 B 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されている。 C 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されていない。	【目標】 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。	A	A	A	B	A	B	A	A	B
③国際社会で主体的に 生きていくための基 盤となる知識・技能を 身に付けさせる工夫	○歴史に見られる国際関係や 文化交流に関する資料	A 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料が掲載されている。 B 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料が掲載されている。 C 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料が掲載されていない。	【目標】 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、多民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。	A	A	A	A	B	A	A	A	B	
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるた めの工夫	○導入における興味・関心を高 める問いや資料	A 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いが記載されている。 B 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いが記載されている。 C 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料又は問いが記載されている。	【内容の取扱い】 (2) ウ 各時代の学習の初めにその特色の究明に向けた課題意識を育成した上で、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、大観や表現の仕方を工夫して、各時代の特色をとらえさせるようにすること。	A	B	A	A	A	B	A	A	A
		○身近な地域（広島県）を取り 上げた事例	A 広島県を取り上げた事例を複数掲載し、広島県の事象を調査、考察する方法及び具体例が記載されている。 B 広島県を取り上げた事例が複数掲載されている。 C 広島県を取り上げた事例が掲載されている。	【内容】 (1) イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。	A	B	B	B	A	B	A	A	B
	⑤課題の設定、整理・分 析、振り返りを展開す るための構成上の工 夫	○「身近な地域の歴史を調べ る」学習手順の示し方	A 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程が記載されるとともに留意点が示されている。 B 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点が示されている。 C 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順又は留意点が示されている。	【目標】 (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	B	A	A	C	B	B	C
		○作業的・体験的な学習の事例	A 作業的・体験的な活動例が各大項目に掲載されている。 B 作業的・体験的な活動例が掲載されている。 C 作業的・体験的な活動例が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 資料等の活用と作業的、体験的な学習 指導の全般にわたって、資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図るようにする。	A	A	B	B	B	B	B	B	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価							
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	学び舎
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○近現代の学習ページの分量	A 近現代のページ数が全時代の50%以上である。 B 近現代のページ数が全時代の45%以上～50%未満である。 C 近現代のページ数が全時代の45%未満である。	【解説】 歴史的分野 ウ 近現代の学習の一層の重視 従前は、内容の「(5) 近現代の日本と世界」という単一の 大項目であったものを、「(5) 近代の日本と世界」と「(6) 現 代の日本と世界」の二つの大項目として構成した。これは、 <u>近現 代の学習を一層重視し、現代の社会についての理解が深まるよう に配慮したものである。</u>	A	A	B	A	A	B	B	A
	⑧発展的な学習に関 する内容の記載状 況	○学習課題が提示され、発展 的な学習に活用できる資料	A 問いが示された発展的な資料が各大項目に掲載されている。 B 問いが示された発展的な資料が掲載されている。 C 発展的な資料が掲載されている。		A	A	A	A	A	B	A	B
《観点4》 内容の表現 ・表記	⑨学習内容との適切 な関連付けがなさ れたイラスト・写真 等の活用	○写真等の資料と問いの記載	A 見開きページにおいて、関連付けて考察させる複数の資料と 問いが記載されている。 B 見開きページにおいて、関連付けて考察させる資料と問いが 記載されている。 C 見開きページにおいて、関連付けて考察させる問いが記載さ れていない。	【目標】 (4) 歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用し て <u>歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとと もに適切に表現する能力と態度を育てる。</u>	A	A	A	A	A	C	A	C
	⑩本文以外の記述の 工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【解説】 歴史的分野 イ (ウ) 歴史について考察する力や説明する力 の育成 ひとまとまりの学習内容が十分に理解され定着するためには、 学習のねらいを明確に意識させるための「導入」や、 <u>学習の成 果を確かにつかませるための「まとめ」が重視され、その工夫 と充実が図られる必要があるのである。</u>	B	A	A	A	A	B	B	C
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工 夫	○多面的・多角的に考察させ る事例の記載	A 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多 角的に考察させる事例が複数掲載されている。 B 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多 角的に考察させる事例が掲載されている。 C 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多 角的に考察させる事例が掲載されていない。	【解説】 文献や絵図、地図、統計など歴史学習にかかわる様々な性格 の資料や、作業的・体験的な活動によって得られた幅広い資 料の中から、 <u>必要な資料を選択して有効に活用することで、 歴史的事象を一面的にとらえるのではなく、様々な角度から 考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を 育成することが大切である。</u>	A	A	A	A	A	B	A	B
	⑫目的に応じて適切 に表現する力を育 てるための工夫	○まとめ方の具体例	A まとめ方について、作品例と手順が示されたものが複数掲載 されている。 B まとめ方について、作品例と手順が示されたものが掲載され ている。 C まとめ方について、作品例又は手順が示されたものが掲載さ れている。	【中央教育審議会答申】 子どもたちの思考力・判断力・表現力等を確実にほぐすた めに、まず、各教科の指導の中で、基礎的・基本的な知識・ 技能の習得とともに、 <u>観察・実験やレポートの作成、論述と いったそれぞれの教科の知識・技能を活用する学習活動を充 実させることを重視する必要がある。</u>	A	A	B	A	B	A	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工 夫	⑬知性、探究心、創造 性、逞しさを育むた めの工夫	○学習内容を発展的に考察さ せる事例	A 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されてい るとともに、探究的な活動を促す問いが示されている。 B 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されてい る。 C 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されてい ない。	【解説】 必要な資料を選択して有効に活用することで、 <u>歴史的事象を 一面的にとらえるのではなく、様々な角度から考察し公正に 判断するとともに適切に表現する能力と態度を育成すること が大切である。</u>	A	A	C	C	A	B	A	C
	⑭人間の多様性を尊 重し、地球規模の視 野で他者と協働す る力を育てるため の工夫	○文化の多様性に関する資料	A 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹 介する資料が複数掲載されている。 B 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹 介する資料が掲載されている。 C 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹 介する資料が掲載されていない。	【目標】 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解 させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっ ていることを考えさせるとともに、 <u>多民族の文化、生活などに 関心をもたせ、国際協調の精神を養う。</u>	A	A	A	A	A	B	A	A
	⑮伝統を重んじるとと もに、人類の発展に 貢献しようとする高 い志をもたせるため の工夫	○社会の一員としての自覚を 高める問いや具体例	A 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての 自覚に立って未来の創造へ意欲を高めるような問いと具体例 が掲載されている。 B 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての 自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問い又は具体例が掲 載されている。 C 我が国の歴史の大きな流れを振り返り、社会の一員としての 自覚に立って未来の創造へ意欲を高める問いも具体例も掲載 されていない。	【目標】 (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大き な流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理 解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野 に立って考えさせるとともに、 <u>我が国の歴史に対する愛情を 深め、国民としての自覚を育てる。</u>	A	B	B	B	B	B	A	B

種目【 社会：公民的分野 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習課題の示し方	○学習の見通しをもたせるための資料や問いかけ	A 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料がある。 B 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問い又は資料がある。 C 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いも資料もない。	【解説】 この大項目は、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎について、具体的な社会生活と関連付けるなどして理解させ、以後の政治や経済、国際社会の学習の導入とすることを主なねらいとしている。	A	B	B	A	A	B	A
	②公民としての基礎的教養を培うための工夫	○現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例	A 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが事例とともに複数掲載されている。 B 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが事例とともに掲載されている。 C 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが掲載されている。	【解説】 イ 現代社会をとらえる見方や考え方 ここでは「物事の決定の仕方」や「きまり」などの社会生活に見られる事例を示し、その意義などを考えさせることを通して見方や考え方の基礎を身に付けさせることを求めているのである。	A	A	B	A	A	C	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国旗・国歌に関する記載の仕方	A 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示され、国旗・国歌の意義と敬意の表し方が記載されている。 B 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示され、国旗・国歌の意義が記載されている。 C 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示されておらず、国旗・国歌の意義が記載されていない。	【内容の取扱い】 (ウ)「国家間の相互の主権の尊重と協力」との関連で、 <u>国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるよう配慮すること。</u>	B	B	C	B	B	A	A
		○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、記載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する事実が示されている。	【解説】 我が国固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、 <u>現状にいたる経緯、我が国が正当に主張している立場、我が国が平和的手段による解決に向けて努力していることを理解させる。</u>	A	A	C	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例	A 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いがある。 B 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いがある。 C 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いがない。	【目標】 (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、 <u>事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</u>	A	A	C	B	B	C	A
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	A 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。 B 広島県を取り上げた事例を掲載している。 C 広島県を取り上げた事例を掲載していない。	【内容の取扱い】 イ 生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮し、 <u>日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにすること。</u>	A	B	B	B	B	B	B
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順と留意点	A 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容が複数あるとともに、全ての過程において、学習の手順と留意点が示されている。 B 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容があり、学習の手順と留意点が示されている。 C 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容があるが、学習の手順も留意点も示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 生徒の主体的な学習を促し、 <u>課題を解決する能力を一層培うため、各分野において、第2の内容の範囲や程度に十分配慮しつつ事項を再構成するなどの工夫をして、適切に課題を設けて行う学習の充実を図るよう</u> にすること。	A	A	B	A	A	B	A
		○作業的・体験的な学習の事例と具体例	A 作業的・体験的な学習を促す事例が資料と解説で複数掲載されている。 B 作業的・体験的な学習を促す事例が資料と解説で掲載されている。 C 作業的・体験的な学習を促す事例が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに <u>作業的、体験的な学習の充実を図るよう</u> にする。	A	A	B	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○大項目ごとのページ数	A 私たちと現代社会：私たちと経済（経済のしくみ・経済活動）：私たちと政治：私たちと国際社会の諸課題＝1：2：4：2を基準とし、各大項目の誤差の合計が20%未満である。 B 20%以上～25%未満である。 C 25%以上である。		A	A	B	A	A	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが全ての大項目に掲載されている。 B 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されている。 C 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	A	B	A	B	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等を活用し考察を促す事例	A 「選挙の意義」において、考察を促す事例が複数掲載され、吹き出し等による問いが示されている。 B 「選挙の意義」において、考察を促す事例が掲載され、吹き出し等による問いが示されている。 C 「選挙の意義」において、考察を促す事例が掲載されておらず、吹き出し等による問いが示されていない。	【解説】 「選挙の意義」については、～具体的な事例を取り上げて関心を高めさせるとともに、正しい選挙が行われることや選挙に参加することの重要性について十分に考えさせることが大切である。	A	A	B	B	A	C	B
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	A	B	A	A	C	B
《観点5》 言語活動の充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例	A 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されている。 B 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されている。 C 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されていない。	【目標】 現代の社会的な事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	C	A	A	B	A
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点が示されている。 B レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順が示されている。 C レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順が示されていない。	【解説】 公民的分野では、習得した知識、概念や技能を活用して、社会的な事象について考えたことを説明したり、自分の考えをまとめて論述したり、議論などを通して考えを深めたりすることを重視した。	A	A	B	A	A	B	A
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○単元末における発展的な事例	A 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されているとともに、探究的な活動を促す問いが示されている。 B 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されている。 C 全ての単元末に発展的な内容を扱った事例が掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	C	C	A	A	C	C
	⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○文化の多様性に関する資料	A 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料が複数掲載されている。 B 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料が掲載されている。 C 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムも読み物資料も掲載されていない。	【解説】 我が国の伝統と文化が自然や社会とのかかわりの中でどのように受け継がれてきたのかを考えさせたり、～自国の伝統と文化を大切にすることは、他国の伝統と文化を認め、尊重することにつながるなどなどに気付かせることを意味している。	A	A	B	A	A	A	A
	⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○持続可能な社会の形成への参画を促す資料や問い	A 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料と問いがある。 B 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。 C 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、生徒に社会参画を促す資料も問いもない。	【解説】 公民的分野はもとより、地理的分野、歴史的分野などの学習の成果を生かし、これからのよりよい社会の形成に主体的に参画する態度を養うこととした。	A	A	B	A	B	C	A

種目【 社会：地図 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					東書	帝国
《観点1》 基礎・基本 の定着	① 題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	○地図の見方の記載とその内容	A 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例，読図の視点が示されている。 B 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例が示されている。 C 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例が示されていない。	【解説】 (1) 教科の改訂の要点 オ 地理的技能の育成の一層の重視 地図の読図や作図は，地理的事象の理解だけでなく，地理的な見方や考え方をはぐくむ上で必要不可欠な能力である。	A	A
	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文及び経緯に関する資料が掲載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文が掲載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文が掲載されていない。	【内容の取扱い】 (4) イ「領域の特色と変化」については，我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに， <u>北方領土が我が国の固有の領土であることなど，我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。</u>	B	A
	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○環境・国際理解等の学習への活用	A 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されている。 B 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題又は世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されている。 C 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されていない。	【解説】 「我が国の国土（の地域的特色）」については，視野の狭い学習により単に地理的知識を詰め込むのではなく， <u>世界的視野から多面的・多角的に追究する学習</u> を通してとらえさせる必要がある。	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるための記載内容	A 一般図と資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が記載され，地図の読み取りの視点が具体的な記述で示されている。 B 一般図又は資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が記載され，地図の読み取りの視点が具体的な記述で示されている。 C 各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が地図に記載されている。	【解説】 (1) 教科の改訂の要点 オ 地理的技能の育成の一層の重視 地図の読図や作図は，地理的事象の理解だけでなく，地理的な見方や考え方をはぐくむ上で必要不可欠な能力である。	B	A
	⑤ 課題の設定，整理・分析，振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題を追究するための資料の構成	A 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が複数掲載されている。 B 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が掲載されている。 C 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が掲載されていない。	【解説】 地域的特色を追究するための適切な課題を設定し， <u>様々な資料を適切に活用して地域的特色を考察し，追究した過程や結果を適切に表現するといった学習活動を，生徒に実際に取り組ませるようにすることが大切である。</u>	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列	○基礎資料図の記載	A 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料がめあてとともに掲載されている。 B 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料が掲載されている。 C 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料が掲載されていない。	【解説】 この中項目（世界各地の人々の生活と環境）は，世界各地の人々の生活の様子を， <u>衣食住や宗教とのかかわり</u> を中心に，自然及び社会的条件と関連付けて考察させ，世界の人々の生活や環境の多様性を理解させることを主なねらいとしている。 この中項目（世界と比べた日本の地域的特色）は「(ア) 自然環境」「(イ) 人口」「(ウ) 資源・エネルギーと産業」「(エ) 地域間の結び付き」の四つの小項目から構成されている。	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○資料の種類	A 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料が全て掲載されている。 B 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料のいずれかが掲載されている。 C 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料が掲載されていない。	【解説】 (ア) アジア：＜主題例＞人口急増と多様な民族・文化“なぜアジアでは人口が急増し，民族，文化が多様なのか”という問いを立て，アジアにおける <u>人口急増地域の分布，産業発展と人々の生活のかかわり，民族や宗教分布，宗教と生活とのかかわり</u> ，宗教の伝播や人口の地域間移動の推移などを追究すると，アジアの人口問題の出現や多様な民族構成，文化形成の背景が分かり，アジアの地域的特色の理解につながる。	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					東書	帝国
《観点5》 言語活動の 充実	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫	○地図を活用した調べ方の事例	A 地図を活用した調べ方とその手順が資料とともに記載され、索引の使い方が示されている。 B 地図を活用した調べ方とその手順が記載されている。 C 地図を活用した調べ方とその手順が記載されていない。	【解説】 「主な国々の名称と位置」については、(中略) 国名を単に覚えるだけの学習にならないよう、索引を使って国の位置を探するなど地図帳を活用した学習活動を行ったり、人物名、山、川などの地形名などに由来する国名に着目させたりするなど、生徒の関心を引き出す指導を工夫することが考えられる	A	A
	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○地図を活用した表現の記載の仕方	A 資料の読み取りを促す問いが大項目ごとに示されている。 B 資料の読み取りを促す問いが示されている。 C 資料の読み取りを促す問いが示されていない。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	A	A
《観点6》 学校の特色 を生かす工夫	⑩知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○自ら考察することを促す問い	A 中項目ごとに、資料を関連付けて考察する問いが示されている。 B 資料を関連付けて考察する問いが示されている。 C 資料を関連付けて考察する問いが示されていない。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	B	A
	⑪人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○日本及び世界の文化に関する資料	A 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料と地図が複数掲載されている。 B 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料と地図が掲載されている。 C 世界各地の人々の生活と環境において、日本の文化に関する資料や地図が掲載されていない。	【解説】 「我が国の国土(の地域的特色)」については、視野の狭い学習により単に地理的知識を詰め込むのではなく、世界的視野から多面的・多角的に追究する学習を通してとらえさせる必要がある。	A	B
	⑫伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○世界的な課題に関する資料	A 世界各地の人々の生活と環境において、環境問題に関する資料と探究的な活動を促す問いが示されている。 B 世界各地の人々の生活と環境において、環境問題に関する資料が示されている。 C 世界各地の人々の生活と環境において、環境問題に関する資料が示されていない。	【中央教育審議会答申】 持続可能な社会という視点から環境問題や少子高齢社会における社会保障と財政の問題などについて考えさせる学習を重視して内容を構成する。	B	A

種目【 数学 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	大日本	学 図	教 出	啓林館	数研	日 文
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標を達成するための工夫	○学習課題と解決の過程	A Bの基準を満たし、さらに、説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 B 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 C Bの基準に達していないもの。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	A	A	A	B	B
	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りに関する扱い	A Bの基準を満たし、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 B 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述がある。 C Bの基準に達していないもの。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 生徒の学習を確実なものとするために、新たな内容を指導する際には、すでに指導した関連する内容を意図的に再度取り上げ、学び直しの機会を設定することに配慮するものとする。	A	A	A	A	A	A	B
	③事象を数理的に考察するための工夫	○日常生活や社会における事象を考察させている具体例とその展開	A Bの基準を満たし、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開が示されている。 B 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象が示されている。 C Bの基準に達していないもの。	【解説】 「事象を数理的に考察し表現する能力を高める」について「日常生活や社会において事象を数理的に考察する例として、実験や実測を通して得た具体的な資料を基にして予測することがある。例えば、水を熱し始めてからある温度になるまでの時間を知りたいとき、時間と水温の関係を調べてその結果をグラフに表し、おおむね直線状に並んでいることから一次関数とみなして予測することができる。」	B	A	A	B	A	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常生活とのかかわりを取り扱われている具体例	A Bの基準を満たし、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 B 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材がある。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 イ 日常生活で数学を利用する活動	A	A	A	A	A	A	A
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題の具体例	A Bの基準を満たし、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 B 計算の仕方について問題解決的な学習の場面が設定されている。 C Bの基準に達していないもの。	【解説】 新たな知識の獲得やより深い数学的認識は、自らの活動による数学的な経験に応じて得られるものであることから、主体的に問題解決的な学習に取り組むことができるような数学的活動を充実させることが必要である。	A	B	A	B	A	B	A
	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫	○見いだす活動を行わせるための具体例とその展開	A Bの基準を満たし、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 B 具体例を通して規則性を見いだすような展開が示されている。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 ア 既習の数学を基にして、数や図形の性質などを見いだし、発展させる活動	A	A	A	A	A	A	A
	⑦自学自習を行うための記述の工夫	○ヒントやポイントを示した吹き出し等の記載例	A Bの基準を満たし、さらに、その数が全者の平均以上ある。 B 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 C Bの基準に達していないもの。		B	B	A	A	B	A	B
《観点3》 内容の構成 ・配列・分量	⑧単元や資料等の配列	○各単元の章末問題、巻末問題、巻末資料の具体例	A Bの基準を満たし、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 B 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 C Bの基準に達していないもの。		A	A	A	A	B	B	B
	⑨発展的な学習に関する内容の記述	○該当学年で学習する範囲を超えた内容の具体例	A Bの基準を満たし、さらに次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 B 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にある。 C Bの基準に達していないもの。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 第2の各学年の目標の達成に支障のない範囲内で、当該学年の内容を軽く取り扱い、それを後の学年で指導することができる。また、学年の目標を逸脱しない範囲内で、後の学年の内容の一部を加えて指導することができる。	B	A	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
《観点4》 内容の表現・表記	⑩イラスト・写真の活用	○イラスト・写真の具体例	A Bの基準を満たし、さらにイラスト・写真の合計数が全体の平均以上ある。 B 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真が掲載されている。 C Bの基準に達していないもの。		A	B	A	A	B	B	B
	⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	○説明したり、話し合ったりする問題や問等の具体例	A Bの基準を満たし、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 B 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはある。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 ウ 数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動	B	B	A	A	A	B	A
《観点5》 言語活動の充実	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	○ノートのかき方の取扱い	A Bの基準を満たし、さらに単元の中にも記述がある。 B 各学年の巻頭にノートのかき方の記述がある。 C Bの基準に達していないもの。		A	B	A	B	B	A	B
	⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解	A Bの基準を満たし、さらに新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりするという2つの記述がある。 B 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 C Bの基準に達していないもの。	【第2学年 目標(2)】 基本的な平面図形の性質について、 <u>観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。</u>	A	B	A	A	A	B	A
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○数学的な表現を用いて説明し伝え合う問題例、記載数	A Bの基準を満たし、さらに各単元の中にも記述がある。 B 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 ウ 数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動	B	B	A	A	A	B	A
	⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○レポート作成の扱い、記載例、記述ページ数	A Bの基準を満たし、さらに、生徒のレポートの具体例が記載されている。 B レポートのかき方についての記載がある。 C Bの基準に達していないもの。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 数学的活動の過程を振り返り、レポートにまとめ発表することなどを通して、その成果を共有する機会を設けること。	A	A	A	B	A	C	A

種目【 理科 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	大日本	学図	教出	啓林館
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元や章の導入における取扱い内容	A Bの基準を満たし、単元の導入で示されているねらいにつながるような課題や問いかけが全ての章の導入で行われている。 B 単元の導入において、「これから学ぶこと」、「ねらい」が具体的に示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	B	B	B	B
	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	○既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例	A Bの基準を満たし、既習事項の数が5者の平均以上示されている。 B 単元末に基本的な概念や用語が記載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	A	A	B	B
	③観察、実験の技能を習得させるための工夫	○観察、実験の基本操作及び観察、実験における安全確保の状況	A Bの基準を満たし、実験器具の基本操作が5者の平均以上示されている。 B 観察、実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項が記載されており、各実験との関連性が図られている。また、レポート（ノート）の記述のしかた、グラフのかき方の説明がされている。 C 基本操作の説明や危険防止のための留意事項が記載されているが、実験との関連性が図られていない。または、レポート（ノート）、グラフのかき方についての説明がない。	【解説】 物質の性質及び物質の状態変化の様子についての観察、実験を行い、結果を分析して解釈し、物質の性質や溶解、状態変化について理解させるとともに、物質を調べるための実験器具の操作や、実験結果の記録の仕方やレポートの書き方などの技能を習得させること及び物質をその性質に基づいて分類したり分離したりする能力を育てることが主なねらいである。	B	A	A	B	A
	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	○環境保全に関する取扱い方	A Bの基準を満たし、持続可能な社会の構築のために生徒が日常生活の中で実践できる取組を複数紹介されている。 B 薬品廃棄処理、中和を利用した環境保全について意識的に記載されている。かつ、自然界のつり合いに人間の活動が影響を与えている事例を複数挙げられている。 C 廃液処理、中和を利用した環境保全について意識的には記載されていない。または、自然界のつり合いに人間の活動が影響を与えている事例が複数挙げられていない。	【解説】 人間の活動などが自然界のつり合いに影響を与えていることを理解させるとともに、自然環境を保全することの重要性を認識させることが主なねらいである。 【解説】 廃棄物の処理は生徒に環境への影響や環境保全の大切さを考えさせるよい機会となる。特に、薬品を廃棄する場合、例えば、酸やアルカリの廃液は中和してから多量の水で薄めながら流すなど適切な処理をする必要がある。一方、重金属イオンを含む廃液は放流することを禁じられているのでそのまま廃棄することはせず容器に集めるなど、適切な方法で回収保管し、最終処分は廃棄物処理業者に委託する。	A	A	B	A	C
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等	A Bの基準を満たし、学習内容と職業との関連付けを図った読み物等が記載されている。 B 学習内容と日常生活や社会との関連付けを図った読み物等が全ての単元で記載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていることに触れること。また、理科で学習することが様々な職業などと関係していることにも触れること。	A	A	A	B	A
	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い	○ものづくりの内容、数及び補充的な観察・実験の数	A Bの基準を満たし、全ての単元にもものづくり（単なる調べものは除く）が位置付けられている。 B 全ての章に補充的な観察・実験が位置づけられている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 原理や法則の理解を深めるためのものづくりを、各内容の特質に応じて適宜行うようにすること。	A	A	A	A	A
	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	○科学的に探究する活動の過程の示し方	A B基準の科学的に探究する活動の過程が全ての学年で示されている。 B 科学的に探究する活動の過程がまとめて示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 観察、実験、野外観察を重視するとともに、地域の環境や学校の実態を生かし、自然の事物・現象を科学的に探究する能力の基礎と態度の育成及び基本的な概念の形成が段階的に無理なく行えるようにすること。	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東 書	大日本	学 図	教 出	啓林館
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧単元の配列の工夫	○単元の配列	A 1年の粒子分野において、単元配列が「気体」→「水溶液」→「状態変化」となっている。かつ、2年生のエネルギー分野において、単元配列が「電流の正体」→「電流と電圧」→「電流と磁界」となっている。 B 1年の粒子分野において、単元配列が「気体」→「水溶液」→「状態変化」となっている。または、2年生のエネルギー分野において、単元配列が「電流の正体」→「電流と電圧」→「電流と磁界」となっている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 事項の順序は、特に示す場合を除き、指導の順序を示すものではないので、学校においては、その取扱いについて適切な工夫を加えるものとする。 【総則解説】 学校においては、創意工夫を加え、地域や学校の実態及び生徒の発達の段階や特性を考慮し、系統的、発展的な指導が進められるよう <u>指導内容を具体的に組織、配列することが必要である。</u>	A	C	C	A	B
	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫	○「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い	A B基準の調べ学習のテーマ例の中に学習指導要領解説に記載されている内容が全て入っている。 B 環境問題について、調べ学習のテーマ例が紹介されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 科学技術の利用と環境保全に関わる事柄をテーマとして取り上げ、生徒に選択させるようにする。テーマとして、次のような例が考えられる。 ・新エネルギーの利用と環境への影響 ・原子力の利用とその課題 ・バイオ燃料の利用とその課題 ・環境保全と資源の利用	B	B	B	B	A
	⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	○補充的な問題及び発展的な学習の取扱い	A Bの基準を満たし、各章にも補充的な問題が設定されている。かつ、全ての単元に発展的な学習の内容が複数紹介されている。 B 全ての単元に補充的な問題が設定され、かつ、全ての単元に発展的な学習の内容が紹介されている。 C 全ての単元に補充的な問題が設定されていない。または、発展的な学習の内容が単元に位置づいていない。	【総則解説】 指導方法については、生徒の発達の段階や学習の実態などに配慮しながら、(中略)生徒の興味・関心や理解の状況に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導などを柔軟かつ多様に導入することが重要である。	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い	○単元の導入部分における写真や資料等の取扱い方及び巻頭・巻末の資料の内容	A Bの基準を満たし、巻頭・巻末資料において、広島県に関わる資料が紹介されている。 B 全ての学年の各単元の導入にその単元に関係する図や写真が掲載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則解説】 教科では、基礎的・基本的な知識・技能を習得しつつ、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する	B	B	B	A	A
《観点5》 言語活動 の充実	⑫観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫	○分析・解釈する視点の与え方とその具体例	A Bの基準を満たし、グラフの分析の視点を具体的に示されている。 B 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいのか、視点が示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 観察、実験などを行うに当たっては、 <u>表やグラフの作成</u> 、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、 <u>思考力や表現力などを養うことが重要である。</u>	A	A	A	A	A
	⑬科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫	○レポート作成の示し方、話し合いや説明の活動を促す工夫	A Bの基準を満たし、レポートの書き方が全学年で示されている。 B レポートの例、話し合いや説明の場面が全学年で示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 課題解決のために探究する学習活動には、(中略)科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが考えられる。(中略)例えばレポートの作成、発表、討論など知識及び技能を活用する学習活動を工夫し充実に図る必要がある。	A	C	C	B	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑭知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○科学的な探求の流れにそった観察・実験の記述	A Bの基準を満たし、課題や観察・実験のねらいに対応した考察の内容となっている割合が5者の平均以上である。 B 章の最初に前の章の学習との関連性を意識した記述が見られる。 C Bの基準を満たしていない。	【目標】 目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。	A	B	B	B	A
	⑮人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○生徒同士で意見を検討・改善させる工夫	A B基準の場面が全ての単元で複数設定されている。 B 意図的に意見を話し合っ考えさせる場面が全ての単元に設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 観察、実験を計画する場面で、 <u>考えを発表する機会を与えたり、検証方法を議論したりしながら考えを深め合うなどの学習活動が考えられる。</u>	A	B	A	C	C
	⑯伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○目的意識をもたせ、生徒の主体的な学びを促す場面の設定	A B基準の場面が全ての単元で複数設定されている。 B 意図的に学習した内容を活用して考えさせる場面を全ての単元に設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 「 <u>科学的な見方や考え方を養うこと</u> とは、自然を科学的に探究する能力や態度が育成され、自然についての理解を深めて知識を体系化し、いろいろな事象に対してそれらを <u>総合的に活用できるようになることである。</u>	A	B	C	C	C

種目【 音楽：音楽一般 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	A 題材の学習目標が明確に示されている。 B 題材の学習目標が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A
		○〔共通事項〕について記載	A 各学年の題材において、扱う〔共通事項〕が示されている。 B 題材において、扱う〔共通事項〕が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の要点】 キ この〔共通事項〕は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、 <u>表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫することとした。</u> 【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、 <u>表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫すること。</u>	B	A
	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	○歌唱の技能のうち、発声のポイントや身体の使い方等についての記載	A 発声のポイント等を扱ったページが、各学年に掲載されている。 B 発声のポイント等を扱ったページが掲載されている。 C 発声のポイント等を扱ったページが掲載されていない。	【目標】 〔第1学年〕 1 目標 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、 <u>基礎的な表現の技能を身に付け、</u> 創意工夫して表現する能力を育てる。 【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) イ <u>変声期について気付かせるとともに、変声期の生徒に対しては心理的な面についても配慮し、適切な声域と音量によって歌わせるようにすること。</u> (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、 <u>言葉と音楽との関係、姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	B	A
		○歌唱の技能のうち、我が国の伝統的な歌唱に関する記載	A 伝統的な歌唱が複数学年において掲載されており、発声のポイントが示されている。 B 伝統的な歌唱が掲載されており、発声のポイントが示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) イ <u>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) イ <u>曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。</u>	B	A
		○歌唱共通教材の構成と扱う学年	A 全ての楽曲において、学習のポイントと楽曲の背景が示されている。 B 学習のポイントと楽曲の背景が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) ア 各学年の「A表現」の(4)のイの(ア)の歌唱教材については、以下の <u>共通教材の中から各学年に1曲以上を含めること。</u> 【内容】 〔第1学年〕及び〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (4) イ(ア) <u>我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</u>	A	B
③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	○創作の題材の取り上げ方と題材構成の扱い	A 「旋律づくり」及び「構成の工夫」の視点を関連付けた創作の活動が掲載されている。 B 「旋律づくり」及び「構成の工夫」を視点とした創作の活動が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (3) ア <u>言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (3) ア <u>言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</u>	A	B	

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	④様々な音楽文化についての理解を深める工夫	○我が国の音楽文化の取り上げ方	A 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材が、各学年においてそれぞれ掲載されているとともに、巻末の資料との関連付けがされている。 B 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材が、各学年においてそれぞれ掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の趣旨】 (ii) 改善の具体的事項 (エ) 我が国の伝統文化に関する学習を充実する観点から、和楽器については、簡単な曲の表現を通して、伝統音楽のよさを一層味わうことができるようにするとともに、我が国の伝統的な歌唱の指導も重視するようにする。 【音楽科改訂の要点】 (1) 目標の改善 「音楽文化についての理解を深め」ることを教科目標の中に規定した。 音楽科では、例えば、曲種に応じた発声や和楽器で表現すること、音楽をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞することなど、生徒が音楽文化について理解を深めていくことにつながる学習が行われる。	B	A
		○諸外国の音楽文化の取り上げ方	A 諸外国の音楽文化を扱った題材が、各学年において掲載されており、さらに我が国の音楽文化との関連について記載されている。 B 諸外国の音楽文化を扱った題材が、各学年において掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。		A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○巻末の合唱曲の扱い	A 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲が複数掲載されている。 B 巻末において、合唱曲が複数掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の趣旨】 (ii) 改善の具体的事項 (オ) 合唱や合奏など全員で一つの音楽をつくっていく体験を通して、表現したいイメージを伝え合ったり、協同する喜びを感じたりする指導を重視する。 【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	A	A
		○巻頭と巻末の資料の内容	A 全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られている。 B 巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られている。 C 巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られていない。		A	A
	⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫	○思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例	A 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が複数掲載されている。 B 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が掲載されている。 C 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が掲載されていない。	【解説】 音を音楽のよさや美しさなどの質的な世界を感じ取りながら思考・判断し表現する一連の過程を大切にしたい指導が必要となる。	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦教材の分量及び配列	○教材の配列とその具体例、目次に示された領域ごとの教材	A 各学年において、領域同士を関連させて、教材が配列されている。 B 領域同士を関連させて、教材が配列されている。 C Bの基準が満たされていない。		A	A
		○発展的な学習に関する内容の記述とその具体例	A 学習指導要領の内容との関連を図った発展的な内容について記載されている。 B 発展的な内容について記載されている。 C 発展的な内容が記載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容	A 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが、すべての領域において記載されている。 B 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが記載されている。 C 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが記載されていない。		A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点5》 言語活動の 充実	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫	○鑑賞の視点の提示の仕方とその具体例	A 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材が複数掲載されている。 B 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) ア <u>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) ア <u>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。</u>	A	A
	《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○創作における音を音楽へと構成する過程の扱い	A 各学年の創作の題材において、イメージを膨らませながら、音を音楽へと構成する過程が具体的に記載されている。 B 創作の題材において、イメージを膨らませながら、音を音楽へと構成する過程が記載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (3) イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (3) イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</u>	B
⑫人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫		○歌唱における合唱の扱い	A 各学年の合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。 B 合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ <u>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて、歌うこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ <u>声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて、歌うこと。</u>	A	A
		○鑑賞における諸外国の音楽文化の扱い	A 各学年において諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されている。 B 諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されている。 C 諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) ウ <u>我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) イ <u>我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。</u>	A	A
⑬伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫		○鑑賞における我が国の音楽文化の扱い	A 各学年の我が国の音楽の鑑賞において、全ての題材で楽曲の特徴をその楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料が掲載されている。 B 各学年の我が国の音楽の鑑賞において、一部の題材で楽曲の特徴をその楽曲の文化的・歴史的背景と関わらせて感じ取らせるための記述や資料が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) イ <u>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1) イ <u>音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。</u>	A	A

種目【 音楽：器楽合奏 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	A 題材の学習目標が明確に示されている。 B 題材の学習目標が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A
	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	○和楽器の取扱い方	A 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等が写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明されている。 B 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等が写真等を用いて説明されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ 楽器の特徴をとらえ、 <u>基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ 楽器の特徴を理解し、 <u>基礎的な奏法を生かして演奏すること。</u>	A	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	③興味・関心を高めるための工夫	○合奏のための教材	A 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が複数掲載されている。 B 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されている。 C 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (7) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア <u>生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにするなどコミュニケーションを図る指導を工夫すること。</u>	B	A
		○巻頭・巻末の内容	A 演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等が掲載されるとともに、巻頭にある内容と異なった多様な種類の内容が巻末に取り上げられている。 B 演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等が掲載されるとともに、巻頭にある内容が重複して巻末にも取り上げられている。 C Bの基準が満たされていない。		B	A
	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	○和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の具体例	A 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説が記載されるとともに、複数の練習曲及び関連する鑑賞教材が掲載されている。 B 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説が記載されるとともに、複数の練習曲が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、 <u>和楽器の指導については、3年間を通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること。</u> (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	B	A
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑤教材の分量及び配列	○教材の配列	A クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽やそれらの合奏曲が教材として掲載されている。 B クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽が教材として掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【解説】 「我が国及び諸外国の様々な音楽」は、 <u>我が国及び諸外国の芸術音楽、民族音楽、ポピュラー音楽など幅広くとらえることが大切である。</u> <u>小アンサンブルなどによる様々な編成を工夫して、生徒が表現したい方法を形態を選択して取り組むなど、生徒一人一人が個性を発揮し、主体的に活動することができるよう工夫することが大切である。</u>	A	B
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○写真の内容	A 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を様々な角度から撮影した複数の写真が掲載されているとともに、演奏家が演奏している写真が、巻頭・巻末に掲載されている。 B 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を様々な角度から撮影した複数の写真が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	A	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
		○イラスト等の活用	A 楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しが全ての楽器のページに掲載されている。 B 楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しが掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ <u>楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ <u>楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。</u>	B	B
《観点5》 言語活動 の充実	⑦思いや意図を相互 に伝え合う活動の 工夫	○表現の工夫を伝え合う活 動につながる記述と具体 例	A 表現の工夫を伝え合う活動が複数掲載されている。 B 表現の工夫を伝え合う活動が掲載されている。 C 表現の工夫を伝え合う活動が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (7) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア <u>生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにする などコミュニケーションを図る指導を工夫すること。</u>	B	A
《観点6》 学校の特色 を生かす工 夫	⑧知性, 探究心, 創造 性, 逞しさを育むた めの工夫	○器楽と鑑賞の関連につい て	A 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数掲載されて いる。 B 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画作成上の配慮事項】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共 通に必要なものであり、表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫す る。 【解説】 〔共通事項〕をよりどころとして、表現と鑑賞の相互関連を図った題材の指導計画を作成した り、歌唱、器楽、創作の相互関連を図った題材の指導計画を作成したりすることも重要である 。	A	A
	⑨人間の多様性を尊 重し, 地球規模の視 野で他者と協働す る力を育てるため の工夫	○多様な合奏曲の掲載	A 我が国の音楽、諸外国の音楽の合奏曲の掲載、和楽器、ギター、手拍子な ど多様な楽器等を使用した合奏曲を掲載している。 B 我が国の音楽、諸外国の音楽の合奏曲を掲載している。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 ウ <u>声部の役割と全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 ウ <u>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏する こと。</u>	A	A
	⑩伝統を重んじると ともに, 人類の発展 に貢献しようとし る高い志をもたせ るための工夫	○和楽器において、その楽 器の歴史的背景等につい ての記載	A 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景が複数記載されている。 B 和楽器のページにおいて、その楽器の歴史的背景が記載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽 器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、和楽器の指導については、 <u>3学年間を 通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことが できるよう工夫すること。</u>	A	A

種目【 美術 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					開隆堂	光村	日文
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○評価の4観点を踏まえた題材の目標の示し方及び課題意識の持たせ方	A 題材の目標（振り返り）が観点別に示された上で、課題意識をもたせる問いが示されている。 B 題材の目標（振り返り）が観点別に示されている。 C 題材の目標（振り返り）が観点別に示されていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	B	A	B
	②作品の理解を深めるための工夫	○制作手順の掲載(図・写真)	A 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されている。 B 絵、彫刻、デザイン、工芸の複数の領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されている。 C 絵、彫刻、デザイン、工芸の複数の領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されていない。	【内容】 第2学年及び第3学年 A表現（3） イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。 【解説】 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考え」とは、材料や用具、表現方法を効果的に活用するために、その特性などから制作の順序や見通しを考慮することである。	A	A	A
	③日本の美術文化に関する内容	○日本の伝統的な表現や技法による作品の掲載の仕方	A 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載され、比較できるような問いが記載されている。 B 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載されている。 C 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載されていない。	【内容】 第2学年及び第3学年 B鑑賞（1） ウ 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○表現への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	A 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文（～しよう。）とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されている題材の数が複数ある。 B 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文（～しよう。）とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されている。 C 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文（～しよう。）とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されていない。	【解説】 「A表現」は、主体的に描いたりつくったりする表現の幅広い活動を通して、発想や構想の能力と、創造的な技能を育成する領域である。 生徒の創造的な技能の伸長を図るには、表現活動の中で、生徒が自分のもっている力を発揮しながら表現方法を選択したり、試行錯誤しながら創意工夫したりする場面を意図的に位置付け、発想や構想の能力と、それを表現する技能とを関連付けながら指導することが重要である。	A	A	A
		○鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	A 原寸大で示すなど作品に興味をもたせるための鑑賞作品の提示の仕方が工夫されているとともに、比較できる作品等が同一題材に複数掲載されている。 B 原寸大で示すなど作品に興味をもたせるための鑑賞作品の提示の仕方が工夫されている。 C 作品に興味をもたせるような鑑賞作品の提示の仕方が工夫されていない。	【解説】 「B鑑賞」では、主体的な鑑賞の能力を高めることをねらいとしており、授業では漠然と鑑賞をするのではなく、教師が造形的な要素などの見る視点を与えることが大切である。 作品に対する生徒の興味・関心をより高めたり、いくつかの鑑賞の視点を設定したりしながら、できるだけ生徒自身の目や手、心や知で作品のよさや美しさを発見し鑑賞を深めていけるような配慮が必要である。	A	A	A
	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	○生活や社会における美術の働きを実感するための具体例の示し方	A 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示され、生活に生かすことを前提に自ら調べることを促す問いが設定されている。 B 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示されている。 C 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示されていない。	【解説】 鑑賞の対象を美術作品に限定せず、日用品を含む工芸品、動植物、風景、四季や自然現象など、自然や環境、生活に見られる造形をも対象に含めて幅広く考えることを示している。特に、自然や身の回りの造形に目を向けることは、生活の中の造形や美術の働きを感じ取る上でも重要である。	B	A	B
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥題材や資料等の配列	○題材の構成と分量	A 「A表現」（1）（2）に関する題材と「B鑑賞」（1）のみに関する題材の割合が1：1程度であり、題材の構成のバランスが極めて取れている。 B 「A表現」（1）（2）に関する題材と「B鑑賞」（1）のみに関する題材の割合の差が2割程度であり、題材の構成のバランスがおおむね取れている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。 （1）第2の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互の関連を図るようにすること。	B	B	B
	⑦掲載している作品等の数	○〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品等の数	A 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が、「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載されている。 B 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品が掲載されている。 C 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品が掲載されていない。	【解説】 一人の作者の表現を形や色彩、技法などと主題の関係について根拠をもって理解し、その上で個性的な生き方や作者の残した言葉などから内面まで推し量り、鑑賞を深めることは意義深い。	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					開隆堂	光村	日文
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧折り込みページの 活用及び大型図版 の掲載	○見開き又は折り込みペー ジの大型図版の示し方	A 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かした作品提 示が工夫されている。 B 見開き又は折り込みページの大型図版が提示されている。 C 見開き又は折り込みページの大型図版が提示されていない。	【解説】 鑑賞作品については、 <u>実物と直接向かい合い</u> 、作品のもつよさや美しさを実感 をもってとらえさせることが理想であるが、 <u>それができない場合は、大きさや 材質感など実物に近い複製</u> 、 <u>作品の特徴がよく表されている印刷物</u> 、 <u>ビデオ</u> 、 <u>コン ピュータなどを使い</u> 、効果的に鑑賞指導を進めることが必要である。	A	A	A
	《観点5》 言語活動の 充実	⑨言語を用いた発 想・構想の工夫	○発想・構想段階における話 合いや発表の事例	A 発想・構想のための話合いの視点が複数提示され、写真や図とともに段 階を追って解説されている。 B 発想・構想のための話合いの視点が複数提示されている。 C 発想・構想のための話合いの視点が提示されていない。	【解説】 形や色彩、材料などを、単に自己の感覚のままに用いるのではなく、 <u>他者に 対しても共感が得られるように</u> 、 <u>造形やその効果に対する客観的な見方やと らえ方の指導が必要になる。</u>	A	A
⑩鑑賞の仕方の工夫		○言語活動を促す鑑賞の方 法の示し方及び具体例	A 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、〔共通事項〕を踏ま えて提示され、写真や図とともに解説されている。 B 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法が提示されている。 C 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法が提示されていない。	【解説】 「B鑑賞」では、 <u>作品などに対する思いや考えを話し合い</u> 、 <u>対象の見方や感 じ方を広げる場面で</u> 、 <u>漠然と作品を鑑賞するのではなく</u> 、〔共通事項〕の視点 から鑑賞することで、 <u>作品を構成している造形の要素や形や色彩などから生 じる感情や</u> 、 <u>特徴からとらえたイメージなどを基に話したり他の生徒の意見 を聞いたりするなどの学習活動が考えられる。</u>	A	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工 夫	⑪知性、探究心、創造 性、逞しさを育むた めの工夫	○美術を学ぶことの意欲を もたせる工夫	A 美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義に気付かせる等の設定が複数 ある。 B 美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義に気付かせる等の設定がある。 C 美術の学習のスタートで、美術を学ぶ意義に気付かせる等の設定がない。	【第2学年及び第3学年 目標(1)】 <u>主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を 創造していく意欲と態度を高める。</u> 【解説】 創造活動は、 <u>新しいものをつくり出す活動であり</u> 、 <u>創造活動の喜びは美術の 学習を通して生徒一人一人が楽しく主体的、個性的に自己を発揮したときに 味わうことができる。</u> すなわち、表現活動においては、 <u>ただ自由に表現する ということではなく</u> 、 <u>自己の心情や考え、イメージを基に自分が表現したい ことをしっかりと意識して考え</u> 、それが自分の表現方法で作品として実体化 されたときに実感することができる。また、鑑賞活動においては自分の見方 や感じ方に基づいて想像力を働かせて見ることで、作品に対する見方が深まり 新たな発見をしたり感動したり、自分にとっての価値をつくりだしたりし たときに味わうことができる。 <u>創造活動の喜びは、このような活動の主体者 の内面に重点を置いた活動を展開する中で、新しいものをつくりだしたいと いう意欲とそれを実現するための資質や能力が調和よく働いたときに豊かに 味わうことができるようになるものである。</u>	A	A	A
	⑫人間の多様性を尊 重し、地球規模の視 野で他者と協働す る力を育てるため の工夫	○諸外国の美術や文化との 相違や共通性に関する示 し方	A 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせることができるよう、資 料が工夫して掲載されている。 B 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせることのできる資料が掲 載されている。 C 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせることのできる資料が掲 載されていない。	【解説】 美術においては、 <u>古くからの美術作品や生活の中の様々な用具や造形などが 具体的な形として残されており</u> 、 <u>受け継がれてきたものを鑑賞することによ り</u> 、 <u>その国や時代に生きた人々の美意識や創造的な精神などを直接感じ取る ことができる。</u> それらを踏まえて現代の美術や文化をとらえることにより、 <u>文化の継承と創造の重要性を理解するとともに</u> 、 <u>美術を通じた国際理解にも つながることになる。</u> 【内容】 第2学年及び第3学年 B鑑賞(1) ウ 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑 賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるととも に、 <u>諸外国の美術や文化との相違と共通性に気づき</u> 、 <u>それぞれのよさや美し さなどを味わい</u> 、 <u>美術を通じた国際理解を深め</u> 、 <u>美術文化の継承と創造への 関心を高めること。</u>	A	A	B
	⑬伝統を重んじると ともに、人類の発展 に貢献しようとする 高い志をもたせる ための工夫	○日本の美術や伝統、文化の 理解と継承に関する記述 及び具体例	A 日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例が 複数掲載されている。 B 日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例が 掲載されている。 C 日本の伝統的な作品及び美術文化について理解するための作品や具体例が 掲載されていない。	【解説】 美術においては、 <u>古くからの美術作品や生活の中の様々な用具や造形などが 具体的な形として残されており</u> 、 <u>受け継がれてきたものを鑑賞することによ り</u> 、 <u>その国や時代に生きた人々の美意識や創造的な精神などを直接感じ取る ことができる。</u> それらを踏まえて現代の美術や文化をとらえることにより、 <u>文化の継承と創造の重要性を理解するとともに</u> 、 <u>美術を通じた国際理解にも つながることになる。</u>	A	A	A

種目【 保健体育 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	大日本	大修館	学研
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の提示、指導内容の体系化が図られた記載内容	A 単元の目標が示され、学校段階の接続に応じて指導内容を整理し、体系化が図られている記載がある。 B 単元の目標が示されている。 C 単元の目標が示されていない。	【解説】 発達の段階のまとまりを考慮し、小学校、中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ること。	A	B	B	A
	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	○健康・安全に関する科学的な理解を図るための資料等への補足説明の内容	A 資料等の補足資料に説明が付され、さらにポイントとなる箇所に吹き出しなどで説明を加えている。 B 資料等の補足資料に説明が付されている。 C 資料等の補足資料に説明がない。	【解説】 抽象的な思考なども可能になるという発達の段階を踏まえて、心身の健康の保持増進に関する基礎的・基本的な内容について科学的に思考し、理解できるようにする。	A	B	A	B
	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○基本用語の取扱いと学習の振り返り	A 習得すべき基本用語の解説が具体的に示され、学習の振り返りができるような問題等が記載されている。 B 習得すべき基本用語の解説が具体的に示されている。 C 習得すべき基本用語の解説が示されていない。	【解説】 心身の健康の保持増進にかかわる資質や能力を育成するため、基礎的・基本的な知識の暗記や再現にとどまらず、知識を活用する学習活動によって思考力・判断力などの資質や能力が育成されるよう、実習や実験などの指導方法の工夫を行うこと。	A	B	C	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める読み物の取扱い	A 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物が掲載されている。 B 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について記載されている。 C 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について記載されていない。	【学びのイノベーション事業実証研究報告書】 画像や動画等、視覚的でわかりやすい教材を活用しながら説明することで、児童生徒の学習に対する興味関心を喚起し、意欲的に学習にとりくむことができた。	A	A	A	A
	⑤体験的な学習を実施するための工夫	○実習や調査を実施するための資料の取扱い数	A すべての大単元に、実習・調査のいずれかの事例が掲載され、事例数が4者中最も多い。 B すべての大単元に、実習・調査のいずれかの事例が掲載されている。 C 実習・調査のいずれかの事例が、大単元に掲載されていない場合がある。	【解説】 知識を活用する学習活動によって思考力・判断力などの資質や能力が育成されるよう、実習や実験などの指導方法の工夫を行うこと。 【内容の取扱い】 保健分野の指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。その指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレインストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること。	B	C	C	A
	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	○実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例	A すべての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等が示されている。 B すべての大単元で、知識を活用するための課題等が示されている。 C 大単元に、知識を活用するための課題等が示されていない場合がある。	【目標】 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 【解説】 現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるよう、自らの健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力などの資質や能力を育成することを目指している。	A	B	B	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元・題材や資料等の配列	○各単元における項目の系統的な構成及び1時間の授業の流れの例示	A 単元が系統的に示されており、1時間の授業の流れが示されている。 B 単元が系統的に示されている。 C 単元が系統的に示されていない。	【解説】 発達の段階のまとまりを考慮し、小学校、中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ること。 【指導計画の作成】 保健体育科の目標を達成するためには、学習指導を計画的に、しかも効率よく展開する必要がある。	A	A	A	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫	○発展的な学習の設定	A すべての大単元で、本編と関連させた発展的な内容が記載されている。 B 本編と関連させた発展的な内容が記載されている。 C 学習指導要領に示されておらず、本編と関連させた発展的な内容が記載されていない。	【総則】 学習指導要領に示す教科等の目標、内容等は中核的な事項にとどめており、大綱的なものとなっているので、学校や教師の創意工夫を加えた学習指導が十分展開できるようになっている。 【総則】 教育課程の編成に当たっては、法令や学習指導要領の内容について十分理解するとともに創意工夫を加え、学校の特色を生かした教育課程を編成することが大切である。	A	B	A	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	大日本	大修館	学研
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	○課題提示の場面でのイラスト・写真の示し方、マーク等の活用	A 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真、図表が掲載されている。 B 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真が掲載されている。 C 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真が掲載されていない。	【学びのイノベーション事業実証研究報告書】 画像や動画等、視覚的でわかりやすい教材を活用しながら説明することで、児童生徒の学習に対する興味関心を喚起し、意欲的に学習にとりくむことができた。	A	B	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑩自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫	○知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり、話したりする学習方法の記載及び取扱い数	A ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例が複数記載されるとともに、言語活動を充実させる資料や学習シートが掲載されている。 B ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例が1単元に1つ程度記載されている。 C ディスカッション等の学習方法が記載されておらず、言語活動に係る学習活動についての事例が1単元に1つ程度記載されていない。	【総則】 生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない。	A	C	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○生徒自身が意思決定を行う学習内容の取扱い数	A 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進めるための内容が4者の平均以上あり、多くの場面で実践力を育てるよう工夫されている。 B 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進めるための内容がある。 C 知識や技能を活用して創造的な思考力を促す学習を進めるための内容がない。	【内容の取扱い】 指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレインストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること、	B	B	B	A
	⑫人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容の掲載	A 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、さらにスポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料が掲載されている。 B 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載されている。 C 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載されていない。	【解説】 現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきていること、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割が重要になってきていること、文化としてのスポーツが人々を結び付ける重要な役割を担っていることなどを中心として構成している。	A	B	B	A
	⑬伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータの掲載	A 我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され、全ての単元の終わりに、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されている。 B 我が国の運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータが示され、単元の終わりに、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されている。 C 単元の終わりに、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が記載されていない。	【解説】 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	B	B	B	A

種目【 技術・家庭（技術分野） 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における 目標の示し方	○目標の示し方	A 各内容や項目において「目標」を示し、かつ内容に関する写真やイラストが示されている。 B 各内容の項目において「目標」が示されている。 C 各内容や項目において「目標」が示されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い (3) 題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。	A	C	A
	②伝統と文化に関する 内容の記述	○伝統と文化に関する内容 の示し方及び具体例	A 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されており、かつ伝統と文化に関するマークで示されている。 B 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されている。 C 伝統と文化に関する内容について、具体例が挙げられていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第2節 技術分野 2 技術分野の内容 A (1) ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること。 伝統的な製品や建築物などに見られる緻密な加工や仕上げの技術など、和が国の生活や産業にかかわるものづくりの技術を取り上げ、これらが我が国の文化や伝統を支えてきたことについても気付かせるよう指導する。	A	B	B
	③学習のまとめの構 成上の工夫	○学習のまとめの示し方、 設定の仕方	A 各内容の章末に学習のまとめの活動を示し、かつ学習のまとめごと振り返りが示されている。 B 各内容の章末に学習のまとめの活動が示されている。 C 各内容の章末で学習のまとめの活動が示されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術」とは、生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識と技術であり、各分野の指導内容として示されている。「習得」とは、知識と技術の確実な定着を図ることを意味しており、生徒が次の課題を解決するための礎ともなるべきものである。	B	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高め るための工夫	○興味・関心を高める記載 の仕方とその具体例	A 学習項目ごとに、学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されている。 B 学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されている。 C 学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 各分野の内容の取扱い (2) 問題解決的な学習の充実 問題解決能力とは、課題を解決するに至るまでに段階的にかかわる能力をすべて含んだものであり、課題に対して様々な角度から考える思考力、その思考力を総合して解決を図る判断力、判断した結果を的確に創造的に示すことのできる表現力等があげられる。これらの能力の育成には、生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行うことが大切である。	A	B	A
	⑤実践的・体験的な 学習を実施するた めの工夫	○実践的・体験的な学習の 実習事例及び事例数	A 実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において豊富に挙げられている。 B 実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において複数挙げられている。 C 実践的・体験的な学習の実習事例が挙げられていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 具体的な指導に当たっては、生徒自らが生活に関心をもち、実践的・体験的な学習活動を通して獲得した知識と技術が、生活の自立につながるよう学習活動を組み立てることが重要である。	A	B	A
	⑥技術を適切に評価 し活用すること に関する内容の記述	○評価・活用に関する内容 構成及び考えさせるた めの問いの例の記述や資 料の掲載	A エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例が挙げられている。また、学習内容に関して、参考となる内容や資料等が掲載されている。 B エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例が挙げられている。 C エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げられていない。	【解説】 第1章 総説 2 技術・家庭科改訂の趣旨 (i) 改善の基本方針 (イ) 持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。また情報通信ネットワークや製品の安全性に関するトラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。	A	A	A
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦題材の配列	○学習内容の構成とページ 数及び指導事項との関連	A 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくされている。 B 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。 C 学習内容が指導事項に対応しておらず、指導する内容や項目に適した分量で構成されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成 (2) 各分野の各項目に相当する授業時数及び履修学年 技術分野及び家庭分野の各項目に相当する授業時数と履修学年については、各分野の内容AからDの各項目に適切な授業時数を配当するとともに、3学年間を見通して履修学年や指導内容を適切に配列する。	A	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例	A 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されており、かつ複数の内容でマークが示されている。 B 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されている。 C 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術」とは、生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識と技術であり、各分野の指導内容として示されている。「習得」とは、知識と技術の確実な定着を図ることを意味しており、生徒が次の課題を解決するための礎ともなるべきものである。また、同時に、 <u>生徒の主体的な学習を支え、学習の深化や発展へとつながるものである。</u>	B	A	B
	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用	○学習内容と関連したマークの種類及び扱い方	A 他の内容との関連がマークで示されており、かつ小学校や他教科との関連についてもマークで示されている。 B 他の内容との関連がマークで示されている。 C 他の内容との関連がマークで示されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成 (3) 各項目及び項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、 <u>小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。</u>	A	B	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○表現・発表する学習活動の具体例	A 内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例が示されており、かつ制作品の評価・修正について示されている。 B 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されている。 C 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されていない。	【解説】 D(2) ア メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計ができること。 この学習では、 <u>設計する際には、自分の考えを整理するとともに、よりよいアイデアが生み出せるよう、作品全体の構造や画面構成の図(アイデアスケッチ)、制作工程表などを適切に用いることについて指導する。</u>	A	B	A
	⑪言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫	○構想したことをまとめたり、検討したりする具体例	A 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が複数示されている。 B 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が示されている。 C 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が示されていない。	【解説】 第3章指導計画の作成と内容の取扱い 4 言語活動の充実 技術・家庭科の特性を踏まえ、生活における課題を解決するために、 <u>言葉だけでなく、設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。</u>	A	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例	A 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例が示されている。 B 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例が示されている。 C 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例が示されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、 <u>生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</u>	A	B	A
	⑬人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載	A 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が複数掲載されている。 B 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されている。 C 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されていない。	【解説】 D(1) ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、 <u>情報モラルについて考えること。</u> 情報通信ネットワークにおいて知的財産を保護する必要性を知ることができるようにする。その上で、情報通信ネットワーク上のルールやマナーの遵守、危険の回避、人権侵害の防止等、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を育成する。	A	B	A
	⑭伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○学習の内容を深めさせたり広げたりしていくための資料の掲載や問いの記述	A 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等が掲載されている。また、考えさせる問いが挙げられている。 B 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等が掲載されている。 C 技術分野の学習のまとめとして、技術の在り方や活用の仕方などに対し、主体的に活用できるようにするための参考となる内容や資料等が掲載されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第2節 技術分野 「技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる」とは、技術分野の学習を通して身に付けた基礎的・基本的な知識及び技術、さらには、 <u>技術と社会や環境とのかかわりについての理解に基づき、技術の在り方や活用の仕方などに対して客観的に判断・評価し、主体的に活用できるようにすることを示している。</u>	B	C	A

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における 目標の示し方	○目標の示し方とその具体 例	A 項目ごとに「目標」を設定するとともに、学習活動を促すた めの吹き出しによる問いかけが示されている。 B 項目ごとに「目標」が設定されている。 C 項目ごとに「目標」が設定されていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従 い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や 特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教 育を行うものとする。	A	B	A
	②伝統と文化に関す る内容の記述	○伝統と文化に関する内容 の示し方及び具体例	A 各内容において、伝統や文化に関する具体例が、複数掲載さ れている。 B 伝統や文化に関する具体例が、掲載されている。 C 伝統や文化に関する具体例が、掲載されていない。	【内容の取扱い】 (2) ウ また、地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。 (3) ア (1) のアについては、 <u>和服の基本的な着想を扱うこともできること。</u>	A	B	A
	③持続可能な社会に 関する内容の記述	○持続可能な社会に関する 内容の扱い方	A 各内容において、持続可能な社会に関わる内容が、具体的に 示されている。 B 循環型社会に関わる内容が具体的に示されている。 C 循環型社会に関わる内容を具体的に示されていない。	【解説】 (i) 改善の基本方針 (イ) <u>持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネ ルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。また情報通信ネットワークや製品の安全性に関するト ラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。</u>	B	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高め るための工夫	○ガイダンスの構成、吹き 出し等の興味・関心を高 めるための工夫	A ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が示され、学習活動を促すよう記載されている。 B ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が記載されている。 C ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が記載されていない。	【解説】 技術・家庭科の指導を体系的に行う視点から、両分野ともに、小学校での学習を踏まえ中学校での <u>3 学年間の学習の見通しを立たせるガイダンス的な内容を設定し、第1学年の家庭分野の最初に履修さ せることとした。</u>	A	A	A
	⑤実践的・体験的な 学習を実施するた めの工夫	○実践的・体験的な学習の 具体例	A 実践的・体験的な学習の実習事例が複数記載され、生徒が目 的をもって調理や製作ができる見出しが示されている。 B 実践的・体験的な学習の実習事例が記載されている。 C 実践的・体験的な学習の実習事例が記載されていない。	【目標】 衣食住などに関する <u>実践的・体験的な学習活動</u> を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識 及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を もって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。	A	B	A
	⑥学習を振り返り、 生活に生かすため の構成上の工夫	○振り返りの示し方及び設 定の仕方	A 章末における学習のまとめの活動を設定するとともに、巻末 において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹 介するなど、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容が 示されている。 B 章末における学習のまとめの活動を設定し、生活に生かす実 践的な内容が示されている。 C 章末における学習のまとめの活動が設定されていない。	【解説】 (2) 問題解決的な学習の充実 学習の進め方として、 <u>計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程</u> を適切に組み立て、生徒が段階 を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。 (4) 学習指導と評価 学習指導を進めるに当たっては、技術・家庭科の特質を生かした実践的・体験的な学習活動や問題解 決的な学習を通して、 <u>基礎的・基本的な内容の確実な定着と個性を生かす教育の充実という視点から 改善を図ることが必要である。</u>	A	B	A
⑦問題解決的な学習 活動の工夫	○「生活の課題と実践」に おける学習の進め方及び 実践事例	A 問題解決的な学習の進め方及び各内容において、複数の実践 事例が記載されている。 B 問題解決的な学習の進め方及び実践例が記載されている。 C 問題解決的な学習の進め方及び実践例が記載されていない。	【解説】 (2) 問題解決的な学習の充実 これらの能力の育成には、 <u>生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追 究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行うことが大切である。</u> そのためには、 <u>学習の進め方として、計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立 て、生徒が段階を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。</u>	B	B	A	

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	A 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されるとともに、D内容の関連を図りながら学習が展開されている。 B 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。 C 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されていない。	【解説】 (3) 題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。	A	A	A
	⑨発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び具体例	A 発展的な学習内容を、発展的な内容であることを示すマークを付して複数示されている。 B 発展的な学習内容を、発展的な内容であることを示すマークを付して示されている。 C 発展的な学習内容が示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (3) 各項目及び各項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用	○学習内容と関連した記述・資料等の示し方及び具体例	A 他の内容との関連や他教科、小学校との関連が示されている。 B 他の内容との関連が示されている。 C 他の内容との関連が示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (3) 各項目及び項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。	A	B	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例	A 各内容において、実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されている。 B 実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されている。 C 実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 4 各分野の指導については、衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。 【解説】 技術・家庭科においても、国語科で培った能力を基本に、知的活動の基盤という言葉の役割の観点から、実習等の結果を整理し考察するといった学習活動を充実する必要がある。	A	A	A
	⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫	○まとめと発表の仕方の示し方及び具体例	A まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されるとともに、言語活動の充実を図るための内容が記載されている。 B まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されている。 C まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されていない。	【解説】 技術・家庭科の特性を踏まえ、生活における課題を解決するために、言葉だけでなく、設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。	B	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、逞しさを育むための工夫	○学習した内容を実生活で活用するための活動例数及び具体例	A 学習した内容を実生活で活用するための活動例が、各内容において複数挙げられている。 B 学習した内容を実生活で活用するための活動例が、各内容において挙げられている。 C 学習した内容を実生活で活用するための活動例が挙げられていない。	【解説】 家庭や地域社会における身近な課題を取り上げて学習したり、学習した知識と技術を実際の生活で生かす場面を工夫したりするなど、生徒が学習した知識と技術を生活に活用できるような指導が求められる。	B	A	A
	⑭人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫	○家庭生活と地域の人々との関わりについての学習の事例	A 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例やロールプレイングが掲載されている。 B 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例が記載されている。 C 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例が記載されていない。	【内容】 A 家族・家庭と子どもの成長 (2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。 ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 【内容の取扱い】 ア (1)、(2) 及び (3) については、相互に関連を図り、実習や観察、ロールプレイングなどの学習活動を中心とするよう留意すること。 イ (2) のアについては、高齢者などの地域の人々とのかかわりについても触れるよう留意すること。	A	A	A
	⑮伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫	○学習を深化・発展へとつなげる内容の記載	A 学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容が記載されている。 B 学習を深める内容が記載されている。 C 学習を深める内容が記載されていない。	【解説】 生徒の生活の実態を把握し、基礎的なものから応用的なものへ、簡単なものから難しいものへと内容を発展させ、無理なく学習が進められるよう配慮して、学習の充実感が味わえるようにすることが重要である。	B	B	A

種目【 英語 】評価表（三次中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○目標の表記の仕方	A Bの基準を満たし、学習の目指す姿が具体的に示されている。 B 単元の導入において、「ねらい」が示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	B	B	A	A
	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	○基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動の設定数のバランス ○1年生導入期の「話す」「聞く」言語活動の設定	A Bの基準を満たし、2・3年生の4技能のバランスがとれている。 B 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生導入期に「話す」「聞く」活動が設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 中学校段階では、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を明示することで、小学校における外国語活動ではぐくまれた素地の上に、これらの四つの技能をバランスよく育成することの必要性を強調したわけである。	B	B	B	B	A	A
	③言語に対する理解を深めるための工夫	○関連ある文法事項のまとめの扱い方	A Bの基準を満たし、関連ある文法事項をまとめるだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等が示されている。 B 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴が、整理されている。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 (4) 言語材料の取扱い エ 英語の特質を理解させるために、関連ある文法事項はまとまりをもって整理するなど、効果的な指導ができるように工夫すること。	A	A	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定	A Bの基準を満たし、発展的な課題が設定されている。 B 日常のコミュニケーションにおける特定の場面が設定されている。 C 日常のコミュニケーションにおける特定の場面が設定されていない。	【解説】 (2) 言語活動の取扱い ア 日常のコミュニケーションにおいては、特定の場面や状況にふさわしい表現があり、言語活動の指導に当たっては、具体的でわかりやすい場面や状況にふさわしいものを示しておくことが必要である。	A	A	B	B	A	A
	⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫	○ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツの設定	A Bの基準を満たし、会話に役立つ表現を取り上げるコンテンツを設定している。 B ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツが設定されている。 C ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツが設定されていない。	【解説】 (1) 指導計画作成上の配慮事項 キ 学習形態の工夫としては、ペアワークやグループワークが挙げられているが、生徒一人一人の活動が行いやすいという利点を生かして、これらの形態を適宜取り入れながら、効果的な授業が展開できるようにする必要がある。 【解説】 (3) 言語材料 ウ 語、連語及び慣用表現 コミュニケーション能力を育成するためには、日常生活でよく用いられる様々な慣用表現を身に付けさせることも重要である。	B	B	B	B	A	B
	⑥問題解決的な学習に関する内容構成	○問題解決的な学習の設定 ○他教科等と関連させた教材選定	A Bの基準を満たし、他教科等と関連させた教材が選定されている。 B 問題解決的な学習が設定されている。 C 問題解決的な学習が設定されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2) 教材選定の観点 ア 多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。 【総則】 (2) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。	B	B	B	B	B	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦言語材料の配列	○文法事項の段階的な配列	A 2年生で「受け身」が初出として扱われ、3年生においても、「受け身」を扱う単元が設定されている。 B 3年生の最初の単元で「受け身」が初出として扱われている。 C 3年生の2つ目以降の単元で「受け身」が初出として扱われている。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 イ 2の(3)の言語材料については、学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すること。 【解説】 (2) 言語活動の取扱い イ 外国語科では、授業時数が(中略)、外国語の指導においては、第2学年においては第1学年での学習内容を、第3学年においては、第1学年及び第2学年での学習内容を、言語活動の中で繰り返し学習することで、言語材料の定着を図るとともに、それらを実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動において活用させることが重要であるためであり、指導に当たっては、特にこれらの点に留意することが必要である。	B	A	B	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
	⑧題材の内容構成と分量	○3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	A 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材が扱われている。 B 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学のうち、扱われていない分野がある。(4つ以内) C 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学のうち、扱われていない分野が5つ以上ある。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2)教材選定の観点 英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし、次の観点到配慮する必要がある。	A	A	A	A	A	A
	⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	○1年生導入期における題材の構成	A Bの基準を満たし、第1学年導入期にAからZの全てに関する発音と綴りの関係が扱われている。 B あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話が扱われている。 C 上記の内容で扱われていないものがある。	【内容】 (4)言語材料の取扱い ア 発音と綴りとを関連付けて指導すること。 【解説】 小学校の外国語活動では、音声を中心に慣れ親しみ、それを受けて中学校では文字を通じた学習が始まることから、音声と文字の関係に触れた学習をすることが適切であることを示したものである。	A	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩巻末等資料の工夫	○語彙リストにおける表記の仕方	A 様々な品詞が扱われ、参考になる用例が示されている。 B 様々な品詞が扱われている。 C 様々な品詞が扱われていない。	【内容】 (3)言語材料 ウ 語、連語及び慣用表現 言語の使用場面や言語の働きなどを考慮して、よく用いられるものを取り上げるとともに、特に今回の改定で新たに明示されたように、言語活動などにおいて活用することを通して定着を図るようにすることが極めて重要である。	B	B	B	A	B	A
	⑪学習到達目標の設定	○学習到達目標の設定の仕方	A 3年間を通じた学習到達目標が設定されている。 B 学年ごとの学習到達目標が設定されている。 C 学習到達目標が設定されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1)指導計画の作成上の配慮事項 ア 各学校においては、生徒や地域の実態に応じて、学年ごとの目標を適切に定め、3年間を通して英語の目標の実現を図るようにすること。	B	A	B	B	A	B
《観点5》 言語活動の 充実	⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	○3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおける言語活動の設定の仕方	A 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動が全て設定されている。 B 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動がほとんど設定されている。 C 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動がほとんど設定されていない。	【解説】 ③聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ③は、外国語によるコミュニケーション能力の育成を掲げたものであるが、これを最後におくことによって、最重要事項であることを強調している。合わせて、4技能の総合的な育成という改善の基本方針も盛り込んだ記述としている。	A	A	B	B	B	B
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知性、探究心、創造性、 逞しさを育むための 工夫	○3年生における読み手の意見を問う設問、他の領域の活動に結び付けた発展的な教材の設定の仕方	A Bの基準を満たし、他領域と関連させた発展的な教材がある。 B 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見を持たせる設問が設定されている。 C 生徒自身が読み取った内容に関して自分の意見を持たせる設問が設定されていない。	【総則】 (7)各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。 【内容】 (オ)話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方をとらえること。	B	B	B	B	A	B
	⑭人間の多様性を尊重し、 地球規模の視野で他者と協働する力を 育てるための工夫	○3年生における、自分の意見を整理し、適切に表現するための課題の設定の仕方	A Bの基準を満たし、ディベート等、即興性のあるやりとりに関連した内容がある。 B 自分の意見を整理し、筋道立てて表現するための課題がある。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること 【解説】 「問答したり」とは、聞いたり読んだりなどした事柄について、理解を確実にしたり考えを深めたりするために、互いに分からない点や確かめたい点などを尋ねたり、答えたりすることを意味する。「意見を述べ合ったり」とは、生徒が単に聞いたり読んだりしたことなどを理解することにとどまらず、理解したことについて自らの感想や考えを伝え合うことである。 【内容】 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること 【解説】 与えられたテーマについて、自分の意見や主張を聴き手に対して分かりやすく話すという活動を示している。	A	B	A	A	A	A
	⑮伝統を重んじるとともに、 人類の発展に貢献しようとする高い 志をもたせるための工夫	○伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材の扱い方	A 伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材が、複数扱われている。 B 伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材が扱われている。 C 伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関し、扱われていない題材がある。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2)教材選定の観点 イ 外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。 ウ 広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	A	A	A	A	A	A

令和 2 年度県立広島叡智学園中学校において使用する教科用図書
（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

資料 4 - 1	令和 2 年度に県立広島叡智学園中学校で使用する中学校用教科用図書 （「特別の教科 道徳」を除く）の選定について …………… 1
資料 4 - 2	令和 2 年度：教科書の選定結果（広島叡智学園中学校） …………… 2
資料 4 - 3	令和 2 年度：教科書の選定理由（広島叡智学園中学校） …………… 3
資料 4 - 4	令和 2 年度：教科書の選定の観点及び視点（広島叡智学園中学校） ……10
資料 4 - 5	令和 2 年度 広島叡智学園中学校 教科書の選定に係る調査項目の 設定理由……………15
資料 4 - 6	教科書の特色（広島叡智学園中学校） ……………43
資料 4 - 7	評価表（広島叡智学園中学校）〔A 3 判 別冊〕

令和 2 年度に県立広島叡智学園中学校で使用する中学校用教科用図書
 (「特別の教科 道徳」を除く) の選定について

教育目標等

【教育目標】社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても、地域や世界の「より善い未来」を創造できるリーダーを育成する。

【重点的に育成する力】

知識・技能の深い理解
 やり抜く力・自信

創造的・批判的思考力
 高い語学力

協働する力

選定資料を参考に十分な調査・研究を行う

教科書選定の観点

- 観点 1 基礎・基本の定着
- 観点 2 主体的に学習に取り組む工夫
- 観点 3 内容の構成・配列・分量
- 観点 4 内容の表現・表記
- 観点 5 言語活動の充実
- 観点 6 学校の特徴を生かす工夫

社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても、地域や世界の「より善い未来」を創造できるリーダーの育成に必要な視点を設定

<視点>

- 1 知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫
- 2 社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫

視点ごとに評価し、総合的に判断する。

別紙 1

令和 2 年度使用教科書の選定結果（広島叡智学園中学校）

種目	教科書	発 行 者		書 名
		番 号	略 称	
国	語	15	三省堂	現代の国語
書	写	17	教出	中学書写
社会（地理的分野）		116	日文	中学社会 地理的分野
社会（歴史的分野）		2	東書	新しい社会 歴史
社会（公民的分野）		2	東書	新しい社会 公民
地	図	46	帝国	中学校社会科地図
数	学	11	学図	中学校数学
理	科	2	東書	新編 新しい科学
音 楽（一般）		27	教芸	教育芸術社
音 楽（器楽合奏）		27	教芸	教育芸術社
美	術	38	光村	美術
保 健 体 育		2	東書	新編 新しい保健体育
技 術 ・ 家 庭 （技術分野）		2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技 術 ・ 家 庭 （家庭分野）		9	開隆堂	技術・家庭（家庭分野）
英	語	38	光村	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE

令和2年度：教科書の選定理由（広島叡智学園中学校）

種 目	発行者	選 定 理 由
国 語	三省堂	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，教材ごとに目標を示すだけでなく，目次等において領域別教材一覧を掲載し，指導事項に基づいた付けたい力や言語活動例を具体的に示しており，生徒がその教材でどのような力を身に付ければよいかを理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，問題解決的な学習を促すための言語活動を設定し，必要な学習活動を示すとともに，「読むこと」の学習において，文章の読み方を図等で示し，学んだことを他の文章の読みに生かせるような工夫がされている。また，言語活動の充実の観点では，「読書郵便」といった本を紹介するカードを作るなどの読書活動を促す具体的な言語活動例が示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，創造的・批判的思考力の育成につながる教材が全ての学年に掲載されているとともに，異なる文化・価値観を尊重する力の育成につながる国際的な内容を取り上げた読み物教材が全ての学年に掲載されている。</p>
書 写	教出	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。姿勢，執筆法，用具の扱いを示す際には，毛筆や硬筆以外にもボールペンの持ち方を示すなど工夫されている。また，硬筆の記入欄が全ての学年に掲載されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，興味・関心を高めるためのコラムや資料が充実しているだけでなく，学習活動の「振り返り」も充実しており，大単元だけでなく，全ての小単元においても「振り返り」の観点が示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，異なる文化・価値観を尊重する力の育成につながる他国の文字文化の資料が，日本文化とのつながりが分かるような示し方で掲載されている。</p>

<p>社会（地理的分野）</p>	<p>日文</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，学習内容を習得させるための問いかけに加えて，獲得した知識を活用して考察する課題を示すことで，基礎的・基本的な内容の習得とともに生徒の発展的な学習を促すよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，「身近な地域の調査」の学習において，課題の設定，調査，考察，まとめ・振り返りの全ての過程に，具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示し，生徒が主体的に学習を進められよう工夫されている。特に，まとめの過程では，レポートによるまとめ例を掲載し，生徒に最終的なまとめのイメージを描かせるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす観点では，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するために，「身近な地域の調査」において，レポートを作成した後に，「私たちにできることを考えよう」という特設ページを設けて，自分たちの課題として地域の課題を捉え，解決に向けて自分たちが実践できることを考察させるよう工夫されている。</p>
<p>社会（歴史的分野）</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，発展的な学習に活用できる資料として「深めよう」を各大項目に掲載し，生活と関連付けて考察する問いを記載し，歴史に対する興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，各大項目に「私たち歴史探検隊」を掲載し，その中で学習テーマの設定，調査，まとめ，考察の過程と，それぞれの問題解決の過程に留意点や具体例を示し，生徒が主体的に「身近な地域の歴史を調べる」活動に取り組むよう工夫されている。また，広島県を取り上げた事例を豊富に掲載し，生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。言語活動の充実の観点では，マッピング，比較表，新聞，年表，プレゼンテーションソフト等の多様なまとめ方を掲載し，習得した知識を様々な視点で考察しながら時代の特色を捉えるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，創造力・批判的思考力を育成するために，多様な表現方法が事例とともに掲載されている。「身近な地域の歴史を調べる」学習の中では，調査内容の表現方法の一つとして「イラストマップ」の作成に関する留意点や具体的な事例が掲載されている。</p>

<p>社会（公民的分野）</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，学校生活における身近な事例や社会生活に見られる具体的な事例が豊富であるとともに，現代社会をとらえる見方や考え方を確実に身に付けさせるため，合意形成のプロセスにおいて，他者と協働することで新たな考えを生み出すための手立てや考え方が明確に示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，課題を解決する学習の内容が豊富であるとともに，それぞれの学習過程において，主体的な学びを促す手順や留意点が明確に示されている。さらに，広島県に関する写真やグラフ等が豊富であるとともに，広島県の事象をもとに，調査，考察する方法や具体例が掲載され，生徒の興味・関心を高め，課題意識をもって主体的に学習に取り組むよう工夫されている。また，多面的・多角的に考察させるための多様な手法もバランスよく示されている。</p> <p>学校の特色を生かす観点では，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するために，「多文化共生のまちづくり」や「伝統文化の継承と私たち」など，多文化共生，伝統文化の継承などの視点に立った資料が複数掲載されている。また，これらのページには，「伝統文化の継承のために，自分たちにできることをクラスで話し合しましょう。」という課題が記載されており，協働的な学びを進めていく際に活用できる。</p>
<p>地 図</p>	<p>帝国</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点で全般的に優れている。特に，資料がめあてとともに掲載されるなど，興味・関心をもって地理的事象を考察するよう工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，地図の読み取りの視点や学習課題を示した「地図をみる目」，「やってみよう」が豊富に掲載され，主体的に地図帳を活用して学習に取り組むよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす観点では，創造力・批判的思考力を育成するために，日本の工業の特色の考察を促す問いが示され，「やってみよう」で日本の工業の特色・分布，その理由について複数の地図やグラフなどを利用した考察を促すようになっている。</p>
<p>数 学</p>	<p>学図</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，巻末資料に生徒が使用できる具体物があり，それらを活用して指導することは基礎的・基本的な知識・技能を定着させるために有効である。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，計算問題で計算の仕方を説明させる場面が設定されている。また，単元の内容を利用・活用する問題でも理由を説明させる場面が設定され，問題解決に向けて協働的に取り組ませることができるよう工夫されている。言語活動の充実の観点では，各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり，単元の中にもその記述がある。ノートのかき方を示すことで，生徒に考えを筋道立てて整理する方法を理解させることができるだけでなく，説明する活動にも利用させることができる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，創造的・批判的思考力を育成するための工夫として，証明の構想や方針等について考える内容が充実しており，数学的な推論の必要性和意味を実感させることに有効である。また，協働する力を育成するための工夫として，事柄の本質を明らかにすることを促し，考えたことを数学的な表現を用いて説明し伝え合う場面が設けられている。</p>

理 科	東書	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量の観点において，全般的に優れている。特に，各単元末において，基本的な用語が多数掲載されており，かつ簡潔にまとめられ，基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができるようになっている。加えて，環境マップの作成や実習テーマ例の紹介など，持続可能な社会の構築のために生徒が日常生活の中で実践できる具体的な取組が紹介されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，日常生活や社会，職業との関係を意識した記述が多く見られ，理科の学習内容への興味・関心を高めるように工夫されている。また，全ての単元にもものづくりが設定され，観察・実験も数多く紹介されており，生徒が主体的に取り組めるように工夫されている。さらに，言語活動の充実の観点では，科学的な思考力・表現力の育成に向けて，レポートの作成方法が具体的に例示されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，既習事項や他教科での学習内容を結び付けて考えさせる場面が多く設定されており，批判的な思考力の育成に有効である。また，生徒同士で意見を検討・改善させる場面が全ての単元で意図的に複数設定されており，他者を尊重しながら協働する力の育成や生徒が高い目的意識をもち，主体的な学びを促すために有効である。</p>
音 楽（ 一 般 ）	教芸	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，その題材における指導事項を明確にするために，学習目標と学習のポイントが各教材に記載されているとともに，それらの教材に関連のある〔共通事項〕がマークで示されている。また，それぞれの教材で学習する〔共通事項〕が「音楽学習MAP」のページにおいて確認できるよう，掲載の仕方が工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，巻頭・巻末の全ての資料が本文と関連が図られており，写真の掲載によって生徒の学習意欲を喚起する視覚的支援の工夫が見られる。また，巻末の合唱曲には，楽曲の特徴と学習のポイントが明確に示されており，歌唱の学習に対する興味・関心を高める工夫が見られる。さらに，創作や鑑賞の題材においては，つくった旋律や音楽から聴き取ったことを記録する等，生徒が課題解決に向けて主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するために，各学年の合唱の題材において，声部の役割や全体の響きを感じ取り，表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。また，鑑賞においては，各学年で諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されており，諸外国及び我が国の音楽文化への理解を深める上で有効である。</p>

音 楽 (器楽合奏)	教 芸	<p>基礎・基本の定着の観点において優れている。特に、各楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を、写真や図の掲載とともに演奏のポイントを押さえて説明している。また、巻頭・巻末において和楽器に関する資料を掲載して、学習の充実が図られるような工夫がみられる。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が複数掲載されており、友達の表現のよさに触れ、それらのよさを取り入れる等、音を合わせて表現する活動に主体的に取り組ませる工夫が見られる。また、各楽器において、鑑賞教材がその楽器のページの冒頭部分に掲載されており、まず楽器の音色の特徴を感じ取らせることで、楽器の演奏に対する興味・関心を高め、演奏の技能を身に付けることへ意欲的に取り組ませる工夫が見られる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するために、器楽と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数掲載されている。また、合奏をするための工夫の視点を具体的に示しており、協働する力を育成する上で有効である。</p>
美 術	光 村	<p>基礎・基本の定着、内容の表現・表記の観点において、全般的に優れている。特に、題材の重点目標に関わって、課題意識をもたせる問いが工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、表現において、発想・構想段階における生徒の思考を促し、見通しをもたせる工夫として、ポスター制作の流れやアイデアスケッチをしながらデザインを試行錯誤する生徒の姿が、写真とともに段階的に分かりやすく示されている。また、生活や社会における美術の働きを実感する工夫として、「生活に生かそう」のマークとともにコラム等があり、主体的な学びを促す工夫がある。言語活動の充実の観点では、鑑賞の視点として、一つの作品において、補色の効果や筆づかい、絵の具の質感など複数の視点で友達と話し合えるように工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等が全て複数掲載されており、知識・技能の深い理解を促し、創造的に様々な立場や視点で思考する力を育成できると考える。また、美術文化に関して、日本と諸外国の美術文化の関係が年表とともに掲載されている。また、諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせるために、仮面を用いたアジアの踊りの衣装を比較する等、日本と諸外国の文化に共通するよさや美しさ、違いに気付かせることで、美術を通して国際理解を深め、美術文化の継承と積極的に創造していこうとする態度を育成する上で有効である。</p>

<p>保 健 体 育</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着、内容の構成・配列・分量、内容の表現・表記の観点において、全般的に優れている。特に、資料等の補足資料に説明が付され、さらにポイントとなる箇所には吹き出しで説明を加えるなどの工夫が見られる。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、文章や図、表等、視覚的に関連させた読み物教材を掲載することで、生徒の興味・関心を喚起し、意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。また、全ての大単元に、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等が示されており、生徒が興味・関心を高めながら、主体的に学習に取り組める場面が多く設定されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料が豊富であるため、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成することに有効である。</p>
<p>技 術 ・ 家 庭 (技術分野)</p>	<p>東書</p>	<p>基礎・基本の定着、内容の構成・配列・分量、内容の表現・表記の観点において、全般的に優れている。特に、内容A「材料と加工に関する技術」、内容B「エネルギー変換に関する技術」、内容C「生物育成に関する技術」、内容D「情報に関する技術」の項目ごとに「目標」及び内容に関する写真やイラストが示されている。また、伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されるとともに、伝統と文化に関するマークで示されるなど掲載の仕方が工夫されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において豊富に挙げられるとともに、各項目を学習するにあたって「考えてみよう」、「やってみよう」、「生活に生かそう」等を示し、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、情報モラルについて考え、情報社会において適正に活動する能力と態度を育成するために、内容D「情報に関する技術」だけでなく、他内容においても情報モラルへの配慮する内容が示されており、内容Dと関連付けて指導できる工夫がされている。</p>
<p>技 術 ・ 家 庭 (家庭分野)</p>	<p>開隆堂</p>	<p>基礎・基本の定着、内容の構成・配列・分量、内容の表現・表記の観点において、全般的に優れている。特に、持続可能な社会に関する内容が充実しており、各内容の最後に「持続可能な社会をつくる」を設定し、「食生活と環境とのかかわり」、「環境に配慮した衣生活」など、生徒自らが考えることのできる具体例が豊富に示されている。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では、「自分にできる、安全・安心な暮らしの工夫」などの「生活の課題と実践」において、生徒自らが、課題を発見し、課題を解決する意欲を高めるために、問題解決的な学習の進め方や実践事例を複数記載して、計画、実践、評価、改善など段階を追って学習を深める工夫が示されている。また、「言語活動の充実のために」というページを設定し、まとめと発表の仕方やその具体例を掲載する等、言語活動の充実を図るよう工夫されている。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では、「幼児の衣服と食べ方の特徴」、「消費者としての力をつけよう」など、学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容が掲載されており、知識・技能の深い理解を促すことに有効である。</p>

<p>英 語</p>	<p>光村</p>	<p>基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記の観点において，全般的に優れている。特に，基礎・基本の定着を図る4領域等の言語活動においては，小学校外国語活動との円滑な接続を踏まえ，1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を重点的に設定し，2・3年生では4領域の均等を図るなど，4領域のバランスに配慮した言語活動を設定している。</p> <p>主体的に学習に取り組む工夫の観点では，具体的な場面や状況の設定を通して，話を展開するための方法，表現を効果的に身に付けるための課題を示しており，生徒のコミュニケーションへの関心・意欲を高めるための工夫がみられる。</p> <p>学校の特色を生かす工夫の観点では，自分の考えをもたせ，表現するだけでなく，自分の意見を批判的に見つめ直し，自分の考えをもう一度書く活動等，自分の考えを振り返る機会を設定している。このことは，多様な価値観に触れるグローバル社会において，創造的・批判的思考力を働かせながら，英語を使って，他者と意見を交流する力を育成することに有効である。</p>
------------	-----------	---

令和2年度：教科書の選定の観点及び視点（広島叡智学園中学校）

1 選定の観点

- 観点1 基礎・基本の定着
- 観点2 主体的に学習に取り組む工夫
- 観点3 内容の構成・配列・分量
- 観点4 内容の表現・表記
- 観点5 言語活動の充実
- 観点6 学校の特色を生かす工夫

2 選定の視点

それぞれの観点のもと、種目ごとに視点を設定した。

ただし、観点6については、次の視点を全ての種目に共通で設定した。

- 知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫
- 社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫

種目ごとの視点

種目	視点
国語	①単元・教材の目標の示し方 ②基礎的な言語の定着 ③伝統的な言語文化に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ⑦単元・教材等の配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述 ⑨巻末資料の示し方 ⑩本文記述との関連付けがなされた図表等 ⑪読書と情報活用 ⑫言語活動の種類 ⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫
書写	①単元の目標の示し方 ②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方 ③伝統と言語文化に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 ⑥単元・教材や資料等の配列 ⑦発展的な学習の扱い方 ⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用 ⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫 ⑩知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑪社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫

<p>社会 (地理的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け, 異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>
<p>社会 (歴史的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け, 異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>
<p>社会 (公民的分野)</p>	<p>①学習課題の示し方 ②公民としての基礎的教養を培うための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑬知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け, 異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>

地 図	<ul style="list-style-type: none"> ①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥題材や資料等の配列 ⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い ⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫 ⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 ⑩知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑪社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標を達成するための工夫 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫 ③事象を数理的に考察するための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤問題解決的な学習を実施するための工夫 ⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫 ⑦自学自習を行うための記述の工夫 ⑧単元や資料等の配列 ⑨発展的な学習に関する内容の記述 ⑩イラスト・写真の活用 ⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫 ⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫 ⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫 ③観察、実験の技能を習得させるための工夫 ④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い ⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫 ⑧単元の配列の工夫 ⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫 ⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫 ⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い ⑫観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫 ⑬科学的な概念を使用して考えたり説明したりする活動の工夫 ⑭知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑮社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫

<p>音 楽 (一般)</p>	<p>①題材の目標の示し方 ②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫 ④様々な音楽文化についての理解を深める工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫 ⑦教材の分量及び配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用 ⑩鑑賞領域における言語活動の工夫 ⑪知識・技能の深い理解を促し，創作的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑫社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>
<p>音 楽 (器楽合奏)</p>	<p>①題材の目標の示し方 ②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫 ③興味・関心を高めるための工夫 ④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫 ⑤教材の分量及び配列 ⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用 ⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫 ⑧知識・技能の深い理解を促し，創作的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑨社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>
<p>美 術</p>	<p>①題材の目標の示し方 ②作品の理解を深めるための工夫 ③日本の美術文化に関する内容 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫 ⑥題材や資料等の配列 ⑦掲載している作品等の数 ⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載 ⑨言語を用いた発想・構想の工夫 ⑩鑑賞の仕方の工夫 ⑪知識・技能の深い理解を促し，創作的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑫社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>
<p>保健体育</p>	<p>①単元の目標の示し方 ②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫 ③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤体験的な学習を実施するための工夫 ⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫 ⑦単元・題材や資料等の配列 ⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫 ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用 ⑩自分の考えをまとめて書いたり，話したりする活動の工夫 ⑪知識・技能の深い理解を促し，創作的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑫社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫</p>

<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学習項目における目標の示し方 ②伝統と文化に関する内容の記述 ③学習のまとめの構成上の工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述 ⑦題材の配列 ⑧発展的な学習の扱い方 ⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用 ⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ⑪言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫 ⑫知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑬社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫
<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①学習項目における目標の示し方 ②伝統と文化に関する内容の記述 ③持続可能な社会に関する内容の記述 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫 ⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫 ⑦問題解決的な学習活動の工夫 ⑧題材の配列 ⑨発展的な学習の扱い方 ⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用 ⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫 ⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫 ⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫
<p>英 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標の示し方 ②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫 ③言語に対する理解を深めるための工夫 ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫 ⑥問題解決的な学習に関する内容構成 ⑦言語材料の配列 ⑧題材の内容構成と分量 ⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列 ⑩巻末等資料の工夫 ⑪学習到達目標の設定 ⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫 ⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫 ⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫

別紙 4

令和 2 年度 広島叡智学園中学校 教科書の選定に係る調査項目の設定理由

種目【 国語 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点 1》 基礎・基本 の定着	①単元・教材の目標の示し方	○単元・教材ごとの目標等の記載	本校では、授業の目標や進め方を十分に理解し、見通しを持った上で能動的に授業に臨む生徒、自学自習のできる生徒の育成に力を入れている。そのため教材ごとの付けたい力の一覧が明確に記載されていることが望ましい。
	②基礎的な言語の定着	○言語・漢字・文法の指導の記述	言語・漢字・文法の学習は、基礎的・基本的な事項であり、全ての生徒が習得し、活用を図らなければならないものである。そのため、教科書の記述が分かりやすく示されていることが重要であると考えられる。
	③伝統的な言語文化に関する内容の記述	○古典を取り扱った単元の教材	言語文化に親しむ態度を育てること、我が国に伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりすることを目的としており、古典教材の学習後に古典についての書籍が紹介されているのが望ましい。
《観点 2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○身近な話題や社会の出来事を取り上げた教材	意見を述べるためには、どのような論の展開で記述するかを考え、論点についての立場を決め、考えの中心や主張を明確にすることが大切である。そして、その題材として身の回りの物事や体験、社会生活の様々な問題が複数例示されていることは、生徒のものの見方や感性を豊かなものにするにつながる。
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題解決的な学習を促す言語活動の設定	問題解決的な学習を機能的に進めていくためには、学んだことが他の単元の学習に利活用できることが大切である。そのため、考え方や方法が示されていることが重要である。
	⑥見通しを立てたり、振り返り振り返りする学習のための構成上の工夫	○学習過程と振り返りの視点の示し方	本校では、豊かな創造力・表現力の育成を目指しており、学習の手引きで筋道に従って問題を解決していくことが有効であると考えられる。また、その際、話し合いを通じて自他の考えを豊かなものにするためには、思考ツール等を用いることが重要である。
《観点 3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・教材等の配列	○各領域の関連を図った単元の構成	本校では総合的な国語の力の育成を目指しており、そのためには、複数の領域を関連させて指導し、考えを深めることが大切である。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習に活用できる教材とその内容	本校では、基礎・基本の定着の上で、発展的な学習を展開している。そのため、並行読書等の発展的な学習に活用できる教材の種類が豊富であることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨巻末資料の示し方	○巻末資料の内容と表記	教科書の巻末資料により、補足的な説明を加えたり、既習事項の学習を深めることができたり、学習の効果を高めるために、巻末資料では、全ての領域、事項が扱われていることが必要である。
	⑩本文記述との関連付けがなされた図表等	○本文記述と図表の適切な関連付けがなされた教材	日常の学習や生活の中では、説明や記録の文章を分かりやすいものにするために図表などを用いることがある。そこで、効果的な図表の用い方について考えさせる場面が必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪読書と情報活用	○読書に親しむ態度の育成に関する記述	多様な種類の作品によって、生徒の興味・関心の幅を広げるとともに、計画的かつ継続的な指導によって読書に親しませることは重要である。
	⑫言語活動の種類	○学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述	本校では、言語活動を重視し、思考力、判断力、表現力の育成につなげている。この点からも、学習指導要領に示された言語活動例は各領域で、適切かつ、例示が豊富であることが必要である。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○創造的・批判的思考力の育成につながる巻末資料	本校では、知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力の育成を目指している。よって、本編のみならず、巻末資料においても、創造的・批判的思考力の育成につながる教材が示されていることは重要である。
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○国際的な内容を取り上げた読み物教材	社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するためには、国際的な内容を取り扱った読み物教材（外国を舞台とした文学的な文章、国際問題を取り扱った説明的な文章等）が豊富であることは重要である。

種目【 書写 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の記載	本校では、授業の目標や進め方を十分に理解し、能動的に授業に臨む生徒、自学自習のできる生徒の育成に力を入れているため、教科書に目標が明確に記載されていることが望ましい。
	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	○正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方の写真等の示し方や説明方法	正しく整った字を書くためには、正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方を理解するとともに、様々な用具についてふれたり、写真などで視覚的に理解したりすることは有効である。
	③伝統と言語文化に関する内容の記述	○文字や書の文化・伝統の理解を促す記述	我が国の伝統的な文字や諸外国の文字などにふれ、これからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度を育成する必要がある。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるためのコラムや資料	書写の学習活動を日常生活に生かすためには、様々な観点のコラムなどがあることで、生徒の興味・関心が高まる。
	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方	学び方の手順やポイントや振り返りについて示すことにより、学習方法を理解し、次回の学習への意欲が高まる。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑥単元・教材や資料等の配列	○毛筆教材に関連付けた硬筆記入欄の設定	毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力を養うように配慮することが求められている。したがって、毛筆教材と硬筆教材が関連付けられて配置されていることが必要である。また、硬筆の書き方をより深く理解するためには、直接教科書に書き込ませ、模範例と比較することのできるページが多くあることが望ましい。
	⑦発展的な学習の扱い方	○発展的な内容の取扱い	生徒が主体的に学習を進めるために、発展的な学習内容があることは重要である。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	○図・写真、イラストによる筆使い等々の示し方	整った字を書くためには、筆使いを分かりやすく示すことが有効である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	○学習や日常生活と関連付けがなされた教材	相手意識や目的意識をもって文字を書き表すことが、実生活や学習場面に生きて働く書写の能力の基礎となる。
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑩知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○文字や書に対する深い理解を促す視点	知識・技能の深い理解を促すためには、文字や書き方について調べたり比較したりするなどの視点を示されていることが望ましい。
	⑪社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○他国の文字文化の取扱い	本校では、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力の育成を目指している。よって、他国の文字文化を取り扱っていることが望ましい。

種目【 社会：地理的分野 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○単元の導入における見通しをもたせるための資料や問いの記載	単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせるためには、導入における資料や問いの構成の工夫が必要である。
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題に着目させるためには、領土問題等に関する資料や写真等が掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国際関係や文化交流に関する読み物資料	広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させるためには、国際関係や文化交流に関する読み物資料が豊富である必要がある。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○学習テーマを見いだすための問いや資料の掲載の工夫と具体例 ○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	世界の諸地域の学習において、主題を設けてそれぞれの州の地域的特色を理解するためには、生徒が自ら主題（テーマ）を見いだすための問いや資料が豊富に掲載されている必要がある。 地理的事象を身近に感じ取ったり、自分たちの生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順の例	「身近な地域の調査」において、主体的に調査活動を行うためには、調査方法の手順とともに留意点が明確に示されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	日本と外国の都市との時差を計算することを通して、我が国と世界各地との位置関係の理解を促すためには、等時帯や日付変更線を示す地図等の資料を活用する手法や具体例が記載されている必要がある。
	《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○各大項目のページ数
⑧発展的な学習に関する内容の記載状況		○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うためには、学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真等の 活用	○イラスト・写真等の資料と 問いの掲載	事象の特色や事象間の関連を考察する学習 を充実するためには、関連付けが図れる資料 や問いが掲載されている必要がある。
	⑩本文以外の記述の工 夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表 現する力を高めるためには、毎時間のまとめ や振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工夫	○単元末における多面的・多 角的に考察させる事例	単元の特色を大きく捉え、多面的・多角的 に地域的特色を捉える力を付けるためには、 言語活動の手法や具体例を掲載した課題が必 要である。
	⑫目的に応じて適切に 表現する力を育てる ための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じて適切にまとめる力を付けるた めには、まとめ方や具体例が豊富に掲載され ている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理 解を促し、創造的・ 批判的思考力を育成 するための工夫	○創造的な思考を促す資料	深い理解を促し、創造的・批判的思考力を 育成するには、学習内容を広めたり深めたり する事例が掲載されている必要がある。
	⑭社会の持続的な平和 と発展に向け、異な る文化・価値観を尊 重しながら協働する 力を育成するための 工夫	○生活・文化の多様性を考察 させる事例	異なる文化・価値観を尊重しながら他者と 協働する力を育てるためには、生活・文化の 多様性の理解を促す資料が豊富に掲載され ている必要がある。

種目【 社会：歴史的分野 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○学習課題の記載の仕方	単元の目標とのかかわりを意識しながら毎時間の学習を進めていくことができるようにするためには、1時間ごとの学習課題が明示されている必要がある。
	②我が国の国土と歴史 に対する理解と愛情 を育てるための工夫	○歴史上の人物が掲載されている資料	国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てるためには、歴史上の人物が掲載された資料が豊富である必要がある。
		○神話・伝承等を扱った事例数	神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるためには、神話・伝承等を扱った事例が豊富に掲載されている必要がある。
		○文化遺産を取り扱った資料	現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を養うためには、文化遺産が掲載された資料が豊富である必要がある。
③国際社会で主体的に 生きていくための基 盤となる知識・技能 を身に付けさせる工 夫	○歴史に見られる国際関係や 文化交流に関する資料	我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせ、国際協調の精神を育成するためには、我が国と諸外国の歴史や文化が相互にかかわっていることを示す資料が豊富に掲載されている必要がある。	
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高める ための工夫	○導入における興味・関心を 高める問いや資料	主体的に学習に取り組むためには、単元の学習に対する興味・関心を高め、単元の見通しをもたせる資料や問いの構成の工夫が必要である。
		○身近な地域（広島県）を取 り上げた事例	歴史的な事象を身近に感じ取り、現代の生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・ 分析、振り返りを展 開するための構成上 の工夫	○「身近な地域の歴史を調べ る」学習手順の示し方	「身近な地域の歴史を調べる」学習において、主体的に調査活動を行うためには、調査方法の手順とともに留意点が明確に示されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学 習を実施するための 工夫	○作業的・体験的な学習の事 例	作業的・体験的な学習の充実を図り、主体的な活動を促すためには、自ら調べるような課題が示された作業的・体験的な活動例が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配 列・分量	○近現代の学習ページの分量	近現代の学習の一層の重視を図るためには、 近現代の学習ページの適切な分量が必要であ る。
	⑧発展的な学習に関す る内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展 的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うた めには、学習課題が提示され、発展的な学習 に活用できる資料が豊富に掲載されている 必要がある。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真等の 活用	○写真等の資料と問いの記載	事象の特色や事象間の関連を考察する学 習を充実するためには、関連付けが図れる資 料や問いが掲載されている必要がある。
	⑩本文以外の記述の工 夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表 現する力を高めるためには、毎時間のまとめ や振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考 察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させ る事例の記載	時代の特色を捉える力を育むためには、資 料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察 させる事例が豊富に記載されている必要が ある。
	⑫目的に応じて適切に 表現する力を育てる ための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じて適切にまとめる力を付ける ためには、まとめ方や具体例が豊富に掲載さ れている必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理 解を促し、創造的・ 批判的思考力を育成 するための工夫	○創造的に思考し、表現する 方法の具体的事例	深い理解を促し、創造的・批判的思考力を 育成するには、学習内容を広めたり深めたり する事例が豊富に掲載されている必要があ る。
	⑭社会の持続的な平和 と発展に向け、異な る文化・価値観を尊 重しながら協働する 力を育成するための 工夫	○文化の多様性に関する資料	異なる文化・価値観を尊重しながら他者と 協働する力を育てるためには、我が国と諸外 国の歴史や文化が相互にかかわっているこ とを考えさせる資料が豊富に掲載されてい る必要がある。

種目【 社会：公民的分野 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○学習の見通しをもたせるための資料や問いかけ	単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせるためには、導入における資料や問いの構成の工夫が必要である。
	②公民としての基礎的教養を培うための工夫	○現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例	現代社会をとらえる見方や考え方の基盤となる「対立と合意」、「効率と公正」について理解を深めるためには、合意形成のプロセスが事例とともに豊富に掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国旗・国歌に関する記載の仕方	国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるためには、我が国の国旗・国歌を取り扱っている資料や国旗・国歌の意義及び敬意の表し方が記載されている事例が必要である。
		○領土をめぐる問題等に関する記載	固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、現状にいたる経緯、我が国が正当に主張している立場、我が国が平和的手段による解決に向けて努力していることを理解させるためには、領土問題及び尖閣諸島に関する経緯と取組が記載されている資料が必要である。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例	主体的に学習に取り組むためには、単元の学習に対する興味・関心を喚起し、単元の見通しをもたせる資料や問いの構成の工夫が必要である。
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	社会的事象を身近に感じ取ったり、自分たちの生活と結び付けて考察するためには、身近な地域（広島県）を取り上げた事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順と留意点	生徒の主体的な学びを促すためには、課題発見・解決学習の手順と留意点が掲載されている必要がある。
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	作業的・体験的な学習の充実を図り、主体的な活動を促すためには、自ら調べるような課題が示された作業的・体験的な活動例が豊富に掲載されている必要がある。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○大項目ごとのページ数	学習内容を定着及び深化させるためには、大項目ごとに適切なページ数が配分されている必要がある。
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	学習内容を深める発展的な学習を行うためには、学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等を活用し考察を促す事例	事象の特色や事象間の関連を考察する学習を充実するためには、関連付けが図れる資料や問いが必要である。
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	学習内容の定着を図り、考察したことを表現する力を高めるためには、毎時間のまとめや振り返りが記載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例	社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力を付けるためには、資料を用いて、考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が豊富に記載されている必要がある。
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	目的に応じてまとめる力を付けるためには、まとめ方の手順と留意点が示された具体例が豊富に掲載されている必要がある。
《観点6》 学校の特色を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○創造的思考を促す資料や問い	深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するには、学習内容を広めたり深めたりする事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○文化の多様性に関する資料	異なる文化・価値観を尊重しながら他者と協働する力を育てるためには、我が国の伝統文化、我が国と諸外国が相互に深くかかわっていることを考えさせる資料が豊富に掲載されている必要がある。

種目【 社会：地図 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	○地図の見方の記載とその内容	地図帳を活用する力を高めるためには、地図記号の凡例がまとめて記載され、各地図・各資料に応じた凡例が示されている必要がある。
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題に着目させるためには、領土問題等に関する資料や解説文が掲載されている必要がある。
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○環境・国際理解等の学習への活用	世界的視野から多面的・多角的に社会的事象を追究する学習を行うためには、環境問題や日本と世界との結び付きを示す資料が掲載されている必要がある。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるための記載内容	地図から情報を読み取ることへの興味・関心を高めるためには、読図の視点を示すとともに、各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が掲載されている必要がある。
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題を追究するための資料の構成	地域的特色を考察し、追究した過程や結果を適切に表現する学習活動を充実させるためには、課題の追究に関わる資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥題材や資料等の配列	○基礎資料図の記載	学習内容の理解及び定着を図るためには、学習内容に関する基礎資料図が豊富に掲載されている必要がある。
《観点4》 内容の表現・表記	⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○資料の種類	世界の諸地域の学習において、主題に対する考察を深めるためには、主題に関する資料が豊富に掲載されている必要がある。
《観点5》 言語活動の充実	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫	○地図を活用した調べ方の事例	資料を活用する力を育てるためには、多様な調査方法や調査の手順を示した事例が豊富に掲載されている必要がある。
	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○地図を活用した問いの記載の仕方	適切な表現力を育てるためには、地図を活用して情報を適切に読み取ることを促す問いが豊富である必要がある。
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑩知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○自ら考察することを促す問い	深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するには、資料を関連付けて考察することを促す問いが豊富に掲載されている必要がある。
	⑪社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○日本及び世界の生活・文化に関する資料	異なる文化・価値観を尊重しながら他者と協働する力を育てるためには、日本及び世界の生活・文化に関する資料が豊富に記載されている必要がある。

種目【 数学 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標を達成するための工夫	○学習課題と解決の過程	単元の目標を達成するためには、学習課題と解決の過程や例題が分かりやすく提示されていることが必要である。
	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りに関する扱い	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着のためには、スパイラルに学習できるような工夫が必要である。
	③事象を数理的に考察するための工夫	○日常生活や社会における事象を考察させている具体例とその展開	具体例を基にして日常生活や社会における事象を数理的に考察させることが必要である。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常生活とのかかわりで取り扱われている具体例	数学への興味・関心を高めるためには、数学が日常生活とのかかわっているという具体例の提示が必要である。
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題の具体例	問題解決的な学習を進めるためには、場面設定など適切な課題提示が必要である。
	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫	○見いだす活動を行わせるための具体例とその展開	見通しをもって問題解決をするためには、推測して考察できる具体例の提示が必要である。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦自学自習を行うための記述の工夫	○ヒントやポイントを示した吹き出し等の記載例	生徒が主体的に考えようとするきっかけとなるためには、適切な具体例や振り返りを想起させるポイントの提示が必要である。
	⑧単元や資料等の配列	○各単元の章末問題、巻末問題、巻末資料の具体例	学習内容の定着及び理解のために、各単元の章末問題や巻末問題が習熟に応じて学習できるような配列になっていることが必要である。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨発展的な学習に関する内容の記述	○該当学年で学習する範囲を超えた内容の具体例	学習の系統性を生徒に意識させるためには、発展的な学習に活用できる教材の例示が必要である。
	⑩イラスト・写真の活用	○イラスト・写真の具体例	生徒が学習において理解の補助となるようなイラスト・写真の提示が必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	○説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例	数学的活動を活発にするためには、根拠を明らかにし筋道立てて説明したり、話し合ったりする問題や問の設定が必要である。
	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	○ノートのかき方の取扱い	自分の考えをまとめ記述する力を付けるために、自分の考えをまとめるポイントを整理する具体的なノートのかき方の取扱いが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解	本校では、創造的・批判的思考力を育成することを重視しているため、論理的思考を促す問題が充実していることが重要である。
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○数学的な表現を用いて説明し伝え合う問題例、記載数	本校では、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育てるために、対話的な学びを重視している。そのため、事象を数学的な表現を用いて論理的に説明したり、互いに自分の考えを伝え合ったりすることで、よりよい考えに高めたり事柄の本質を明らかにしたりする問題例が示されていることが重要である。

種目【 理科 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元や章の導入における取扱い内容	単元への導入の仕方や学習のねらいの示し方が明確であることが生徒に学習意欲及び目的意識をもたせるためには大切であると考ええる。
	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	○既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例	既習事項を活用して思考・表現させることは、知識や概念の定着を図る上で重要である。また、単元末のまとめにおいて、基本的な用語等が分かりやすく表記されていることが理解を深めることに有効であると考ええる。
	③観察、実験の技能を習得させるための工夫	○観察、実験の基本操作及び観察、実験における安全確保の状況	観察、実験の際に操作の手順や危険防止等の留意事項が記載されていることが、結果を明確にさせるとともに、安全に留意した観察、実験を行わせるためには必要であると考ええる。
	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	○環境保全に関する取扱い方	環境保全は教育基本法等に記載された教育の目標の一つである。そのため、事例の内容、数が適切であることが重要であると考ええる。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等	学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを図ることは、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感させることにつながり、生徒の興味・関心を高めることになると考える。
	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い	○ものづくりの内容、数及び補充的な観察・実験の数	様々な観察・実験やものづくりは学習者の興味・関心を高め、その過程や結果を基に自ら原理や法則を理解しようとする態度を育む。そのため、補充的な観察・実験やものづくりが適切に記載されていることが重要であると考ええる。
	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	○科学的に探究する活動の過程の示し方	生徒一人一人に科学の基本的な概念を形成していくためには、生徒が自然の事物・現象を探究していくことが大切である。そのため、科学的に探究する活動の過程の示し方が適切であることが重要であると考ええる。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧単元の配列の工夫	○単元の配列	学校の実態に応じて弾力的な年間指導計画を作成するためには、単元の配列の特徴を踏まえることが必要であると考ええる。
	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫	○「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い	教科で学習したことを総合的に活用するために、調べ学習の例が適切に示されていることは、意識付けや展望をもった学習につながると考える。
	⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	○補充的な問題及び発展的な学習の取扱い	改訂に当たっての基本的な考え方に、科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることが示されており、そのためには補充的な学習が重要である。また、生徒の興味・関心を高め、自主的な学習を促すためには発展的な学習の内容に工夫が必要であると考ええる。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑪科学的な探究を 行うための写真 及び資料等の取 扱い	○単元の導入部分における 写真や資料等の取扱い方 及び巻頭・巻末の資料の 内容	理科においては、写真、図及び資料の扱い方が、 生徒の認識を深めることに極めて有効であると考 える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑫観察、実験の結果 を分析し解釈す る学習活動の工 夫	○分析・解釈する視点の与 え方とその具体例	観察、実験の結果を分析・解釈することは結果か ら適切な結論を導く上で、重要であり、表やグラフ の活用を含めて、言語活動の充実を図ることにつな がるものとする。
	⑬科学的な概念を 使用して考えたり、説明したりす る活動の工夫	○レポート作成の示し方、 話し合いや説明の活動を促 す工夫	レポートの作成方法について具体例を挙げて分 かりやすく示し、話し合いや説明の活動を促してい ることが、科学的な概念を使用して考えたり説明し たりする活動につながると考える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑭知識・技能の深い 理解を促し、創造 的・批判的思考力 を育成するため の工夫	○既習事項や他教科での学 習内容を結び付けて考え させる工夫	既習事項や他教科での学習内容を結び付けて考 えさせることで、知識・技能の深い理解を促し、批 判的な思考力の育成につながると考える。
	⑮社会の持続的な 平和と発展に向 け、異なる文化・ 価値観を尊重し ながら協働する 力を育成するた めの工夫	○生徒同士で意見を検討・ 改善させる工夫	生徒同士の意見を検討・改善する場面を設定す ることで、「より良い」意見の創造に向けて、異なる 価値観を尊重しながら協働する力の育成につなが ると考える。

種目【 音楽：音楽一般 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由	
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	題材の目標が明確に示されているとともに、その提示の仕方や目標を達成するためのポイントが記載されていることにより、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことにつながると考える。	
		○〔共通事項〕について記載	学習指導要領に示された〔共通事項〕を適切に指導するためには、題材と共通事項との関わりを意識した内容が記載されていることが必要であると考えます。	
	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	○歌唱の技能のうち、発声のポイントや身体の使い方等についての記載	発声のポイントや身体の使い方を具体的に示すことが、歌唱における基礎的な技能の定着に必要であると考える。	
		○歌唱の技能のうち、我が国の伝統的な歌唱に関する記載	我が国の伝統的な歌唱について具体的に記載されていることにより、曲種に応じた発声を適切に理解させ、基礎・基本の定着を図るために必要であると考えます。	
		○歌唱共通教材の構成と扱う学年	歌唱教材において日本で歌い継がれている楽曲の背景となる、作詞者・作曲者の思いが記載されていることにより、我が国の音楽文化を大切にするとともに、それらを受け継いでいこうとする態度を育成し、基礎的な歌唱表現の技能の向上につながると考える。	
	③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	○創作の題材の取り上げ方と題材構成の扱い	○我が国の音楽文化の取り上げ方	創作活動において、音楽を形づくっている要素の働き方を試し、そこから生まれる音楽の雰囲気の違いを感受することができる題材が適切に掲載されていることにより、音楽の仕組みや構造を理解することにつながると考える。
			○諸外国の音楽文化の取り上げ方	国際社会の中で、様々な文化の違いを超えて活躍する人材を育成するためには、我が国と異なる歴史に基づいて生まれた多様な音楽文化について理解することが必要であると考えます。
	《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○巻末の合唱曲の扱い	巻末の合唱曲に学習のポイントが示されるなどの工夫がなされていることが、主体的に音楽を表現しようとする態度の育成に必要であると考えます。
○巻頭と巻末の資料の内容			本文の内容と関連のある写真・資料や、芸術に対する興味・関心が高まる資料が巻頭や巻末に掲載されていることにより、視覚的に生徒の理解を深める効果があると考えます。	
⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫		○思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例	生徒自身が音楽表現を工夫できるような、思考・判断し表現する一連の学習過程が具体的に示されていることにより、思いや意図をもって、主体的に音楽を表現しようとする態度の育成につながると考える。	

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦教材の分量・及び配列	○教材の配列とその具体例, 目次に示された領域ごとの教材	領域同士を関連させて教材が配列されていることにより, 学習指導が効果的に進められると考える。
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習内容の記述とその具体例	発展的な学習を適切に設定することにより, 生徒の学習意欲の喚起と学習内容の深化につながると考える。
《観点4》 内容の表現・表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容	本文の記述と適切な関連付けがなされたキャラクターやマーク等が掲載されていることにより, 生徒の思考や活動のヒントになり学習意欲を喚起することにつながると考える。
《観点5》 言語活動の充実	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫	○鑑賞の視点の提示の仕方とその具体例	音楽科における言語活動の充実を視点として, [共通事項] との関連を図った鑑賞活動を行うことにより, 生徒の思考を促し楽曲の特徴や構造の理解を深めることにつながると考える。
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑪知識・技能の深い理解を促し, 創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○表現と鑑賞の関連を図った学習活動	[共通事項] をよりどころとして, 表現と鑑賞を関連させることにより, 創造的な表現を工夫し, 音楽のよさや美しさを味わい深めることができると考える。
		○歌唱における合唱の扱い	合唱における声部の役割や全体の響きなどについて着目する視点が示されることにより, 音楽表現を練り上げていく過程を重視した指導が進められると考える。
	⑫社会の持続的な平和と発展に向け, 異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○鑑賞における諸外国の音楽文化の扱い	鑑賞において, 諸外国の音楽について音楽の特徴及び音楽文化との関わりが示されることにより, 諸外国の音楽に対して理解を深めることにつながると考える。

種目【 音楽：器楽合奏 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	題材の目標が明確に示されていることにより、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことにつながるかと考える。
	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	○和楽器の取扱い方	学習指導要領に示された和楽器の取扱いについて、楽器の構造や奏法が具体的に示されていることが、生徒の基礎的な演奏技能を高めるための工夫の一つと考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	③興味・関心を高めるための工夫	○合奏のための教材	学習のポイントが具体的に示されている合奏曲が掲載されていることにより、生徒が自ら課題をもち、表現活動に主体的に取り組むことにつながるかと考える。
		○巻頭・巻末の内容	多様な音楽活動のための資料や、楽器の演奏への関心が高まる資料が充実していることにより、器楽における生徒の興味・関心を高めることにつながるかと考える。
	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	○和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の具体例	和楽器の構造や奏法が具体的に示されていることに加え、鑑賞教材との関連を図った学習活動が具体的に示されていることにより、技能の習得にとどまらず、我が国の伝統文化についての理解を深めることにつながるかと考える。
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑤教材の分量及び配列	○教材の配列	様々な形態の楽曲が掲載されていることやその配列に工夫があることにより、生徒の学習意欲の喚起と学習の深化につながるかと考える。
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○写真の内容	本文の記述と適切な関連付けがなされた写真が掲載されていることにより、生徒の思考を促す効果があり、演奏技能の習得において視覚的支援の効果が高いと考える。
		○イラスト等の活用	本文の記述と適切な関連付けがなされたイラストが掲載されていることにより、生徒の思考や活動のヒントになるとともに、学習意欲を喚起することにつながるかと考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑦思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫	○表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例	生徒が音楽に対する思いや意図を相互に伝え合う活動を取り入れることにより、音楽科における言語活動の充実を図ることにつながり、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する上で重要であるかと考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特色 を生かす工夫	⑧知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○器楽と鑑賞の関連について	〔共通事項〕をよりどころとして，器楽と鑑賞を関連させることにより，創造的な表現の工夫を探究することができる考える。
	⑨社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○和楽器を含めた多様な楽器の奏法等について	和楽器を含めた多様な楽器の奏法及び歴史的背景を理解することにより，異なる文化に対しての理解を深めることができる考える。
		○合奏表現を工夫するための表記	合奏表現を工夫するための表記を手がかりにして，音の重なりや楽器の組合せなどに着目した合奏をすることにより，協働する力を育成することができる考える。

種目【 美術 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○評価の4観点を踏まえた題材の目標（振り返り）の示し方及び課題意識のもたせ方	題材の目標が評価の4観点を踏まえたものになっていることだけでなく、課題意識をもたせる問いが明確に示されることにより、より目標に向かって学習に取り組む意欲が高まり、基礎・基本の定着につながると考える。
	②作品の理解を深めるための工夫	○制作手順の掲載（図・写真）	表現の4領域（絵、彫刻、デザイン、工芸）全てにおいて、制作手順が、図や写真で段階的に分かりやすく記載されていることにより、生徒の作品に対する理解が深まり、表現活動における豊かな発想・構想につながると考える。
	③日本の美術文化に関する内容	○日本の伝統的な表現や技法による作品の掲載の仕方	日本の伝統的な作品の表現や技法を幅広い視点で学習することにより、生徒の日本の美術や文化と伝統に対する理解と愛情を深め、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めると考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○表現への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	主体的に表現することへの興味・関心を高めるためには、生徒が見通しを立てて表現したり、表現の過程で試行錯誤したりする具体的な例が示されていることが必要と考える。
		○鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	主体的に鑑賞することへの興味・関心を高めるためには、生徒が実物の作品への興味をもったり、作品を見る視点や造形的な要素などに自らが気付いたりするような提示方法の工夫が示されていることが必要と考える。
	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	○生活や社会における美術の働きを実感するための具体例の示し方	生活や社会における美術の働きを実感するための具体例を示すとともに、美術の働きを生活に生かすことを促すことにより、生徒が自ら調べ、生活の中の造形や美術の働きをより深く理解することにつながると考える。
《観点3》 内容の構成 ・配列・分 量	⑥題材や資料等の配列	○題材の構成と分量	A表現（1）に係る題材、A表現（2）に係る題材、B鑑賞（1）に係る題材の構成と分量をバランスよく取り入れることで、各領域の基礎的能力が相互に作用しながら育成されると考える。
	⑦掲載している作品等の数	○〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品等の数	〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が掲載されている作品に数多く触れることで、生徒の作品に対する理解がより深まり、造形的な視点から豊かに発想・構想する能力及び創造的な技能を育成することにつながると考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧折り込みページの活用及び大型図版の掲載	○見開き又は折り込みページの大型図版の示し方	見開き又は折込みページや大型図版を有効に活用し、大型図版の特性を生かした作品提示を工夫することにより、作品のもつよさや美しさを、実感をもってとらえることができると考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑨言語を用いた発想・構想の工夫	○発想・構想段階における話合いや発表の事例	発想・構想段階において、主題を生み出したり構想を練ったりするために話し合う視点を提示し、写真や図などで段階を追って解説することで、生徒が主体的に言語活動を行い、豊かな発想や構想を行うことができると考える。
	⑩鑑賞の仕方の工夫	○言語活動を促す鑑賞の方法の示し方及び具体例	〔共通事項〕を踏まえ、話合いやまとめなどの言語活動を効果的に行う方法を写真や図を交えて示すことで、鑑賞の能力を高めることにつながると考える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○デザインにおける発想や構想の場面の学習の示し方	デザインの学習においては、目的や条件、他者や社会を意識して活動していくため、発想や構想を広げたり、深めたりするためのヒントや制作過程等を示すことで、知識・技能の深い理解を促し、創造的に様々な立場や視点で思考する力を育成できると考える。
	⑫社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高める工夫	諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせるための資料や学習を示すことで、美術を通して国際理解を深め、美術文化の継承と積極的に創造していこうとする態度を育成できると考える。

種目【保健体育】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の 定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の提示，指導内容の体系化が図られた記載内容	発達の段階のまとまりを考慮し，小学校，中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ることが必要であると考え
	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	○健康・安全に関する科学的な理解を図るための資料等への補足説明の内容	抽象的な指導等も可能になるという発達の段階を踏まえ，補足説明等が明記されていることで科学的に思考し，理解につながると考える。
	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○基本用語の取扱いと学習の振り返り	習得すべき基本用語の解説が具体的に示され，さらに振り返りの方法が工夫されていることで，基礎的・基本的な知識の定着につながると考える。
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める読み物の取扱い	生徒の身近な課題や社会の出来事について記載されていることが，生徒自身の生活を見つめるとともに，興味・関心を高めることにつながると考える。
	⑤体験的な学習を実施するための工夫	○実習や調査を実施するための資料の取扱い数	実習や実験，調査など知識を活用した学習活動を行うことで，思考力・判断力などの資質や能力が育成されると考える。
	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	○実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例，実生活を振り返るチェック項目数	習得した知識を実生活に生かすために，分かりやすく関連付けられていることが重要であると考え
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・題材や資料等の配列	○各単元における項目の系統的な構成及び1時間の授業の流れの例示	系統的な単元の構成，授業の流れの提示により，発達段階に応じた学習の理解を深めることができ，見通しを持って学習することができる
	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫	○発展的な学習の設定及び取扱い数	発展的な学習の記載が，問題解決能力の育成につながり，また，学校や教師の創意工夫を加えた指導に展開できるもの
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	○課題提示の場面でのイラスト・写真の示し方，マーク等の活用	イラスト，写真等視覚的に分かりやすい教材を活用することで，生徒の学習に対する興味・関心を喚起し，意欲的に取り組むことにつながると考える。
《観点5》 言語活動の 充実	⑩自分の考えをまとめて書いたり，話したりする活動の工夫	○知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり，話したりする学習方法の記載及び取扱い数	自分の考えをまとめて書いたり，それをもとにグループで話し合ったり，表現することで，言語活動の充実を図ることができる

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点6》 学校の特色を生かす工夫	⑪知識・技能の深い理解を促し，創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○生徒自身が意志決定を行う学習内容の取扱い数	生徒が創造的・批判的思考力を活用した学習を進めるための教材が豊富であることが重要であると考え。
	⑫社会の持続的な平和の発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容及び課題解決を促すような資料の種類と内容の掲載	運動やスポーツ並びに健康に関する課題について発見し，解決のための手立てを考えていく学習を進めることが重要であると考え。

種目【技術・家庭（技術分野）】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における目標の示し方	○目標の示し方	各内容を学習する意義や目標、題材との関連を理解することが、生活の中にある技術的な問題を解決する態度や能力の育成につながると考える。
	②伝統と文化に関する内容の記述	○伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例	我が国の生活や産業にかかわるものづくりの技術などの具体的な記述が、我が国の伝統と文化を支えてきた技術をより深く理解することにつながると考える。
	③学習のまとめの構成上の工夫	○学習のまとめの示し方、設定の仕方	学習のまとめの示し方を工夫することが、より学習内容の定着を図ることにつながると考える。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める記載の仕方とその具体例	技術分野で学習する学習内容について知らせ、学習の見通しをもたせることが、学習への興味・関心を高めることにつながると考える。
	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○実践的・体験的な学習の実習事例及び事例数	生活体験の少ない生徒にとって、実習事例が豊富であることは、実践的・体験的な学習に対する意欲を高め、学習を充実させることにつながると考える。
	⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述	○評価・活用に関する内容構成及び考えさせるための問いの例の記述や資料の掲載	技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めることが、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てることにつながると考える。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	指導内容との関連で各題材の分量が適切であることや、内容の配列が学習の流れに沿い、かつ調べやすいものであることは、効果的な活用につながると考える。
《観点4》 内容の表現・表記	⑧発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例	発展的な学習内容に関する記述の工夫が、学習に対する意欲や関心を高めるとともに、既習事項を活用することで、学習内容の理解を深めることにつながると考える。
	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用	○学習内容と関連したマークの種類及び扱い方	学習内容や題材のつながりを示す表記の工夫が、より学習を深めることにつながると考える。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点5》 言語活動の 充実	⑩ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○ 表現・発表する学習活動の具体例	教科の特徴である実践的・体験的な学習の結果を整理し、表現・発表する学習活動が、思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながるかと考える。
	⑪ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫	○ 構想したことをまとめた後、検討したりする具体例	製作品の機能や構造を検討することについて、図を用いて検討することが、思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながるかと考える。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫ 知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○ 生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例	本校では、創造的・批判的思考力を育成することを目指している。生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習を行うことは、創造的・批判的に思考する能力を育成することにつながるかと考える。
	⑬ 社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○ 「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載及び学習内容と関連した扱い方	本校では、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成することを目指している。その際、様々な情報を扱うが、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題や発信者としての責任、生活や社会での利用場面に応じた適正な活動について学習することで、異文化理解・他者理解に基づくコミュニケーションを意識し、異なる文化・価値観を尊重することにつながるかと考える。

種目【技術・家庭（家庭分野）】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における目標の示し方	○目標の示し方とその具体例	生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追究する学習を進められるよう配慮する必要がある。
	②伝統と文化に関する内容の記述	○伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例	伝統と文化について理解を深め、そのよさを継承・発展させるための学習の充実を図る必要がある。
	③持続可能な社会に関する内容の記述	○持続可能な社会に関する内容の扱い方	持続可能な社会の構築を目指し、環境とのかかわりなどに関する内容の改善・充実を図る必要がある。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○ガイダンスの構成、吹き出し等の興味・関心を高めるための工夫	ガイダンスにおいて、3年間の学習への見通しをもたせ、学習への意欲を高めるための工夫が必要である。
	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫	○実践的・体験的な学習の具体例	実践的・体験的な学習を進める上で、地域や学校・生徒の実態に応じた指導に対応するために、豊富な実践事例が充実し、生徒が目的をもって調理や製作ができる工夫が必要である。
	⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫	○振り返りの示し方及び設定の仕方	生活の自立を図るためには、自分の生活を振り返り進んで工夫できるように、学習を振り返り基礎的・基本的な内容を確認し、次への目標をもつことが重要である。
	⑦問題解決的な学習活動の工夫	○「生活の課題と実践」における学習の進め方及び実践事例	学習の進め方として、計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立て、生徒が段階を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑧題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	題材の設定に当たっては、学習内容や指導事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。
	⑨発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び具体例	発展的な学習内容に関する記述の工夫により、学習に対する意欲や関心を高めるとともに、既習事項を活用することで学習内容の理解を深めることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩本文記述と関連付けが なされた資料等の活用	○学習内容と関連した記 述・資料等の示し方及び 具体例	学習内容と題材のつながりや他教科等との 関連を示す表記の工夫は、学習内容への理解 をより深める上で必要である。
《観点5》 言語活動の 充実	⑪実習等の結果を整理 し、考察する学習活動 の工夫	○実習等の結果を整理した り考察したりする学習の 具体例	知的活動の基盤という言葉の役割の観点か ら実習等の結果を整理し考察する学習活動を 充実する必要がある。
	⑫言葉や図表、概念など を用いて考えたり、説 明したりする学習活動 の工夫	○まとめと発表の仕方の示 し方及び具体例	生活における課題を解決するために、言葉 や図表、概念などを用いて考えたり、説明し たりする学習活動の工夫を充実する必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解 を促し、創造的・批判 的思考力を育成するた めの工夫	○学習を深化・発展へとつ なげる内容の記載	本校では、知識・技能の深い理解を促す学 習を重視しているため、学習の深化や発展へ とつながる学習内容を示した記載が必要であ る。
	⑭社会の持続的な平和と 発展に向け、異なる文 化・価値観を尊重しな がら協働する力を育成 するための工夫	○家庭生活と地域の人々と の関わりについての学習 の事例	家庭生活や地域の人々との関わりについて の学習事例が豊富なことは、異なる文化・価 値観を尊重することにつながると考える。

種目【 英語 】

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○目標の表記の仕方	単元の目標の示し方が明確であることが、学習意欲及び目標意識をもたせるために必要である。
	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	○基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動の設定数のバランス ○1年生導入期の「話す」「聞く」言語活動の設定	小学校における外国語活動で育まれた素地の上に「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4つの技能をバランスよく育成することが必要である。
	③言語に対する理解を深めるための工夫	○関連ある文法事項のまとめの扱い方	英語の特質を理解させるためには、関連ある文法事項をまとまりをもって整理する等、効果的な指導ができるように工夫することが必要である。
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定	日常のコミュニケーションを促進するためには、具体的で分かりやすい場面や状況を示すとともに、自分のことを表現する課題を設定する必要がある。
	⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫	○ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツの設定	積極的なコミュニケーションを促すためには、ペアやグループの形態を適宜、取り入れながら、生徒一人一人の活動を行いやすくする工夫が必要である。また、日常生活でよく用いられる様々な慣用表現を身につけさせることも重要である。
	⑥問題解決的な学習に関する内容構成	○問題解決的な学習の設定 ○他教科等と関連させた教材選定	多様なものの見方や考え方を理解したり、公正な判断力を養ったりするためには、他教科の内容と関連付けたり、主体的に問題解決を図ったりする学習を設定する必要がある。
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦言語材料の配列	○文法事項の段階的な配列	学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すると共に、学習内容を言語活動の中で繰り返し学習させることが必要である。
	⑧題材の内容構成と分量	○3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学等に関するものの中から、生徒の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げることが必要である。
	⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	○1年生導入期における題材の構成	小学校外国語活動から円滑な接続を図るためには、音声と文字の関係に触れた学習をさせることが必要である。

観点	視点	具体的な調査項目	調査項目の設定理由
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩巻末等資料の工夫	○語彙リストにおける表記の仕方	語彙の理解を深めさせるためには、様々な用例や品詞を扱う必要がある。
	⑪学習到達目標の設定	○学習到達目標の設定の仕方	生徒が3年間を見通して、着実に英語力を身に付けていくためには、学習到達目標を適切に設定する必要がある。
《観点5》 言語活動の 充実	⑫4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	○3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおける言語活動の設定の仕方	外国語によるコミュニケーション能力の育成のためには、単に知識等を得ることにとどまるのではなく、4技能を効果的に結び付け、言語活動を設定する必要がある。
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○受け手の意見を問う課題、自分の意見を批判的に振り返る機会の設定	受け取った内容を理解し、正確に伝えることにとどまらず、自分の意見をもたせることが大切である。また、振り返りを通して、自分の意見を批判的に見直すことによって、新たな価値の創造につなげていく必要がある。
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○国際理解及び多様な価値観の理解に関する教材の具体例とペアやグループでの協働を促す課題の具体例	国際的な視野に立ち、社会の持続的な平和と発展に努める態度を育成するためには、多様な価値観に触れ、それを認めることを通して、異なる背景をもつ他者との協働を促す教材を多様に扱う必要がある。

別紙5

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 国語 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を全ての学年に掲載している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章がある。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明がある。 ⑩ 図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 ⑫ 学習指導要領に例示された言語活動を通して指導する単元がある。

	<p>⑬ 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を全ての学年に掲載している。</p> <p>⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。</p>
三省堂	<p>① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。</p> <p>② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。</p> <p>③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。</p> <p>④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。</p> <p>⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元があるとともに、「読むこと」の単元において主体的な問題解決に役立つ読み方を図等で示している。</p> <p>⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。</p> <p>⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。</p> <p>⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。</p> <p>⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。</p> <p>⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。</p> <p>⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。</p> <p>⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。</p> <p>⑬ 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を全ての学年に掲載している。</p> <p>⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。</p>

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を掲載している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 教材ごとに目標を示しているとともに、指導事項に基づいた付けたい力を一覧や目次等で示している。 ② 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明しているとともに、習得や活用のための課題等を掲載している。 ③ 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章があるとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 ④ 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示すとともに、テーマの例も複数示している。 ⑤ 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 ⑥ 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。また、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 ⑦ 単元に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがあるとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 ⑧ 発展的な学習に活用できる読み物教材に加え、単元での学びと関連させ、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 ⑨ 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明に加え、全ての領域に関する資料を掲載している。 ⑩ 複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 ⑪ 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。その上で読書活動を促す具体的な言語活動例を示している。 ⑫ 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 ⑬ 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を掲載している。 ⑭ 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 書写 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明するとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大單元及び小單元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ① 大單元だけでなく、小單元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、大單元において振り返りのための評価の観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 大单元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大单元及び小单元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 大单元だけでなく、小单元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明するとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等を掲載しているとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大单元及び小单元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が全ての学年に設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページが全ての学年において設定されている。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ① 大单元だけでなく、小单元ごとに目標を示している。 ② 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 ③ 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 ④ 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載しているとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 ⑤ 学習過程を示すとともに、全ての大单元及び小单元において振り返りの観点を示している。 ⑥ 硬筆記入欄が設定されている。 ⑦ 発展的な内容であることを示したページがある。 ⑧ 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。また、写真を用いて筆使いについて説明している。 ⑨ 日常の様々な書式を取り扱った教材や国語科の学習指導要領に例示された手紙や報告文等の言語活動を取り扱った教材が複数ある。 ⑩ 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示すとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 ⑪ 他国の文字文化についての掲載があるとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【社会（地理）】

発行者名	教科書の特徴
東書	<p>① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための写真等の資料と吹き出しによる問いを掲載している。</p> <p>② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料及び写真を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。</p> <p>④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いを複数掲載している。</p> <p>広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「地方中枢都市広島」という学習内容を掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程で、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を記載している。</p> <p>⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。</p> <p>⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。</p> <p>⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。</p> <p>⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。</p> <p>⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。</p> <p>⑬ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を掲載している。</p> <p>⑭ 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法を示し、具体例を記載している。</p>
教出	<p>① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための地図等の資料と吹き出しによる問いを掲載している。</p> <p>② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。</p> <p>④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料を掲載している。</p> <p>広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「中国・四国地方の中心 広島」という学習内容を掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。</p> <p>⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べることを促す課題を記載している。</p> <p>⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。</p> <p>⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。</p> <p>⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を掲載した事例を示している。</p> <p>⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。</p> <p>⑬ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を掲載している。</p> <p>⑭ 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法を示し、具体例を記載している。</p>

<p>帝国</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための写真等の資料と文章による問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真等を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料を掲載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べられることを促す課題を記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を掲載している。 ⑭ 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法を示し、具体例を記載している。
<p>日文</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための地図等の資料と吹き出し等による問いを掲載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料を複数掲載している。 ④ 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いを掲載している。広島県を取り上げた事例を複数掲載し、中国・四国地方の単元において、「人口の集中する広島市」という学習内容を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点を示すとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 ⑥ 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法を資料と解説文で掲載し、自ら調べられるような問いを記載している。 ⑦ 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合をおおむね4：6としている。 ⑧ 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを各大項目に掲載している。 ⑨ 「中国・四国地方」の単元において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法及び具体例を掲載した事例を示している。 ⑫ レポート作成等において、まとめ方とまとめ例を複数掲載している。 ⑬ 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料を具体例とともに掲載している。 ⑭ 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法を示し、具体例を記載している。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【社会（歴史）】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を各大項目に掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を複数示している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を複数掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を各大項目に掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を複数示している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。

<p>清水</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを掲載している。 ⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を示している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。
<p>帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を複数示している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。

<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程を記載するとともに留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを掲載している。 ⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を複数示している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。
<p>自由社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習課題を毎時間示している。 ② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。 ③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。 ④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。 ⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順を示している。 ⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。 ⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。 ⑧ 問いが示された発展的な資料を掲載している。 ⑨ 関連付けて考察させる資料を記載している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を掲載している。 ⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。 ⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を示している。 ⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を掲載している。

育鵬社	<p>① 学習課題を毎時間示している。</p> <p>② 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料を各大項目に掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を複数掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を複数掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載し、広島県の事象を調査、考察する方法及び具体例が記載されている。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の45%以上～50%未満となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を各大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる複数の資料と問いを記載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連させて多面的・多角的に考察させる事例を複数掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を複数示している。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。</p>
学び舎	<p>① 学習課題を記載している。</p> <p>② 歴史上の人物を調べる方法を示した資料を掲載している。 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例を掲載している。 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料を掲載している。</p> <p>③ 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料を掲載している。</p> <p>④ 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載している。</p> <p>⑤ 「身近な地域の歴史を調べる」留意点を掲載している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な活動例を掲載している。</p> <p>⑦ 近現代のページ数が全体の50%以上となっている。</p> <p>⑧ 問いが示された発展的な資料を掲載している。</p> <p>⑨ 関連付けて考察させる資料を記載している。</p> <p>⑩ 単元末に学習のまとめを記載している。</p> <p>⑪ 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例を掲載している。</p> <p>⑫ まとめ方について、作品例と手順が示されたものを複数掲載している。</p> <p>⑬ 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法を示していない。</p> <p>⑭ 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料を複数掲載している。</p>

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【社会（公民）】

発行者名	教科書の特徴
東書	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画の事例を掲載した資料と問いがある。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p>

<p>教出</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。 ③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。 ⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。 ⑪ 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。 ⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画の事例を掲載した資料と問いがある。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。
<p>清水</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための資料を掲載している。 ② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに掲載している。 ③ 国旗・国家の働きなどについて記載するとともに、脚注において、我が国の国旗・国歌について解説している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島についての事実を記載している。 ④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、学習課題に関連した資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。 ⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を掲載し、学習の手順と留意点を示している。 ⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で掲載している。 ⑦ 各大項目のページ数をおおむねバランスよく配分している。 ⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。 ⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。 ⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。 ⑪ 単元のまとめにおいて、考察させる課題を掲載している。 ⑫ レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順を示している。 ⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。 ⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を掲載している。

<p>帝国</p>	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。</p> <p>領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いを記載している。</p> <p>広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画の事例を掲載した資料と問いがある。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p>
<p>日文</p>	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに複数掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義を記載している。</p> <p>領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いを記載している。</p> <p>広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を複数掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で複数示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p>

自由社	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いを記載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義や敬意の表し方を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、学習課題に関連した資料を掲載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を掲載し、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をおおむねバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、選挙に関する資料を掲載している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りのポイントを複数示している。</p> <p>⑪ 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどで、まとめの手順を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、生徒に社会参画を促す資料も問いもない。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p>
育鵬社	<p>① 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料を掲載している。</p> <p>② 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスを事例とともに掲載している。</p> <p>③ 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面を資料で示し、国旗・国歌の意義や敬意の表し方を記載している。 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載している。</p> <p>④ 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料に関連させて学習課題を見いだす問いを記載している。 広島県を取り上げた事例を掲載している。</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容を複数掲載し、全ての過程において、学習の手順と留意点を示している。</p> <p>⑥ 作業的・体験的な学習を促す事例を資料と解説で複数掲載している。</p> <p>⑦ 各大項目のページ数をバランスよく配分している。</p> <p>⑧ 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムを全ての大項目に掲載している。</p> <p>⑨ 「選挙の意義」において、考察を促す事例を掲載し、吹き出し等による問いを示している。</p> <p>⑩ まとめや振り返りの方法を問いの形で示している。</p> <p>⑪ 資料を用いて多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題を示している。</p> <p>⑫ レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点を示している。</p> <p>⑬ 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画の事例を掲載した資料と問いがある。</p> <p>⑭ 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料を複数掲載している。</p>

教科書の特色（広島叡智学園中学校）

種目【社会（地図）】

発行者名	教科書の特色
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 地図の活用力を高めることができるように、地図記号の凡例、各地図・各資料に応じた凡例、読図の視点を記載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真や解説文を掲載している。 ③ 世界の様々な地域及び日本の様々な地域のいずれにも、環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料を掲載している。 ④ 一般図又は資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号を記載し、地図の読み取りの視点を具体的な記述で記載している。 ⑤ 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料を複数掲載している。 ⑥ 世界各地の人々の生活と環境で、世界各地の衣食住、宗教に関わる資料を掲載し、世界と比べた日本の地域的特色で、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きに関する資料を掲載している。 ⑦ アジア州において、人口・産業発展・民族・宗教に関する資料を全て掲載している。 ⑧ 地図を活用した調べ方とその手順を資料とともに記載し、索引の使い方を記載している。 ⑨ 資料の読み取りを促す問いを大項目ごとに記載している。 ⑩ 資料を関連付けて考察することを促す問いを示している。 ⑪ 世界各地の人々の生活と環境において、日本の生活・文化に関する資料と地図を複数掲載している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ① 地図の活用力を高めることができるように、地図記号の凡例、各地図・各資料に応じた凡例、読図の視点を記載している。 ② 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真や解説文及び経緯に関する資料を掲載している。 ③ 世界の様々な地域及び日本の様々な地域に、環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料を掲載している。 ④ 一般図と資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号を記載し、地図の読み取りの視点を具体的な記述で記載している。 ⑤ 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料を複数掲載している。 ⑥ 世界各地の人々の生活と環境で、世界各地の衣食住、宗教に関わる資料とめあてを掲載し、世界と比べた日本の地域的特色で、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きに関する資料とめあてを掲載している。 ⑦ アジア州において、人口・産業発展・民族・宗教に関する資料を全て掲載している。 ⑧ 地図を活用した調べ方とその手順を資料とともに記載し、索引の使い方を記載している。 ⑨ 資料の読み取りを促す問いを大項目ごとに記載している。 ⑩ 中項目ごとに、資料を関連付けて考察することを促す問いを示している。 ⑪ 世界各地の人々の生活と環境において、日本の生活・文化に関する資料と地図を掲載している。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 数学 】

発行者名	教科書の特徴
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にある。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに、単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。

<p>学 図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに、単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、全ての学年の全ての単元に複数ある。
<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに、説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっており、さらに、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を多数掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、全ての学年の全ての単元に複数ある。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっており、さらに、説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに、新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、全ての学年の全ての単元に複数ある。
数 研	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述があり、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定している。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等が多数ある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述があり、さらに単元の中にも記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 ② 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述がある。 ③ 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象を示し、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開を示している。 ④ 日常生活とのかかわりを取り扱っている題材があり、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 ⑤ 計算の仕方について問題解決的な学習の場面を設定し、さらに、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 ⑥ 具体例を通して規則性を見いだすような展開を示し、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 ⑦ 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 ⑧ 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 ⑨ 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にあり、さらに、次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 ⑩ 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真を掲載している。 ⑪ 予想させたり、説明をさせたりする問題が各学年1つはあり、さらに、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 ⑫ 各学年の巻頭にノートのかき方についての記述がある。 ⑬ 証明の構想や方針等の手順の記述があり、さらに新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりする2つの記述がある。 ⑭ 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年の各単元に1つはある。
-----	--

教科書の特色 (広島叡智学園中学校)

種目【 理科 】

発行者名	教科書の特色
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示しており、章の導入ではねらいにつながるような課題設定をしている。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように全ての単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの書き方やその具体例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 既習事項や他教科との関連性を意識的にもたせ、数多く記載している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を全ての単元で複数設定している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 既習事項や他教科との関連性を意識的にもたせ、数多く記載している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を全ての単元で設定している。

<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を数多く記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例を記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 既習事項や他教科との関連性を意識的にもたせ、記載している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を全ての単元で複数設定している。
<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理や中和を利用した環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例や持続可能な社会の構築のために生徒が実践できる取組を複数記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように全ての単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、調べ学習のテーマ例を紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。また、巻頭・巻末には広島県に関わる資料を紹介している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 既習事項や他教科との関連性を意識的にもたせ、記載している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を設定している。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、これから学ぶことやねらいを適切に示している。 ② 単元末に基本的な概念や用語を記載している。 ③ 観察・実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項を各観察・実験との関連を図りながら数多く記載している。また、レポートの記述の仕方、グラフの書き方についても説明している。 ④ 薬品処理による環境保全、自然界のつり合いと人間の活動についての事例を記載している。 ⑤ 学習内容と日常生活や社会、職業との関連付けを意識的に行っている。 ⑥ 補充的な観察・実験、ものづくりを全ての単元に位置づけている。 ⑦ 科学的に探究する活動の過程をまとめたものを全ての学年で示している。 ⑧ 生徒の思考に沿うように単元を適切に配列している。 ⑨ 環境問題について、必要だと考えられる調べ学習のテーマ例を全て紹介している。 ⑩ 補充的な問題や発展的な学習を数多く設定している。 ⑪ 各単元の導入に生徒の探究心を喚起するような図や写真を掲載している。また、巻頭・巻末には広島県に関わる資料を紹介している。 ⑫ 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいか、適切に視点を示している。 ⑬ 全学年において、レポートの書き方やその具体例を示していると共に話し合いや説明の場面設定をしている。 ⑭ 既習事項や他教科との関連性を意識的にもたせ、記載している。 ⑮ 意図的にお互いの意見を話し合い、考えさせる場面を設定している。
-----	--

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 音楽（一般） 】

発行者名	教科用図書の特徴
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の学習目標を明確に示しており、題材において扱う〔共通事項〕を示している。 ② 発声のポイント等を扱ったページを掲載しているとともに、伝統的な歌唱及びすべての歌唱共通教材において学習のポイント等 を示している。 ③ 「旋律づくり」及び「構成の工夫」の視点を関連付けた創作の活動を掲載している。 ④ 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材を各学年において掲載している。また、諸外国の音楽文化を扱った題材を各学年において掲載しており、我が国の音楽文化との関連について記載している。 ⑤ 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲を複数掲載しているとともに、全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連を図っている。 ⑥ 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材を複数掲載している。 ⑦ 各学年において、領域同士を関連させて、教材を配列している。 ⑧ 発展的な内容について記載している。 ⑨ 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しを、全ての領域において掲載している。 ⑩ 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材を複数掲載している。 ⑪ 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材を複数掲載している。 ⑫ 合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載しているとともに、各学年の鑑賞の題材において、諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料を掲載している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の学習目標を明確に示しており、各学年の題材において扱う〔共通事項〕を示している。 ② 発声のポイント等を扱ったページを、各学年において掲載しているとともに、複数の伝統的な歌唱及び歌唱共通教材において学習のポイント等を示している。 ③ 「旋律づくり」及び「構成の工夫」を視点とした創作の活動を掲載している。 ④ 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材を各学年においてそれぞれ掲載しているとともに、巻末の資料との関連付けがされている。また、諸外国の音楽文化を扱った題材を各学年において掲載している。 ⑤ 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲を複数掲載しているとともに、全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連を図っている。 ⑥ 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材を複数掲載している。 ⑦ 各学年において、領域同士を関連させて、教材を配列している。 ⑧ 学習指導要領の内容との関連を図った発展的な内容について記載している。 ⑨ 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しを、全ての領域において掲載している。 ⑩ 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材を複数掲載している。 ⑪ 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数掲載されている。 ⑫ 各学年の合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載しているとともに、各学年の鑑賞の題材において、諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料を掲載している。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 音楽（器楽合奏） 】

発行者名	教科用図書の特徴
教出	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の目標を明確に示している。 ② 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明している。 ③ 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動を掲載している。また、巻頭・巻末において、演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等を掲載しているとともに、巻頭にある内容を重複して巻末にも取り上げている。 ④ 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説を記載するとともに、複数の練習曲を掲載している。 ⑤ クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽やそれらの合奏曲を教材として掲載している。 ⑥ 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を、様々な角度から撮影した複数の写真と、演奏家が演奏している写真を、巻頭・巻末に掲載しているとともに、楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しを掲載している。 ⑦ 表現の工夫を伝え合う活動を掲載している。 ⑧ 鑑賞との関連を図った題材を複数掲載している。 ⑨ 和楽器を含めた多様な楽器の奏法や歴史的背景が複数記載されているとともに、合奏をするための工夫の視点を示している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ① 題材の目標を明確に示している。 ② 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等を写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明している。 ③ 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動を複数掲載している。また、巻頭・巻末において、演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等を掲載しているとともに、巻頭にある内容と異なった多様な種類の内容を巻末に取り上げている。 ④ 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説を記載するとともに、複数の練習曲及び関連する鑑賞教材を掲載している。 ⑤ クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽を教材として掲載している。 ⑥ 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を、様々な角度から撮影した複数の写真を掲載しているとともに、楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しを掲載している。 ⑦ 表現の工夫を伝え合う活動を複数掲載している。 ⑧ 鑑賞との関連を図った題材を複数掲載している。 ⑨ 和楽器を含めた多様な楽器の奏法や歴史的背景が複数記載されているとともに、合奏をするための工夫の視点を具体的に示している。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 美術 】

発行者名	教科用図書の特徴
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① めあてに対するふりかえりを、題材ごとに観点別に示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、作品の一部を原寸大で示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等を全て複数掲載している。 ⑫ 日本の美術や伝統文化と諸外国の美術文化の相違と共通性に気付かせるための作品や資料が複数掲載されており、比較できるように掲載されているものがある。

<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 目標を観点別に示すとともに、題材ごとに課題意識をもたせるための問いを示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、作品の一部を原寸大で示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示し、生活に生かすことを前提に自ら調べることを促す問いやコラム等を設定している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等を全て複数掲載している。 ⑫ 日本の美術や伝統文化と諸外国の美術文化の相違と共通性に気付かせるための作品や資料が複数掲載されており、比較できるように掲載されているものがある。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学びのねらいを、題材ごとに観点別に示している。 ② 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順を、段階を追って掲載している。 ③ 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品を掲載し、比較できるような問いを記載している。 ④ 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文とその場面を示す生徒の姿の写真を複数の題材で掲載している。また、主体的に鑑賞ができるように、和紙を用いて原寸大の作品を示すなど、作品提示の仕方を工夫するとともに、比較できる作品等を同一題材に複数掲載している。 ⑤ 生活や社会における美術の働きを示す具体例を多数示している。 ⑥ 「A表現」(1)(2)に関する題材と「B鑑賞」(1)のみに関する題材の割合のバランスがおおむね取れている。 ⑦ [共通事項]を踏まえた作者の言葉が記載されている作品を「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載している。 ⑧ 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かし、作品提示を工夫して掲載している。 ⑨ 発想・構想のための話合いの視点を複数提示し、写真や図とともに段階を追って解説している。 ⑩ 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、[共通事項]を踏まえて提示し、写真や図とともに解説している。 ⑪ 他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等を全て複数掲載している。 ⑫ 日本の美術や伝統文化と諸外国の美術文化の相違と共通性に気付かせるための作品や資料が複数掲載されており、比較できるように掲載されているものがある。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 保健体育 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示し、指導内容の体系化を図っている。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付し、さらにポイントとなる箇所にマーク等で説明を加えている。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示し、学習の振り返りができるよう問題等を記載することで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、全ての大単元に、実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 各学年の保健編の後に体育編を掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 全ての大単元で、本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を複数記載している。また、言語活動を充実させる資料や学習シートを掲載している。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進める課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料が豊富である。生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が掲載されている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に、単元の目標を示している。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付している。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示すことで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、「傷害の防止」、「体育編」で、実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるために、全ての大単元で、知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 体育編を保健編の前に掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 「考えよう」というマークで、課題を提示している。 ⑩ 事例を用いたロールプレイングを掲載し、学習シートに記載できるようにしている。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進める課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料がある。生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が掲載されている。

大修館	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に、単元の目標を示している。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明が付され、さらにポイントとなる箇所に吹き出しで説明を加えている。 ③ 習得すべき基本用語をキーワードとして記している。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、「健康と環境」、「傷害の防止」、「体育編」で実習・調査のいずれかの事例を掲載している。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 体育編を保健編の前に掲載し、保健分野と体育理論を関連させており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 全ての大単元で、本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を単元の一つ程度記載している。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進める課題や内容を掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料がある。生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が掲載されている。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ① 小扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示し、指導内容の体系化を図っている。 ② 健康・安全に関する科学的な理解を図るために、資料等の補足資料に説明を付している。 ③ 習得すべき基本用語の解説を具体的に示し、学習の振り返りができるよう問題等を記載することで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ろうとしている。 ④ 生徒の興味・関心を高めるために、生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物を掲載している。 ⑤ 体験的な学習を実施するために、全ての大単元に、実習・調査のいずれかの事例を掲載し、その事例数も多い。 ⑥ 実生活・実社会に関連付ける実践力を高めるために、全ての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等を示している。 ⑦ 単元の構成や題材を系統立てて記載しており、また、1時間の授業の流れを示すことで、学習に見通しをもたせている。 ⑧ 本編と関連させた発展的な内容を記載している。 ⑨ 課題提示の場面で、生徒の思考を促す挿絵や写真、図表を掲載している。 ⑩ ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動についての事例を複数記載している。また、言語活動を充実させる資料や学習シートも掲載している。 ⑪ 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進める課題や内容を複数掲載している。 ⑫ 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料がある。生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等が掲載されている。

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 技術・家庭（技術分野） 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、「目標」及び内容に関する写真やイラストを示している。 ② 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示している。また、内容A及びCにおいて、伝統と文化に関する内容に、「伝統・文化」マークを付けて、伝統的な文化を示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を3部構成で示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」等を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において豊富に挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例を挙げ、「資料」マークを付して示している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくしている。 ⑧ 内容Bにおいて、発展的な学習内容に発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。また、小学校や他教科との関連についてもマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。また、制作品の評価・修正について示している。 ⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を複数示している。 ⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例を示している。 ⑬ 内容D以外でも、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載している。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容AからDの項目ごとに、内容に関する写真を示している。 ② 伝統と文化に関する内容について、写真を用いて、伝統と文化に関する内容を示している。また、口絵にも同様に示している。 ③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「まとめ」と「章末問題」を2部構成で示している。 ④ 興味・関心を高めるための工夫として、本文中に「調べよう」、「やってみよう」、「考えよう」を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を各内容において複数挙げている。 ⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつエネルギー変換の利用について考えさせるための問いを示している。また、学習内容に関して、参考となる資料等を掲載している。 ⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。 ⑧ 内容B及びDにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。 ⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。 ⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。 ⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を示している。

	<p>⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例を示している。</p> <p>⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を掲載している。</p>
開隆堂	<p>① 内容AからDの項目ごとに、「目標」及び内容に関する写真やイラストを示している。</p> <p>② ガイダンス的な内容の章を中心に、「今も生きる先人の技術」や「活躍している日本の伝統技術」などとして、伝統と文化を示している。</p> <p>③ 学習のまとめの構成上の工夫として、各内容の章末に「学習のまとめ」を2部構成で示している。また、学習のまとめごとに「ふり返り」を示している。</p> <p>④ 興味・関心を高めるための工夫として、各学習項目を学ぶにあたって、「考えてみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」等を示している。</p> <p>⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫として、実践的・体験的な学習の実践事例を、各内容において豊富に挙げている。</p> <p>⑥ 技術を適切に評価し活用することに関して、内容Bにおいて、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いを示している。また、学習内容に関して、参考となる資料等を掲載している。</p> <p>⑦ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくしている。</p> <p>⑧ 内容Bにおいて、発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示す「発展」マークを付している。</p> <p>⑨ 表記の工夫として、他の内容との関連をマークで示している。また、他教科との関連についてもマークで示している。</p> <p>⑩ 言語活動の充実を図る点から、内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例を示している。また、発表後の評価と改善について、作品評価表を示している。</p> <p>⑪ 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例を複数示している。</p> <p>⑫ 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例を示している。</p> <p>⑬ 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料を掲載している。</p>

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」、吹き出しによる問いかけ、学習活動を促すような問いを記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、複数の内容で具体例を記載している。 ③ 循環型社会に関わる内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を複数記載し、生徒が目的をもって調理や製作ができる見出しを示している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動や巻末において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹介し、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連や他教科、小学校との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載している。 ⑬ 学習を深める内容を記載している。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」を記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、具体例を記載し、写真や絵で紹介している。 ③ 循環型社会に関わる内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を掲載している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動を設定し、生活に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載している。 ⑬ 学習を深める内容を記載している。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。

開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 項目ごとに「目標」、吹き出しによる問いかけ、学習活動を促すような問いを記載している。 ② 伝統や文化に関する内容について、複数の内容で具体例を記載している。 ③ 各内容に、持続可能な社会の構築に向けた内容を具体的に示している。 ④ 3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出し等で学習への興味関心をもたせ、学習活動を促すような工夫を示している。 ⑤ 実践的・体験的な学習の実習事例を複数記載し、生徒が目的をもって調理や製作ができる見出しを示している。 ⑥ 章末における学習のまとめの活動や巻末において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹介し、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容を示している。 ⑦ 問題解決的な学習の進め方や複数の実践例を記載している。 ⑧ 指導する内容や項目に適した分量で構成している。また、D内容の関連を図りながら学習を展開している。 ⑨ 発展的な学習内容に、発展的な内容であることを示すマークを付して複数掲載している。 ⑩ 他の内容との関連や他教科、小学校との関連を示している。 ⑪ 各内容において、整理したり考察したりする学習の具体例を記載している。 ⑫ まとめと発表の仕方や具体例を記載するとともに、言語活動の充実を図る内容を掲載している。 ⑬ 学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容を記載している。 ⑭ 家庭生活と地域の人々とのかかわりについての学習事例やロールプレイングを掲載している。
-----	---

教科書の特徴（広島叡智学園中学校）

種目【 英語 】

発行者名	教科書の特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 3年生の最初の単元で「受け身」を初出として扱っている。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動を全て設定している。 ⑬ 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題を設定している。 ⑭ ペアやグループによる形態を取り入れた課題を設定しており、国際的な課題解決に関する題材が扱っている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 3年間を通した学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動を全て設定している。 ⑬ 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題を設定している。 ⑭ ペアやグループによる形態を取り入れた課題を設定しており、国際的な課題解決に関する題材を扱っている。

<p>学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴が、整理している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定をしている。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 3年生の最初の単元で「受け身」を初出として扱っている。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題を設定している。 ⑭ ペアやグループによる形態を取り入れた課題を設定しており、国際的な課題解決に関する題材を扱っている。
<p>三省堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 単元の導入において、「ねらい」を示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定している。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定をしている。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱い、参考になる用例を示している。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題を設定している。 ⑭ ペアやグループによる形態を取り入れた課題を設定しており、国際的な課題解決に関する題材を扱っている。

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定しており、第2・3学年の4技能のバランスがとれている。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツや、会話に役立つ表現を取り上げるコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習を設定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱っている。 ⑪ 3年間を通した学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題を設定している。 ⑭ ペアやグループによる形態を取り入れた課題を設定しており、国際的な課題解決に関する題材を扱っている。
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 中単元及び小単元ごとに学習目標を提示しており、目指す姿を具体的に示している。 ② 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生の導入期に「話す」「聞く」活動を設定しており、第2・3学年の4技能のバランスがとれている。 ③ 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴を、整理しているだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等を示している。 ④ 日常のコミュニケーションにおける特定の場面を設定し、さらに自己表現等、発展的な課題を設定している。 ⑤ ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツを設定している。 ⑥ 問題解決的な学習の設定や他教科等と関連させた教材を選定している。 ⑦ 2年生で「受け身」を初出として扱い、3年生においても、「受け身」を扱う単元を設定している。 ⑧ 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する教材を扱っている。 ⑨ あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話、発音と綴りの関係を扱っている。 ⑩ 様々な品詞を扱い、参考になる用例を示している。 ⑪ 学年ごとの学習到達目標を設定している。 ⑫ 3年生の4技能を統合的に学習するコンテンツにおいて、4領域の活動をほとんど設定している。 ⑬ 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題や、自分の意見を批判的に振り返ることができる課題を設定している。 ⑭ ペアやグループによる形態を取り入れた課題を設定しており、国際的な課題解決に関する題材を扱っている。

評価表
(広島叡智学園中学校)

種目【 国語 】 評価表 (広島叡智学園中学校)

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元・教材の目標の示し方	○単元・教材ごとの目標等の記載	A B基準を満たすとともに、教材ごとに指導事項に基づいた付けた力を一覧や目次等で示している。 B 教材ごとに目標を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところの従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	A	A	A
	②基礎的な言語の定着	○言語・漢字・文法の指導の記述	A B基準を満たすとともに、習得や活用のための課題等がある。 B 言語・漢字・文法の学習が単元の中に組み込まれており、挿絵等を用いて説明している。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (2) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。 2 (1) ア 知識をまとめて指導したり、繰り返して指導したりすることが必要なものについては、特にそれだけを取り上げて学習させることにも配慮すること。	A	A	A	A	A
	③伝統的な言語文化に関する内容の記述	○古典を取り扱った単元の教材	A B基準を満たすとともに、古典作品に親しむ図書を紹介している。 B 古典を取り扱った単元に、古典の原文、古典の現代語訳、古典について解説した文章がある。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (5) 古典に関する教材については、古典の原文に加え、古典の現代語訳、古典について解説した文章などを取り上げること。	A	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習 に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○身近な話題や社会の出来事を取り上げた教材	A B基準を満たすとともに、テーマの例を複数示している。 B 「書くこと」の教材において、学習者にとって、身近な話題や社会の出来事を取り上げたテーマの作品例を示している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第1学年〕 B書くこと(1)ア 日常生活の中から話題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。 〔第2学年〕 B書くこと(1)ア 社会生活の中から話題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。 〔第3学年〕 B書くこと(1)ア 社会生活の中から話題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	A	B	A	B	A
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題解決的な学習を促す言語活動の設定	A B基準を満たすとともに、「読むこと」の単元において主体的な問題解決に役立つ読み方を図等で示している。 B 問題解決的な学習を促す言語活動を設定した単元がある。 C B基準を満たしていない。	【国語科改訂の要点(中教審答申)】 (2) 学習の明確化 自ら学び、課題を解決していく能力の育成を重視し、指導事項については学習過程を一層明確化した。 【言語活動の充実に関する指導事例集】 「教科等の特質を踏まえた指導の充実及び留意事項」 学習指導要領の内容の(2)に示す言語活動を基に、具体的な言語活動を通して指導事項を指導することが大切である。その際、「考えを書く」「話し合う」といった活動が脈絡なく行われることのないよう、生徒が自ら学び、課題を解決していくための学習過程を明確化し、単元を貫く言語活動を位置付けることが必要である。	B	B	A	B	B
	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫	○学習過程と振り返りの視点の示し方	A B基準を満たすとともに、学習過程で思考ツール等を紹介し、どのような方法で考えればいいのかを示している。 B 生徒が学習の見通しをもつことができるよう、学習の始めに学習過程を示すとともに、学習の終わりに振り返りの視点を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2(6)各教科の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	B	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦単元・教材等の配列	○各領域の関連を図った単元の構成	A B基準を満たすとともに、複数の領域を関連させた教材がある。 B 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の三つの領域で構成されたものがある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (2) 第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について相互に密接な関連を図り、効果的に指導すること。	A	B	A	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記述	○発展的な学習に活用できる教材とその内容	A B基準を満たすとともに、単元での学びを生かし、並行読書等で使用できる読み物教材を掲載している。 B 発展的な学習に活用できる読み物教材を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (1) 教材は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことなどの能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成をねらいとし、生徒の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨巻末資料の示し方	○巻末資料の内容と表記	A B基準を満たすとともに、全ての領域に関する資料がある。 B 巻末に資料が設けられており、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項についての説明がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) ア 知識をまとめて指導したり、繰り返して指導したりすることが必要なものについては、特にそれだけを取り上げて学習させることにも配慮すること。	A	B	A	A	A
	⑩本文記述との関連付けがなされた図表等	○本文記述と図表の適切な関連付けがなされた教材	A B基準を満たすとともに、複数の種類の図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 B 図表と関連付けて文章を読ませる教材がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) エ 科学的、論理的な見方や考え方を養い、視野を広げるのに役立つこと。	A	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪読書と情報活用	○読書に親しむ態度の育成に関する記述	A B基準を満たすとともに、読書活動を促す具体的な言語活動例が示されている。 B 読書単元を設け、複数の図書を紹介するとともに、他の単元でも関連図書を紹介している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第1学年〕 1目標 (3) 読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 〔第2学年〕 1目標 (3) 読書を生活に役立てようとする態度を育てる。 〔第3学年〕 1目標 (3) 読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。	A	B	A	B	A
	⑫言語活動の種類	○学習指導要領に示された言語活動例にかかわる内容の記述	A 学習指導要領に例示された全ての言語活動だけでなく、学習指導要領に例示されているもの以外の言語活動を通して指導する単元がある。 B 学習指導要領に例示された言語活動を通して指導する単元がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (1) …第2の各学年の内容の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれ(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。	A	B	A	A	A
《観点6》 学校の特色 を生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○創造的・批判的思考力の育成につながる教材	A 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を全ての学年に掲載している。 B 創造的・批判的思考力の育成につながる教材を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) ウ 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。	A	A	A	B	B
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○国際的な内容を取り上げた読み物教材	A 国際的な内容を取り扱った読み物教材を全ての学年に掲載している。 B 国際的な内容を取り扱った読み物教材を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 〔第3学年〕「C読むこと」(2) エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。 【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) ク 広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	A	A	A	A	A

種目【 書写 】 評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の記載	A B基準を満たすとともに、小単元ごとに目標を示している。 B 大単元ごとに目標を示している。 C B基準を満たしていない。	1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A	B	A	A
	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	○正しい姿勢、正しい執筆法、用具の扱い方の写真等の示し方や説明方法	A B基準を満たすとともに、毛筆、硬筆以外の用具の持ち方を示している。 B 毛筆の姿勢、執筆法、用具の扱い方、毛筆・硬筆の持ち方を写真やイラストを用いて説明している。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 ※小学校第1学年及び第2学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。</u>	A	B	B	A	B
	③伝統と言語文化に関する内容の記述	○文字や書の文化・伝統の理解を促す記述	A B基準を満たすとともに、日本以外の古典作品を教材として取り扱っている。 B 文字や書の文化・伝統の理解を促す記述や写真等がある。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) キ 我が国の伝統と文化に対する <u>関心や理解を深め</u> 、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。 【解説】 我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会に役立つ様々な文字文化に関する認識及びそれらに親しむ態度の育成も大切である。	A	A	B	A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるためのコラムや資料	A B基準を満たすとともに、歴史、用具、日常生活、社会生活の四つに関する内容の全てを取り扱っている。 B 興味・関心を高めるためのコラムや資料を掲載している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 第3学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。</u>	A	A	A	A	A
	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方	A B基準を満たしたうえで、全ての小単元において振り返りの観点を示している。 B 学習過程を示すとともに、大単元において振り返りの観点を示している。 C B基準を満たしていない。	【総則】 第4の2 (6) 各教科の指導に当たっては、 <u>生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。</u>	A	B	A	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥単元・教材や資料等の配列	○毛筆教材に関連付けた硬筆記入欄の設定	A B基準を満たすとともに、硬筆記入欄が全ての学年に設定されている。 B 硬筆記入欄が設定されている。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) イ <u>硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うようにすること。</u>	B	B	B	A	B
	⑦発展的な学習の扱い方	○発展的な内容の取扱い	A B基準を満たすとともに、それらが全ての学年において設定されている。 B 発展的な内容であることを示したページがある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3 (2) キ 我が国の伝統と文化に対する <u>関心や理解を深め</u> 、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。	B	B	B	A	B
《観点4》 内容の表現・表記	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	○図・写真、イラストによる筆使い等の示し方	A B基準を満たすとともに、写真を用いて筆使いについて説明している。 B 薄墨と朱の二色で、筆使いを示すとともに、筆脈を矢印等で示している。 C B基準を満たしていない。	【内容】 第1学年 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (書写) ア <u>字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。</u>	A	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の充実	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	○学習や日常生活と関連付けがなされた教材	A B基準を満たすとともに、国語科の学習指導要領に例示された言語活動を取り扱った教材が複数ある。(手紙・報告文等) B 日常の様々な書式を取り扱った教材がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) ア文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、 <u>書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。</u>	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	学図	三省堂	教出	光村
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑩知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○文字や書に対する深い理解を促す視点	A B基準を満たすとともに、全ての学年において生活とのつながりを考える等の学びを広げる視点を示している。 B 文字や書き方について調べたり考えたりする視点を示している。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)ア <u>国語に対する認識を深め</u> 、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。	A	A	A	A	A
	⑪社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○他国の文字文化の取扱い	A B基準を満たすとともに、実際の書や絵巻物を掲載している。 B 他国の文字文化についての掲載がある。 C B基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 3(2)ク 広い視野から <u>国際理解を深め</u> 、日本人としての自覚をもち、 <u>国際協調の精神を養う</u> のに役立つこと。	A	A	A	A	A

種目【 社会：地理的分野 】評価表（広島観智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	教出	帝国	日文
《観点1》 基礎・基本の 定着	①学習課題の示し方	○単元の導入における見通しをもたせるための資料や問いの記載	A 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料と問いが記載されている。 B 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料又は問いが記載されている。 C 単元の導入において、学習の見通しをもたせるための資料も問いも記載されていない。	【解説】 現代の日本や世界の地理的事象を取り扱う地理学習の特質を生かして、作業や体験を伴う学習や課題を設定し追究する学習などを工夫し、生徒の主体的な学習を促すことが必要である。	A	A	A	A
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、読み物資料と写真等の資料が掲載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島について、写真等の資料が掲載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する記述が記載されている。	【内容の取扱い】 (ア)「領域の特色と変化」については、我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに、北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。	A	B	A	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国際関係や文化交流に関する読み物資料	A 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が複数掲載されている。 B 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が掲載されている。 C 我が国と諸外国の結び付きに関する読み物資料が掲載されていない。	【目標】 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。	A	A	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○学習テーマを見いだすための問いや資料の掲載の工夫と具体例	A 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いが複数掲載されている。 B 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料と問いが掲載されている。 C 「世界の諸地域」の学習において、学習テーマに関する資料又は問いが掲載されている。	【内容の取扱い】 州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。	A	C	C	B
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	A 広島県を取り上げた事例が複数掲載され、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例も掲載されている。 B 広島県を取り上げた事例が複数掲載されている。 C 広島県を取り入れた事例が掲載されている。	【解説】 身近な地域は、生徒が生活舞台にしている地域であり、学習対象を生徒が直接体験できるといった特質を有している。	A	A	B	A
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順の例	A 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点が示されるとともに、最終的なまとめのイメージを描かせる工夫がある。 B 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの全ての過程に、具体的な資料を用いて学習の手順と留意点が示されている。 C 「身近な地域の調査」において、課題の設定、整理・分析、振り返りの過程に、学習の手順が示されている。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	B	A	A	A
	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	A 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が資料と解説文で示され、自ら調べることを促す課題が記載されている。 B 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が資料と解説文で示されている。 C 時差に係る学習において、作業的・体験的な学習を促す方法が示されている。	【解説】 「世界各地との時差」を取り上げるに当たっては、海外と衛星中継しているテレビのニュース番組の映像を活用するなどの国際化した生活場面と関連付けたり、等時帯や日付変更線を示す地図と地球儀を見比べたり、簡単な時差の計算をしたりする学習活動を通して、日本と世界各地との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解させる。	A	A	A	A
《観点3》 内容の構成 ・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○各大項目のページ数	A 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が20%未満である。 B 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が20%以上25%未満である。 C 「世界のさまざまな地域」と「日本のさまざまな地域」のページ数の割合の基準値を4：6として、誤差の合計が25%以上である。		A	A	A	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが各大項目に掲載されている。 B 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されている。 C 問いが示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	A	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	教出	帝国	日文
《観点4》 内容の表現 ・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等の資料と問いの掲載	A 「中国・四国地方」の学習において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いが記載されている。 B 「中国・四国地方」の学習において、資料から学習課題を見いだす問いが記載されている。 C 「中国・四国地方」の学習において、資料から学習課題を見いだす問いが記載されていない。	【内容】 ウ 日本の諸地域 日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の（ア）から（キ）で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。	A	A	A	A
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【総則】 （6）各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○単元末における多面的・多角的に考察させる事例	A 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法と具体例を記載した事例が示されている。 B 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を記載した事例が示されている。 C 単元末において、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を記載した事例が示されていない。	【解説】 地理的事象を考察し、判断、理解するに当たっては、「公正」さに留意することが大切である。そのためには、 <u>資料を適切に収集、選択、処理、活用し、資料に基づいて考察する態度を身に付けさせることが特に大切である。</u>	A	B	A	A
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A レポート作成等において、まとめ方とまとめ例が複数掲載されている。 B レポート作成等において、まとめ方又はまとめ例が掲載されている。 C レポート作成等において、まとめ方もまとめ例も掲載されていない。	【解説】 今回の改訂で重視されている言語力育成の観点から、 <u>観察や調査等の結果を論述したり、意見交換したりするなどの言語活動を充実させることに特に留意することが必要である。</u>	A	A	A	A
《観点6》 学校の特色 を生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○創造的な思考を促す資料	A 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料が具体例とともに掲載されている。 B 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料が掲載されている。 C 「身近な地域の調査」において、地域の課題を見だし、社会参画を促す資料が掲載されていない。	【目標】 身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて <u>地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養う。</u>	B	B	B	A
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○生活・文化の多様性を考察させる事例	A 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法が示され、具体例が記載されている。 B 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法が示されている。 C 「世界の様々な地域の調査」の学習において、諸外国の生活・文化に関する調査を行うための調査方法が示されていない。	【解説】 <u>世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。</u>	A	A	A	A

種目【 社会：歴史的分野 】評価表（広島観智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価								
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	学び舎	
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習課題の示し方	○学習課題の記載の仕方	A 学習課題が、毎時間示されている。 B 学習課題が示されている。 C 学習課題が示されていない。	【内容の取扱い】 (1) イ 歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着を図ること。	A	A	A	A	A	A	A	A	B
	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○歴史上の人物が掲載されている資料	A 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が、各大項目に掲載されている。 B 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されている。 C 歴史上の人物について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されていない。	【目標】 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。	B	B	B	B	B	B	B	A	C
		○神話・伝承等を扱った事例数	A 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が複数掲載されている。 B 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が掲載されている。 C 当時の人々の信仰やものの見方等に気付かせる神話・伝承の具体的な事例が掲載されていない。	【内容の取扱い】 (3) エ 考古学などの成果を活用するとともに、神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるよう留意すること。	A	A	A	A	B	A	A	A	B
		○文化遺産を取り扱った資料	A 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が複数掲載されている。 B 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されている。 C 文化遺産について、調べたり考えたりする問いのある資料が掲載されていない。	【目標】 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。	A	A	A	B	A	B	A	A	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○歴史に見られる国際関係や文化交流に関する資料	A 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる問いのある資料が掲載されている。 B 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料が掲載されている。 C 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる資料が掲載されていない。	【目標】 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、多民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。	A	A	A	A	B	A	A	A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料	A 近代の導入において、時代のイメージを捉える複数の資料と問いが記載されている。 B 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料と問いが記載されている。 C 近代の導入において、時代のイメージを捉える資料又は問いが記載されている。	【内容の取扱い】 (2) ウ 各時代の学習の初めにその特色の究明に向けた課題意識を育成した上で、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、大観や表現の仕方を工夫して、各時代の特色をとらえさせるようにすること。	A	B	A	A	A	B	A	A	A
		○身近な地域（広島県）を取り上げた事例	A 広島県を取り上げた事例を複数掲載し、広島県の事象を調査、考察する方法及び具体例が記載されている。 B 広島県を取り上げた事例が複数掲載されている。 C 広島県を取り上げた事例が掲載されている。	【内容】 (1) イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。	A	B	B	B	A	B	A	B	B
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の示し方	A 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順の中に、課題発見・解決学習の過程が記載されるとともに留意点が示されている。 B 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順と留意点が示されている。 C 「身近な地域の歴史を調べる」学習手順又は留意点が示されている。	【目標】 (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	B	A	A	C	B	B	C
		⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例	A 作業的・体験的な活動例が各大項目に掲載されている。 B 作業的・体験的な活動例が掲載されている。 C 作業的・体験的な活動例が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 資料等の活用と作業的、体験的な学習指導の全般にわたって、資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図るようにする。	A	A	B	B	B	B	B	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価							
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社	学び舎
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○近現代の学習ページの分量	A 近現代のページ数が全時代の50%以上である。 B 近現代のページ数が全時代の45%以上～50%未満である。 C 近現代のページ数が全時代の45%未満である。	【解説】 歴史的分野 ウ 近現代の学習の一層の重視 従前は、内容の「(5) 近現代の日本と世界」という単一の大項目であったものを、「(5) 近代の日本と世界」と「(6) 現代の日本と世界」の二つの大項目として構成した。これは、 <u>近現代の学習を一層重視し、現代の社会についての理解が深まるように配慮したものである。</u>	A	A	B	A	A	B	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 問いが示された発展的な資料が各大項目に掲載されている。 B 問いが示された発展的な資料が掲載されている。 C 発展的な資料が掲載されている。		A	A	A	A	A	B	A	B
《観点4》 内容の表現・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○写真等の資料と問いの記載	A 見開きページにおいて、関連付けて考察させる複数の資料と問いが記載されている。 B 見開きページにおいて、関連付けて考察させる資料と問いが記載されている。 C 見開きページにおいて、関連付けて考察させる問いが記載されていない。	【目標】 (4) 歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	A	A	A	C	A	C
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない。	【解説】 歴史的分野 イ(ウ) 歴史について考察する力や説明する力の育成 ひとまとまりの学習内容が十分に理解され定着するためには、学習のねらいを明確に意識させるための「導入」や、 <u>学習の成果を確かにつかませるための「まとめ」が重視され、その工夫と充実が図られる必要があるのである。</u>	B	A	A	A	A	B	B	C
《観点5》 言語活動の充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例の記載	A 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例が複数掲載されている。 B 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例が掲載されている。 C 単元のまとめにおいて、資料や事象を関連付けて多面的・多角的に考察させる事例が掲載されていない。	【解説】 文献や絵図、地図、統計など歴史学習にかかわる様々な性格の資料や、作業的・体験的な活動によって得られた幅広い資料の中から、 <u>必要な資料を選択して有効に活用することで、歴史的事象を一面的にとらえるのではなく、様々な角度から考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育成することが大切である。</u>	A	A	A	A	A	B	A	B
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A まとめ方について、作品例と手順が示されたものが複数掲載されている。 B まとめ方について、作品例と手順が示されたものが掲載されている。 C まとめ方について、作品例又は手順が示されたものが掲載されている。	【中央教育審議会答申】 子どもたちの思考力・判断力・表現力等を確実に高めるために、まず、各教科の指導の中で、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、 <u>観察・実験やレポートの作成、論述といったそれぞれの教科の知識・技能を活用する学習活動を充実させることを重視する必要がある。</u>	A	A	B	A	B	A	A	A
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○創造的に思考し、表現する方法の具体的事例	A 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法が複数示されている。 B 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法が示されている。 C 「身近な地域の歴史を調べる」学習の中で、調査した内容についての表現方法が示されていない。	【目標】 (4) <u>身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</u>	A	A	B	A	A	B	A	C
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○文化の多様性に関する資料	A 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が複数掲載されている。 B 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が掲載されている。 C 我が国の文化を取り扱ったページにおいて、他国の文化を紹介する資料が掲載されていない。	【目標】 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、 <u>我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。</u>	A	A	A	A	A	B	A	A

種目【 社会：公民的分野 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習課題の示し方	○学習の見通しをもたせるための資料や問いかけ	A 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いと資料がある。 B 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問い又は資料がある。 C 「私たちと現代社会」の導入において、学習の見通しをもたせるための問いも資料もない。	【解説】 この大項目は、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎について、具体的な社会生活と関連付けるなどして理解させ、以後の政治や経済、国際社会の学習の導入とすることを主なねらいとしている。	A	B	B	A	A	B	A
	②公民としての基礎的教養を培うための工夫	○現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例	A 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが事例とともに複数掲載されている。 B 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが事例とともに掲載されている。 C 「現代社会をとらえる見方や考え方」において、合意形成のプロセスが掲載されている。	【解説】 イ 現代社会をとらえる見方や考え方 ここでは「物事の決定の仕方」や「きまり」などの社会生活に見られる事例を示し、その意義などを考えさせることを通して見方や考え方の基礎を身に付けさせることを求めているのである。	A	A	B	A	A	C	B
	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○国旗・国歌に関する記載の仕方	A 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示され、国旗・国歌の意義と敬意の表し方が記載されている。 B 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示され、国旗・国歌の意義が記載されている。 C 我が国の国旗・国歌が取り扱われる場面が資料で示されておらず、国旗・国歌の意義が記載されていない。	【内容の取扱い】 (ウ)「国家間の相互の主権の尊重と協力」との関連で、 <u>国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるよう配慮すること。</u>	B	B	C	B	B	A	A
		○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、資料を用いて記載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する経緯や取組について、記載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する事実が示されている。	【解説】 我が国固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、 <u>現状にいたる経緯、我が国が正当に主張している立場、我が国が平和的手段による解決に向けて努力していることを理解させる。</u>	A	A	C	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫と具体例	A 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、複数の資料を関連させて学習課題を見いだす問いがある。 B 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いがある。 C 「市場の働きと経済（価格の働き）」において、資料を用いて学習課題を見いだす問いがない。	【目標】 (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、 <u>事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。</u>	A	A	C	B	B	C	A
		○身近な地域（広島県）を取り入れた事例	A 広島県を取り上げた事例を複数掲載するとともに、広島県の事象を調査、考察する方法や具体例を掲載している。 B 広島県を取り上げた事例を掲載している。 C 広島県を取り上げた事例を掲載していない。	【内容の取扱い】 イ 生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮し、 <u>日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにすること。</u>	A	B	B	B	B	B	B
	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題発見・解決学習の手順と留意点	A 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容が複数あるとともに、全ての過程において、学習の手順と留意点が示されている。 B 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容があり、学習の手順と留意点が示されている。 C 課題の設定、整理・分析、振り返りの学習内容があるが、学習の手順も留意点も示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 生徒の主体的な学習を促し、 <u>課題を解決する能力を一層培うため、各分野において、第2の内容の範囲や程度に十分配慮しつつ事項を再構成するなどの工夫をして、適切に課題を設けて行う学習の充実を図るよう</u> にすること。	A	A	B	A	A	B	A
		○作業的・体験的な学習の実施するための工夫	○作業的・体験的な学習の事例と具体例	A 作業的・体験的な学習を促す事例が資料と解説で複数掲載されている。 B 作業的・体験的な学習を促す事例が資料と解説で掲載されている。 C 作業的・体験的な学習を促す事例が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに <u>作業的、体験的な学習の充実を図るよう</u> にすること。	A	A	B	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	教出	清水	帝国	日文	自由社	育鵬社
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元や資料等の配列・分量	○大項目ごとのページ数	A 私たちと現代社会：私たちと経済（経済のしくみ・経済活動）：私たちと政治：私たちと国際社会の諸課題＝1：2：4：2を基準とし、各大項目の誤差の合計が20%未満である。 B 20%以上～25%未満である。 C 25%以上である。		A	A	B	A	A	B	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	○学習課題が提示され、発展的な学習に活用できる資料	A 複数の学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが全ての大項目に掲載されている。 B 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されている。 C 学習課題が示された1ページ以上の発展的な内容を扱ったコラムが掲載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	A	A	B	A	B	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	○イラスト・写真等を活用し考察を促す事例	A 「選挙の意義」において、考察を促す事例が複数掲載され、吹き出し等による問いが示されている。 B 「選挙の意義」において、考察を促す事例が掲載され、吹き出し等による問いが示されている。 C 「選挙の意義」において、考察を促す事例が掲載されておらず、吹き出し等による問いが示されていない。	【解説】 「選挙の意義」については、～具体的な事例を取り上げて関心を高めさせるとともに、正しい選挙が行われることや選挙に参加することの重要性について十分に考えさせることが大切である。	A	A	B	B	A	C	B
	⑩本文以外の記述の工夫	○まとめや振り返りの記載	A まとめや振り返りの方法が問いの形で複数示されている。 B まとめや振り返りの方法が問いの形で示されている。 C まとめや振り返りの方法が問いの形で示されていない	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	B	A	B	A	A	C	B
《観点5》 言語活動の充実	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫	○多面的・多角的に考察させる事例	A 資料を用いて、多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されている。 B 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されている。 C 多面的・多角的に考察させる言語活動の手法を取り入れた課題が示されていない。	【目標】 現代の社会的な事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	A	A	C	A	A	B	A
	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○まとめ方の具体例	A レポートづくりなどにおいて、作品例を掲載し、まとめ方の手順と留意点が示されている。 B レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順が示されている。 C レポートづくりなどにおいて、まとめ方の手順が示されていない。	【解説】 公民的分野では、習得した知識、概念や技能を活用して、社会的な事象について考えたことを説明したり、自分の考えをまとめて論述したり、議論などを通して考えを深めたりすることを重視した。	A	A	B	A	A	B	A
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○創造的思考を促す資料や問い	A 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画の事例を掲載した資料と問いがある。 B 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、社会参画を促す資料又は問いがある。 C 「よりよい社会を目指して」において、レポートを作成した後、生徒に社会参画を促す資料も問いもない。	【解説】 公民的分野はもとより、地理的分野、歴史的分野などの学習の成果を生かし、これからのよりよい社会の形成に主体的に参画する態度を養うこととした。	A	A	B	A	B	C	A
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○文化の多様性に関する資料	A 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料が複数掲載されている。 B 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムと読み物資料が掲載されている。 C 「私たちが生きる現代社会と文化」において、我が国の伝統文化や多文化の理解に関するコラムも読み物資料も掲載されていない。	【解説】 我が国の伝統と文化が自然や社会とのかかわりの中でどのように受け継がれてきたのかを考えさせたり、～自国の伝統と文化を大切にすることは、他国の伝統と文化を認め、尊重することにつながるなど気付かせることを意味している。	A	A	B	A	A	A	A

種目【 社会：地図 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					東書	帝国
《観点1》 基礎・基本 の定着	① 題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	○地図の見方の記載とその内容	A 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例，読図の視点が示されている。 B 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例が示されている。 C 地図記号の凡例，各地図・各資料に応じた凡例が示されていない。	【解説】 (1) 教科の改訂の要点 オ 地理的技能の育成の一層の重視 地図の読図や作図は，地理的事象の理解だけでなく，地理的な見方や考え方をはぐくむ上で必要不可欠な能力である。	A	A
	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○領土をめぐる問題等に関する記載	A 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文及び経緯に関する資料が掲載されている。 B 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文が掲載されている。 C 領土をめぐる問題及び尖閣諸島に関する写真と解説文が掲載されていない。	【内容の取扱い】 (4) イ「領域の特色と変化」については，我が国の海洋国家としての特色を取り上げるとともに， <u>北方領土が我が国の固有の領土であることなど，我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること。</u>	B	A
	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○環境・国際理解等の学習への活用	A 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されている。 B 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題又は世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されている。 C 「世界の様々な地域」と「日本の様々な地域」において，環境問題と世界と日本との結び付きを示す資料が掲載されていない。	【解説】 「我が国の国土（の地域的特色）」については，視野の狭い学習により単に地理的知識を詰め込むのではなく， <u>世界的視野から多面的・多角的に追究する学習</u> を通してとらえさせる必要がある。	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高めるための記載内容	A 一般図と資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が記載され，地図の読み取りの視点が具体的な記述で示されている。 B 一般図又は資料図に各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が記載され，地図の読み取りの視点が具体的な記述で示されている。 C 各地の特色ある動植物・農水産物・特産品・建造物等のイラストや絵記号が地図に記載されている。	【解説】 (1) 教科の改訂の要点 オ 地理的技能の育成の一層の重視 地図の読図や作図は，地理的事象の理解だけでなく，地理的な見方や考え方をはぐくむ上で必要不可欠な能力である。	B	A
	⑤ 課題の設定，整理・分析，振り返りを展開するための構成上の工夫	○課題を追究するための資料の構成	A 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が複数掲載されている。 B 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が掲載されている。 C 中国・四国地方の地理的事象の特色を見いだす資料が掲載されていない。	【解説】 地域的特色を追究するための適切な課題を設定し， <u>様々な資料を適切に活用して地域的特色を考察し，追究した過程や結果を適切に表現するといった学習活動を，生徒に実際に取り組ませるようにすることが大切である。</u>	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列	○基礎資料図の記載	A 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料がめあてとともに掲載されている。 B 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料が掲載されている。 C 「世界各地の衣食住」，「宗教」に関する資料と「日本の自然環境」，「人口」，「資源・エネルギーと産業」，「地域間の結び付き」に関する資料が掲載されていない。	【解説】 この中項目（世界各地の人々の生活と環境）は，世界各地の人々の生活の様子を， <u>衣食住や宗教とのかかわり</u> を中心に，自然及び社会的条件と関連付けて考察させ，世界の人々の生活や環境の多様性を理解させることを主なねらいとしている。 この中項目（世界と比べた日本の地域的特色）は「(ア) 自然環境」「(イ) 人口」「(ウ) 資源・エネルギーと産業」「(エ) 地域間の結び付き」の四つの小項目から構成されている。	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	○資料の種類	A 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料が全て掲載されている。 B 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料のいずれかが掲載されている。 C 「アジア州の学習」において，人口，産業発展，民族，宗教に関する資料が掲載されていない。	【解説】 (ア) アジア：＜主題例＞人口急増と多様な民族・文化“なぜアジアでは人口が急増し，民族，文化が多様なのか”という問いを立て，アジアにおける <u>人口急増地域の分布，産業発展と人々の生活のかかわり，民族や宗教分布，宗教と生活とのかかわり</u> ，宗教の伝播や人口の地域間移動の推移などを追究すると，アジアの人口問題の出現や多様な民族構成，文化形成の背景が分かり，アジアの地域的特色の理解につながる。	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					東書	帝国
《観点5》 言語活動の 充実	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫	○地図を活用した調べ方の事例	A 地図を活用した調べ方とその手順が資料とともに記載され、索引の使い方が示されている。 B 地図を活用した調べ方とその手順が記載されている。 C 地図を活用した調べ方とその手順が記載されていない。	【解説】 「主な国々の名称と位置」については、(中略)国名を単に覚えるだけの学習にならないよう、索引を使って国の位置を探するなど地図帳を活用した学習活動を行ったり、人物名、山、川などの地形名などに由来する国名に着目させたりするなど、生徒の関心を引き出す指導を工夫することが考えられる	A	A
	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○地図を活用した表現の記載の仕方	A 資料の読み取りを促す問いが大項目ごとに示されている。 B 資料の読み取りを促す問いが示されている。 C 資料の読み取りを促す問いが示されていない。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑩知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○自ら考察することを促す問い	A 中項目ごとに、資料を関連付けて考察することを促す問いが示されている。 B 資料を関連付けて考察することを促す問いが示されている。 C 資料を関連付けて考察することを促す問いが示されていない。	【目標】 (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	B	A
	⑪社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○日本及び世界の生活・文化に関する資料	A 世界各地の人々の生活と環境において、日本の生活・文化に関する資料と地図が複数掲載されている。 B 世界各地の人々の生活と環境において、日本の生活・文化に関する資料と地図が掲載されている。 C 世界各地の人々の生活と環境において、日本の生活・文化に関する資料や地図が掲載されていない。	【解説】 「我が国の国土(の地域的特色)」については、視野の狭い学習により単に地理的知識を詰め込むのではなく、世界的視野から多面的・多角的に追究する学習を通してとらえさせる必要がある。	A	B

種目【 数学 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標を達成するための工夫	○学習課題と解決の過程	A Bの基準を満たし、さらに、説明や話し合いを促す問があり、理解の定着が深められる。 B 単元の導入の問題で、学習課題の設定から解決までの道筋が明確になっている。 C Bの基準に達していないもの。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	A	A	A	B	B
	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りに関する扱い	A Bの基準を満たし、さらに、誤答例を示し正しく直す活動を促す記述がある。 B 既習事項を振り返ったり、学び直したりできるような記述がある。 C Bの基準に達していないもの。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 生徒の学習を確実なものとするために、新たな内容を指導する際には、すでに指導した関連する内容を意図的に再度取り上げ、学び直しの機会を設定することに配慮するものとする。	A	A	A	A	A	A	B
	③事象を数理的に考察するための工夫	○日常生活や社会における事象を考察させている具体例とその展開	A Bの基準を満たし、さらに、単元の中に複数のグラフを関連させて考え、説明させるような展開が示されている。 B 一次関数を利用・活用する場面で日常的な事象が示されている。 C Bの基準に達していないもの。	【解説】 「事象を数理的に考察し表現する能力を高める」について「日常生活や社会において事象を数理的に考察する例として、実験や実測を通して得た具体的な資料を基にして予測することがある。例えば、水を熱し始めてからある温度になるまでの時間を知りたいとき、時間と水温の関係を調べてその結果をグラフに表し、おおむね直線状に並んでいることから一次関数とみなして予測することができる。」	B	A	A	B	A	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常生活とのかかわりを取り扱われている具体例	A Bの基準を満たし、さらに、その題材が日常生活から職業等の社会生活につながるような記述がある。 B 日常生活との関わりを取り扱っている題材がある。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 イ 日常生活で数学を利用する活動	A	A	A	A	A	A	A
	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫	○問題の具体例	A Bの基準を満たし、単元の内容を利用・活用する問題で説明させたり、話し合ったりする活動を促す記述がある。 B 計算の仕方について問題解決的な学習の場面が設定されている。 C Bの基準に達していないもの。	【解説】 新たな知識の獲得やより深い数学的認識は、自らの活動による数学的な経験に応じて得られるものであることから、主体的に問題解決的な学習に取り組むことができるような数学的活動を充実させることが必要である。	A	B	A	B	A	B	A
	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫	○見いだす活動を行わせるための具体例とその展開	A Bの基準を満たし、さらに、関連した問題（発展した内容等）を複数設定している。 B 具体例を通して規則性を見いだすような展開が示されている。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 ア 既習の数学を基にして、数や図形の性質などを見いだし、発展させる活動	A	A	A	A	A	A	A
	⑦自学自習を行うための記述の工夫	○ヒントやポイントを示した吹き出し等の記載例	A Bの基準を満たし、さらに、その数が全者の平均以上ある。 B 各学年で生徒が自ら学びを進められるようなヒントやポイントを示した吹き出し等がある。 C Bの基準に達していないもの。		B	B	A	A	B	A	B
《観点3》 内容の構成 ・配列・分量	⑧単元や資料等の配列	○各単元の章末問題、巻末問題、巻末資料の具体例	A Bの基準を満たし、巻末資料に生徒が使用できる具体物がついている。 B 各学年において、各単元の章末問題、巻末問題が習熟に応じて学習できるような提示となっている。 C Bの基準に達していないもの。		A	A	A	A	B	B	B
	⑨発展的な学習に関する内容の記述	○該当学年で学習する範囲を超えた内容の具体例	A Bの基準を満たし、さらに次学年の内容等の系統を意識した問題を明記している。 B 該当学年の学習内容を超えた発展的な問題が各学年にある。 C Bの基準に達していないもの。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 第2の各学年の目標の達成に支障のない範囲内で、当該学年の内容を軽く取り扱い、それを後の学年で指導することができる。また、学年の目標を逸脱しない範囲内で、後の学年の内容の一部を加えて指導することができる。	B	A	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価						
					東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
《観点4》 内容の表現・表記	⑩イラスト・写真の活用	○イラスト・写真の具体例	A Bの基準を満たし、さらにイラスト・写真の合計数が全者の平均以上ある。 B 生徒の理解を助けるためにイラスト・写真が掲載されている。 C Bの基準に達していないもの。		A	B	A	A	B	B	B
《観点5》 言語活動の充実	⑪数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	○説明したり、話し合ったりする問題や問等の具体例	A Bの基準を満たし、作図可能な理由、確率に基づく判断理由、関数関係の判断理由を説明させる問題がある。 B 説明をさせたり、話し合わせたりする問題が各学年1つはある。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 ウ 数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動	B	B	A	A	A	B	A
	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	○ノートのかき方の取扱い	A Bの基準を満たし、さらに単元の中にも記述がある。 B 各学年の巻頭にノートのかき方の記述がある。 C Bの基準に達していないもの。		A	B	A	B	B	A	B
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解	A Bの基準を満たし、さらに新たな図形の性質などを見いださせたり、条件を変えた場合を考えさせたりするという2つの記述がある。 B 証明の構想や方針等の手順の記述がある。 C Bの基準に達していないもの。	【第2学年 目標(2)】 基本的な平面図形の性質について、 <u>観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。</u>	A	B	A	A	A	B	A
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○数学的な表現を用いて説明し伝え合う問題例、記載数	A Bの基準を満たし、さらに各単元の中にも記述がある。 B 数学的な表現を用いて説明し伝え合い、事柄の本質を明らかにすることを促すような記述が、各学年に1つはある。 C Bの基準に達していないもの。	【内容】 〔数学的活動〕(1) 「A数と式」、「B図形」、「C関数」及び「D資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において、次のような学習活動に取り組む機会を設けるものとする。 ウ 数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動	B	B	A	A	A	B	A

種目【 理科 】評価表（広島観智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	大日本	学図	教出	啓林館
《観点1》 基礎・基本 の定着	①単元の目標の示し方	○単元や章の導入における取扱い内容	A Bの基準を満たし、単元の導入で示されているねらいにつながるような課題や問いかけが全ての章の導入で行われている。 B 単元の導入において、「これから学ぶこと」、「ねらい」が具体的に示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	B	B	B	B
	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	○既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例	A Bの基準を満たし、既習事項の数が5者の平均以上示されている。 B 単元末に基本的な概念や用語が記載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 (6) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。	A	A	A	B	B
	③観察、実験の技能を習得させるための工夫	○観察、実験の基本操作及び観察、実験における安全確保の状況	A Bの基準を満たし、実験器具の基本操作が5者の平均以上示されている。 B 観察、実験の基本操作の説明及び危険防止のための留意事項が記載されており、各実験との関連性が図られている。また、レポート（ノート）の記述のしかた、グラフのかき方の説明がされている。 C 基本操作の説明や危険防止のための留意事項が記載されているが、実験との関連性が図られていない。または、レポート（ノート）、グラフのかき方についての説明がない。	【解説】 物質の性質及び物質の状態変化の様子についての観察、実験を行い、結果を分析して解釈し、物質の性質や溶解、状態変化について理解させるとともに、物質を調べるための実験器具の操作や、実験結果の記録の仕方やレポートの書き方などの技能を習得させること及び物質をその性質に基づいて分類したり分離したりする能力を育てることが主なねらいである。	B	A	A	B	A
	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	○環境保全に関する取扱い方	A Bの基準を満たし、持続可能な社会の構築のために生徒が日常生活の中で実践できる取組を複数紹介されている。 B 薬品廃棄処理、中和を利用した環境保全について意識的に記載されている。かつ、自然界のつり合いに人間の活動が影響を与えている事例を複数挙げられている。 C 廃液処理、中和を利用した環境保全について意識的には記載されていない。または、自然界のつり合いに人間の活動が影響を与えている事例が複数挙げられていない。	【解説】 人間の活動などが自然界のつり合いに影響を与えていることを理解させるとともに、自然環境を保全することの重要性を認識させることが主なねらいである。 【解説】 廃棄物の処理は生徒に環境への影響や環境保全の大切さを考えさせるよい機会となる。特に、薬品を廃棄する場合、例えば、酸やアルカリの廃液は中和してから多量の水で薄めながら流すなど適切な処理をする必要がある。一方、重金属イオンを含む廃液は放流することを禁じられているのでそのまま廃棄することはせず容器に集めるなど、適切な方法で回収保管し、最終処分は廃棄物処理業者に委託する。	A	A	B	A	C
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等	A Bの基準を満たし、学習内容と職業との関連付けを図った読み物等が記載されている。 B 学習内容と日常生活や社会との関連付けを図った読み物等が全ての単元で記載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていることに触れること。また、理科で学習することが様々な職業などと関係していることにも触れること。	A	A	A	B	A
	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験、ものづくりの取扱い	○ものづくりの内容、数及び補充的な観察・実験の数	A Bの基準を満たし、全ての単元にもものづくり（単なる調べものは除く）が位置付けられている。 B 全ての章に補充的な観察・実験が位置付けられている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (3) 原理や法則の理解を深めるためのものづくりを、各内容の特質に応じて適宜行うようにすること。	A	A	A	A	A
	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	○科学的に探究する活動の過程の示し方	A B基準の科学的に探究する活動の過程が全ての学年で示されている。 B 科学的に探究する活動の過程がまとめて示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 観察、実験、野外観察を重視するとともに、地域の環境や学校の実態を生かし、自然の事物・現象を科学的に探究する能力の基礎と態度の育成及び基本的な概念の形成が段階的に無理なく行えるようにすること。	A	A	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価				
					東書	大日本	学図	教出	啓林館
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧単元の配列の工夫	○単元の配列	A 1年の粒子分野において、単元配列が「気体」→「水溶液」→「状態変化」となっている。かつ、2年生のエネルギー分野において、単元配列が「電流の正体」→「電流と電圧」→「電流と磁界」となっている。 B 1年の粒子分野において、単元配列が「気体」→「水溶液」→「状態変化」となっている。または、2年生のエネルギー分野において、単元配列が「電流の正体」→「電流と電圧」→「電流と磁界」となっている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 事項の順序は、特に示す場合を除き、指導の順序を示すものではないので、学校においては、その取扱いについて適切な工夫を加えるものとする。 【総則解説】 学校においては、創意工夫を加え、地域や学校の実態及び生徒の発達の段階や特性を考慮し、系統的、発展的な指導が進められるよう指導内容を具体的に組織、配列することが必要である。	A	C	C	A	B
	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫	○「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い	A B基準の調べ学習のテーマ例の中に学習指導要領解説に記載されている内容が全て入っている。 B 環境問題について、調べ学習のテーマ例が紹介されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 科学技術の利用と環境保全に関わる事柄をテーマとして取り上げ、生徒に選択させるようにする。テーマとして、次のような例が考えられる。 ・新エネルギーの利用と環境への影響 ・原子力の利用とその課題 ・バイオ燃料の利用とその課題 ・環境保全と資源の利用	B	B	B	B	A
	⑩補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	○補充的な問題及び発展的な学習の取扱い	A Bの基準を満たし、各章にも補充的な問題が設定されている。かつ、全ての単元に発展的な学習の内容が複数紹介されている。 B 全ての単元に補充的な問題が設定され、かつ、全ての単元に発展的な学習の内容が紹介されている。 C 全ての単元に補充的な問題が設定されていない。または、発展的な学習の内容が単元に位置づいていない。	【総則解説】 指導方法については、生徒の発達の段階や学習の実態などに配慮しながら、(中略)生徒の興味・関心や理解の状況に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導などを柔軟かつ多様に導入することが重要である。	A	A	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い	○単元の導入部分における写真や資料等の取扱い方及び巻頭・巻末の資料の内容	A Bの基準を満たし、巻頭・巻末資料において、広島県に関わる資料が紹介されている。 B 全ての学年の各単元の導入にその単元に関係する図や写真が掲載されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則解説】 教科では、基礎的・基本的な知識・技能を習得しつつ、観察・実験をし、その結果をもとにレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述する	B	B	B	A	A
《観点5》 言語活動 の充実	⑫観察、実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫	○分析・解釈する視点の与え方とその具体例	A Bの基準を満たし、グラフの分析の視点を具体的に示されている。 B 考察を行う際に結果のどの部分をどのように分析・解釈すればよいのか、視点が示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 観察、実験などを行うに当たっては、表やグラフの作成、モデルの活用、コンピュータなどの活用、レポートの作成や発表などを通して、 <u>思考力や表現力などを養うことが重要である。</u>	A	A	A	A	A
	⑬科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫	○レポート作成の示し方、話し合いや説明の活動を促す工夫	A Bの基準を満たし、レポートの書き方が全学年で示されている。 B レポートの例、話し合いや説明の場面が全学年で示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 課題解決のために探究する学習活動には、(中略)科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動などが考えられる。(中略)例えばレポートの作成、発表、討論など知識及び技能を活用する学習活動を工夫し充実を図る必要がある。	A	C	C	B	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工夫	⑭知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○既習事項や他教科での学習内容を結び付けて考えさせる工夫	A Bの基準を満たし、これまでの学習内容を結び付けること意識した記述の数が5者の平均以上である。 B 全ての単元にこれまでの学習内容を結び付けることを意識した記述が見られる。 C Bの基準を満たしていない。	【目標】 各分野間及び各項目間の関連を図るとともに、小学校や高等学校の学習指導要領との関連にも留意し内容の理解や科学的な概念の形成及び自然の事物・現象を科学的に探究する能力の基礎や態度が育成されるようにする。	A	A	B	B	B
	⑮社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○生徒同士で意見を検討・改善させる工夫	A B基準の場面が全ての単元で複数設定されている。 B 意図的に意見を話し合っ考えさせる場面が全ての単元に設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 観察、実験を計画する場面で、 <u>考えを発表する機会を与えたり、検証方法を議論したりしながら考えを深め合うなどの学習活動が考えられる。</u>	A	B	A	C	C

種目【 音楽：音楽一般 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	A 題材の学習目標が明確に示されている。 B 題材の学習目標が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A
		○〔共通事項〕について記載	A 各学年の題材において、扱う〔共通事項〕が示されている。 B 題材において、扱う〔共通事項〕が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の要点】 キ この〔共通事項〕は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、 <u>表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫することとした。</u> 【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、 <u>表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫すること。</u>	B	A
	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	○歌唱の技能のうち、発声のポイントや身体の使い方等についての記載	A 発声のポイント等を扱ったページが、各学年に掲載されている。 B 発声のポイント等を扱ったページが掲載されている。 C 発声のポイント等を扱ったページが掲載されていない。	【目標】 〔第1学年〕 1 目標 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、 <u>基礎的な表現の技能を身に付け、</u> 創意工夫して表現する能力を育てる。 【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) イ <u>変声期について気付かせるとともに、変声期の生徒に対しては心理的な面についても配慮し、適切な声域と音量によって歌わせるようにすること。</u> (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、 <u>言葉と音楽との関係、姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	B	A
		○歌唱の技能のうち、我が国の伝統的な歌唱に関する記載	A 伝統的な歌唱が複数学年において掲載されており、発声のポイントが示されている。 B 伝統的な歌唱が掲載されており、発声のポイントが示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) イ <u>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) イ <u>曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。</u>	B	A
		○歌唱共通教材の構成と扱う学年	A 全ての楽曲において、学習のポイントと楽曲の背景が示されている。 B 学習のポイントと楽曲の背景が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (1) ア 各学年の「A表現」の(4)のイの(ア)の歌唱教材については、以下の <u>共通教材の中から各学年に1曲以上を含めること。</u> 【内容】 〔第1学年〕及び〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (4) イ(ア) 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、 <u>我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。</u>	A	B
③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	○創作の題材の取り上げ方と題材構成の扱い	A 「旋律づくり」及び「構成の工夫」の視点を関連付けた創作の活動が掲載されている。 B 「旋律づくり」及び「構成の工夫」を視点とした創作の活動が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (3) ア <u>言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (3) ア <u>言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。</u> イ <u>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。</u>	A	B	

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	④様々な音楽文化についての理解を深める工夫	○我が国の音楽文化の取り上げ方	A 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材が、各学年においてそれぞれ掲載されているとともに、巻末の資料との関連付けがされている。 B 伝統的な歌唱及び我が国や郷土の伝統音楽等を扱った題材が、各学年においてそれぞれ掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の趣旨】 (ii) 改善の具体的事項 (エ) 我が国の伝統文化に関する学習を充実する観点から、和楽器については、簡単な曲の表現を通して、伝統音楽のよさを一層味わうことができるようにするとともに、我が国の伝統的な歌唱の指導も重視するようにする。 【音楽科改訂の要点】 (1) 目標の改善 「音楽文化についての理解を深め」ることを教科目標の中に規定した。 音楽科では、例えば、曲種に応じた発声や和楽器で表現すること、音楽をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞することなど、生徒が音楽文化について理解を深めていくことにつながる学習が行われる。	B	A
		○諸外国の音楽文化の取り上げ方	A 諸外国の音楽文化を扱った題材が、各学年において掲載されており、さらに我が国の音楽文化との関連について記載されている。 B 諸外国の音楽文化を扱った題材が、各学年において掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。		A	B
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	⑤興味・関心を高めるための工夫	○巻末の合唱曲の扱い	A 巻末において、学習のポイントを示した合唱曲が複数掲載されている。 B 巻末において、合唱曲が複数掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【音楽科改訂の趣旨】 (ii) 改善の具体的事項 (オ) 合唱や合奏など全員で一つの音楽をつくっていく体験を通して、表現したいイメージを伝え合ったり、協同する喜びを感じたりする指導を重視する。 【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1) ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	A	A
		○巻頭と巻末の資料の内容	A 全ての巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られている。 B 巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られている。 C 巻頭・巻末の資料について、本文との関連が図られていない。		A	A
	⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫	○思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例	A 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が複数掲載されている。 B 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が掲載されている。 C 生徒が思考・判断する場面を設定し、思考・判断した結果を表現する工夫がされている題材が掲載されていない。	【解説】 音を音楽のよさや美しさなどの質的な世界を感じ取りながら思考・判断し表現する一連の過程を大切に <u>した指導</u> が必要となる。	A	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦教材の分量及び配列	○教材の配列とその具体例、目次に示された領域ごとの教材	A 各学年において、領域同士を関連させて、教材が配列されている。 B 領域同士を関連させて、教材が配列されている。 C Bの基準が満たされていない。		A	A
		○発展的な学習に関する内容の記述とその具体例	A 学習指導要領の内容との関連を図った発展的な内容について記載されている。 B 発展的な内容について記載されている。 C 発展的な内容が記載されていない。	【総則】 (7) 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。	B	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容	A 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが、すべての領域において記載されている。 B 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが記載されている。 C 思考のヒントや学習のポイントが示されたキャラクターの吹き出しが記載されていない。		A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点5》 言語活動の 充実	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫	○鑑賞の視点の提示の仕方とその具体例	A 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材が複数掲載されている。 B 音楽から聴き取ったことを記述し、友達と交流する場が設定されている鑑賞の題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1)ア <u>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1)ア <u>音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。</u>	A	A
	《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○表現と鑑賞の関連を図った学習活動	A 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数掲載されている。 B 各学年において、表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされている。	【指導計画作成上の配慮事項】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なものであり、表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫する。 【解説】 〔共通事項〕をよりどころとして、表現と鑑賞の相互関連を図った題材の指導計画を作成したり、歌唱、器楽、創作の相互関連を図った題材の指導計画を作成したりすることも重要である。	A
⑫社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫		○歌唱における合唱の扱い ○鑑賞における諸外国の音楽文化の扱い	A 各学年の合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。 B 合唱の題材において、声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫して歌うための課題の設定と具体的な活動について記載されている。 C Bの基準が満たされていない。 A 各学年において諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されている。 B 諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されている。 C 諸外国の音楽文化と我が国の音楽文化との関わりについての記述や資料が掲載されていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」 (1)ウ <u>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて、歌うこと。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」 (1)ウ <u>声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて、歌うこと。</u> 【内容】 〔第1学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1)ウ <u>我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「B鑑賞」 (1)イ <u>我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。</u>	B	A
					A	A

種目【 音楽：器楽合奏 】評価表（広島観智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○題材の目標の記載の仕方	A 題材の学習目標が明確に示されている。 B 題材の学習目標が示されている。 C Bの基準が満たされていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	A
	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	○和楽器の取扱い方	A 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等が写真等を用い、演奏のポイントを押さえて説明されている。 B 各和楽器の特徴について、楽器の構造、姿勢と構え方、奏法等が写真等を用いて説明されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ 楽器の特徴をとらえ、 <u>基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ 楽器の特徴を理解し、 <u>基礎的な奏法を生かして演奏すること。</u>	A	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	③興味・関心を高めるための工夫	○合奏のための教材	A 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が複数掲載されている。 B 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されている。 C 合奏の教材において、協働的な学習を促す活動が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (7) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア <u>生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにするなどコミュニケーションを図る指導を工夫すること。</u>	B	A
		○巻頭・巻末の内容	A 演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等が掲載されるとともに、巻頭にある内容と異なった多様な種類の内容が巻末に取り上げられている。 B 演奏家の写真や言葉、演奏会等に関わる内容及び楽器に関する資料等が掲載されるとともに、巻頭にある内容が重複して巻末にも取り上げられている。 C Bの基準が満たされていない。		B	A
	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	○和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の具体例	A 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説が記載されるとともに、複数の練習曲及び関連する鑑賞教材が掲載されている。 B 楽器の構造、演奏の際の身体の使い方、奏法の解説が記載されるとともに、複数の練習曲が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、 <u>和楽器の指導については、3年間を通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことができるよう工夫すること。</u> (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	B	A
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑤教材の分量及び配列	○教材の配列	A クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽やそれらの合奏曲が教材として掲載されている。 B クラシック音楽、日本歌曲、世界及び日本の民謡、ポピュラー音楽等、複数の種類の音楽が教材として掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【解説】 「我が国及び諸外国の様々な音楽」は、 <u>我が国及び諸外国の芸術音楽、民族音楽、ポピュラー音楽など幅広くとらえることが大切である。</u> <u>小アンサンブルなどによる様々な編成を工夫して、生徒が表現したい方法を形態を選択して取り組むなど、生徒一人一人が個性を発揮し、主体的に活動することができるよう工夫することが大切である。</u>	A	B
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	○写真の内容	A 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を様々な角度から撮影した複数の写真が掲載されているとともに、演奏家が演奏している写真が、巻頭・巻末に掲載されている。 B 楽器の構造、演奏の際の姿勢と構え方、基本的な奏法を様々な角度から撮影した複数の写真が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (3) 我が国の伝統的な歌唱や和楽器の指導については、言葉と音楽との関係、 <u>姿勢や身体の使い方についても配慮すること。</u>	A	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価	
					教出	教芸
		○イラスト等の活用	A 楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しが全ての楽器のページに掲載されている。 B 楽器の構造や奏法等について説明したイラスト及び学習のヒントを記載したキャラクターの吹き出しが掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ <u>楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 イ <u>楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。</u>	B	B
《観点5》 言語活動 の充実	⑦思いや意図を相互 に伝え合う活動の 工夫	○表現の工夫を伝え合う活 動につながる記述と具体 例	A 表現の工夫を伝え合う活動が複数掲載されている。 B 表現の工夫を伝え合う活動が掲載されている。 C 表現の工夫を伝え合う活動が掲載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (7) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。 ア <u>生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり、他者の意図に共感したりできるようにする などコミュニケーションを図る指導を工夫すること。</u>	B	A
《観点6》 学校の特色 を生かす工 夫	⑧知識・技能の深い理 解を促し、創造的・ 批判的思考力を育 成するための工夫	○器楽と鑑賞の関連につい て	A 表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が複数掲載されている。 B 表現と鑑賞の学習の関連を図った題材が掲載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画作成上の配慮事項】 1 (1) 第2の各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共 通に必要なものであり、表現及び鑑賞の各活動において十分な指導が行われるよう工夫す る。 【解説】 〔共通事項〕をよりどころとして、表現と鑑賞の相互関連を図った題材の指導計画を作成した り、歌唱、器楽、創作の相互関連を図った題材の指導計画を作成したりすることも重要である 。	A	A
	⑨社会の持続的な平 和と発展に向け、異 なる文化・価値観を 尊重しながら協働 する力を育成する ための工夫	○和楽器を含めた多様な楽 器の奏法等について	A 和楽器を含めた多様な楽器の奏法や歴史的背景が複数記載されている。 B 和楽器について、楽器の奏法や歴史的背景が記載されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 2 (2) 器楽の指導については、指導上の必要に応じて <u>和楽器</u> 、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽 器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。なお、和楽器の指導については、 <u>3年間を 通じて1種類以上の楽器の表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わうことが できるよう工夫すること。</u>	A	A
		○合奏表現を工夫するた めの表記	A 合奏をするための工夫の視点を具体的に示している。 B 合奏をするための工夫の視点を示している。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 〔第1学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 ウ <u>声部の役割と全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。</u> 〔第2学年及び第3学年〕 2 内容「A表現」(2) 器楽 ウ <u>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏する こと。</u>	B	A

種目【 美術 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					開隆堂	光村	日文
《観点1》 基礎・基本 の定着	①題材の目標の示し方	○評価の4観点を踏まえた題材の目標の示し方及び課題意識の持たせ方	A 題材の目標（振り返り）が観点別に示された上で、課題意識をもたせる問いが示されている。 B 題材の目標（振り返り）が観点別に示されている。 C 題材の目標（振り返り）が観点別に示されていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	B	A	B
	②作品の理解を深めるための工夫	○制作手順の掲載(図・写真)	A 絵、彫刻、デザイン、工芸の4領域全ての領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されている。 B 絵、彫刻、デザイン、工芸の複数の領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されている。 C 絵、彫刻、デザイン、工芸の複数の領域の題材において、制作手順が段階を追って掲載されていない。	【内容】 第2学年及び第3学年 A表現（3） イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。 【解説】 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考え」とは、材料や用具、表現方法を効果的に活用するために、その特性などから制作の順序や見通しを考慮することである。	A	A	A
	③日本の美術文化に関する内容	○日本の伝統的な表現や技法による作品の掲載の仕方	A 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載され、比較できるような問いが記載されている。 B 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載されている。 C 日本の伝統的な表現を理解させるための作品として、複数の表現形式の作品が掲載されていない。	【内容】 第2学年及び第3学年 B鑑賞（1） ウ 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○表現への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	A 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文（～しよう。）とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されている題材の数が複数ある。 B 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文（～しよう。）とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されている。 C 主体的に表現ができるように、見通しや試行錯誤を促す文（～しよう。）とその場面を示す生徒の姿の写真が掲載されていない。	【解説】 「A表現」は、主体的に描いたりつくったりする表現の幅広い活動を通して、発想や構想の能力と、創造的な技能を育成する領域である。 生徒の創造的な技能の伸長を図るには、表現活動の中で、生徒が自分のもっている力を発揮しながら表現方法を選択したり、試行錯誤しながら創意工夫したりする場面を意図的に位置付け、発想や構想の能力と、それを表現する技能とを関連付けながら指導することが重要である。	A	A	A
		○鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例の示し方	A 原寸大で示すなど作品に興味をもたせるための鑑賞作品の提示の仕方が工夫されているとともに、比較できる作品等が同一題材に複数掲載されている。 B 原寸大で示すなど作品に興味をもたせるための鑑賞作品の提示の仕方が工夫されている。 C 作品に興味をもたせるような鑑賞作品の提示の仕方が工夫されていない。	【解説】 「B鑑賞」では、主体的な鑑賞の能力を高めることをねらいとしており、授業では漠然と鑑賞をするのではなく、教師が造形的な要素などの見る視点を与えることが大切である。 作品に対する生徒の興味・関心をより高めたり、いくつかの鑑賞の視点を設定したりしながら、できるだけ生徒自身の目や手、心や知で作品のよさや美しさを発見し鑑賞を深めていけるような配慮が必要である。	A	A	A
	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	○生活や社会における美術の働きを実感するための具体例の示し方	A 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示され、生活に生かすことを前提に自ら調べることを促す問いが設定されている。 B 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示されている。 C 生活や社会における美術の働きを示す具体例が示されていない。	【解説】 鑑賞の対象を美術作品に限定せず、日用品を含む工芸品、動植物、風景、四季や自然現象など、自然や環境、生活に見られる造形をも対象に含めて幅広く考えることを示している。特に、自然や身の回りの造形に目を向けることは、生活の中の造形や美術の働きを感じ取る上でも重要である。	B	A	B
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑥題材や資料等の配列	○題材の構成と分量	A 「A表現」（1）（2）に関する題材と「B鑑賞」（1）のみに関する題材の割合が1：1程度であり、題材の構成のバランスが極めて取れている。 B 「A表現」（1）（2）に関する題材と「B鑑賞」（1）のみに関する題材の割合の差が2割程度であり、題材の構成のバランスがおおむね取れている。 C Bの基準を満たしていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。 （1）第2の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互の関連を図るようにすること。	B	B	B
	⑦掲載している作品等の数	○〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品等の数	A 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が、「A表現」、「B鑑賞」いずれの内容においても掲載されている。 B 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品が掲載されている。 C 〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉が記載されている作品が掲載されていない。	【解説】 一人の作者の表現を形や色彩、技法などと主題の関係について根拠をもって理解し、その上で個性的な生き方や作者の残した言葉などから内面まで推し量り、鑑賞を深めることは意義深い。	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					開隆堂	光村	日文
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑧折り込みページの 活用及び大型図版 の掲載	○見開き又は折り込みペー ジの大型図版の示し方	A 見開き又は折り込みページの大型図版ならではの特性を生かした作品提 示が工夫されている。 B 見開き又は折り込みページの大型図版が提示されている。 C 見開き又は折り込みページの大型図版が提示されていない。	【解説】 鑑賞作品については、 <u>実物と直接向かい合い</u> 、作品のもつよさや美しさを実感 をもってとらえさせることが理想であるが、 <u>それができない場合は、大きさや 材質感など実物に近い複製</u> 、 <u>作品の特徴がよく表されている印刷物</u> 、ビデオ、 コンピュータなどを使い、効果的に鑑賞指導を進めることが必要である。	A	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑨言語を用いた発 想・構想の工夫	○発想・構想段階における話 合いや発表の事例	A 発想・構想のための話合いの視点が複数提示され、写真や図とともに段 階を追って解説されている。 B 発想・構想のための話合いの視点が複数提示されている。 C 発想・構想のための話合いの視点が提示されていない。	【解説】 形や色彩、材料などを、単に自己の感覚のままに用いるのではなく、 <u>他者に 対しても共感が得られるように</u> 、 <u>造形やその効果に対する客観的な見方やと らえ方の指導が必要になる。</u>	A	A	A
	⑩鑑賞の仕方の工夫	○言語活動を促す鑑賞の方 法の示し方及び具体例	A 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法について、〔共通事項〕を踏ま えて提示され、写真や図とともに解説されている。 B 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法が提示されている。 C 鑑賞を深めるための話合いやまとめる方法が提示されていない。	【解説】 「B鑑賞」では、 <u>作品などに対する思いや考えを話し合い</u> 、 <u>対象の見方や感 じ方を広げる場面で</u> 、 <u>漠然と作品を鑑賞するのではなく</u> 、〔共通事項〕の視点 から鑑賞することで、 <u>作品を構成している造形の要素や形や色彩などから生 じる感情や</u> 、 <u>特徴からとらえたイメージなどを基に話したり他の生徒の意見 を聞いたりするなどの学習活動が考えられる。</u>	A	A	A
《観点6》 学校の特徴 を生かす工 夫	⑪知識・技能の深い理 解を促し、創造的・ 批判的思考力を育 成するための工夫	○デザインにおける発想や 構想の場面の学習の示し 方	A 他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、 深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等が全て複数掲載されて いる。 B 他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、 深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等が掲載されている。 C 他者や社会を意識したデザインの学習において、発想や構想を広げたり、 深めたりするためのヒントや制作過程、表現形式等が掲載されていない。	【解説】 第2学年及び第3学年では、第1学年で学んだ目的や機能に応じた形や色彩、 材料などの生かし方を更に発展させ、 <u>社会性や客観性を一層意識し</u> 、 <u>目的や 条件、機能などを広い視野で総合的にとらえ</u> 、 <u>発想や構想をすることをねら いとしている</u> 。指導に当たっては、 <u>形や色彩、材料などを客観的な視点をも って効果的に活用できるようにするとともに</u> 、 <u>学習の対象も身の回りの出来 事や身近な相手だけではなく</u> 、 <u>社会や多くの他者に広げて</u> 、 <u>発想や構想をす ることが重要である。</u>	A	A	A
	⑫社会の持続的な平 和と発展に向け、異 なる文化・価値観を 尊重しながら協働 する力を育成する ための工夫	○美術を通じた国際理解を 深め、美術文化の継承と創 造への関心を高める工夫	A 日本の美術や伝統文化と諸外国の美術文化の相違と共通性に気付かせる ための作品や資料が複数掲載されており、比較できるように掲載されてい るものがある。 B 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせるための作品や資料が複 数掲載されている。 C 諸外国の美術や文化の相違と共通性に気付かせるための作品や資料が掲 載されていない。	【解説】 美術においては、 <u>古くからの美術作品や生活の中の様々な用具や造形などが 具体的な形として残されており</u> 、 <u>受け継がれてきたものを鑑賞することによ り</u> 、 <u>その国や時代に生きた人々の美意識や創造的な精神などを直接感じ取る ことができる</u> 。それらを踏まえて現代の美術や文化をとらえることにより、 <u>文化の継承と創造の重要性を理解するとともに</u> 、 <u>美術を通じた国際理解にも つながることになる。</u> 【内容】 第2学年及び第3学年 B鑑賞（1） ウ 日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑 賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるととも に、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気づき、それぞれのよさや美し さなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への 関心を高めること。	A	A	A

種目【 保健体育 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	大日本	大修館	学研
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○単元の目標の提示、指導内容の体系化が図られた記載内容	A 単元の目標が示され、学校段階の接続に応じて指導内容を整理し、体系化が図られている記載がある。 B 単元の目標が示されている。 C 単元の目標が示されていない。	【解説】 発達の段階のまとまりを考慮し、小学校、中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ること。	A	B	B	A
	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	○健康・安全に関する科学的な理解を図るための資料等への補足説明の内容	A 資料等の補足資料に説明が付され、さらにポイントとなる箇所に吹き出しなどで説明を加えている。 B 資料等の補足資料に説明が付されている。 C 資料等の補足資料に説明がない。	【解説】 抽象的な思考なども可能になるという発達の段階を踏まえて、心身の健康の保持増進に関する基礎的・基本的な内容について科学的に思考し、理解できるようにする。	A	B	A	B
	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	○基本用語の取扱いと学習の振り返り	A 習得すべき基本用語の解説が具体的に示され、学習の振り返りができるよう問題等が記載されている。 B 習得すべき基本用語の解説が具体的に示されている。 C 習得すべき基本用語の解説が示されていない。	【解説】 心身の健康の保持増進にかかわる資質や能力を育成するため、基礎的・基本的な知識の暗記や再現にとどまらず、知識を活用する学習活動によって思考力・判断力などの資質や能力が育成されるよう、実習や実験などの指導方法の工夫を行うこと。	A	B	C	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○興味・関心を高める読み物の取扱い	A 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について、文章や図、表等と関連させた読み物が掲載されている。 B 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について記載されている。 C 生徒にとって身近な課題や社会の出来事について記載されていない。	【学びのイノベーション事業実証研究報告書】 画像や動画等、視覚的でわかりやすい教材を活用しながら説明することで、児童生徒の学習に対する興味関心を喚起し、意欲的に学習にとりくむことができた。	A	A	A	A
	⑤体験的な学習を実施するための工夫	○実習や調査を実施するための資料の取扱い数	A すべての大単元に、実習・調査のいずれかの事例が掲載され、事例数が4者中最も多い。 B すべての大単元に、実習・調査のいずれかの事例が掲載されている。 C 実習・調査のいずれかの事例が、大単元に掲載されていない場合がある。	【解説】 知識を活用する学習活動によって思考力・判断力などの資質や能力が育成されるよう、実習や実験などの指導方法の工夫を行うこと。 【内容の取扱い】 保健分野の指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。その指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレインストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること。	B	C	C	A
	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	○実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例	A すべての大単元で、図や表、挿絵等を用いた知識を活用するための課題等が示されている。 B すべての大単元で、知識を活用するための課題等が示されている。 C 大単元に、知識を活用するための課題等が示されていない場合がある。	【目標】 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 【解説】 現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるよう、自らの健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力などの資質や能力を育成することを目指している。	A	B	B	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦単元・題材や資料等の配列	○各単元における項目の系統的な構成及び1時間の授業の流れの例示	A 単元が系統的に示されており、1時間の授業の流れが示されている。 B 単元が系統的に示されている。 C 単元が系統的に示されていない。	【解説】 発達の段階のまとまりを考慮し、小学校、中学校及び高等学校を見通した指導内容の体系化を図ること。 【指導計画の作成】 保健体育科の目標を達成するためには、学習指導を計画的に、しかも効率よく展開する必要がある。	A	A	A	A
	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫	○発展的な学習の設定	A すべての大単元で、本編と関連させた発展的な内容が記載されている。 B 本編と関連させた発展的な内容が記載されている。 C 学習指導要領に示されておらず、本編と関連させた発展的な内容が記載されていない。	【総則】 学習指導要領に示す教科等の目標、内容等は中核的な事項にとどめており、大綱的なものとなっているので、学校や教師の創意工夫を加えた学習指導が十分展開できるようになっている。 【総則】 教育課程の編成に当たっては、法令や学習指導要領の内容について十分理解するとともに創意工夫を加え、学校の特色を生かした教育課程を編成することが大切である。	A	B	A	B

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価			
					東書	大日本	大修館	学研
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑨本文記述との適切な 関連付けがなされた イラスト・写真の活用	○課題提示の場面でのイラ スト・写真の示し方、マ ーク等の活用	A 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真、図表が掲載され ている。 B 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真が掲載されている。 C 課題提示の場面で、生徒の思考を促すイラストや写真が掲載されていない。	【学びのイノベーション事業実証研究報告書】 画像や動画等、視覚的でわかりやすい教材を活用しながら説明す ることで、児童生徒の学習に対する興味・関心を喚起し、意欲的 に学習に取り組むことができた。	A	B	A	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑩自分の考えをまと めて書いたり、話し たりする活動の工 夫	○知識や経験に照らして自 分の考えをまとめて書い たり、話したりする学習 方法の記載及び取扱い数	A ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動につ いての事例が複数記載されるとともに、言語活動を充実させる資料や学習 シートが掲載されている。 B ディスカッション等の学習方法を記載し、言語活動に係る学習活動につ いての事例が1単元に1つ程度記載されている。 C ディスカッション等の学習方法が記載されておらず、言語活動に係る学 習活動についての事例が1単元に1つ程度記載されていない。	【総則】 生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動を充実するととも に、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう 配慮しなければならない。	A	C	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑪知識・技能の深い理 解を促し、創造的・ 批判的思考力を育 成するための工夫	○生徒自身が意思決定を行 う学習内容の取扱い数	A 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進めるための 内容が4者の平均以上あり、多くの場面で実践力を育てるよう工夫されて いる。 B 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進めるための 内容がある。 C 知識や技能を活用して創造的・批判的思考力を促す学習を進めるための 内容がない。	【内容の取扱い】 指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレ インストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを 取り入れること、	A	B	B	A
	⑫社会の持続的な平 和の発展に向け、異 なる文化・価値観を 尊重しながら協働 する力を育成する ための工夫	○国際的なスポーツやスポ ーツにかかわる様々 な立場についての内容及び課 題解決を促すような資料 の種類と内容の掲載	A 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲 載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料が豊富 である。また、課題解決を促し、生徒自らの学びにつながるような発展的 な課題等が掲載されている。 B 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲 載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料がある。 また、課題解決を促し、生徒自らの学びにつながるような発展的な課題等 が掲載されている。 C 国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲 載されている。	【解説】 現代生活においてスポーツの文化的意義が高まってきているこ と、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割が重要にな ってきていること、文化としてのスポーツが人々を結び付ける重 要な役割を担っていることなどを中心として構成している。 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技 能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するた めに必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主 体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければ ならない。	A	B	B	B

種目【 技術・家庭（技術分野） 】評価表（広島叡智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における 目標の示し方	○目標の示し方	A 各内容や項目において「目標」を示し、かつ内容に関する写真やイラストが示されている。 B 各内容の項目において「目標」が示されている。 C 各内容や項目において「目標」が示されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い (3) 題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。	A	C	A
	②伝統と文化に関する 内容の記述	○伝統と文化に関する内容 の示し方及び具体例	A 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されており、かつ伝統と文化に関するマークで示されている。 B 伝統と文化に関する内容について、具体例を挙げ、写真や絵で示されている。 C 伝統と文化に関する内容について、具体例が挙げられていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第2節 技術分野 2 技術分野の内容 A (1) ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること。 伝統的な製品や建築物などに見られる緻密な加工や仕上げの技術など、和が国の生活や産業にかかわるものづくりの技術を取り上げ、これらが我が国の文化や伝統を支えてきたことについても気付かせるよう指導する。	A	B	B
	③学習のまとめの構成 上の工夫	○学習のまとめの示し方、 設定の仕方	A 各内容の章末に学習のまとめの活動を示し、かつ学習のまとめごと振り返りが示されている。 B 各内容の章末に学習のまとめの活動が示されている。 C 各内容の章末で学習のまとめの活動が示されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術」とは、生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識と技術であり、各分野の指導内容として示されている。「習得」とは、知識と技術の確実な定着を図ることを意味しており、生徒が次の課題を解決するための礎ともなるべきものである。	B	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高める ための工夫	○興味・関心を高める記載 の仕方とその具体例	A 学習項目ごとに、学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されている。 B 学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されている。 C 学習のはじめにできる簡単な活動として、「考えてみよう」、「調べてみよう」などが記載されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 各分野の内容の取扱い (2) 問題解決的な学習の充実 問題解決能力とは、課題を解決するに至るまでに段階的にかかわる能力をすべて含んだものであり、課題に対して様々な角度から考える思考力、その思考力を総合して解決を図る判断力、判断した結果を的確に創造的に示すことのできる表現力等があげられる。これらの能力の育成には、生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行うことが大切である。	A	B	A
	⑤実践的・体験的な 学習を実施する ための工夫	○実践的・体験的な学習の 実習事例及び事例数	A 実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において豊富に挙げられている。 B 実践的・体験的な学習の実習事例が、各内容において複数挙げられている。 C 実践的・体験的な学習の実習事例が挙げられていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 具体的な指導に当たっては、生徒自らが生活に関心をもち、実践的・体験的な学習活動を通して獲得した知識と技術が、生活の自立につながるように学習活動を組み立てることが重要である。	A	B	A
	⑥技術を適切に評価 し活用すること に関する内容の記述	○評価・活用に関する内容 構成及び考えさせるための 問いの例の記述や資料 の掲載	A エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例が挙げられている。また、学習内容に関して、参考となる内容や資料等が掲載されている。 B エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げており、かつ考えさせるための問いの例が挙げられている。 C エネルギー変換に関する技術において、持続可能な社会の構築に向けた内容が具体的に挙げられていない。	【解説】 第1章 総説 2 技術・家庭科改訂の趣旨 (i) 改善の基本方針 (イ) 持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。また情報通信ネットワークや製品の安全性に関するトラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。	A	A	A
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑦題材の配列	○学習内容の構成とページ 数及び指導事項との関連	A 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。また、内容の配列を学習の流れに沿わせ、調べやすくされている。 B 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。 C 学習内容が指導事項に対応しておらず、指導する内容や項目に適した分量で構成されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成 (2) 各分野の各項目に相当する授業時数及び履修学年 技術分野及び家庭分野の各項目に相当する授業時数と履修学年については、各分野の内容AからDの各項目に適切な授業時数を配当するとともに、3学年間を見通して履修学年や指導内容を適切に配列する。	A	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例	A 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されており、かつ複数の内容でマークが示されている。 B 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されている。 C 発展的な学習内容について、発展的な内容であることを示すマークが付して示されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術」とは、生徒が自立して主体的な生活を営むために必要とされる基礎的・基本的な知識と技術であり、各分野の指導内容として示されている。「習得」とは、知識と技術の確実な定着を図ることを意味しており、生徒が次の課題を解決するための礎ともなるべきものである。また、同時に、 <u>生徒の主体的な学習を支え、学習の深化や発展へとつながるものである。</u>	B	A	B
	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用	○学習内容と関連したマークの種類及び扱い方	A 他の内容との関連がマークで示されており、かつ小学校や他教科との関連についてもマークで示されている。 B 他の内容との関連がマークで示されている。 C 他の内容との関連がマークで示されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成 (3) 各項目及び項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、 <u>小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。</u>	A	B	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○表現・発表する学習活動の具体例	A 内容Dにおいて表現・発表する学習活動の具体例が示されており、かつ制作品の評価・修正について示されている。 B 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されている。 C 内容Dにおいて、表現・発表する学習活動の具体例が示されていない。	【解説】 D(2) ア メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計ができること。 この学習では、 <u>設計する際には、自分の考えを整理するとともに、よりよいアイデアが生み出せるよう、作品全体の構造や画面構成の図(アイデアスケッチ)、制作工程表などを適切に用いることについて指導する。</u>	A	B	A
	⑪言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の工夫	○構想したことをまとめたり、検討したりする具体例	A 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が複数示されている。 B 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が示されている。 C 内容Aにおいて、製作品の機能や構造を検討する図の例が示されていない。	【解説】 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 4 言語活動の充実 技術・家庭科の特性を踏まえ、生活における課題を解決するために、 <u>言葉だけでなく、設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。</u>	A	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑫知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例	A 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせ、生活における課題を解決するために、工夫したり創造したりする学習活動の具体例が示されている。 B 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例が示されている。 C 内容Aにおいて、生活における問題点や改善点に目を向けさせる学習活動の例が示されていない。	【解説】 第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第1節 技術・家庭科の目標 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、 <u>生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</u>	A	B	A
	⑬社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載及び学習内容と関連した扱い方	A 内容D以外でも、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されている。 B 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されている。 C 内容Dにおいて、「情報モラル」について、具体的な事例や参考資料が掲載されていない。	【解説】 D(1) ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、 <u>情報モラルについて考えること。</u> 情報通信ネットワークにおいて知的財産を保護する必要性を知ることができるようにする。その上で、情報通信ネットワーク上のルールやマナーの遵守、危険の回避、人権侵害の防止等、情報に関する技術の利用場面に応じて適正に活動する能力と態度を育成する。 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成 (3) 各項目及び項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。	A	B	B

種目【 技術・家庭（家庭分野） 】評価表（広島観智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点1》 基礎・基本 の定着	①学習項目における 目標の示し方	○目標の示し方とその具体 例	A 項目ごとに「目標」を設定するとともに、学習活動を促すた めの吹き出しによる問いかけが示されている。 B 項目ごとに「目標」が設定されている。 C 項目ごとに「目標」が設定されていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従 い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や 特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教 育を行うものとする。	A	B	A
	②伝統と文化に関す る内容の記述	○伝統と文化に関する内容 の示し方及び具体例	A 各内容において、伝統や文化に関する具体例が、複数掲載さ れている。 B 伝統や文化に関する具体例が、掲載されている。 C 伝統や文化に関する具体例が、掲載されていない。	【内容の取扱い】 (2) ウ また、地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。 (3) ア (1) のアについては、 <u>和服の基本的な着想を扱うこともできること。</u>	A	B	A
	③持続可能な社会に 関する内容の記述	○持続可能な社会に関する 内容の扱い方	A 各内容において、持続可能な社会に関わる内容が、具体的に 示されている。 B 循環型社会に関わる内容が具体的に示されている。 C 循環型社会に関わる内容を具体的に示されていない。	【解説】 (i) 改善の基本方針 (イ) <u>持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネ ルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。また情報通信ネットワークや製品の安全性に関するト ラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。</u>	B	B	A
《観点2》 主体的に学 習に取り組 む工夫	④興味・関心を高め るための工夫	○ガイダンスの構成、吹き 出し等の興味・関心を高 めるための工夫	A ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が示され、学習活動を促すよう記載されている。 B ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が記載されている。 C ガイダンスにおいて、3年間で学ぶ学習内容の概要や吹き出 し等が記載されていない。	【解説】 技術・家庭科の指導を体系的に行う視点から、両分野ともに、小学校での学習を踏まえ中学校での <u>3 学年間の学習の見通しを立たせるガイダンス的な内容を設定し、第1学年の家庭分野の最初に履修さ せることとした。</u>	A	A	A
	⑤実践的・体験的な 学習を実施するた めの工夫	○実践的・体験的な学習の 具体例	A 実践的・体験的な学習の実習事例が複数記載され、生徒が目 的をもって調理や製作ができる見出しが示されている。 B 実践的・体験的な学習の実習事例が記載されている。 C 実践的・体験的な学習の実習事例が記載されていない。	【目標】 衣食住などに関する <u>実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識 及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を もって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</u>	A	B	A
	⑥学習を振り返り、 生活に生かすため の構成上の工夫	○振り返りの示し方及び設 定の仕方	A 章末における学習のまとめの活動を設定するとともに、巻末 において各内容で学習したことを生かして働いている人を紹 介するなど、学んだことを生活や社会に生かす実践的な内容が 示されている。 B 章末における学習のまとめの活動を設定し、生活に生かす実 践的な内容が示されている。 C 章末における学習のまとめの活動が設定されていない。	【解説】 (2) <u>問題解決的な学習の充実</u> 学習の進め方として、 <u>計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程</u> を適切に組み立て、生徒が段階 を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。 (4) <u>学習指導と評価</u> 学習指導を進めるに当たっては、技術・家庭科の特質を生かした <u>実践的・体験的な学習活動や問題解 決的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の確実な定着と個性を生かす教育の充実という視点から 改善を図ることが必要である。</u>	A	B	A
	⑦問題解決的な学習 活動の工夫	○「生活の課題と実践」に おける学習の進め方及び 実践事例	A 問題解決的な学習の進め方及び各内容において、複数の実践 事例が記載されている。 B 問題解決的な学習の進め方及び実践例が記載されている。 C 問題解決的な学習の進め方及び実践例が記載されていない。	【解説】 (2) <u>問題解決的な学習の充実</u> これらの能力の育成には、 <u>生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲をもって追 究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行うことが大切である。</u> そのためには、 <u>学習の進め方として、計画、実践、評価、改善などの一連の学習過程を適切に組み立 て、生徒が段階を追って学習を深められるよう配慮する必要がある。</u>	B	B	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価		
					東書	教図	開隆堂
《観点3》 内容の構成・ 配列・分量	⑧題材の配列	○学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連	A 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されるとともに、D内容の関連を図りながら学習が展開されている。 B 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されている。 C 学習内容が指導事項に対応しており、かつ指導する内容や項目に適した分量で構成されていない。	【解説】 (3) 題材の設定 技術・家庭科における題材とは、教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである。したがって、題材の設定に当たっては、各項目及び各項目に示す事項との関連を見極め、相互に有機的な関連を図り、系統的及び総合的に学習が展開されるよう配慮することが重要である。	A	A	A
	⑨発展的な学習の扱い方	○発展的な学習内容の表記及び具体例	A 発展的な学習内容を、発展的な内容であることを示すマークを付して複数示されている。 B 発展的な学習内容を、発展的な内容であることを示すマークを付して示されている。 C 発展的な学習内容が示されていない。	【内容の取扱い】 1 (3) 各項目及び各項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。	A	A	A
《観点4》 内容の表現・ 表記	⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用	○学習内容と関連した記述・資料等の示し方及び具体例	A 他の内容との関連や他教科、小学校との関連が示されている。 B 他の内容との関連が示されている。 C 他の内容との関連が示されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 1 (3) 各項目及び項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な題材を設定して計画を作成すること。その際、小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮すること。	A	B	A
《観点5》 言語活動の 充実	⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	○実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例	A 各内容において、実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されている。 B 実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されている。 C 実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例が記載されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 4 各分野の指導については、衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。 【解説】 技術・家庭科においても、国語科で培った能力を基本に、知的活動の基盤という言語の役割の観点から、実習等の結果を整理し考察するといった学習活動を充実する必要がある。	A	A	A
	⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫	○まとめと発表の仕方の示し方及び具体例	A まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されるとともに、言語活動の充実を図るための内容が記載されている。 B まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されている。 C まとめと発表の仕方の示し方や具体例が記載されていない。	【解説】 技術・家庭科の特性を踏まえ、生活における課題を解決するために、言葉だけでなく、設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。	B	B	A
《観点6》 学校の特徴を 生かす工夫	⑬知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○学習を深化・発展へとつなげる内容の記載	A 学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容が記載されている。 B 学習を深める内容が記載されている。 C 学習を深める内容が記載されていない。	【解説】 生徒の生活の実態を把握し、基礎的なものから応用的なものへ、簡単なものから難しいものへと内容を発展させ、無理なく学習が進められるよう配慮して、学習の充実感が味わえるようにすることが重要である。	B	B	A
	⑭社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○家庭生活と地域の人々との関わりについての学習の事例	A 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例やロールプレイングが掲載されている。 B 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例が記載されている。 C 家庭生活と地域の人々との関わりについての学習事例が記載されていない。	【内容】 A 家族・家庭と子どもの成長 (2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。 ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 【内容の取扱い】 ア (1)、(2) 及び (3) については、相互に関連を図り、実習や観察、ロールプレイングなどの学習活動を中心とするよう留意すること。 イ (2) のアについては、高齢者などの地域の人々とのかかわりについても触れるよう留意すること。	A	A	A

種目【 英語 】評価表（広島観智学園中学校）

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
《観点1》 基礎・基本の定着	①単元の目標の示し方	○目標の表記の仕方	A Bの基準を満たし、学習の目指す姿が具体的に示されている。 B 単元の導入において、「ねらい」が示されている。 C Bの基準を満たしていない。	【総則】 1 各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。	A	B	B	B	A	A
	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	○基礎・基本の定着を図る4領域の言語活動の設定数のバランス ○1年生導入期の「話す」「聞く」言語活動の設定	A Bの基準を満たし、2・3年生の4技能のバランスがとれている。 B 外国語活動との円滑な接続を踏まえ、1年生導入期に「話す」「聞く」活動が設定されている。 C Bの基準を満たしていない。	【解説】 中学校段階では、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を明示することで、 <u>小学校における外国語活動ではぐくまれた素地の上に、これらの四つの技能をバランスよく育成することの必要性を強調したわけである。</u>	B	B	B	B	A	A
	③言語に対する理解を深めるための工夫	○関連ある文法事項のまとめの扱い方	A Bの基準を満たし、関連ある文法事項をまとめるだけでなく、間違いやすい文法事項、関連して使用する表現等が示されている。 B 既習の文法事項と新しく学んだ文法事項の共通した特徴が、整理されている。 C Bの基準を満たしていない。	【内容】 (4) 言語材料の取扱い エ 英語の特質を理解させるために、 <u>関連ある文法事項はまとまりをもって整理する</u> など、効果的な指導ができるように工夫すること。	A	A	B	A	A	A
《観点2》 主体的に学習に取り組む工夫	④興味・関心を高めるための工夫	○日常のコミュニケーションにおける特定の場面の設定	A Bの基準を満たし、発展的な課題が設定されている。 B 日常のコミュニケーションにおける特定の場面が設定されている。 C 日常のコミュニケーションにおける特定の場面が設定されていない。	【解説】 (2) 言語活動の取扱い ア 日常のコミュニケーションにおいては、 <u>特定の場面や状況にふさわしい表現があり、言語活動の指導に当たっては、具体的でわかりやすい場面や状況にふさわしいものを示しておくことが必要である。</u>	A	A	B	B	A	A
	⑤積極的なコミュニケーションを促す工夫	○ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツの設定	A Bの基準を満たし、会話に役立つ表現を取り上げるコンテンツを設定している。 B ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツが設定されている。 C ペア、グループによる形態を取り入れたコンテンツが設定されていない。	【解説】 (1) 指導計画作成上の配慮事項 キ 学習形態の工夫としては、ペアワークやグループワークが挙げられているが、生徒一人一人の活動が行いやすいという利点を生かして、これらの <u>形態を適宜取り入れながら、効果的な授業が展開できるようにする必要がある。</u> 【解説】 (3) 言語材料 ウ 語、連語及び慣用表現 コミュニケーション能力を育成するためには、 <u>日常生活でよく用いられる様々な慣用表現を身に付けさせることも重要である。</u>	B	B	B	B	A	B
	⑥問題解決的な学習に関する内容構成	○問題解決的な学習の設定 ○他教科等と関連させた教材選定	A Bの基準を満たし、他教科等と関連させた教材が選定されている。 B 問題解決的な学習が設定されている。 C 問題解決的な学習が設定されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2) 教材選定の観点 ア <u>多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。</u> 【総則】 (2) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。	B	B	B	B	B	A
《観点3》 内容の構成・配列・分量	⑦言語材料の配列	○文法事項の段階的な配列	A 2年生で「受け身」が初出として扱われ、3年生においても、「受け身」を扱う単元が設定されている。 B 3年生の最初の単元で「受け身」が初出として扱われている。 C 3年生の2つ目以降の単元で「受け身」が初出として扱われている。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 イ 2の(3)の言語材料については、 <u>学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すること。</u> 【解説】 (2) 言語活動の取扱い イ 外国語科では、授業時数が(中略)、外国語の指導においては、第2学年においては第1学年での学習内容を、第3学年においては、第1学年及び第2学年での学習内容を、 <u>言語活動の中で繰り返し学習することで、言語材料の定着を図るとともに、それらを実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動において活用させることが重要であるためであり、指導に当たっては、特にこれらの点に留意することが必要である。</u>	B	A	B	A	A	A

観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
⑧ 題材の内容構成と分量	○3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	○3年生における日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学に関する題材の扱い方	A 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学の全ての分野に関する題材が扱われている。 B 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学のうち、扱われていない分野がある。(4つ以内) C 日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学のうち、扱われていない分野が5つ以上ある。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (2) 教材選定の観点 英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし、次の観点到に配慮する必要がある。	A	A	A	A	A	A
					⑨ 小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	○1年生導入期における題材の構成	A Bの基準を満たし、第1学年導入期にAからZの全てに関する発音と綴りの関係が扱われている。 B あいさつ・身の回りのもの・アルファベット・日常の場面での会話が扱われている。 C 上記の内容で扱われていないものがある。	【内容】 (4) 言語材料の取扱い ア 発音と綴りとを関連付けて指導すること。 【解説】 小学校の外国語活動では、音声を中心に慣れ親しみ、それを受けて中学校では文字を通じた学習が始まることから、 <u>音声と文字の関係に触れた学習をすることが適切であることを示したものである。</u>	A	A
《観点4》 内容の表現・表記	⑩ 巻末等資料の工夫	○語彙リストにおける表記の仕方	A 様々な品詞が扱われ、参考になる用例が示されている。 B 様々な品詞が扱われている。 C 様々な品詞が扱われていない。	【内容】 (3) 言語材料 ウ 語、連語及び慣用表現 言語の使用場面や言語の働きなどを考慮して、よく用いられるものを取り上げるとともに、特に今回の改定で新たに明示されたように、 <u>言語活動などにおいて活用することを通して定着を図るようにすることが極めて重要である。</u>	B	B	B	A	B	A
	⑪ 学習到達目標の設定	○学習到達目標の設定の仕方	A 3年間を通じた学習到達目標が設定されている。 B 学年ごとの学習到達目標が設定されている。 C 学習到達目標が設定されていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 ア 各学校においては、生徒や地域の実態に応じて、 <u>学年ごとの目標を適切に定め、3年間を通して英語の目標の実現を図るようにすること。</u>	B	A	B	B	A	B
《観点5》 言語活動の充実	⑫ 4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	○3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおける言語活動の設定の仕方	A 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動が全て設定されている。 B 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動がほとんど設定されている。 C 3年生の4技能を統合的に活用させるコンテンツにおいて、4領域の活動がほとんど設定されていない。	【解説】 ③聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ③は、外国語によるコミュニケーション能力の育成を掲げたものであるが、これを最後におくことによって、 <u>最重要事項であることを強調している。合わせて、4技能の総合的な育成という改善の基本方針も盛り込んだ記述としている。</u>	A	A	B	B	B	B
《観点6》 学校の特徴を生かす工夫	⑬ 知識・技能の深い理解を促し、創造的・批判的思考力を育成するための工夫	○受け手の意見を問う課題、自分の意見を批判的に振り返る機会の設定	A Bの基準を満たし、自分の意見を批判的に振り返ることができる課題が設定されている。 B 生徒自身が受け取った内容に関して自分の意見をもつための課題が設定されている。 C Bの基準が満たされていない。	【内容】 (1) 言語活動 イ 話すこと (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 【解説】 「意見を述べ合ったり」とは、生徒が単に聞いたり読んだりしたことなどを理解することとどまらず、 <u>理解したことについて自らの感想や考えを伝えあうことである。</u> 【内容】 (1) 言語活動 ウ 読むこと (オ) <u>話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</u> 【解説】 単に内容を理解するだけでなく、 <u>読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していくことが必要となる。</u> 【内容】 (1) 言語活動 エ 書くこと (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、 <u>感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。</u> 【解説】 単に感想や賛否のみを述べるよりも、 <u>理由を併せて記述することは、読み手の共感を得たり、説得力を高めたりすることに資するとともに、明示された理由に対して相手から新たな感想や意見を引き出すことが期待でき、感想や意見のやりとりを更に発展させることにも資すると考えられるからである。</u>	B	B	B	B	B	A

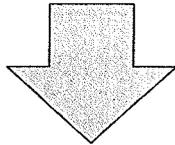
観点	視点	具体的な調査項目	評価基準	学習指導要領等	評価					
					東書	開隆堂	学図	三省堂	教出	光村
	⑭ 社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫	○国際理解及び多様な価値観の理解に関する教材の具体例とペアやグループでの協働を促す課題の具体例	A Bの基準を満たし、国際的な課題解決に関する題材が扱われている。 B ペアやグループによる形態を取り入れた課題が設定されている。 C Bの基準が満たされていない。	【指導計画の作成と内容の取扱い】 (1) 指導計画の作成上の配慮事項 キ <u>ペアワーク、グループワークなどの学習形態を適宜工夫すること。</u> (2) 教材選定の観点 ア <u>多様なものの見方や考え方を理解し、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。</u> ウ <u>広い視野から国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。</u>	A	A	A	A	A	A

令和 2 年度県立特別支援学校の小学部において
使用する教科用図書を選定状況について

県立特別支援学校における令和2年度使用小学校用教科用図書調査研究

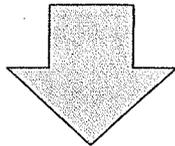
障害種別の児童の実態

障害種	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> 視力、視野、まぶしさ等、視機能に障害があるため、細部を捉えたり、図などの全体像を捉えたりすることに困難がある。 大型の視覚教材の認知、器具・道具等の使用や観察、採集、実験、計測・計量等の学習が困難であるため、学習環境の整備、視覚情報の聴覚情報化、教材・教具の工夫、視覚補助具等の指導等の配慮・工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害のため、聴覚を通じた情報の獲得やコミュニケーションの成立に困難がある。 音声情報の不足のため、言語習得や言語概念の形成等に困難があり、言語の指導に配慮・工夫が必要である。 学習において、視覚情報による情報補完が有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> 上肢、下肢又は体幹の運動・動作の障害のため、起立、歩行、書写、食事、衣服の着脱等、日常生活の運動・動作に困難がある。 随伴する障害として、言語障害、視覚障害、聴覚障害等がみられることがある。 移動に困難があるため、生活経験が不足している児童も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気が長期にわたっており、その間継続して医療又は生活規制が必要である。 原因となる疾患は、心身症、神経疾患、悪性新生物、呼吸器疾患等多岐にわたっている。 随伴する障害として、肢体不自由、言語障害等がみられることがある。 入院のため、生活経験が不足している児童も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。



教科書選定の観点

障害種	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
教科書選定の観点	<p>原則として点字教科書のもととなる検定済教科書を選定する。また、点字教科書が発行されていない種目については、文字の大きさ等が見やすいものであること、具体的な活動や体験不足を補う活動・内容が提示されていることなど、視覚に障害がある児童の教育に必要な配慮がされていること。</p>	<p>視覚資料が効果的に組織、配列されていること、視覚資料と関連した解説等が分かりやすく提示されていることなど、聴覚に障害がある児童の教育に必要な配慮がされていること。</p>	<p>教科書の大きさ等が扱いやすく、見やすいものであること、具体的な活動や体験不足を補う活動・内容が提示されていることなど、肢体不自由の児童の教育に必要な配慮がされていること。</p>	<p>病院や学校という限られた環境での学習であることから、情報機器の活用、指導内容の精選など、病弱の児童の教育に必要な配慮がされていること。</p>



調査研究の観点

選定資料を参考に十分な調査研究を行う

種目別の調査研究の観点	障害種別の調査研究の観点
観点1 基礎・基本の定着	観点1 障害のある児童が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	観点2 障害への配慮を要する内容等
観点3 内容の構成・配列・分量	観点3 表記・表現及び使用上の便宜
観点4 内容の表現・表記	
観点5 言語活動の充実	

令和元年 7月26日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	38 光村	点字教科書のもととなる検定済教科書が光村のみである。
国語	38 光村	点字教科書のもととなる検定済教科書が光村のみである。検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
国語	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
書写	11 学図	基礎基本である執筆法が適切に示されている。硬筆の單元では手本のすぐ横に空白欄があるものが多く、書きやすい。毛筆の單元では手本が見開き1ページに実物大の大きさに掲載されており、とめ・はね・はらいがはっきりとしているため形をとらえやすい(点字教科書なし)。
書写	11 学図	検定済教科書と同一の出版社である。検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
書写	217 日点 視覚障害者の漢字学 習(教育用漢字)	点字使用者が漢字の字体を触察できる。漢字が50音順に並んでおり調べやすく、また漢字の意味、字形、成り立ち、部首の解説が点訳された冊子がセットになっており、視覚障害のある児童が漢字を学習する上で有効である。
社会	17 教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。
社会	17 教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
社会	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一
種目	発行者の番号・略称	選定理由	
地図	46 帝国 みんなの地図帳 ～見やすい・使いやすい～	視覚に障害のある児童向けの地図帳として作成されており、国境線や川などの線や都市を示す点が識別しやすく、凡例や索引が読みやすい。小学校における教育内容を踏まえて情報が精選されており、日本の都道府県や世界の国々に関する基本的な事柄が適切に読み進められるように配慮されている。	
地図	46 帝国 みんなの地図帳 ～見やすい・使いやすい～	視覚に障害のある児童向けの地図帳として作成されており、国境線や川などの線や都市を示す点が識別しやすく、凡例や索引が読みやすい。小学校における教育内容を踏まえて情報が精選されており、日本の都道府県や世界の国々に関する基本的な事柄が適切に読み進められるように配慮されている。	
地図	216 支援センター 基本地図帳―世界と日本のいまを知る（全4巻）	点字を使用する児童向けの地図帳として作成されており、①点や線の違いが際立ち、触察による認識が容易、②凡例が読みやすいなどの特徴がある。また小学校における教育内容を踏まえて情報が精選されており、日本の都道府県や世界の国々に関する基本的な事柄が適切に読み進められるように配慮されている。	
算数	4 大日本	点字教科書のもととなる検定済教科書が大日本のみである。	
算数	4 大日本	点字教科書のもととなる検定済教科書が大日本のみである。検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。	
算数	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。	
理科	2 東書	点字教科書のもととなる検定済教科書が東書のみである。	
理科	2 東書	点字教科書のもととなる検定済教科書が東書のみである。検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。	
理科	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。	

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
生活	17 教出	文字が大きくページの構成がシンプルで見やすい。植物の育て方、生き物の餌、おもちゃの作り方などが端的に分かりやすい絵で載っている。また、触察可能な内容が多くとりあげられており、子どもの発想がふくらむような言葉があったり、感じたことを振り返ったりするページがあるなど視覚障害のある児童の教材として適している（点字教科書なし）。
生活	17 教出	検定済教科書と同一の出版社である。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
音楽	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書を選定予定である。
音楽	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書の拡大版を選定予定である。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
音楽	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
図画工作	9 開隆堂	各題材についての学習の要点が示され、材料や用具の取り扱いについての説明が分かりやすく記載されている。また、視覚のみを活用する光を題材とした教材は少ない。他の題材でも視覚以外の感覚（触覚や全身の皮膚感覚等）や身体全体を使った活動が多く取り上げられており、視覚障害のある児童の教材として適している（点字教科書なし）。
図画工作	9 開隆堂	検定済教科書と同一の出版社である。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
家庭	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書を選定予定である。
家庭	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書の拡大版を選定予定である。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
家庭	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。

令和元年7月26日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
保健	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書を選定予定である。
保健	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書の拡大版を選定予定である。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
保健	未定	点字教科書のもととなる検定済教科書を選定予定である。
英語	9 開隆堂	点字教科書のもととなる検定済教科書が開隆堂のみである。
英語	9 開隆堂	点字教科書のもととなる検定済教科書が開隆堂のみである。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
英語	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
道徳	17 教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。
道徳	17 教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。 検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の児童にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
道徳	未定	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。

令和元年7月5日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	38 光村	単元の学習の過程が見開きページで一覧できる構造となっており、学習内容を捉えやすく、見通しをもって学ぶことができる。また、巻末の「言葉の宝箱」には、発達段階に応じた考えや気持ちを伝える言葉が取り上げられており、語彙や表現を豊かにしていく工夫がされている。音声言語によるコミュニケーションを扱った内容も多数取り上げており、聴覚障害者が健聴者とコミュニケーションをとる方法を考える学習にもつなげやすい。
書写	17 教出	穂先の通り道、筆圧等に加え、送筆の穂先の向きまで示されており、視覚的に筆使いのポイントが明確である。めあて、考えよう、ここが大切、生かそう、振り返ろうという構造になっており学習過程が捉えやすい。学習のまとめは、簡潔な文で書かれており、ポイントとなる言葉は色付けして示してある。日常生活や他教科と関連付けた内容を多数取り上げており、学習した内容を生かすことが考えられた内容となっている。
社会	2 東書	つかむ→しらべる→まとめる・いかすの学習の流れが分かりやすい。学習課題を考え、それを基に調べていき、次時へのつながりをもちやすい。キャラクターの簡潔な問いで、何を明確にすればよいか、分かりやすくなっている。資料や写真にカラーが多く、サイズが大きめで、関心を引きやすい。資料と文を結び付けることで内容の理解が促され、気付きを話し合う手立てとなる。
地図	46 帝国	目次で「広く見わたす地図」や「くわしく見る地図」などの分類を色分けして掲載しているだけでなく、ページの見出しの色と対応しており、児童が自分で調べやすい。タブレット端末などで関連するコンテンツが視聴できる二次元コードの数が多く、情報機器を活用して主体的に調べ学習ができる構成になっている。「都道府県の名前と位置」のページに「手話で表す都道府県」の項目があり、興味・関心をもって取り組むことができる。
算数	2 東書	具体物を用いた活動が繰り返し取り入れられており、基礎・基本の定着が図れるようになっている。既習事項と結び付けて考えることができるよう、単元導入が工夫されている。問題、めあて、まとめが分かりやすく示されており、思考の流れを整理しやすい。大切な公式や用語が、色枠等で提示されており、聴覚障害のある児童にとって定着しやすい表記になっている。

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一障害
種目	発行者の 番号・略称	選定理由	
理科	61 啓林館	「めあて」「問題提示」「実験・観察」「結果とまとめ」「確かめよう」という学習の流れが、フォント、着色、枠等で分けて示されており、視覚的に分かりやすい。題材が日常生活と結び付いており、学習の手順の文と図表イラストが対応して示されているため、関心をもって主体的に学びへ向かい、深い学びにつながる学習がしやすい。また、気付いたこと考えたことを話し合う活動など、言語学習の内容が多く含まれている。	
生活	2 東書	聴覚に障害があっても学習が可能な内容が豊富に盛り込まれており、自分のしたことや周りの友だち、自然、社会に触れるきっかけ作りとして適切な内容である。写真が豊富で、配置が工夫されており、視覚的に分かりやすく提示されている。	
音楽	27 教芸	単元の目標が分かりやすく示されている。幅広いジャンルの音楽が取り上げられているため、興味をもちやすい内容である。また、音の高低を視覚的に提示してあり、聴覚に障害のある児童にとって理解しやすい。	
図画工作	116 日文	作品や材料、作業の様子等が写真や図で多く示されているため、興味・関心が高まりやすい。単元で使用する道具が簡単なイラストで示されているため、イメージをもちやすく、見通しをもって活動に取り組むことができる。	
家庭	2 東書	家庭生活と結び付けて学習を進めていけるよう、視覚的資料が順序等を考慮しながら適切に示されている。また、文も簡明で、大切な部分は、太字や大書で示してあるので、着目点分かりやすい。活動内容を言語化して確認しながら学習していけるように書き込みの欄も充実している。	
保健	2 東書	学習の課題が明示されており、児童が課題をつかみやすい。図・写真・グラフ等の視覚資料も豊富で、配置も工夫されている。障害の理解に関わる内容、情報機器の活用等に関わる内容も豊富である。	
英語	2 東書	品詞を色分けしている箇所が多くあり、視覚的に文法をつかみやすくなっている。さらに、学習のめあてが10文節以下で端的に示されている点も、聴覚障害を有する児童にとって内容をつかみやすい。また、分冊の辞典がついており、主要な表現や単語が分かりやすくまとめて示してあるため、児童が自ら振り返り等の学習に活用することができる。	

令和元年7月5日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
道徳	208 光文	分冊ではなく、各単元の教材文が45分間の授業時間内に児童が教材本文を読み思考することができる適切な量である。また、題材の主要な部分をイラストとして掲載しているため、題材の内容を視覚的に理解しやすい。さらに、児童が問題を考えるためのポイントが教材文の欄外に記載されている。このため、聴覚障害を有する児童が、ヒントを活用しながら、諸問題の解決に向けての方法を主体的に探る学習を効果的に行うことができる。
言語指導	(未定)	読む・話す・聞く・書く・言語事項が効果的に組織され、すべて書く力を付けるための配列になっている。基礎的な発音練習の方法を視覚的に分かりやすく示している。

令和元年6月21日

令和元年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一障害Ⅰ類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	2 東書	ユニバーサルデザインの観点で、行を捉えやすくするために脚注罫線が取り入れられており、肢体不自由のある児童が読みやすいように工夫されている。見分けやすい配色の工夫をしているため、視覚的な情報が整理しやすい。文字指導に適した書体を独自で開発しており、手書き文字に近い書体を使用しているため、文字を書く指導につなげやすい。
書写	2 東書	文字を正しく整えて書くための「書写のかぎ」を単元ごとに示していることから、児童が文字を書く際に気を付けるポイントが分かりやすい。また、国語の教科書と同じ写真、字形を使用して児童が理解しやすい。
社会	2 東書	本文の文字の大きさだけでなく、欄外の文字の大きさも大きく見やすい。イラストや囲み文、配色のバランス等から本文の内容以外も見やすくなっている。カラーの写真や表が多く、鮮明に印刷されており、肢体不自由のある児童の生活経験の不足を補うことができ、社会についての理解・認識を深めることができる。
地図	46 帝国	本の大きさが肢体不自由のある児童にとって扱いやすい大きさであり、開いた時に大きくて見やすいため、日本の国土を理解しやすい。地名等の文字が大きく、太さや縁取り等でより見やすくなっている。また、「地図帳の使い方」など丁寧に解説しており、資料活用能力を身に付けることができる。
算数	2 東書	すべての文章において、文節改行を徹底していることや、カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色やデザインに分かりやすい配慮をしていることから、肢体不自由のある児童が見やすく、興味・関心を持って学習に取り組むことができる。第一分冊はA4版でフラットな状態に開く仕様で、肢体不自由のある児童にとって扱いやすい。身の回りの事象などを写真で例示しており、日常生活と学習内容をつなげて考えることができる。
理科	61 啓林館	カラーの写真、図表、グラフ、絵の掲載数が多く、効果的に使っている。そのため、学習過程が分かりやすい構成になっており、肢体不自由のある児童にとって理解しやすく、科学的思考力を養い、主体的に問題解決に取り組めることができる構成内容となっている。まとめノートでは、自己評価や相互評価ができる内容になっており、学びの成長を自分で確認し、実感することができる。
生活	2 東書	折り込みページが少ないため、肢体不自由のある児童が扱いやすい。本文の文字や欄外の文字が大きく視覚的な配慮がある。紙面右端の定位置に「やくそく」欄があり、生活上必要な健康・安全や公共のマナーなどの習慣や技能を身に付けることができる。

令和元年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	単一障害Ⅰ類型
種目	発行者の 番号・略称	選定理由	
音楽	27 教芸	折り込みページが少なく、肢体不自由のある児童が扱いやすい。また、文字が大きく、見やすい配慮がされている。児童が意欲的、主体的に歌唱や器楽、鑑賞の学習と関連させながら学習に取り組むことができる。	
図画工作	116 日文	情景写真と作品例が多く掲載してあり、学習内容が分かりやすい。また、肢体不自由のある児童にとって創造しやすく、主体的に学習に取り組める構成になっている。また、図画工作で学んだことを生活や地域社会の中で生かすことができる単元があり、児童が有用性を感じながら学習に取り組むことができる。	
家庭	9 開隆堂	本の大きさが扱いやすい大きさであることや、本文、欄外とも文字が大きいことなど肢体不自由のある児童にとって使いやすい。写真や絵の掲載点数が多いため、日常生活に必要な知識や技能を身に付けやすく、家庭生活に興味・関心を持つことができる。	
保健	2 東書	A4版になっており、扱いやすい大きさであることや、読みやすい書体で文節改行して書かれていることなど、肢体不自由のある児童にとって使いやすい点が多い。写真や絵の掲載点数が多いため、健康な生活や体の成長について理解しやすく、興味・関心を持って取り組むことができる。	
英語	2 東書	児童にとって身近な事柄を取り上げてあるため、自らの学校生活と重ね合わせながら取り組むことができ、学習への関心・意欲を持って取り組むことができる。ユニバーサルデザイン書体の使用、4線ノートの幅や基線の色配慮がされており、視覚的に捉えやすい。また、イラスト・写真が効果的に配置されており、カラフルな体裁で、経験の不足しがちな肢体不自由のある児童も興味・関心を持って学習できる構成となっている。 また、別冊の絵辞典は、単語や表現がジャンル別にイラストや写真でわかりやすくまとめてあり、興味関心を持ちやすい。ワードゲームにするなどして活用し、授業で活動を広げることができる。QRコード等により、メトロノームのリズムに合わせた発声練習もできる。	
道徳	11 学図	写真や挿絵などが多く使われており、児童がイメージを持ちやすく、興味・関心を持って学習することができる。「きづき」と「まなび」の二冊で構成されており、児童の気付きを基に考え、学びを深めることができる。児童にとって身近な話題を扱っており、自分のこととして考えやすい。ユニバーサルデザインフォントを使用しており、読みやすい。また、配色、デザインも全ページにわたって配慮されており、肢体不自由のある児童にとって視覚的にとらえやすい。	

令和元年 7月 5日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島西特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	I 類型
種目	発行者の番号・略称	選定理由	
国語	3 8 光村	情報機器の活用等に関わる内容が多く、健康に関わる内容や身体と心の関係について扱った単元を扱っており児童の実態に適している。イメージを広げる絵や写真があるため、学習場所に制限のある児童にも扱いやすい。	
書写	2 東書	絵・図版が豊富で、文字が大きく線が太いため字形や筆圧の変化が分かりやすく、児童の実態に適している。書き込み欄やデジタルコンテンツがあることで、可動域や学習場所に制限のある児童にも個に応じた指導ができるようになっている。	
社会	2 東書	色彩豊かな図・絵・写真が多く、要点を色分けして示してあるため興味・関心をもちやすい。情報機器の活用例も多く校外や病院外の様子が理解しやすい内容である。	
地図	4 6 帝国	地図上に地図記号だけでなく、物語や音楽の舞台となった場所やその地域で有名な工業製品や食べ物や人物等を絵で示しており児童に興味・関心をもたせやすい内容となっている。2次元コードが多くありベッドサイドでも扱いやすい。	
算数	2 東書	パラリンピックに関連する数を読む活動やプログラミング体験としてコンピュータを活用する方法等の内容が含まれており児童が興味・関心をもちやすい内容となっている。また、折り込みページが少なく、分冊構成で重量による体への負担が軽減されるため、扱いやすい。	
理科	6 1 啓林館	脚注の説明が多く、絵や実物大の写真、2次元コードを多く掲載しているため、可動域や学習場所に制限のある児童も実験や活動をイメージしやすい。また、地元の話題を扱っており児童が興味・関心をもって取り組める内容になっている。	
生活	2 東書	植物の写真や図表が多く自然を利用した工作の紹介があるため、入院中の児童が季節を感じたり病棟での学習でも扱いやすい内容である。健康や障害の理解に関わる内容も多く扱っているため児童の実態に適している。また、折り込みページや体育的活動の内容が少なく扱いやすい。	
音楽	2 7 教芸	曲に関連するお話や導入部分でできる音楽遊びを紹介をする等音楽に親しみやすい内容になっている。写真や絵の掲載ページが多いため学習への意欲を高める内容が多い。また、折り込みページがないため扱いやすい。	
図画工作	1 1 6 日文	写真や図、作品例が多く掲載されており、アニメーション制作の内容を扱う等病棟での学習で扱いやすい内容が多く含まれている。	

令和2年度使用教科用図書選定理由書

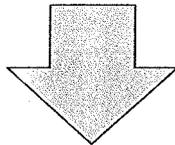
学校名	広島県立広島西特別支援学校		
学部	小学部	教育課程	I 類型
種目	発行者の番号・略称	選定理由	
家庭	2 東書	身のまわりで一緒に生活する人々との関わりを学習する題材を取り扱っており、障害の理解に関わる内容も多い。書き込み欄にマスがあるため扱いやすく、絵や説明が多くあるため児童が理解しやすい内容である。	
保健	2 東書	障害の理解に関わる記述のある単元を取り扱っている。また、児童の心身の悩みに配慮し思春期ならではの不安に寄り添う記述や相談方法についての記述が多く、情報機器の活用に関わる内容も多いため児童の実態に適している。また、絵や写真、説明が多くあるため理解しやすい。	
英語	1 7 教出	絵や写真が大きく掲載されており、アルファベットや基本的な単語にも取り組める内容になっているため、学習空白のある児童や英語に苦手意識のある児童にも親しみやすい内容となっている。また、障害の理解に関わる内容が多くフォントも大きいため児童の実態に適している。	
道徳	1 1 6 日文	自己理解を深める内容が多くあり児童の実態に適している。写真や多様な分野からの教材が扱われているため、興味・関心をもって取り組みやすい内容となっている。	

令和2年度県立特別支援学校の中学部において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の選定状況について

県立特別支援学校における令和2年度使用中学校用教科用図書調査研究

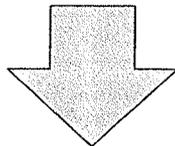
障害種別の生徒の実態

障害種	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・視力、視野、まぶしさ等、視機能に障害があるため、細部を捉えたり、図などの全体像を捉えたりすることに困難がある。 ・大型の視覚教材の認知、器具・道具等の使用や観察、採集、実験、計測・計量等の学習が困難であるため、学習環境の整備、視覚情報の聴覚情報化、教材・教具の工夫、視覚補助具等の指導等の配慮・工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のため、聴覚を通じた情報の獲得やコミュニケーションの成立に困難がある。 ・音声情報の不足のため、言語習得や言語概念の形成等に困難があり、言語の指導に配慮・工夫が必要である。 ・学習において、視覚情報による情報補完が有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢、下肢又は体幹の運動・動作の障害のため、起立、歩行、書写、食事、衣服の着脱等、日常生活の運動・動作に困難がある。 ・随伴する障害として、言語障害、視覚障害、聴覚障害等がみられることがある。 ・移動に困難があるため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気が長期にわたっており、その間継続して医療又は生活規制が必要である。 ・原因となる疾患は、心身症、神経疾患、悪性新生物、呼吸器疾患等多岐にわたっている。 ・随伴する障害として、肢体不自由、言語障害等がみられることがある。 ・入院のため、生活経験が不足している生徒も多く、指導上の配慮・工夫が必要である。



教科書選定の観点

障害種	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	病弱
教科書選定の観点	<p>原則として点字教科書のもととなる検定済教科書を選定する。また、点字教科書が発行されていない種目については、文字の大きさ等が見やすいものであること、具体的な活動や体験不足を補う活動・内容が提示されていることなど、視覚に障害がある生徒の教育に必要な配慮がされていること。</p>	<p>視覚資料が効果的に組織、配列されていること、視覚資料と関連した解説等が分かりやすく提示されていることなど、聴覚に障害がある生徒の教育に必要な配慮がされていること。</p>	<p>教科書の大きさ等が扱いやすく、見やすいものであること、具体的な活動や体験不足を補う活動・内容が提示されていることなど、肢体不自由の生徒の教育に必要な配慮がされていること。</p>	<p>病院や学校という限られた環境での学習であることから、情報機器の活用、指導内容の精選など、病弱の生徒の教育に必要な配慮がされていること。</p>



調査研究の観点

選定資料を参考に十分な調査研究を行う

種目別の調査研究の観点	障害種別の調査研究の観点
観点1 基礎・基本の定着	観点1 障害のある生徒が興味・関心等をもって取り組むことができる内容等
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	観点2 障害への配慮を要する内容等
観点3 内容の構成・配列・分量	観点3 表記・表現及び使用上の便宜
観点4 内容の表現・表記	
観点5 言語活動の充実	

令和元年7月3日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	38光村	点字教科書のもととなる検定済教科書が光村のみである。
国語	216支援センター	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
国語	38光村	点字教科書のもととなる検定済教科書が光村であるため、拡大教科書も光村である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
書写	11学図	本文に、縦横文字の混在した表記、複数の書体を混在させた表記、段組みがほとんどないため、弱視の生徒にとって単元の配列やページごとの内容を把握しやすい。また、目標や考えさせたいことなどに注目させるマークや飾り枠の形状や色がシンプルであること、キャラクターの吹き出しが本文を邪魔しない位置に一定されていること、色別による注意喚起が少ないことから、学習目標・内容を把握しやすく、重要な箇所も探しやすい。書き込み欄が大きいため、弱視の生徒に対応しやすい。さらに、毛筆の手本の余白に書き込みがないため、文字を整えるための余白を考えさせるのに適している。また、発展教材として、全盲の生徒が触って確かめることで漢字への興味・関心を深めることのできる「篆刻を体験しようーそのー、ーその二ー」といった内容が含まれている。
書写	11学図	検定済教科書と同一の発行者である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
社会（地理的分野）	17教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。
社会（地理的分野）	216支援センター	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。

令和元年7月3日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
社会（地理的分野）	17教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出であるため、拡大教科書も教出である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
社会（歴史的分野）	17教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。
社会（歴史的分野）	196へレン	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
社会（歴史的分野）	17教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出であるため、拡大教科書も教出である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
社会（公民的分野）	17教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出のみである。
社会（公民的分野）	217日点	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
社会（公民的分野）	17教出	点字教科書のもととなる検定済教科書が教出であるため、拡大教科書も教出である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
地図	46帝国	帝国の地図は、アジア州などの鳥瞰図で地理的事項から歴史的事項までが記載され、それぞれ事項等の位置関係が想像しやすくレイアウトされ、その上で複雑すぎないように工夫されている。また、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮された色使いがされており、文字などが色の中に埋もれにくくなっており、視覚障害の生徒にとって適切である。
地図	182ライト	唯一の点字教科書である。

令和元年7月3日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
地図	46帝国	検定済教科書と同一の発行者である。 帝国の地図は単に拡大するだけでなく、色覚に配慮された色使いや地図の配置等において、視覚障害に配慮された内容となっている。
数学	11学図	点字教科書のもととなる検定済教科書が学図のみである。
数学	182ライト	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
数学	11学図	点字教科書のもととなる検定済教科書が学図であるため、拡大教科書も学図である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
理科	2東書	点字教科書のもととなる検定済教科書が東書のみである。
理科	181東点	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
理科	2東書	点字教科書のもととなる検定済教科書が東書であるため、拡大教科書も東書である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
音楽（一般）	27教芸	点字教科書のもととなる検定済教科書が教芸のみである。
音楽（一般）	182ライト	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
音楽（一般）	27教芸	点字教科書のもととなる検定済教科書が教芸であるため、拡大教科書も教芸である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。

令和元年7月3日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
音楽（器楽合奏）	27教芸	点字教科書のもととなる検定済教科書が教芸のみである。
音楽（器楽合奏）	182ライト	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
音楽（器楽合奏）	27教芸	点字教科書のもととなる検定済教科書が教芸であるため、拡大教科書も教芸である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
美術	9 開隆堂	要点を示す通常文字のポイント数が13Pと大きくゴシック体が中心に使用されている。技法の説明が決まった色囲いの中に示され、弱視の生徒にとって全体から部分を探しやすいレイアウトである。また、人の動きをとらえる表現で比較すると、墨、水彩、鉛筆、粘土、アルミ針金、アルミホイール等、様々な材料による作例が重なりのない配置で紹介されており、弱視生徒が一つ一つを拡大して細部まで見て工夫することができる。全盲生徒が触察によって取り組みやすい材料の面白さを生かす題材では、多彩な材料を取り上げ、説明が明瞭で、全盲の生徒にとっても分かりやすい。また、学習の支えとなる技法や色彩についての学習資料が簡潔に大きな写真で余白を多く示されており、弱視生徒が、必要な内容をまとまりとしてとらえやすい。色使いに色覚の個人差を問わず誰にでも見やすい配慮がなされており、CUDマークを取得している。
美術	9 開隆堂	検定済教科書と同一の発行者である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。
保健 体育	224学研	点字教科書のもととなる検定済教科書が学研のみである。
保健 体育	182ライト	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
保健 体育	224学研	点字教科書のもととなる検定済教科書が学研であるため、拡大教科書も学研である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上で有効である。

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島中央特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
技術・家庭 (技術分野)	9 開隆堂	点字教科書のもととなる検定済教科書が開隆堂のみである。
技術・家庭 (技術分野)	196へレン	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
技術・家庭 (技術分野)	9 開隆堂	点字教科書のもととなる検定済教科書が開隆堂であるため、 拡大教科書も開隆堂である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱 視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上 で有効である。
技術・家庭 (家庭分野)	9 開隆堂	点字教科書のもととなる検定済教科書が開隆堂のみである。
技術・家庭 (家庭分野)	196へレン	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
技術・家庭 (家庭分野)	9 開隆堂	点字教科書のもととなる検定済教科書が開隆堂であるため、 拡大教科書も開隆堂である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱 視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上 で有効である。
外国語 (英語)	2 東書	点字教科書のもととなる検定済教科書が東書のみである。
外国語 (英語)	181東点	検定済教科書が点訳された唯一の点字教科書である。
外国語 (英語)	2 東書	点字教科書のもととなる検定済教科書が東書であるため、 拡大教科書も東書である。 拡大教科書は検定済教科書の文字サイズでは学習が難しい弱 視の生徒にとって、文字サイズが拡大されており、学習する上 で有効である。

令和元年7月5日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	15 三省堂	<p>「情報を読み解く」において、学校行事を案内するリーフレット作りを取り上げるなど、実生活とつながりのある教材が多い。他の発行者も実生活とつながりのある教材として、学校行事を扱っているが、目的や相手に応じて、情報を編集する上で必要な編集作業の各工程を詳しく説明している。また、工程ごとにポイントを平易な文で簡潔明瞭に示している点も優れている。</p> <p>「わかりやすく伝える」では、説明文の基本構造を折込ページを使って大きく取り上げ、囲みや矢印で本文の注目すべき箇所を明確に示しているため、何をどのように読めば良いか、視覚的に理解することができる。その他にも、裏ページには、本文の内容と関連する写真を大きく掲載し、文意を視覚的にイメージしやすくする工夫がある。</p>
書写	2 東書	<p>写真・図表・グラフ・絵の掲載ページ数が多い。また、本の大きさがAB判であり、要点のまとめ方は着色・囲いを効果的に用いて分かりやすく示している。日常生活と関連付けがなされた単元数が多く、言語活動の充実を図ることができる。</p>
社会 (地理的分野)	2 東書	<p>各地方の概観を表した内容の導入に写真やイラストが多く使われている。また、重要語句の定義を説明した資料や、それに類する資料の掲載が多い。関連する地方中枢都市としての広島市が取り上げられるなど本校の生徒が興味・関心をもって学習できる。</p> <p>1時間の学習内容を見通し、展開、振り返りの流れで見開き2ページに収め、図表を使ったワークで学習技能の定着を確認したり、図表やイラストを取り入れたまとめや簡潔な表現で説明している箇所が多くあるため、視覚的に理解し、分かりやすく学ぶことができる。</p>
社会 (歴史的分野)	2 東書	<p>第一章「歴史の流れをとらえよう」においては、歴史の学習を興味深く行うための流れや調べ学習を行うためのポイントが分かりやすく提示されているため、生徒それぞれの課題に応じて授業の中で調べ学習を行うことができる。</p> <p>また、鎌倉仏教を扱う単元では唯一6人の人物を1か所に並べ、その下には宗派や特徴などを比較して説明するなど、イラスト等の配置が効果的であり、視覚的に理解し、分かりやすく学ぶことができる。</p> <p>各単元の導入では、小学校で学習した事柄を振り返ったり、重要語句の定義を説明した資料や、それに類する資料が多く掲載しており、基礎・基本の定着を図ることができる。</p> <p>その他、「対潮楼」等生徒にとって身近に感じられる地域教材を多く取り上げるなど、興味・関心をもって学習することができる。</p>

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
社会 (公民的分野)	2 東書	各学習のテーマごとに学習のめあてが提示されており、このめあてを積み重ねると各章のまとめができるように構成されているので、生徒の理解度に応じて学習を進めることができる。 写真の掲載数が比較的豊富であり、また、その配置に関しても、風力発電、太陽光発電、地熱発電、バイオマス燃料発電の四つを正方形に集約するように配置し、中央に大きく太字で「再生可能エネルギー」と書くなど、抽象的な事柄を一見しただけで理解できるように工夫している。そのため、視覚的に理解し、分かりやすく学ぶことができる。
地図	46 帝国	冒頭の地図帳の使い方の説明にイラストや色分けなどがあつたり、歴史的な地域のつながりが分かるよう、例えば、「①東アジアと日本」では「遣唐使船」や「琉球交易船」などを図入りで載せ、古くからの地域間のつながりについて地図を見て理解を深めることができるようにするなど、視覚的に理解しやすい構成になっている。 また、地図中の地名にはすべてルビを付し、正しく読めるように配慮しているなど、学習後にも確認しやすい工夫をしている。
数学	2 東書	導入では、本棚を作るときに必要な棒の本数を考えさせるなど、日常生活と関連させた事象を数理的に考察させるための工夫がある。 また、教科書の冒頭には、学習の進め方やポイントを文章で説明している。特に各章の始めには、既存の学習内容やこれから学習する内容、課題に取り組む際のポイントが提示してあり、見通しをもって学習を進めることができる。その他、色や囲みを使い要点を示したり、説明文や問などの行間も広くとって、視覚的に理解しやすい構成となっている。
理科	2 東書	教科書の冒頭には、実験を通した科学的な探究活動の過程が丁寧に示されており、主体的に学習に取り組むことができる。 また、章末には「チェック」、学んだことを自分の言葉で説明する「学んだことをつなげよう」、さらに単元ごとの「確かめと応用」という応用問題を示し、個人差があっても生徒の実態に応じて活用することができる。 その他、「化学変化と電池」の章では、電池の利用例の教材として補聴器の空気電池が取り上げられており、聴覚に障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる内容がある。
音楽 (一般)	27 教芸	鑑賞教材について、写真や図表、絵などを多く用いて説明してあるため、視覚的に内容を理解しやすい。 また、1年「Let's Create!」では、音の強さやリズム等を視覚化した図形楽譜を活用し、自分のイメージに合う自由な音楽づくりが展開できるようになっている。

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害
種目	発行者の 番号・略称	選定理由	
音楽 (器楽合奏)	27 教芸	日本の伝統音楽の楽器編成が、写真入りで一覧に整理しており、視覚的に内容を理解しやすい。また、聴覚に障害のある生徒にとって特に演奏しやすい打楽器が多く取り上げられるとともに、その奏法が写真を使って丁寧に解説しており、視覚的に理解しやすい内容になっている。	
美術	38 光村	6～7文節程度の簡潔な文で学習目標が明記しており、その横には達成状況をチェックする欄を設けてあるため、聴覚に障害のある生徒にとって学習活動の見通しをもちやすい内容となっている。 また、例示された作品(シャガールの「人生」)に合わせた詩(谷川俊太郎「うつくしい」)を取り上げるなど、生徒にとって、抽象的な作品であっても、作者の意図を具体的なイメージとしてとらえやすい工夫がしてある。	
保健 体育	4 大日本	学習のめあてが10文節以内で簡潔に示してある単元数が一番多く、課題内容を理解しやすい。そのため、見通しをもって学習することができる。 キーワード欄を設けるとともに、重要語句は太字で強調してある。また、それらの語句と関連した写真等の資料も多く、視覚的に理解することができる。	
技術・家庭 (技術分野)	2 東書	主体的に学習に取り組むための工夫としての実習事例が、「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」の各分野ともに最も多く、体験を通じて学習することができる。また、作業手順が一つずつ、写真や絵と分かりやすい文で示してあるため、学習内容を理解しやすく、実習も行いやすい。 体験だけではなく、各編のまとめとして「学習を振り返ろう」「学習したことを確かめよう」「生活に生かそう」があり、体験した事柄を文字で振り返ることができ、学習内容の定着を図ることができる。	
技術・家庭 (家庭分野)	2 東書	教科書がAB判と、サイズが大きく文字が見やすい。また、ページを開いた際に注目しやすい構成になっている。 専門用語にはルビを付してあったり、巻末資料に「言葉のページ」を設け、衣食住それぞれに分類して説明があるなど、自ら学習しやすい。 また、実習手順・課題と実践の進め方などが工程ごとに写真や絵とともに分かりやすく説明してあったり、その他、調理では火力の程度をマークで示したりするなど、視覚的に学習を深めることができる。	

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島南特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
英語	2 東書	<p>基本文を大きく囲み、文法の要点は、多色を用いず単色かつ太字で示すことで、一目で大切な箇所が分かる。情報が他に比べ精選されていることで、聴覚に障害のある生徒が文法を理解するのに有効である。</p> <p>また、各UnitのDialogのページに対話のコツを掲載している。どんな場面でどんなフレーズが使えるのか、対話を弾ませるポイントなどを具体的に示している。そのため、実際のコミュニケーション場面を想起する助けとなり得る。</p>
言語	17 教出	<p>生活の中で実際に起こり得る場面を想定して、時と場合に応じた言葉の使い方や、言葉の決まり、発音の練習などの解説が掲載されている。言葉による意思疎通がより正確にできるようにするなど、聴覚に障害のある生徒が社会自立していく上で必要とされる力を身に付けやすい構成になっている。そして「学習の手引き」により考える観点が提示されており、生徒によってより分かりやすい内容となっている。さらに、各章ごとに「新出漢字と用例」、「読みかえ漢字と用例」が掲載されており、これまでの国語の学習内容を確認し、かつ理解を深めることができる。</p>

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害I類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	15 三省堂	教科書本編、資料編ともにカラー写真やイラストが豊富で、視覚的に生徒を引きつける。ユニバーサルデザイン等、障害に対する理解を深められる教材もあり、生徒が意欲的に学ぶことができる。また行間が広く、傍線を引いたり読み仮名や気付きを書き込んだりする活動もしやすい。1ページ当たりのレイアウトがすっきりしており、必要な箇所を探したり注目したりする上でも、適している。
書写	38 光村	毛筆や硬筆の基礎・基本の習得がバランスよくできるような構成になっており、学習したことが日常生活にも生かせる。また、暑中見舞いや絵手紙、クラス目標や卒業祝いのカード等、学校生活に役立てられる題材や、DVDレーベル、しおり、うちわなど作品作りの例も豊富で、肢体不自由のある生徒が苦手意識を克服し、楽しみながら言語生活を豊かにすることができる。手紙、送り状、のし袋の書き方等、実用的な題材も網羅されており、社会人になってからも役立つ内容になっている。三年間継続して使用できるため、生徒の実態に合わせて、必要ときに扱うことができる。
社会 (地理的分野)	2 東書	「身近な地域を見直そう」では、調査テーマを決めているいろいろな方法で活動し発表することを示している。社会見学など生活体験が乏しい肢体不自由のある生徒にとって、単元に関する地図や写真が掲載されていたりキャラクターによる学習内容の説明等がされていたりするなど、学習活動に興味・関心を持ちやすくしているので活用しやすい。
社会 (歴史的分野)	2 東書	外出に困難を伴うことが多い肢体不自由のある生徒にとって情報を獲得しやすいよう、巻頭巻末に「日本の世界遺産・国宝」「各地の主な史跡」を掲載しているので活用しやすい。また、生徒の具体的な活動や体験を主体的・自発的に行えるよう、学習への手がかりを提示している。
社会 (公民的分野)	2 東書	学習内容に関連する写真を随所に入れ、カラフルなイラストを効果的に使用して生徒が関心を持ちやすいように構成を工夫してある。また、学習内容が見開き2ページで構成され、はじめに「学習課題」、終わりにまとめの「確認」を設けており、肢体不自由のある生徒にとって扱いやすく、理解しやすいようになっている。「公民にアクセス」「公民にチャレンジ」など身近な社会問題の学習に役立つ資料が分かりやすく簡潔に提示されている。
地図	46 帝国	生活経験が不足しがちな肢体不自由のある生徒にとって地図、活用コラム「やってみよう」などを設け、調べ学習や体験的学習、作業的な内容を通して生徒が主体的に地図帳を活用できるよう工夫がされており、視覚的にも理解しやすい。

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害Ⅰ類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
数学	61 啓林館	扉のページを使い、生活の中の数学を取り上げ、数学を身近なものとしてとらえやすい工夫がされている。また、各章の始めにその章で学習する内容を身近なところから見つけ、その内容をイラストで見開き1ページで紹介されており、学習への意欲付けになる。用語を定義している箇所は緑色の網掛けで示され、その他にもポイントとなる箇所や学習のヒントは網掛けやイラストつきの吹き出しなどの工夫がされ、不随意運動などで注視することが難しい生徒にとって理解しやすいと思われる。さらに、他の発行者と比べ、行間が広く見やすい。
理科	61 啓林館	外出のしにくさなどから生活経験が不足しがちな肢体不自由のある生徒にとって身近である植物から配列されており、生徒の発達段階が考慮されたものになっている。また、実験観察の項では、目的・方法・結果・考察が見出しとして示されているので、目的意識を持って取り組むことができる。巻末には地域資料集が付いており、生徒の住む地域の特色を学ぶことができる。また、マイノートがあることで、書写に時間のかかることの多い肢体不自由のある生徒が板書にかかる時間を軽減すると同時に、系統だった学習を進めることができる。
音楽 (一般)	27 教芸	表現教材と鑑賞教材とが関連した内容でまとめてあり分かりやすい。写真・図表・絵について精選されたものが扱っており、工夫されている。イラストやカラー写真も適所に挿入されており、親しみやすくイメージしやすい。またリズムをゲーム的な活動で学習する内容もあるなど、肢体不自由のある生徒が、工夫しながら取り組み、音楽への興味・関心を引き出すものとなっている。
音楽 (器楽合奏)	27 教芸	写真・図表・絵の掲載数が多く、大きさも見やすい。器楽という性質上、上下肢の活動を必要とする内容が多いが、解説は図や写真が適所に挿入されていてイメージがしやすく分かりやすい。コラムを設け、楽器の基礎的な奏法等についても分かりやすく示している。リズムパターンを唱歌で表現する内容の紹介もある。
美術	38 光村	題材の分野・内容が分かりやすく表示され、各題材で身に付けさせたい目標が明確に示されている。また、作品例が大きく中央に示され、注視しやすく創作への意欲を促すことができる。作品や制作行程の示し方が一定で、教科書縦横の向きを変えながら見るという扱いにくさもない。 これまで、扱いにくいとされてきた折込み、見開きページがむしろ効果的に使用され、1年生では風神・雷神を、どっしりした風神・雷神像から開くときらびやかな屏風絵へと展開して、美術館等に出向きにくい生徒が教科書を使って十分に鑑賞体験できる内容となっている。2・3年生では、ピカソの写真と谷川俊太郎の詩を配し、開くとインパクトのある大きさのゲルニカへと展開して、作者の意図と本物の迫力を感じさせる内容となっている。 また、情報機器の活用に関する内容も、インターネットやデジタル素材の活用など幅広く取り上げている。

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	単一障害I類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
保健体育	2 東書	写真やイラストを用いて分かりやすく解説しており、障害のある生徒にも理解しやすい内容である。書き込み欄が大きく肢体不自由の生徒に対する配慮もある。 各章の課題も自ら考え解決し生活に結びつく内容である。
技術・家庭 (技術分野)	9 開隆堂	写真やアニメーションをふんだんに使い、機器や加工方法、技術の未来に関して分かりやすく書かれている。人にやさしい技術など、障害者に係る記述も多い。肢体不自由のある生徒が日常生活の中でコンピュータを活用していくことを分かりやすく解説してある。
技術・家庭 (家庭分野)	2 東書	写真やイラストを効果的に配置し、表記が全体的にすっきりとまとまっており、障害のある生徒にとって見やすく分かりやすい構成となっている。書き込み欄が大きく肢体不自由のある生徒に対する配慮もある。また、単元の目標が明確になっている点や学習の確かめのページがあるなど、生徒が学習の要点をつかみやすい構成となっている。
英語	2 東書	第1学年では、世界のあいさつではじまり、日常で使われている表現、クラスルーム・イングリッシュ、身の回りの単語・あいさつ・自己紹介という順で、生徒が関心を持てるよう順序が組まれている。 第2学年では、世界の国々の情勢や様子、海外旅行やホームステイなどの単元がある。 第3学年では、民族・文化・環境・言語(点字・手話)など、様々な視点から様々な問題についての学習ができる。全学年を通して、国際的な内容についても多く取り上げられており、生活経験の少ない生徒が興味・関心を持ちやすい。内容理解を通して、心情を考えたり理解したりし、自分の意見を述べるような内容構成の単元もあり、学んできた内容を基にして、生徒が主体的に学習できるような構成にしてある。また、イラスト・写真が効果的に配置されており、カラフルな体裁で興味・関心を持って学習できる構成となっている。

令和元年7月5日

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島西特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	I 類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
国語	11 学図	<p>本文、欄外の文字サイズが比較的大きく、二段組みで文章を表記している場合でも、上の段と下の段の間に線が引いてあり、筋力低下により姿勢保持が難しく様々な姿勢で学習する筋疾患の生徒にとっても文章を読みやすい。</p> <p>また、脚注部は、脚注の種類を記号や色で分類したり、読む観点を示したりしてあるため、学習するポイントを絞って効率的に学習することができる。</p> <p>この他、折込資料に口語・文語活用対照表が掲載されるなど、授業に活用できる資料が充実している。</p>
書写	2 東書	<p>メールと手紙の違いを考えたり、パソコンでポスターを作成したりするなど、情報機器の活用に関わる内容を扱っており、書字動作の代替として情報機器の活用が必須である筋疾患の生徒に適している。</p> <p>また、大筆を使った毛筆だけでなく、筆ペンやシャープペンシル等の硬筆での教材を多く扱っており、手指の可動範囲の狭い筋疾患の生徒が病室内でも取り組みやすい。</p>
社会 (地理的分野)	2 東書	<p>写真等の掲載数が多く、地域の紹介では、自然や建物の写真だけでなく、人や生活、スポーツの写真や、地図や面積、人口などその地域の特色が分かる資料も掲載されており、入院生活の長い生徒が各地域に対する関心を高めることができる。また、その紹介が構造化されており、各見開きを比較することにより、それぞれの地域の特色を理解することができる。</p> <p>また、単元のとめにおいては、吹き出しでどのように学べばよいか、学び方のポイントを提示しており、基礎・基本を身に付けやすい。その他、章ごとのワークが色分けされており、使いやすい。</p>
社会 (歴史的分野)	2 東書	<p>全てのページの下に示した年表に現在学習している時代が分かるように朱書きされており、どこの時代か確認しながら学習ができる。また、AB判と教科書が大きく、時代ごとに教科書下部の着色を変えているため、上肢が弱くても、また、片手でも見たい「年代」のページを開くことができる。</p>
社会 (公民的分野)	2 東書	<p>インターネットを活用した調査を取り上げるなど、情報機器の活用等に関わる内容が多いため、将来的にパソコン等の活用が必須である筋疾患の生徒に適している。</p> <p>また、長期入院が必要な児童生徒の教育を取り上げたり、バリアフリーや障害者基本法、障害者差別解消法についての記載もあるなど、障害理解に係る記述が多く、病弱の生徒が興味・関心をもって学習することができる。</p>

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島西特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	I 類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
地図	46 帝国	<p>地図が他の発行者に比して大きいものが多く、地図上の赤い文字が黒囲みされていたり、「地図をみる目」を設けていたりするため、筋力低下により姿勢保持が困難で様々な姿勢で学習する筋疾患の生徒が見えやすく読みやすい。</p> <p>また、本書の背が柔らかく、ページを開くと、手で強くおさえなくても左右のページを十分に読み取ることができるなど、筋疾患の生徒でも扱いやすい。</p> <p>その他、各地図に陸高と水深の表示を記載しており、陸地の高低や海洋の地形が分かりやすくなっている。</p>
数学	61 啓林館	<p>行間や左右の余白に適度なスペースがあるため、様々な姿勢で学習せざるを得ない筋疾患の生徒でも本文や学習の要点を示した着色部分が読みやすい。</p> <p>まとめの問題には、出題箇所を示すページとともに、学習内容を確認するチェック項目があり、基礎・基本の定着に効果的である。また、ノートやレポートの書き方の具体例が示してあり、書字動作に困難がある筋疾患の生徒が自身の考えをまとめる参考にもなる。</p> <p>その他、円すいの体積の学習では写真や図により実験結果を掲載しており、入院して生活経験の少ない生徒でも理解しやすいため、興味・関心をもって学習を進めることができる。</p>
理科	4 大日本	<p>情報機器を活用した単元数が多く、将来的にパソコン等の活用が必須である筋疾患の生徒に適している。</p> <p>また、単元の冒頭には単元に関する既習事項を振り返る箇所が、章末には重要事項を自身の言葉で説明する課題があるため、学習するポイントを絞ることができ、治療や体調等で時間的に制約のある病弱の生徒でも効率よく学習することができる。</p> <p>その他、実験の次ページには「結果の例」が掲載されており、治療等の理由で実験に参加できない場合にも、考察しやすい内容となっている。</p>
音楽 (一般)	17 教出	<p>歌唱では、曲のイメージに合う情景や歌詞にある植物等を、大きく写真を用いて示してあり、入院生活のため生活経験の少ない生徒が興味・関心を高めることができる。また、文字も大きく、姿勢の維持に制限のある筋疾患の生徒が読みやすい。パソコンを用いた音楽の楽しみ方が紹介されており、入院生活により時間的・身体的に制限のある生徒が音楽活動の楽しさを体験できる。</p>
音楽 (器楽)	27 教芸	<p>打楽器を多く取り上げており、楽器演奏が片手や小さい動き、弱い力でも可能なキーボードや打楽器に限定されやすい筋疾患の生徒の学習に適している。</p> <p>また、楽器ガイドとして、楽器の歴史や楽器の特徴に加えて、演奏のポイントや楽器そのものについて、写真を用いて詳しく説明してあるため、上肢の動かし方を理解しやすい。</p>

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島西特別支援学校		
学部	中学部	教育課程	I 類型

種目	発行者の 番号・略称	選定理由
美術	38 光村	病室でも扱いやすい鉛筆や絵の具の使い方について、ページ数が多く充実している。 材料の特性や描画材の効果が複数の写真で比較されながら分かりやすく示してある。また、作品の完成までの流れや作業の手順が順序よく示してあるため、入院生活により表現活動の経験が少ない生徒でも美術の基礎的な能力を身に付け、作品完成までの見通しをもって取り組むことができる。
保健体育	224 学研	全編を通して、写真やイラスト、グラフ等の資料が多く掲載してあり、入院生活により生活経験が少ない病弱の生徒でも興味・関心をもてる内容となっている。 また、病弱のある生徒の生活に身近な傷害の防止や、実習が難しい体育編には調べ学習が多く取り上げてあり、生活制限がある病弱の生徒が主体的に運動や健康・安全について学習できる内容となっている。
技術・家庭 (技術分野)	9 開隆堂	写真やイラスト等の掲載数が最も多く、視覚情報と共に具体的な説明を示しているため、入院生活により生活経験の少ない病弱の生徒でも理解がしやすい。 また、「情報に関する技術」の中で、情報処理の一例として、身近な電動自転車等のジョイスティックを取り上げており、筋疾患等の病弱の生徒が興味・関心をもって学習することができる。
技術・家庭 (家庭分野)	2 東書	本文、欄外ともに文字のサイズが比較的大きいため、筋力低下により姿勢保持が困難で様々な姿勢で学習する筋疾患の生徒でも本文や資料等が読みとりやすい。 また、調理や裁縫の手順を簡潔な文と写真で示しているため、入院生活等で生活経験の少ない生徒が見通しをもって学習に取り組める。また、他の発行者にはないプレゼンテーションソフトを活用した実習を取り上げており、将来的に情報機器の活用が必須である筋疾患の生徒に適している。
英語	9 開隆堂	「話す」活動が比較的多く、ペアワークについても自己に関するテーマだけでなく、アニメの登場人物など身近な題材を取り上げて、英会話に自信のない生徒の抵抗感を緩和させながら、自由に発話できるように工夫している。病院や学校という限られた環境で育っている病弱の生徒にとって、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する上で有効である。

令和 2 年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部において使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況について

学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の使用について

特別支援学校において、学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（以下、一般図書という）は、

- ① 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校
- ② 視覚障害者，聴覚障害者，肢体不自由者又は病弱者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において，知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校の教育課程を編成している場合

の次の教科において使用することができる。

小学部		中学部	
教科	使用する教科書	教科	使用する教科書
国語 算数 音楽	著作教科書 ※1	国語 数学 音楽	著作教科書 ※1
生活 図画工作 体育	一般図書 ※2	社会 理科 美術 保健体育 職業・家庭 外国語	一般図書
特別の教科 道徳 ※3	検定済教科書 一般図書	特別の教科 道徳 ※3	検定済教科書 一般図書

※1 著作教科書とは、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書。障害の状態が重く、著作教科書を使用することが適当でない場合は、一般図書を使用することができる。

※2 小学部「体育」については、検定済教科書及び著作教科書はないが、指導内容に基づき、「保健」として選定・採択ができる。

※3 小学部及び中学部の「特別の教科 道徳」については、検定済教科書を使用することが適当でない場合は、一般図書を使用することができる。

県立特別支援学校における令和2年度使用学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の調査研究について

障害種別の児童生徒の実態

障害種	知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校 ※
児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・知的機能及び適応行動の状態に応じた教育内容・方法が必要である。 ・学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくいことや、成功経験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことがある。 ・実際的な生活経験が不足しがちであるため、抽象的な内容より、実際の・具体的な内容の指導が効果的である。

※ 視覚障害者，聴覚障害者，肢体不自由者又は病弱者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において，知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校の教育課程を編成している場合も同じ。

教科書選定の観点

児童生徒の障害の種類・程度，能力・特性及び発達段階に最もふさわしい内容（文字，表現，挿絵，取り扱う題材等）のものであること。

選定資料を参考に十分な調査研究を行う

調査研究の視点

○内容の特徴・程度

- (1) 児童生徒の生活に結び付いた学習活動が展開できるような分かりやすい内容であり，学習指導要領に示されている各教科の目標・内容と適合しているか。
- (2) 児童生徒の障害の状態及び発達段階に適合した内容であるか。

○構成・配列・分量

- (3) 児童生徒の興味・関心を高める構成・配列・分量となっているか。
- (4) 内容が系統的・段階的に配列されており，無理なく学習することができるか。

○表現・表記

- (5) 絵や文字，配色等が児童生徒の興味・関心を高めるとともに，内容を理解しやすいよう工夫されているか。

○印刷・製本の状態

- (6) 紙質や装丁，大きさは扱いやすく丈夫であるか。

令和2年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部において使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況

区分 障害種別 学校名	小学部					中学部				
	文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書			一般図書		文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書			一般図書	
	国語	算数	音楽	一般図書 一覧掲載 図書	一般図書 一覧掲載 以外の図 書	国語	数学	音楽	一般図書 一覧掲載 図書	一般図書 一覧掲載 以外の図 書
視覚障害										
広島中央特別支援学校	○	○	○	53	10	○	○	○	31	2
聴覚障害										
広島南特別支援学校	○	○	○	25	0	○	○	○	8	0
尾道特別支援学校(聴覚障害)	○	○	○	16	5	○	○	○	12	2
呉南特別支援学校(聴覚障害)	○	○	○	20	3	○	○	○	5	2
肢体不自由										
広島特別支援学校(肢体不自由)	○	○	○	40	7	○	○	○	23	4
福山特別支援学校	○	○	○	32	10	○	○	○	35	0
西条特別支援学校	○	○	○	57	0	○	○	○	19	3
西条特別支援学校八本松分級	△	△	△	52	3	△	△	△	18	0
病弱										
広島西特別支援学校	○	○	○	32	0	○	○	○	20	0
知的障害										
尾道特別支援学校(知的障害)	○	○	○	20	5	○	○	○	20	1
尾道特別支援学校しまなみ分校	○	○	○	53	2	○	○	○	29	2
広島特別支援学校(知的障害)	○	○	○	17	1	○	○	○	15	2
廿日市特別支援学校	○	○	○	38	3	○	○	○	33	9
福山北特別支援学校	○	○	○	27	8	○	○	○	18	9
三原特別支援学校	○	○	○	38	1	○	○	○	21	1
三原特別支援学校大崎分教室	○	○	○	27	1	○	○	○	24	2
呉特別支援学校	○	○	○	22	0	○	○	○	15	0
呉特別支援学校江能分級	○	○	○	25	0	○	○	○	16	0
庄原特別支援学校	○	○	○	46	0	○	○	○	16	0
広島北特別支援学校	○	○	○	27	5	○	○	○	26	0
沼隈特別支援学校	○	○	○	37	4	○	○	○	15	2
黒瀬特別支援学校	○	○	○	35	0	○	○	○	13	0
呉南特別支援学校(知的障害)	○	○	○	52	3	○	○	○	26	1
一般図書の点数の合計	—			203	56	—			160	37
				259					197	

※ 文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書の欄中の記号は、次のとおりである。

○ : 全ての学年で選定している。

△ : 障害の状態が重く、当該教科書を使用することが適当でないため、選定していない。

※ 一般図書の欄中の数字は、選定図書点数である。ただし、一つの図書が複数の学年で選定された場合は1点とする。

また、一般図書の点数の合計においては、一つの図書が複数の学校において選定された場合も1点とする。

平成32年度用一般図書一覧(掲載以外の図書(小学部))

発行年 コード	発行者/種別	図書名	広島 中央	広島 西	広島 東	広島 南	広島 北	広島 知	広島 知	福山	西条	八木松	広島 西	廿日市	福山北	三原	大崎	呉	江能	庄原	広島 北	沼津	黒瀬	広島 知	広島 知
02-1	岩崎書店	あそびの絵本 きりがみあそび																							
02-1	岩崎書店	だんごの絵本 きりがみあそび																							
02-1	岩崎書店	だんごの絵本 きりがみあそび																							
06-2	学研	あそびのおうまきまき7 たべもの増補改訂																							
06-2	学研	あそびのおうまきまき7 たべもの増補改訂																							
07-2	金の星社	NHK新むしでできるもん!リサイクルでつくっちゃおう																							
07-2	金の星社	香の絵本 うたがたこう!わくわくリズムあそびどうようえほん																							
07-2	金の星社	香の絵本 おとのでのりのえほん																							
07-2	金の星社	こねこちゃんえほん6 かぜひいちゃった																							
08-1	金の星社	ゴリラのパンやさん																							
08-1	くもん出版	CC好き英語のうたカード																							
08-1	くもん出版	生活図鑑カード のりもカード																							
08-1	くもん出版	生活図鑑カード こよみカード																							
10-1	探検社	おともたちドリルブック1 きつてはってこうさくブック1																							
10-2	探検社	レオレオニの絵本 じぶみだけのいろ																							
10-3	国土社	たのしい図画工作9 うごおもちゃ																							
11-1	ええら	たのしい工作教室 ダンボールのたのしい工作教室																							
11-4	三省堂	こどもマナーとけいご絵じてん																							
11-4	三省堂	こどもまじのきょうじ絵じてん 増補新装版																							
12-2	小学館	小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶが学ぶげんきの図鑑																							
12-2	小学館	小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶが学ぶげんきの図鑑																							
12-2	小学館	小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶが学ぶげんきの図鑑																							
12-2	小学館	小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶが学ぶげんきの図鑑																							
12-2	小学館	小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶが学ぶげんきの図鑑																							
12-2	小学館	小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶが学ぶげんきの図鑑																							
14-4	成美堂出版	竜ご光の寝る絵本 ならしてあそぼう! どうようタンパリン																							
14-4	成美堂出版	わくわくコンピニオンそびにんスタ																							
14-4	成美堂出版	CDで楽しくよみませ おはなし絵本1																							
16-3	大日本絵画	ちいさなおたけじゃくし																							
16-3	大日本絵画	おとななまわるしりあえほん にぎやかペット!																							
16-3	大日本絵画	むしむし きわってごらん																							
17-1	チャイルド	くらとぎょうしのせいかつ図鑑																							
20-1	童心社	絵本・ちいさななまたち ぼたけのともたち																							
20-1	童心社	くれよんのくるくる																							
27-1	ひかりのく	こどものすかんMe7 くまばなき																							
27-3	ひさかた	スピニング絵本 きせつとぎょうしのえほん																							
28-1	福音館	こどものとも傑作集 しょうぼうじょうしやじぶた																							
28-3	プロンズ新	らくばき絵本五味太郎50%																							
30-2	ポプラ	おとあそぼうシリーズ9 どうぶつなんでなく?																							
30-2	ポプラ	音の出る図解絵本10 さいの音がでるえほん																							
30-2	ポプラ	やってみよう!ブック2 1ねんきせつこのうさぎあそび																							
30-2	ポプラ	地図をつくらう! まちたんけんに出発しよう																							
51-4	アリス館	うらちちゃんのリモのえほん! でんしゃのつて																							
52-1	いかだ社	いかだ社 科学工作図鑑①エコパワ																							
57-1	教育画劇	いもほりよいしょ!																							
59-12	経済界	キッチンであそぼ!																							
80-32	コスミック	たのしく こうさく!きつて はって めってぶつ																							

発行番号 コード	発行者名称	図 書 名	広島 中央	広島南	広島 惣堂	尾道 知的	しまなみ	広島 知的	福山	酒類	八木松	広島西	廿日市	福山北	三原	大崎	糸	江性	庄原	広島北	沼津	黒旗	呉階 惣堂	呉階 知的
62-12	主婦の友	BABY TOUCHふれいぶつく	○						○															
62-12	主婦の友	決起隊工作大図録																					○	○
69-2	帝國書院	みんなの地図帳—買やすい、使いやすい—	○																					
76-16	ハイインク	さわれるまなべるやせいのどうぶつ	○																					
82-3	三越商行	ポカポカフレンドズのリスムえほん マラカス					○																	
82-3	三越商行	ポカポカフレンドズのおしやべりえほん もしましでんわ						○																
T30	二宮書店	基本地図帳 —世界と日本の今を知る—	○																					
T182	ライト(一般)	初等地図帳	○																					
T217	日点(一般)	視覚障害者の漢字学習	○																					

発行部 コード	発行者名称	図書 コード	図 書 名	広島 中央	広島南	尾道 徳見	尾道 知明	しまなみ	広島 肢体	広島 知明	福山	三原	大崎	呉	江能	庄原	広島北	沼津	東清	尾道 徳見	尾道 知明
27-1	ひかりのく	K00	新装版KIDS21112 たべものひやか																		
27-1	ひかりのく	G03	マナー・ルールがどどんとわかる！ 新装版1版からかなマナー																		
27-2	群像社	A01	スカーパーおじさんの 田たらくんたち																		
27-2	群像社	E05	しかけ絵本の本棚 からだのなかとそと																		
27-2	群像社	G01	ピーター・ラベアの絵本1 せかいのひとと																		
27-3	ひまかた	B01	ミニミカケのえほん ミニミカケのあかあせ																		
27-3	ひまかた	G05	STEMming絵本 かずのえほん																		
27-3	ひまかた	D02	どうぞのいす																		
28-1	福音館	E08	幼児絵本シリーズ くだもの																		
28-1	福音館	E02	かがくのとも絵本 たべられるよきぶつ																		
28-1	福音館	E13	かがくのとも絵本 平野レミのおりようブック																		
28-1	福音館	E20	かがくのとも絵本 しやほんだまどあそぼう																		
28-1	福音館	G04	福音館の科学シリーズ 昆虫																		
28-1	福音館	G03	福音館の科学シリーズ 地球																		
28-1	福音館	G05	福音館の科学シリーズ 選ばれたの四葉																		
28-1	福音館	G03	福音館の科学シリーズ ほらの地図旅行																		
28-1	福音館	G09	福音館の科学シリーズ どうぶつえんガイド																		
28-1	福音館	G10	福音館の科学シリーズ あそびのレンド																		
28-1	福音館	H21	ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐら																		
28-1	福音館	H25	こどものとも絵本 そまいうのたね																		
28-1	福音館	H28	こどものとも絵本 はじめてのおつかい																		
28-1	福音館	H55	こどものとも絵本 おおきなかぶ																		
28-1	福音館	J01	世界傑作絵本シリーズ てぶる																		
28-1	福音館	J02	世界傑作絵本シリーズ プレゼンのおんがくたい																		
28-1	福音館	M08	みぢなかががシリーズ 町たんけん																		
28-1	福音館	N01	Do! 国際シリーズ 工作図鑑																		
28-6	文研出版	A15	ジョーアルくん傑作集 りんごがダンス																		
28-7	福村出版	A01	シリーズお話を学ぶ1 ついて食べよう																		
28-7	福村出版	A05	シリーズお話を学ぶ5 速く行きたいな																		
28-7	福村出版	A08	シリーズお話を学ぶ6 わたしたちのからだ																		
28-8	フレーベル	D02	ふしぎをたずぬかか図鑑 しよぶつがいはい																		
28-8	フレーベル	D04	ふしぎをたずぬかか図鑑 しぜんあそび																		
28-8	フレーベル	G08	フレーベル館の図鑑マチュラ ひらのからだ																		
28-8	フレーベル	G12	フレーベル館の図鑑マチュラ はるなつあまふゆ																		
29-1	平凡社	B02	新装はじめましてにほんちず																		
30-2	ポプラ	A01	あそびのひろば1 はんがあそび																		
30-2	ポプラ	A02	あそびのひろば2 やまいてつりのプレゼント																		
30-2	ポプラ	A04	あそびのひろば4 はりえあそび																		
30-2	ポプラ	M01	うたでかいてけせるえほん1 音のでるえほん																		
30-2	ポプラ	P04	音のでる知育絵本4 こえでおぼえるあいらずおのぼん																		
30-2	ポプラ	P07	音のでる知育絵本7 こえでおぼえる123かすのぼん																		
30-2	ポプラ	P15	音のでる知育絵本15 こえでおぼえるごあいさつえほん																		
30-2	ポプラ	P16	音のでる知育絵本16 おけいごあそびえほん																		
30-2	ポプラ	001	いろいろなぼん																		
30-2	ポプラ	539	おとあそび絵本シリーズ31 おてほんのうたがながかるてあそびえほん																		
36-1	山と溪谷社	001	家庭科の教科書小学校低学年～高学年用																		
40-1	理論社	A01	あいさつえほん																		
40-3	リーブル	001	あつちやんあつちやんあつちやんあつちやん																		

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立三原特別支援学校			学部	小学部
学年	第3学年	教育課程	単一	児童・生徒数	3
種目	発行者番号・略称 教科用図書記号・番号 書名		学習指導要領 段階等	選定理由	
生活	28-8 フレーベル G12 フレーベル館の図鑑ナチュラ はるなつあきふゆ		小生2 サ	季節ごとに自然や行事、遊び等がわかりやすく紹介されている図鑑形式の本であり、四季の移り変わりや季節の特徴について、身近な自然や生き物への興味・関心を深めながら学習することができる。	
生活	08-1 くもん出版 E01 はとのクルックのとけいえほん		小生2 ウ	動物が登場する絵本で、自分で時計を動かせるような仕組みになっている。時間を視覚的に確認しながら学習することができるため、自立した生活に向けて、日課に沿って見通しをもって行動する力を養うことができる。	
国語	2 東書 C-122 こくご☆☆		小国2		
算数	17 教出 C-122 さんすう☆☆(1) C-123 さんすう☆☆(2)		小算2		
音楽	2 東書 C-122 おんがく☆☆		小音2		
図画 工作	06-2 学研 I12 あそびのおうさまずかん 12 リサイクルこうさく増補改訂		小図2 AB	新聞紙や段ボール等の身近な紙の素材をリサイクルして工作するアイデアが多く紹介されており、図鑑を見ながら工作への意欲を高めたり、イメージを基に作品を作ったり、手にもって鑑賞したりすることに適している。	
保健	07-2 金の星社 E01 やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？		小体2 G	児童にとって親しみやすいイラストで、身体の基本的な部位や仕組み、食べ物の消化に関すること等についてわかりやすく説明されており、健康な生活を送るために自分の身体について関心をもつことができる。	
道徳	28-1 福音館 H25 こどものとも絵本 そらいろのたね		小道1 2 (6) (11)	児童にとって親しみやすい子供や動物が登場する話で、繰り返しのやり取りも含まれているので、内容が理解しやすい。優しい男の子や意地悪なキツネの行動から、お互いの気持ちを考えることで、誰に対しても分け隔てなく、人に親切に接することの大切さを学ぶことができる。	

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島中央特別支援学校			学部	小学部
学年	第2学年	教育課程	重複障害1	児童・生徒数	1
種目	発行者番号・略称 教科用図書記号・番号 書名	学習指導要領 段階等	選定理由		
生活	06-1 偕成社 T01 エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし	小生1 サ	リズムカルな表現で児童の興味を引き付け、卵から青虫、さなぎをへて美しい蝶が誕生するまでの身近な自然の事象を楽しんで学習することができる。数や曜日、食べ物などを穴のあいたページに触れて手で確かめながら読み進むことができる。		
生活	16-3 大日本絵画 A01 メロディーえほん I Cピアノえほん 四季のどうよう -12ヵ月	小生1 エオサ	1月から12月までの季節に合わせた12曲の童謡で構成されており、季節の変化やその特徴などを楽しんで学習することができる。また、鍵盤を押さえると音が出ることから、聴覚と触覚で音楽を確かめ集団で活動することができる。		
国語	2 東書 国語C-111 こくご☆	小国1	(継続使用)		
算数	17 教出 算数C-111 さんすう☆	小算1	(継続使用)		
音楽	2 東書 音楽C-111 おんがく☆	小音1	(継続使用)		
図画 工作	06-2 学研 いっしょにあそぼ しましまぐるぐる	小図1 A	「しましま」「ぐるぐる」の描写で身近な題材が取り上げられており、描くことへの興味・関心を引きやすい。絵や配色が大変はっきりしており内容が簡潔で分かりやすい。		
道徳	28-1 福音館 H26 こどものとも絵本 おおきなかぶ	小道1・2 (6)(9) (12)(18)	かぶの種を育てることで、どんなものが育つのか楽しみ、自然に対する優しい心情を育てることができる。視覚的にも絵がはっきりしており見えやすい。ストーリーも繰り返しが多く分かりやすい。		

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島南特別支援学校			学部	小学部
学年	第1学年	教育課程	重複障害	児童・生徒数	2
種目	発行者番号・略称 教科用図書記号・番号・書名		学習指導要領 段階等	選定理由	
生活	01-1 あかね書房 H01 かばくん・くらしのえほん1 かばくんのいちにち		小生1 アケウコ	主人公のかばくんの行動を通して、着替えや食事など、一日の生活の様子や物の名称などが取り上げられている。読み聞かせや話し合いに活用できる。主として、左ページに文と絵、右ページに関連する絵が描かれている。また、挿絵は写実的で、色使いが淡く、見やすく、視覚的に理解しやすい教材である。日常生活に必要な身近生活の基礎的能力と態度を育てるのに役立つ。	
国語	2東書 国語C-121 こくご ☆		小国1	/	
算数	17教出 算数C-121 さんすう ☆		小算1		
音楽	2東書 音楽C-121 おんがく ☆		小音1		
図画工作	30-2 ポプラ J01 クーとマーのおぼえるえほん 1 ぼくのいろなあに		小図1 AB	2匹のこぐまの話を読み進めるうちに、生活の中にある色の名前を食べ物や自然と関連付けながら、段階的に覚えることができる。絵は、明るい色調で、同じ色名でも微かな色の違いがあることを感じる事ができる絵本である。また造形あそびをすることができる。	
道徳	30-2 ポプラ D05 ねずみくんの絵本1 ねずみくんのチョコッキ		小道1 2 (4)(6)(9)	主人公のねずみ君が自分のチョコッキをさまざまな動物に貸してあげるというやり取りを主として、物語が展開されており、個性、親切、友情について学ぶことができる。右ページに繰り返しの文、左ページに絵が描かれおり、読みやすいため、児童の興味を引き、視覚的にも理解しやすい。最後のページのみ文がなく、絵からねずみくんの心情を読み取る活動を展開できる。	

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立西条特別支援学校			学部	小学部
学年	第5学年	教育課程	学校内学級Ⅱ 類型(園生)	児童・生徒数	1
種目	発行者番号・略称 教科用図書記号・番号・書名		学習指導要領 段階等	選定理由	
生活	27-1 ひかりのく K09 新装版KIDS 2112 たべものひやか		小生3 アサ	料理の材料を博士が解説するという内容になっており、食べ物を通して、基本的な生活習慣に関する興味・関心を高めることができる。大きく色鮮やかな挿絵や写真が多く、食材別に料理が分類されているので、児童が理解しやすい。	
生活	08-1 くもん出版 B07 生活図鑑カード 生活道具カード		小生3 アキ	日常生活で使う道具31品が、写真や写実的なイラストで取り上げられており、道具を通して、日常生活に必要な身辺処理や手伝い等に関する知識や、それらに進んで取り組む態度を身に付けることができる。カードは1枚ずつ取り出すことができ、使いやすい。	
国語	2 東書 国語 C-113 こくご ☆☆☆		小国3 アイウ ABC	/	
算数	17 教出 算数 C-114 さんすう ☆☆☆		小算3 ABCD		
音楽	2 東書 音楽 C-113 おんがく ☆☆☆		小音3 AB		
図画工作	10-3 国土社 B14 たのしい図画工作14 こすりだし・すりだし		小図3 AB	鉛筆やクレヨンを工夫して使いながらこすり出す活動を楽しんだり、こすり出したいろいろな模様や形から発想を促したりすることができる。見たことや感じたことを表現したり、表現の面白さなどに気付いたりすることができる。	
保健	02-1 岩崎書店 B03 知識の絵本 ひとのからだ		小体3 G	挿絵の他、一部に写真が使われているため、視覚的に理解しやすく、命の大切さや成長に伴う男の子、女の子の体の変化等について、児童が興味をもって学習することができる。	
道徳	28-1 福音館 H25 こどものとも絵本 そらいろのたね		小道12 (2)(6)	きつねと取りかえっこしたそらいろのたねから家ができて、どんどん大きくなっていくお話である。きつねが取り返し、みんなを追い出した瞬間に家が消えるという展開になっており、誠実な生き方について考えることのできる題材になっている。表紙は厚く、耐久性がある。	

令和2年度使用教科用図書選定理由書

学校名	広島県立広島西特別支援学校		学部	小学部	
学年	第5学年	教育課程	Ⅱ類型	児童・生徒数	1
種目	発行者番号・略称 教科用図書記号・番号・書名	学習指導要領 段階等	選定理由		
生活	06-1 偕成社 T07 エリック・カールの絵本 できるかな?—あたまからつまさきまで—	小生3 エサ	動物のセリフと擬態語によって、それぞれの動物の雰囲気を味わうことができる。動物に接する機会の少ない児童が、自然や生き物、自分の体への関心を広げることができる。		
生活	06-2 学研 J04 ふしぎ・びっくり!?こども図鑑8 きせつ	小生3 サ	季節に応じた行事や習慣について、写真やイラストを用い分かりやすく解説しており、病棟内で学習する児童が季節の特徴や変化の様子を知ることができる。		
生活	20-4 戸田デザイン 005 にっぽんちず絵本	小生3 コ	日本各地域の地名とその土地の特色や地理的な内容が端的でカラフルなイラストと文で表現されている。関連するクイズも掲載されており、児童の興味を引く内容である。図版や文字等は大きく、装丁は薄く軽量であるため、病棟内で提示しやすい。		
国語	2東書 国語C-113 こくご☆☆☆	小国3			
算数	17教出 算数C-114 さんすう☆☆☆	小算3			
音楽	2東書 音楽C-113 おんがく☆☆☆	小音3			
図画 工作	30-2 ポプラ A02 あそびのひろば2 やさしいてづくりのプレゼント	小図3 AB	病棟内でも扱える素材を用いた作品作りのアイデアが掲載されている。プレゼントをテーマにしており、児童が人とかかわりを意識しつつ、造形活動への意欲を高めたり、技能を身に付けたりすることができる。		
保健	27-1 ひかりのく I09 改訂新版体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう	小体2 G	目や耳、肺などの体の各部位の名称と仕組み、体と食べ物の関係、働きについて、豊富なイラストと文で説明されている。体調管理や、衛生に関する知識や対処方法を身に付けることができる。		
道徳	20-4 戸田デザイン 006 せかいちず絵本	小道3・4 (17)(19)	世界の代表的な国々の様子がイラストで示され、山の高さや川の長さがカラフルな色で比較されている。病棟内で学習する時間が長く経験や実体験の少ない児童に、他国の人々や文化に親しみ、自然や動植物を大切にする心を育成することができる。		

令和元年度県立特別支援学校における教科書選定会議の状況

1 設置状況

すべての学校において設置済み。

2 構成員

平均人数：7.5人（管理職を除く人数）

※管理職（校長，教頭，部主事）は構成員。

※教科用図書の採択に直接の利害関係を有する者でないこと，また，教科用図書の採択に直接の利害関係を有しないまでも，特定の教科書発行者と関係を有する者でないことを確認済み。

3 開催回数（7月5日現在）

平均開催回数：2.3回

